

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|-------------|---|---|
| | | <p>(6) アクセスルートの確保（設置許可基準規則第43条第3項第六号）</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>代替所内電気設備の可搬型代替電源車は、想定される重大事故等が発生した場合においても、保管場所から配備場所までの経路について、設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう、複数のアクセスルートを確保する設計とする（「可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」参照）。</p> <p style="text-align: right;">(57-7)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性（設置許可基準規則第43条第3項第七号）</p> <p>(i) 要求事項 重大事故防止設備のうち可搬型のものは、共通要因によって、設計基準事故対処設備の安全機能、使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>代替所内電気設備のうち、可搬型代替電源車から代替所内電気設備変圧器、代替所内電気設備分電盤及び代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤へ電源供給する系統並びにディーゼル発電機燃料油貯蔵槽及び燃料タンク（SA）から代替非常用発電機又は可搬型代替電源車まで燃料を移送する設備は、共通要因によって、設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備又は重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、表2.14.123で示すとおり、多様性及び位置的分散を図る設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(57-2, 57-4, 57-9)</p> | <p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。 <p>設備・運用の相違（代替所内電気設備の構成等）</p> <p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。 <p>設備・運用の相違（代替所内電気設備の構成等）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|---|--|-----------|--|--|-------------------------|------------|----------|----|------------------------------------|-------------------------------|---|----|--|---------------------------------------|--|-------|---|---|---|---------|-----|-----|-----|----|-----------|--|--|-------------------------|------------|----------|-----|---|--|---|------|---|--|--|--|
| | | <p>表 2.14.123 代替所内電気設備の多様性及び位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>設計基準事故対処設備 非常用交流電源設備</th> <th>常設代替交流電源設備</th> <th>代替所内電気設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源</td> <td>ディーゼル発電機 <ディーゼル発電機建屋 T.P.10.3m></td> <td>代替非常用発電機 <屋外（3号炉東側32mエリア）></td> <td>可搬型代替電源車 <屋外（1号炉西側31mエリア、2号炉東側31mエリア(a)及び展望台行管理道路脇西側60mエリア）></td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>A-ディーゼル発電機 ～非常用高圧母線(6-A)電路 B-ディーゼル発電機 ～非常用高圧母線(6-B)電路</td> <td>代替非常用発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路</td> <td>可搬型代替電源車～可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路</td> </tr> <tr> <td>電源供給先</td> <td>非常用高圧母線(6-A) 非常用高圧母線(6-B) <いずれも原子炉補助建屋 T.P.10.3m></td> <td>非常用高圧母線(6-A) 非常用高圧母線(6-B) <いずれも原子炉補助建屋 T.P.10.3m></td> <td>代替所内電気設備変圧器及び代替所内電気設備分電盤 <原子炉補助建屋 T.P.17.8m> 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤 <原子炉補助建屋 T.P.24.8m></td> </tr> <tr> <td>電源の冷却方式</td> <td>水冷式</td> <td>空冷式</td> <td>空冷式</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="3">重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>設計基準事故対処設備 非常用交流電源設備</th> <th>常設代替交流電源設備</th> <th>代替所内電気設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料源</td> <td>ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> ディーゼル発電機 燃料油サービスタンク <周辺補機棟 T.P.17.8m></td> <td>ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> 燃料タンク(SA) <屋外> 代替非常用発電機(発電機搭載燃料) <屋外></td> <td>ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> 燃料タンク(SA) <屋外> 可搬型代替電源車(車載燃料) <屋外></td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m></td> <td>可搬型タンクローリー <屋外（1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)）> ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m></td> <td>可搬型タンクローリー <屋外（1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)）> ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m></td> </tr> </tbody> </table> | 項目 | 重大事故等対処設備 | | | 設計基準事故対処設備 非常用交流電源設備 | 常設代替交流電源設備 | 代替所内電気設備 | 電源 | ディーゼル発電機 <ディーゼル発電機建屋 T.P.10.3m> | 代替非常用発電機 <屋外（3号炉東側32mエリア）> | 可搬型代替電源車 <屋外（1号炉西側31mエリア、2号炉東側31mエリア(a)及び展望台行管理道路脇西側60mエリア）> | 電路 | A-ディーゼル発電機 ～非常用高圧母線(6-A)電路 B-ディーゼル発電機 ～非常用高圧母線(6-B)電路 | 代替非常用発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路 | 可搬型代替電源車～可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路 | 電源供給先 | 非常用高圧母線(6-A) 非常用高圧母線(6-B) <いずれも原子炉補助建屋 T.P.10.3m> | 非常用高圧母線(6-A) 非常用高圧母線(6-B) <いずれも原子炉補助建屋 T.P.10.3m> | 代替所内電気設備変圧器及び代替所内電気設備分電盤 <原子炉補助建屋 T.P.17.8m> 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤 <原子炉補助建屋 T.P.24.8m> | 電源の冷却方式 | 水冷式 | 空冷式 | 空冷式 | 項目 | 重大事故等対処設備 | | | 設計基準事故対処設備 非常用交流電源設備 | 常設代替交流電源設備 | 代替所内電気設備 | 燃料源 | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> ディーゼル発電機 燃料油サービスタンク <周辺補機棟 T.P.17.8m> | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> 燃料タンク(SA) <屋外> 代替非常用発電機(発電機搭載燃料) <屋外> | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> 燃料タンク(SA) <屋外> 可搬型代替電源車(車載燃料) <屋外> | 燃料流路 | ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m> | 可搬型タンクローリー <屋外（1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)）> ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m> | 可搬型タンクローリー <屋外（1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)）> ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m> | <p>設備・運用の相違（代替所内電気設備の構成等）</p> <p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。 |
| 項目 | 重大事故等対処設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 設計基準事故対処設備 非常用交流電源設備 | 常設代替交流電源設備 | 代替所内電気設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源 | ディーゼル発電機 <ディーゼル発電機建屋 T.P.10.3m> | 代替非常用発電機 <屋外（3号炉東側32mエリア）> | 可搬型代替電源車 <屋外（1号炉西側31mエリア、2号炉東側31mエリア(a)及び展望台行管理道路脇西側60mエリア）> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電路 | A-ディーゼル発電機 ～非常用高圧母線(6-A)電路 B-ディーゼル発電機 ～非常用高圧母線(6-B)電路 | 代替非常用発電機～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路 | 可搬型代替電源車～可搬型代替電源接続盤～非常用高圧母線(6-A)及び非常用高圧母線(6-B)電路 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源供給先 | 非常用高圧母線(6-A) 非常用高圧母線(6-B) <いずれも原子炉補助建屋 T.P.10.3m> | 非常用高圧母線(6-A) 非常用高圧母線(6-B) <いずれも原子炉補助建屋 T.P.10.3m> | 代替所内電気設備変圧器及び代替所内電気設備分電盤 <原子炉補助建屋 T.P.17.8m> 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤 <原子炉補助建屋 T.P.24.8m> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源の冷却方式 | 水冷式 | 空冷式 | 空冷式 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 重大事故等対処設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 設計基準事故対処設備 非常用交流電源設備 | 常設代替交流電源設備 | 代替所内電気設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料源 | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> ディーゼル発電機 燃料油サービスタンク <周辺補機棟 T.P.17.8m> | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> 燃料タンク(SA) <屋外> 代替非常用発電機(発電機搭載燃料) <屋外> | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> 燃料タンク(SA) <屋外> 可搬型代替電源車(車載燃料) <屋外> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料流路 | ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m> | 可搬型タンクローリー <屋外（1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)）> ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m> | 可搬型タンクローリー <屋外（1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)）> ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 |
|----------------|---|--|---|
| | <p>3. 14. 3 重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <p>3. 14. 3. 1 非常用交流電源設備</p> <p>3. 14. 3. 1. 1 設備概要</p> <p>非常用交流電源設備は、外部電源が喪失した場合、非常用所内電気設備に電源を供給することにより、重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止することを目的として設置するものである。</p> <p>本系統は、ディーゼルエンジン及び発電機を搭載した「非常用ディーゼル発電機」及び「高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機」並びに非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の燃料を保管する「軽油タンク」並びに非常用ディーゼル発電機近傍で燃料を保管する「非常用ディーゼル発電設備燃料デイトank」及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機近傍で燃料を保管する「高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトank」並びに軽油タンクから非常用ディーゼル発電設備燃料デイトankに燃料を補給する「非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ」及び軽油タンクから高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトankに燃料を補給する「高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ」並びに非常用所内電気設備として回路を構成する「非常用高圧母線 2C 系」、「非常用高圧母線 2D 系」及び「非常用高圧母線 2H 系」で構成する。</p> <p>非常用ディーゼル発電機は、非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系の電源喪失を検出し、自動起動することで、非常用高圧母線 2C 系及び非常用高圧母線 2D 系に電源を供給する。非常用ディーゼル発電機の燃料は、軽油タンクから非常用ディーゼル発電設備燃料デイトankに非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプを用いて自動で供給され、非常用ディーゼル発電設備燃料デイトankから自重で非常用ディーゼル発電機に供給される。</p> <p>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機は、非常用高圧母線 2H 系の電源喪失を検出し、自動起動することで、非常用高圧母線 2H 系に電源を供給する。高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機の燃料は、軽油タンクから高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトankに高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプを用いて自動で供給され、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトankから自重で高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機に供給される。</p> | <p>2. 14. 3 重大事故等対処設備（設計基準拡張）</p> <p>2. 14. 3. 1 非常用交流電源設備</p> <p>2. 14. 3. 1. 1 設備概要</p> <p>非常用交流電源設備は、外部電源が喪失した場合、非常用所内電気設備に電源を供給することにより、重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷、原子炉格納容器の破損、使用済燃料ピット内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止することを目的として設置するものである。</p> <p>本系統は、ディーゼルエンジン及び発電機を搭載した「ディーゼル発電機」、ディーゼル発電機の燃料を保管する「ディーゼル発電機燃料油貯油槽」、ディーゼル発電機近傍で燃料を保管する「ディーゼル発電機燃料油サービスタンク」及びディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油サービスタンクに燃料を補給する「ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ」、並びに非常用所内電気設備として回路を構成する「非常用高圧母線（6-A）」及び「非常用高圧母線（6-B）」で構成する。</p> <p>ディーゼル発電機は、非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）の電源喪失を検出し、自動起動することで、非常用高圧母線（6-A）及び非常用高圧母線（6-B）に電源を供給する。ディーゼル発電機の燃料は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽からディーゼル発電機燃料油サービスタンクにディーゼル発電機燃料油移送ポンプを用いて自動で供給され、ディーゼル発電機燃料油サービスタンクから自重でディーゼル発電機に供給される。</p> | <p>設備名称の相違（使用済燃料ピット）</p> <p>設備名称の相違（D/G）</p> <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>設備名称の相違（燃料油貯油槽）</p> <p>設備名称の相違（D/G 燃料油移送設備）</p> <p>非常用高圧母線名称の相違</p> <p>・女川：2C 系，2D 系→泊：6-A，6-B</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3／4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|---|---|
| | <p>非常用交流電源設備のうち非常用ディーゼル発電機は、ATWS緩和設備(代替制御棒挿入機能)、ATWS緩和設備(代替原子炉再循環ポンプトリップ機能)、ATWS緩和設備(自動減圧系作動阻止機能)、ほう酸水注入系、代替自動減圧回路(代替自動減圧機能)、高圧窒素ガス供給系(非常用)、低圧代替注水系(常設)(復水移送ポンプ)、低圧代替注水系(可搬型)、残留熱除去系(低圧注水モード)、低圧炉心スプレイ系、残留熱除去系(原子炉停止時冷却モード)、原子炉補機冷却水系(原子炉補機冷却海水系を含む。)、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(常設)、原子炉格納容器代替スプレイ冷却系(可搬型)、残留熱除去系(格納容器スプレイ冷却モード)、残留熱除去系(サブプレッションプール水冷却モード)、代替循環冷却系、原子炉格納容器下部注水系(常設)(復水移送ポンプ)、原子炉格納容器下部注水系(常設)(代替循環冷却ポンプ)、原子炉格納容器下部注水系(可搬型)、計装設備及び非常用ガス処理系へ電力を供給できる設計とする。</p> <p>非常用交流電源設備のうち高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機は、高圧炉心スプレイ系及び計装設備へ電力を供給できる設計とする。</p> <p>本系統の概要図を図3.14-44及び図3.14-45に、本系統に関する重大事故等対処設備(設計基準拡張)一覧を表3.14-124に示す。</p> <p>本系統は設計基準事故対処設備であるとともに、想定される重大事故等時においてその機能を考慮するため、重大事故等対処設備(設計基準拡張)と位置づける。</p> | <p>非常用交流電源設備のうちディーゼル発電機は、原子炉出力抑制(自動)、原子炉出力抑制(手動)、ほう酸水注入、1次冷却系のフィードアンドブリード、蒸気発生器2次側からの除熱、炉心注水、代替炉心注水、再循環運転、代替再循環運転、格納容器スプレイ、代替格納容器スプレイ、余熱除去設備、低圧注入系、格納容器内自然対流冷却、原子炉格納容器下部への注水、水素濃度制御設備、水素濃度監視設備、アニュラス空気浄化設備による水素排出、アニュラス部の水素濃度監視、使用済燃料ピットの監視、計測制御装置、中央制御室空調装置、可搬型照明(SA)、放射性物質の濃度低減、通信連絡設備へ電力を供給できる設計とする。</p> <p>本系統の概要図を図2.14.49～50に、本系統に関する重大事故等対処設備(設計基準拡張)一覧を表2.14.124に示す。</p> <p>本系統は設計基準事故対処設備であるとともに、想定される重大事故等時においてその機能を考慮するため、重大事故等対処設備(設計基準拡張)と位置づける。</p> | <p>設備名称の相違(D/G)</p> <p>炉型による給電対象設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・D/Gから電源を供給する設備の相違 <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

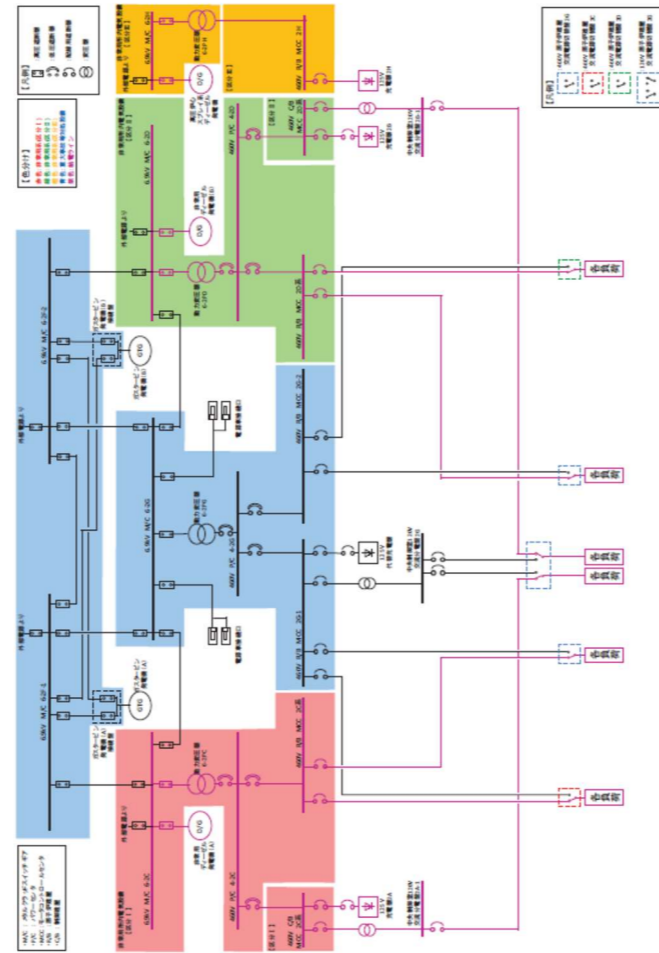


図 3.14-44 非常用交流電源設備系統図

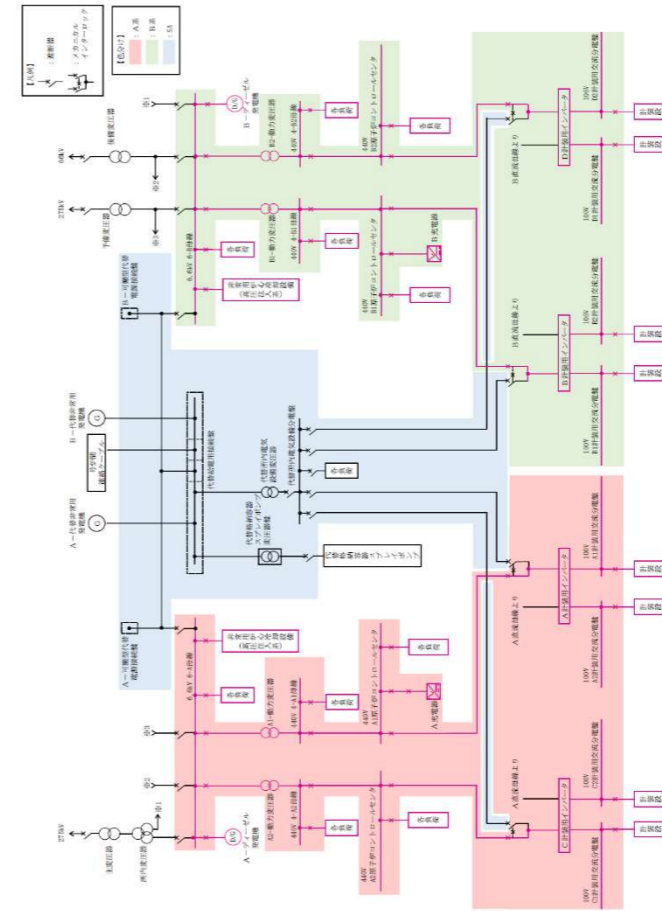


図 2.14.49 非常用交流電源設備系統図

- 炉型による非常用電源設備構成の相違
 設備の相違
- ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。
 - ・電源設備の構成に相違はあるが、既許・既工認の内容を踏まえた記載としていふ点において同等である。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

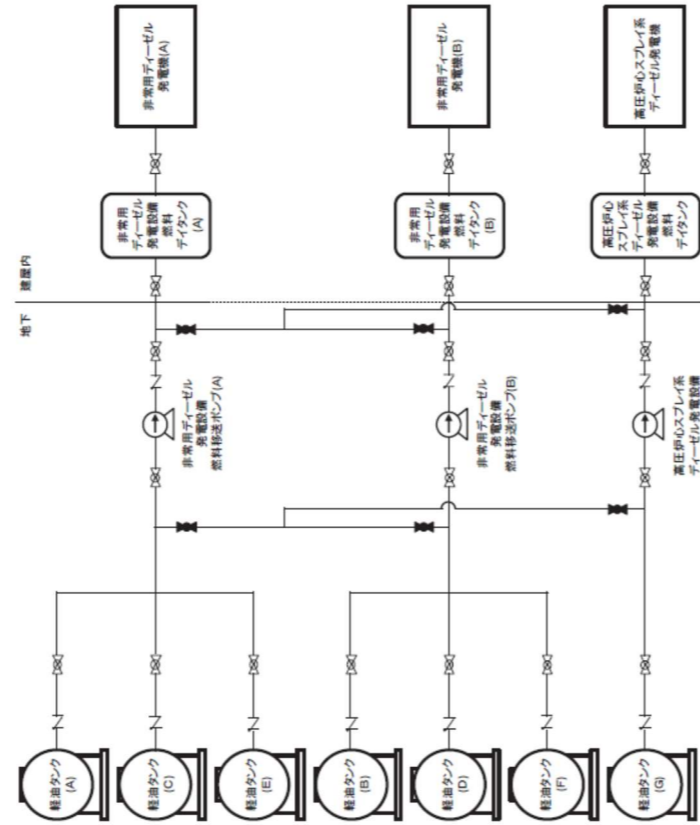


図3.14-45 非常用交流電源設備系統図
 (非常用ディーゼル発電設備及び高圧炉心スプレイスターターディーゼル発電設備燃料移送系)

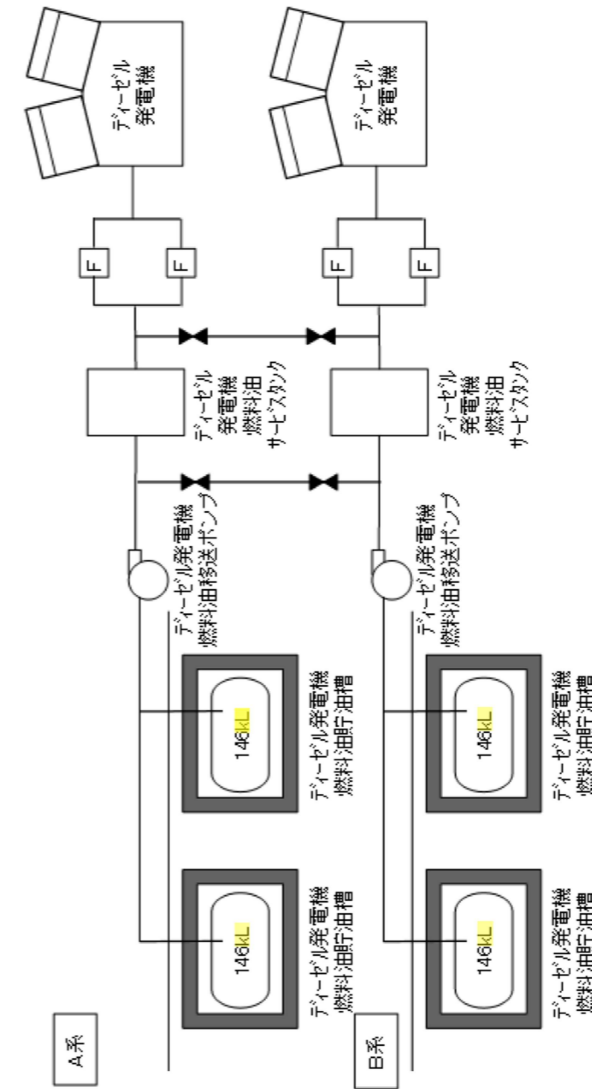


図2.14.50 非常用交流電源設備系統図
 (ディーゼル発電機燃料油設備)

炉型による非常用電源設備構成の相違
 設備の相違
 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等
 対処設備として必要な設備を設けると
 いう点において同等である。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3／4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|---------|------|------|---|------|---|------|--|----|--|------------|--|---|------|-----|------|--|------|---|------|---------------------------|----|---|------------|--------------------|---|
| | <p>表3.14-124 非常用交流電源設備に関する重大事故等対処設備（設計基準拡張）一覧</p> <table border="1" data-bbox="943 262 1602 613"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>非常用ディーゼル発電機*1【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機【常設】 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク*2【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンク【常設】 軽油タンク*3【常設】 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ*4【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>非常用ディーゼル発電機 ～非常用高压母線2C系*5及び非常用高压母線2D系*6電路【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機 ～非常用高压母線2H*7系電路【常設】</td> </tr> <tr> <td>計装設備（補助）*8</td> <td>6-2C母線電圧【常設】 6-2D母線電圧【常設】 6-2H母線電圧【常設】</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：非常用ディーゼル発電機は、非常用ディーゼル発電機(A)及び非常用ディーゼル発電機(B)により構成される。 *2：非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンクは、非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク(A)及び非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク(B)により構成される。 *3：軽油タンクは、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(A)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(B)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(C)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(D)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(E)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(F)及び高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクにより構成される。 *4：非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプは、非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ(A)及び非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ(B)により構成される。 *5：非常用高压母線2C系は、6.9kVメタクラ6-2Cにより構成される。 *6：非常用高压母線2D系は、6.9kVメタクラ6-2Dにより構成される。 *7：非常用高压母線2H系は、6.9kVメタクラ6-2Hにより構成される。 *8：計装設備については、「3.15 計装設備（設置許可基準規則第58条に対する設計方針を示す章）」で示す。</p> | 設備区分 | 設備名 | 主要設備 | 非常用ディーゼル発電機*1【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機【常設】 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク*2【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンク【常設】 軽油タンク*3【常設】 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ*4【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ【常設】 | 附属設備 | — | 燃料流路 | 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 | 電路 | 非常用ディーゼル発電機 ～非常用高压母線2C系*5及び非常用高压母線2D系*6電路【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機 ～非常用高压母線2H*7系電路【常設】 | 計装設備（補助）*8 | 6-2C母線電圧【常設】 6-2D母線電圧【常設】 6-2H母線電圧【常設】 | <p>表2.14.124 非常用交流電源設備に関する重大事故等対処設備（設計基準拡張）一覧</p> <table border="1" data-bbox="1668 277 2395 562"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>ディーゼル発電機*1【常設】 ディーゼル発電機燃料油サービスタンク*2【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽*3【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ*4【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁【常設】</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>ディーゼル発電機*1～非常用高压母線(6-A)*5及び非常用高压母線(6-B)*6電路【常設】</td> </tr> <tr> <td>計装設備（補助）*7</td> <td>6-A母線電圧 6-B母線電圧</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：ディーゼル発電機は、A-ディーゼル発電機及びB-ディーゼル発電機により構成される。 *2：ディーゼル発電機燃料油サービスタンクは、A-ディーゼル発電機燃料油サービスタンク及びB-ディーゼル発電機燃料油サービスタンクにより構成される。 *3：ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、A1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽、A2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽、B1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽及びB2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽により構成される。 *4：ディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、A-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及びB-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプにより構成される。 *5：非常用高压母線(6-A)は、6-Aメタクラにより構成される。 *6：非常用高压母線(6-B)は、6-Bメタクラにより構成される。 *7：計装設備については、「2.15 計装設備（設置許可基準規則第58条に対する設計方針を示す章）」で示す。</p> | 設備区分 | 設備名 | 主要設備 | ディーゼル発電機*1【常設】 ディーゼル発電機燃料油サービスタンク*2【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽*3【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ*4【常設】 | 附属設備 | — | 燃料流路 | ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁【常設】 | 電路 | ディーゼル発電機*1～非常用高压母線(6-A)*5及び非常用高压母線(6-B)*6電路【常設】 | 計装設備（補助）*7 | 6-A母線電圧 6-B母線電圧 | <p>設備名称の相違 (D/G) 炉型による非常用電源設備構成の相違 設備の相違 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。</p> |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要設備 | 非常用ディーゼル発電機*1【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機【常設】 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク*2【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンク【常設】 軽油タンク*3【常設】 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ*4【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属設備 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料流路 | 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電路 | 非常用ディーゼル発電機 ～非常用高压母線2C系*5及び非常用高压母線2D系*6電路【常設】 高压炉心スプレイ系ディーゼル発電機 ～非常用高压母線2H*7系電路【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計装設備（補助）*8 | 6-2C母線電圧【常設】 6-2D母線電圧【常設】 6-2H母線電圧【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要設備 | ディーゼル発電機*1【常設】 ディーゼル発電機燃料油サービスタンク*2【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽*3【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ*4【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属設備 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料流路 | ディーゼル発電機設備（燃料油設備）配管・弁【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電路 | ディーゼル発電機*1～非常用高压母線(6-A)*5及び非常用高压母線(6-B)*6電路【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計装設備（補助）*7 | 6-A母線電圧 6-B母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|---|--|
| | <p>3.14.3.1.2 主要設備の仕様 主要機器の仕様を以下に示す。</p> <p>(1) 非常用ディーゼル発電機</p> <p>エンジン</p> <p>種 類：4サイクルたて形 18気筒ディーゼル機関 台 数：2 出 力：約6,100kW（1台当たり） 回 転 数：500rpm 起 動 方 式：圧縮空気起動 起 動 時 間：約10秒 使 用 燃 料：軽油</p> <p>発電機</p> <p>種 類：横軸回転界磁三相同期発電機 台 数：2 容 量：約7,625kVA（1台当たり） 力 率：0.80（遅れ） 電 圧：6.9kV 周 波 数：50Hz 回 転 数：500rpm 取 付 箇 所：原子炉建屋地上1階(原子炉建屋付属棟内)</p> <p>(2) 高圧炉心スプレィ系ディーゼル発電機</p> <p>エンジン</p> <p>種 類：4サイクルたて形 18気筒ディーゼル機関 台 数：1 出 力：約3,000kW 回 転 数：1,000rpm 起 動 方 式：圧縮空気起動 起 動 時 間：約13秒 使 用 燃 料：軽油</p> <p>発電機</p> <p>種 類：横軸回転界磁三相同期発電機 台 数：1 容 量：約3,750kVA 力 率：0.80（遅れ） 電 圧：6.9kV 周 波 数：50Hz 回 転 数：1,000rpm 取 付 箇 所：原子炉建屋地上1階(原子炉建屋付属棟内)</p> | <p>2.14.3.1.2 主要設備の仕様 主要機器の仕様を以下に示す。</p> <p>(1) ディーゼル発電機</p> <p>エンジン</p> <p>型 式：4サイクルたて形 16気筒ディーゼル機関 台 数：2 出 力：約5,600kW（1台当たり） 回 転 速 度：約750min⁻¹ 起 動 方 式：圧縮空気起動 起 動 時 間：約10秒 使 用 燃 料：軽油</p> <p>発電機</p> <p>型 式：横置・回転界磁形・三相同期発電機 台 数：2 容 量：約7,000kVA（1台当たり） 力 率：0.8（遅れ） 電 圧：6.9kV 周 波 数：50Hz 回 転 速 度：約750min⁻¹ 取 付 箇 所：ディーゼル発電機建屋 T.P. 10. 3m</p> | <p>設備名称の相違 (D/G)</p> <p>炉型による非常用電源設備構成の相違 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。 ・電源設備の構成に相違はあるが、既許可・既工認の内容を踏まえた記載としているという点において同等である。 <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川：種類，回転数，横軸回転界磁→泊：型式，回転速度，横置・回転界磁形 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|--|---|
| | <p>(3) 非常用ディーゼル発電設備燃料ダイタンク 種類：たて置円筒形 容量：約20m³（1基当たり） 最高使用圧力：静水頭 最高使用温度：45℃ 基数：2 取付箇所：原子炉建屋地上2階(原子炉建屋付属棟内)</p> <p>(4) 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料ダイタンク 種類：たて置円筒形 容量：約14m³ 最高使用圧力：静水頭 最高使用温度：45℃ 基数：1 取付箇所：原子炉建屋地上2階(原子炉建屋付属棟内)</p> <p>(5) 軽油タンク 種類：横置円筒形 基数：6（1系列につき3基） ：1（1系列につき1基） 容量：約110kL（1基当たり） ：約170kL 使用燃料：軽油 最高使用圧力：静水頭 最高使用温度：66℃ 取付箇所：屋外</p> <p>(6) 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 種類：スクリー式 台数：2 容量：約4.0m³/h（1台当たり） 全圧力：約0.5MPa 最高使用温度：66℃ 原動機出力：約2.2kW（1台当たり） 取付箇所：屋外</p> <p>(7) 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ 種類：スクリー式 台数：1 容量：約4.0m³/h（1台当たり） 全圧力：約0.5MPa 最高使用温度：66℃ 原動機出力：約2.2kW（1台当たり） 取付箇所：屋外</p> | <p>(2) ディーゼル発電機燃料油サービスタンク 型式：たて置円筒形 容量：約13kL（1基当たり） 最高使用圧力：大気圧 最高使用温度：50℃ 基数：1 取付箇所：周辺補機棟 T.P. 17.8m</p> <p>(3) ディーゼル発電機燃料油貯油槽 型式：横置円筒形 基数：4 容量：約146kL（1基当たり） 使用燃料：軽油 最高使用圧力：大気圧 最高使用温度：40℃ 取付箇所：屋外</p> <p>(4) ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ 型式：歯車形 台数：2 容量：約26kL/h（1台当たり） 吐出圧力：約0.3MPa[gage] 最高使用温度：50℃ 原動機出力：約11kW（1台当たり） 取付箇所：ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m</p> | <p>設備名称の相違 (D/G) 炉型による非常用電源設備構成の相違 設備の相違 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等 対処設備として必要な設備を設けると いう点において同等である。 ・電源設備の構成に相違はあるが、既許可・ 既工認の内容を踏まえた記載としている という点において同等である。</p> <p>記載表現の相違 ・女川：種類→泊：型式</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---------|------|--------------|---|------------|--------------------------------|---------------|---------------|----|---|----------|---------------------------------------|-------|-------------------------------------|--|-------|----|--------------|---|------------|----------------------------------|---------------|---------------|----|---|----------|---|-------|-------------------------------------|--|
| | <p>3.14.3.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>非常用交流電源設備については、想定される重大事故等時に重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用するため、「2.3 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>非常用交流電源設備については、設計基準事故対処設備として使用する場合と同様の系統構成で重大事故等時においても重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用するため、他の施設に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>非常用交流電源設備の非常用ディーゼル発電機、非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ、軽油タンク及び非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク並びに高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機、高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンクは、設計基準事故時に使用する場合の容量が、重大事故等の収束に必要な容量に対して十分であることから、設計基準事故対処設備と同仕様で設計する。</p> <p>基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>非常用交流電源設備については、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものとする。</p> <p>(1) 非常用ディーゼル発電機</p> <p>非常用交流電源設備の非常用ディーゼル発電機は、原子炉建屋地上1階(原子炉建屋付属棟内)に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、原子炉建屋付属棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.14-125に示す設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="952 1486 1596 1818"> <caption>表3.14-125 想定する環境条件及び荷重条件(非常用ディーゼル発電機)</caption> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>原子炉建屋付属棟内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風(台風)・積雪 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>2.14.3.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>非常用交流電源設備については、想定される重大事故等時に重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用するため、「1.3 重大事故等対処設備」に示す基本方針のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>非常用交流電源設備については、設計基準事故対処設備として使用する場合と同様の系統構成で重大事故等時においても重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用するため、他の施設に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>非常用交流電源設備のディーゼル発電機、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及びディーゼル発電機燃料油サービスタンクは、設計基準事故時に使用する場合の容量が、重大事故等の収束に必要な容量に対して十分であることから、設計基準事故対処設備と同仕様で設計する。</p> <p>基本方針については、「1.1.10.2 容量等」に示す。</p> <p>非常用交流電源設備については、想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものとする。</p> <p>(1) ディーゼル発電機</p> <p>非常用交流電源設備のディーゼル発電機は、ディーゼル発電機建屋T.P.10.3mに設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、ディーゼル発電機建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.14.125に示す設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="1685 1486 2368 1856"> <caption>表2.14.125 想定する環境条件及び荷重条件(ディーゼル発電機)</caption> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>ディーゼル発電機建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>ディーゼル発電機建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風(台風)・積雪 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>設備名称の相違 (D/G)</p> <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>設備名称の相違 (D/G 燃料油移送設備)</p> <p>設備名称の相違 (燃料油貯油槽)</p> <p>設備名称の相違 (D/G)</p> <p>設置場所の相違</p> |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風(台風)・積雪 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風(台風)・積雪 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---------|------|--------------|---|------------|--------------------------------|---------------|---------------|----|--|----------|---------------------------------------|-------|-------------------------------------|-------|----|--------------|---|------------|--------------------------------|---------------|---------------|----|--|----------|---------------------------------------|-------|-------------------------------------|--|-------|----|--------------|---|------------|----------------------------------|---------------|---------------|----|--|----------|---|-------|-------------------------------------|---|
| | <p>(2) 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 非常用交流電源設備の高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機は、原子炉建屋地上1階(原子炉建屋付属棟内)に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、原子炉建屋付属棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.14-126に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.14-126 想定する環境条件及び荷重条件 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機)</p> <table border="1" data-bbox="937 535 1590 850"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>原子炉建屋付属棟内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク 非常用交流電源設備の非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンクは、原子炉建屋地上2階(原子炉建屋付属棟内)に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、原子炉建屋付属棟内の環境条件及び荷重条件等を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.14-127に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.14-127 想定する環境条件及び荷重条件 (非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク)</p> <table border="1" data-bbox="946 1262 1581 1570"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>原子炉建屋付属棟内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | 風(台風)・積雪 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | 風(台風)・積雪 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>(2) ディーゼル発電機燃料油サービスタンク 非常用交流電源設備のディーゼル発電機燃料油サービスタンクは、周辺補機棟 T.P.17.8m に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件等を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.14.126に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.14.126 想定する環境条件及び荷重条件 (ディーゼル発電機燃料油サービスタンク)</p> <table border="1" data-bbox="1694 1247 2377 1606"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>ディーゼル発電機建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする(詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)</td> </tr> <tr> <td>風(台風)・積雪</td> <td>ディーゼル発電機建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする(詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | 風(台風)・積雪 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>設備名称の相違 (D/G 燃料油移送設備) 設備名称の相違 (D/G) 設置場所の相違</p> |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風(台風)・積雪 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする(詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風(台風)・積雪 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする(詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風(台風)・積雪 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、風(台風)及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち，BWR固有の設備や対応手段であり，泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3／4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---------|------|--------------|---|------------|--------------------------------|---------------|---------------|----|---|----------|---------------------------------------|-------|-------------------------------------|-------|----|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|---|----------|-----------------------------------|-------|-------------------------------------|--|-------|----|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|---|----------|-----------------------------------|-------|-------------------------------------|---|
| | <p>(4) 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンク 非常用交流電源設備の高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンクは，原子炉建屋地上2階(原子炉建屋付属棟内)に設置する設備であることから，その機能を期待される重大事故等時における，原子炉建屋付属棟内の環境条件及び荷重条件等を考慮し，その機能を有効に発揮することができるよう，表3.14-128に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.14-128 想定する環境条件及び荷重条件 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンク)</p> <table border="1" data-bbox="943 535 1605 856"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>原子炉建屋付属棟内で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>原子炉建屋付属棟内に設置するため，天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>原子炉建屋付属棟内に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(5) 軽油タンク 非常用交流電源設備の軽油タンクは，常設で屋外に設置する設備であることから，その機能を期待される重大事故等時における，屋外の環境条件及び荷重条件等を考慮し，その機能を有効に発揮することができるよう，表3.14-129に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.14-129 想定する環境条件及び荷重条件(軽油タンク)</p> <table border="1" data-bbox="934 1171 1596 1493"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉建屋付属棟内で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため，天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>(3) ディーゼル発電機燃料油貯油槽 非常用交流電源設備のディーゼル発電機燃料油貯油槽は，常設で屋外に設置する設備であることから，その機能を期待される重大事故等時における，屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し，表2.14.127に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.14.127 想定する環境条件及び荷重条件（ディーゼル発電機燃料油貯油槽）</p> <table border="1" data-bbox="1694 1165 2383 1528"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>設備名称の相違（燃料油貯油槽）</p> |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉建屋付属棟内で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため，天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 原子炉建屋付属棟内に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち，BWR固有の設備や対応手段であり，泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3／4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---------|------|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|---|----------|-----------------------------------|-------|-------------------------------------|-------|----|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|---|----------|-----------------------------------|-------|-------------------------------------|---|-------|----|--------------|---|------------|----------------------------------|---------------|---------------|----|---|----------|---|-------|-------------------------------------|---|
| | <p>(6) 非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ</p> <p>非常用交流電源設備の非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプは，常設で屋外に設置する設備であることから，その機能を期待される重大事故等時における，屋外の環境条件及び荷重条件等を考慮し，その機能を有効に発揮することができるよう，表3.14-130に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.14-130 想定する環境条件及び荷重条件 (非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ)</p> <table border="1" data-bbox="943 493 1596 814"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(7) 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ</p> <p>非常用交流電源設備の高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプは，常設で屋外に設置する設備であることから，その機能を期待される重大事故等時における，屋外の環境条件及び荷重条件等を考慮し，その機能を有効に発揮することができるよう，表3.14-131に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.14-131 想定する環境条件及び荷重条件 (高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ)</p> <table border="1" data-bbox="943 1260 1596 1581"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>また，非常用ディーゼル発電設備燃料デイトank，高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトank，軽油タンク，非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプは操作不要並びに非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機は中央制御室にて操作可能な設計とする。</p> <p>基本方針については，「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>(4) ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ</p> <p>非常用交流電源設備のディーゼル発電機燃料油移送ポンプは，常設でディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m に設置する設備であることから，その機能を期待される重大事故等時における，ディーゼル発電機建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し，表2.14.128に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.14.128 想定する環境条件及び荷重条件 (ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ)</p> <table border="1" data-bbox="1685 483 2377 846"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>ディーゼル発電機建屋内に設置するため，天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>ディーゼル発電機建屋内に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>また，ディーゼル発電機燃料油サービスタnk，ディーゼル発電機燃料油貯油槽及びディーゼル発電機燃料油移送ポンプは操作不要並びにディーゼル発電機は中央制御室及び設置場所にて操作可能な設計とする。</p> <p>基本方針については，「1.1.10.3 環境条件等」に示す。</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため，天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>設備名称の相違（D/G 燃料油移送設備） 設置場所の相違</p> <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>設備名称の相違（D/G 燃料油移送設備） 設備名称の相違（燃料油貯油槽） 設備名称の相違（D/G） 炉型による非常用電源設備構成の相違 記載の充実（大飯審査実績を参照）</p> |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため，天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3／4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|--|--|
| | <p>非常用交流電源設備については、設計基準事故対処設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等時においても使用する設計とする。</p> <p>また、非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機は、中央制御室の操作スイッチにより操作可能な設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電機及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能及び外観の確認が可能な設計とする。また、発電用原子炉の停止中に分解が可能な設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備燃料デイトンク及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料デイトンクは、発電用原子炉の運転中に漏えいの有無の確認が可能な設計とする。</p> <p>また、発電用原子炉の運転中又は停止中に内部の確認及び弁の開閉動作の確認が可能な設計とする。</p> <p>軽油タンクは、発電用原子炉の運転中又は停止中に漏えいの有無の確認が可能な設計とする。また、発電用原子炉の停止中に内部の確認が可能な設計とする。</p> <p>非常用ディーゼル発電設備燃料移送ポンプ及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送ポンプは、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> | <p>非常用交流電源設備については、設計基準事故対処設備として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等時においても使用する設計とする。</p> <p>また、ディーゼル発電機は、中央制御室及び設置場所の操作器により操作可能な設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能、外観の確認及び分解が可能な設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油サービスタンクは、発電用原子炉の運転中に漏えいの有無の確認が可能な設計とする。</p> <p>また、発電用原子炉の運転中又は停止中に内部の確認及び弁の開閉動作の確認が可能な設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、発電用原子炉の運転中又は停止中に漏えいの有無の確認及び内部の確認が可能な設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能及び漏えいの有無の確認が可能な設計とする。</p> <p>基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> | <p>設備名称の相違 (D/G)</p> <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>記載の充実 (大飯審査実績を参照)</p> <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転中及び停止中の試験及び検査の内容に差異がない。 |

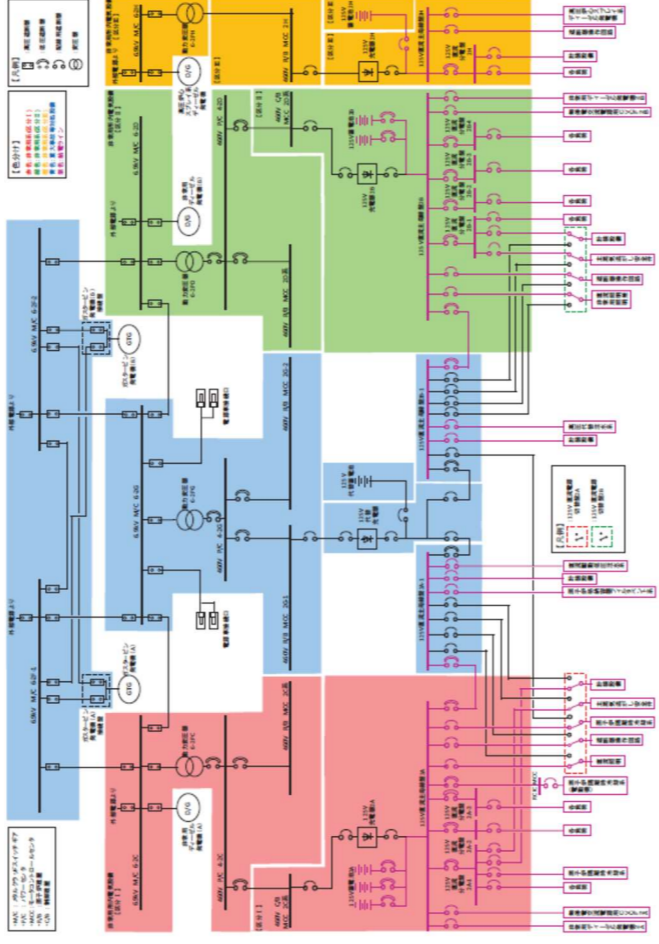
灰色：女川 2 号炉の記載のうち，BWR 固有の設備や対応手段であり，泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 |
|----------------|--|-----------|-------------------------|
| | <p>3. 14. 3. 2 非常用直流電源設備</p> <p>3. 14. 3. 2. 1 設備概要</p> <p>非常用直流電源設備は，全交流動力電源喪失した場合，直流電源が必要な設備に電源を供給することにより，重大事故等が発生した場合において炉心の著しい損傷，原子炉格納容器の破損，使用済燃料プール内の燃料体等の著しい損傷及び運転停止中原子炉内燃料体の著しい損傷を防止することを目的として設置するものである。</p> <p>本系統は，全交流動力電源喪失時に直流電源が必要な設備に電源供給する「125V 蓄電池 2A」，「125V 蓄電池 2B」及び「125V 蓄電池 2H」並びに交流電源復旧後に直流電源が必要な設備に電源供給する「125V 充電器 2A」，「125V 充電器 2B」及び「125V 充電器 2H」で構成する。</p> <p>本系統は，全交流動力電源喪失直後に 125V 蓄電池 2A 及び 125V 蓄電池 2B から重大事故等対処設備に 8 時間電源供給を行い，並びに 125V 蓄電池 2H から重大事故等対処設備（設計基準拡張）に 8 時間電源供給を行う。</p> <p>本系統の概要図を図 3. 14-46 に，本系統に関する重大事故等対処設備一覧を表 3. 14-132 に示す。</p> <p>本系統は設計基準事故対処設備であるとともに，125V 蓄電池 2A，125V 蓄電池 2B，125V 充電器 2A 及び 125V 充電器 2B を重大事故等対処設備として位置づけ，また，125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H を想定される重大事故等時においてその機能を考慮するため，重大事故等対処設備（設計基準拡張）と位置づける。</p> | | <p>設備・運用の相違（設計基準拡張）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|---------|-------------------------|
| |  <p>図 3.14-46 非常用直流電源設備系統図</p> | | <p>設備・運用の相違（設計基準拡張）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3／4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|---|---------|------|------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------|---|------|---|----|---|---|---|------------|-----------------------|-----------------------|-------------------------|-------------------------|------------------------|--|-------------------------|
| | <p>表 3.14-132 非常用直流電源設備に関する重大事故等対処設備及び重大事故等対処設備(設計基準拡張)一覧</p> <table border="1" data-bbox="926 268 1596 709"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">主要設備</td> <td>125V 蓄電池 2A 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2B 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2H 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 充電器 2A 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 充電器 2B 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 充電器 2H 【常設】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">電路</td> <td>125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A ～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B ～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H ～125V 直流主母線盤 2H 電路 【常設】</td> </tr> <tr> <td rowspan="5">計装設備（補助）**</td> <td>125V 直流主母線 2A 電圧 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B 電圧 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2A-1 電圧 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V 直流主母線 2B-1 電圧 【常設】</td> </tr> <tr> <td>HPCS 125V 直流主母線電圧 【常設】</td> </tr> </tbody> </table> <p>* 1：計装設備については、「3.15 計装設備（設置許可基準規則第58条に対する設計方針を示す章）」で示す。</p> | 設備区分 | 設備名 | 主要設備 | 125V 蓄電池 2A 【常設】 | 125V 蓄電池 2B 【常設】 | 125V 蓄電池 2H 【常設】 | 125V 充電器 2A 【常設】 | 125V 充電器 2B 【常設】 | 125V 充電器 2H 【常設】 | 附属設備 | — | 燃料流路 | — | 電路 | 125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A ～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路 【常設】 | 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B ～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 【常設】 | 125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H ～125V 直流主母線盤 2H 電路 【常設】 | 計装設備（補助）** | 125V 直流主母線 2A 電圧 【常設】 | 125V 直流主母線 2B 電圧 【常設】 | 125V 直流主母線 2A-1 電圧 【常設】 | 125V 直流主母線 2B-1 電圧 【常設】 | HPCS 125V 直流主母線電圧 【常設】 | | <p>設備・運用の相違（設計基準拡張）</p> |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要設備 | 125V 蓄電池 2A 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 蓄電池 2B 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 蓄電池 2H 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 充電器 2A 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 充電器 2B 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 充電器 2H 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属設備 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料流路 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電路 | 125V 蓄電池 2A 及び 125V 充電器 2A ～125V 直流主母線盤 2A 及び 125V 直流主母線盤 2A-1 電路 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 蓄電池 2B 及び 125V 充電器 2B ～125V 直流主母線盤 2B 及び 125V 直流主母線盤 2B-1 電路 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 蓄電池 2H 及び 125V 充電器 2H ～125V 直流主母線盤 2H 電路 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計装設備（補助）** | 125V 直流主母線 2A 電圧 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 直流主母線 2B 電圧 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 直流主母線 2A-1 電圧 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 直流主母線 2B-1 電圧 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | HPCS 125V 直流主母線電圧 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 |
|----------------|--|-----------|-------------------------|
| | <p>3. 14. 3. 2. 2 主要設備の仕様 主要機器の仕様を以下に示す。</p> <p>(1) 125V 蓄電池 2A 個 数：1 電 圧：125V 容 量：約 8, 000Ah 取 付 箇 所：制御建屋地下 2 階，制御建屋地下 1 階及び 制御建屋地下中 1 階</p> <p>(2) 125V 蓄電池 2B 個 数：1 電 圧：125V 容 量：約 6, 000Ah 取 付 箇 所：制御建屋地下 1 階</p> <p>(3) 125V 蓄電池 2H 個 数：1 電 圧：125V 容 量：約 400Ah 取 付 箇 所：原子炉建屋地上中 2 階(原子炉建屋付属棟内)</p> <p>(4) 125V 充電器 2A 個 数：1 直流出力電圧：133. 8V 直流出力電流：約 700A 取 付 箇 所：制御建屋地下 1 階</p> <p>(5) 125V 充電器 2B 個 数：1 直流出力電圧：133. 8V 直流出力電流：約 700A 取 付 箇 所：制御建屋地下 1 階</p> <p>(6) 125V 充電器 2H 個 数：1 直流出力電圧：129V 直流出力電流：約 50A 取 付 箇 所：原子炉建屋地下 1 階(原子炉建屋付属棟内)</p> | | <p>設備・運用の相違（設計基準拡張）</p> |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち，BWR 固有の設備や対応手段であり，泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|-----------|------|--------------|--|------------|---------------------------------------|---------------|---------------|----|---|----------|--|-------|-------------------------------------|--|-------------------------|
| | <p>3. 14. 3. 2. 3 設置許可基準規則第 43 条への適合方針</p> <p>非常用直流電源設備については，想定される重大事故等時に重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用するため，「2. 3 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち，多様性，位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>非常用直流電源設備については，設計基準事故対処設備として使用する場合と同様の系統構成で重大事故等時においても重大事故等対処設備（設計基準拡張）として使用するため，他の施設に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>基本方針については，「2. 3. 1 多様性，位置的分散，悪影響防止等」に示す。</p> <p>非常用直流電源設備については，設計基準事故時の直流電源供給機能を兼用しており，設計基準事故時に使用する場合の容量が，重大事故等の収束に必要な容量に対して十分であることから，設計基準事故対処設備と同仕様で設計する。</p> <p>基本方針については，「2. 3. 2 容量等」に示す。</p> <p>非常用直流電源設備については，制御建屋地下 2 階，制御建屋地下 1 階，制御建屋地下中 1 階，原子炉建屋地上中 2 階（原子炉建屋付属棟内）及び原子炉建屋地下 1 階（原子炉建屋付属棟内）に設置する設備であることから，その機能を期待される重大事故等時における，制御建屋内又は原子炉建屋付属棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し，その機能を有効に発揮することができるよう表 3. 14-133 に示す設計とする。</p> <table border="1" data-bbox="928 1234 1596 1577"> <caption>表 3. 14-133 想定する環境条件及び荷重条件</caption> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>制御建屋内及び原子炉建屋付属棟内で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>制御建屋内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため，天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2. 1. 2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>制御建屋内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>また，非常用直流電源設備は操作不要である。 基本方針については，「2. 3. 3 環境条件等」に示す。</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 制御建屋内及び原子炉建屋付属棟内で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 制御建屋内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため，天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2. 1. 2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 制御建屋内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | <p>設備・運用の相違（設計基準拡張）</p> |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 制御建屋内及び原子炉建屋付属棟内で想定される温度，圧力，湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 制御建屋内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため，天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2. 1. 2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 制御建屋内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため，風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても，電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち，BWR 固有の設備や対応手段であり，泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 |
|----------------|--|-----------|-------------------------|
| | <p>非常用直流電源設備については，設計基準事故対処設備として使用する場合同じ系統構成で重大事故等時においても使用する設計とする。</p> <p>また，125V 蓄電池 2A，125V 蓄電池 2B，125V 蓄電池 2H，125V 充電器 2A，125V 充電器 2B 及び 125V 充電器 2H は，発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>基本方針については，「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> | | <p>設備・運用の相違（設計基準拡張）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|---|--|
| | <p>3.14.3.3 燃料補給設備</p> <p>3.14.3.3.1 設備概要</p> <p>燃料補給設備は、重大事故等発生時に重大事故等対処設備で使用する軽油が、枯渇することを防止するため、補機駆動用の軽油を補給することを目的として使用する。</p> <p>本設備は、燃料を保管する「軽油タンク」及び「ガスタービン発電設備軽油タンク」並びに軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクから燃料を運搬する「タンクローリ」並びに流路である「非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁」、「高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁」、「ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁」及び「ホース」で構成する。</p> <p>大容量送水ポンプ(タイプI)、熱交換器ユニット、可搬型窒素ガス供給装置及び大容量送水ポンプ(タイプII)は、軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリを用いて燃料を補給できる設計とする。</p> <p>軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリへの軽油の補給は、ホースを用いる設計とする。</p> <p>本設備の概要図を図3.14-47及び図3.14-48に、本設備に関する重大事故等対処設備一覧を表3.14-134に示す。</p> | <p>2.14.3.2 燃料補給設備</p> <p>2.14.3.2.1 設備概要</p> <p>燃料補給設備は、重大事故等発生時に重大事故等対処設備で使用する軽油が、枯渇することを防止するため、補機駆動用の軽油を補給することを目的として使用する。</p> <p>本設備は、燃料を保管する「ディーゼル発電機燃料油貯油槽」及び「燃料タンク(SA)」並びにディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク(SA)から燃料を運搬する「可搬型タンクローリ」及び「ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ」並びに流路である「ディーゼル発電機設備(燃料油設備)配管・弁」及び「ホース・接続口」で構成する。</p> <p>緊急時対策所用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型大容量海水送水ポンプ車は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリ(ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ使用時を含む。)を用いて燃料を補給できる設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク(SA)から可搬型タンクローリへの軽油の補給は、配管・弁類及びホースを用いる設計とする。</p> <p>本設備の概要図を図2.14.51~53に、本設備に関する重大事故等対処設備一覧を表2.14.129に示す。</p> | <p>設備名称の相違(燃料油貯油槽)</p> <p>設備・運用の相違(燃料貯蔵設備)</p> <p>設備名称の相違(D/G)</p> <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>設備名称の相違(タンクローリ)</p> <p>記載表現の相違</p> <p>・女川：燃料移送系→泊：燃料油設備</p> <p>設備・運用の相違(可搬型タンクローリへの燃料汲み上げ)</p> <p>燃料補給対象の可搬型設備の相違</p> <p>記載の充実</p> <p>・補給時に使用する配管・弁類の記載を追加した。</p> <p>記載の充実(美浜審査実績を参照)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

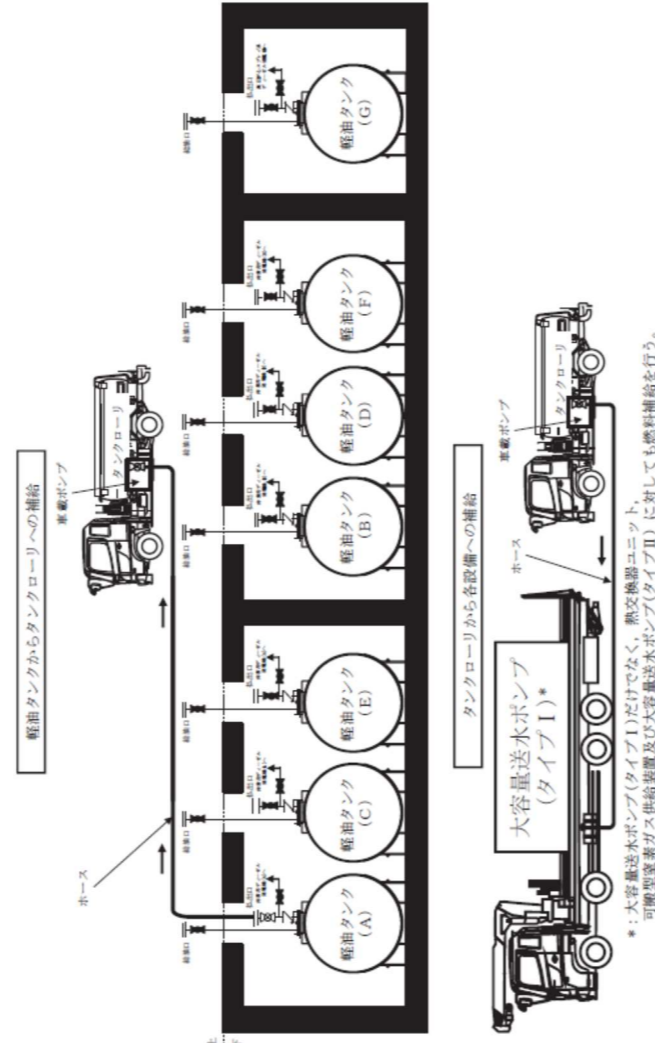
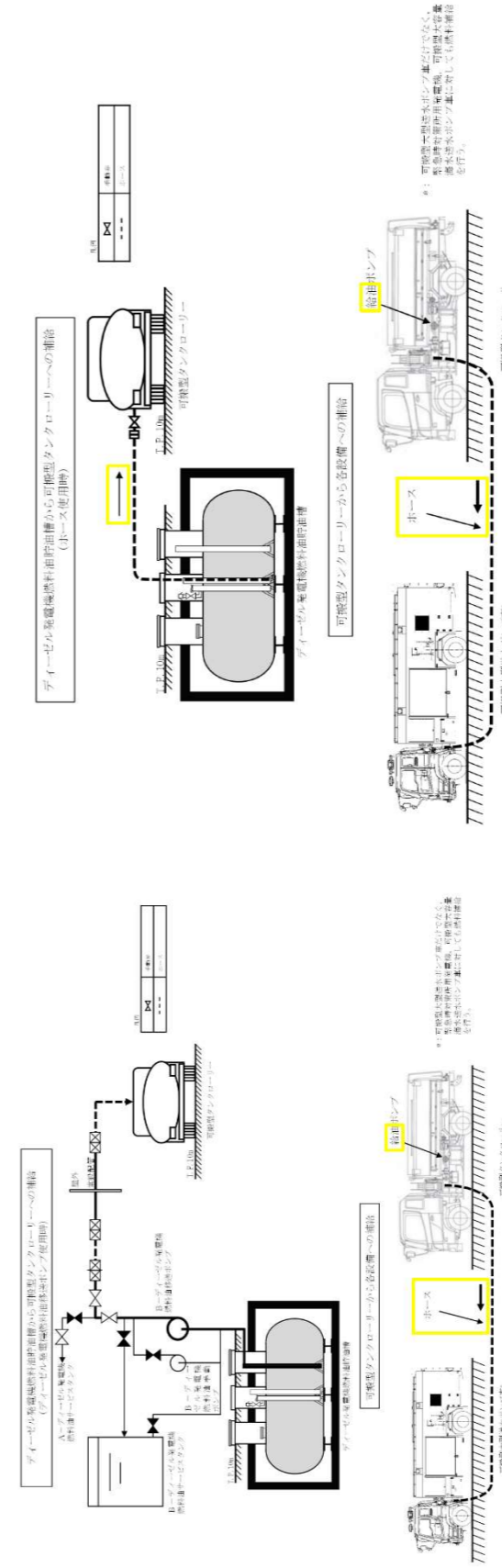


図3.14-47 燃料補給設備系統図 (軽油タンク)



設備の相違
 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。

灰色：女川2号炉の記載のうち，BWR固有の設備や対応手段であり，泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3／4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

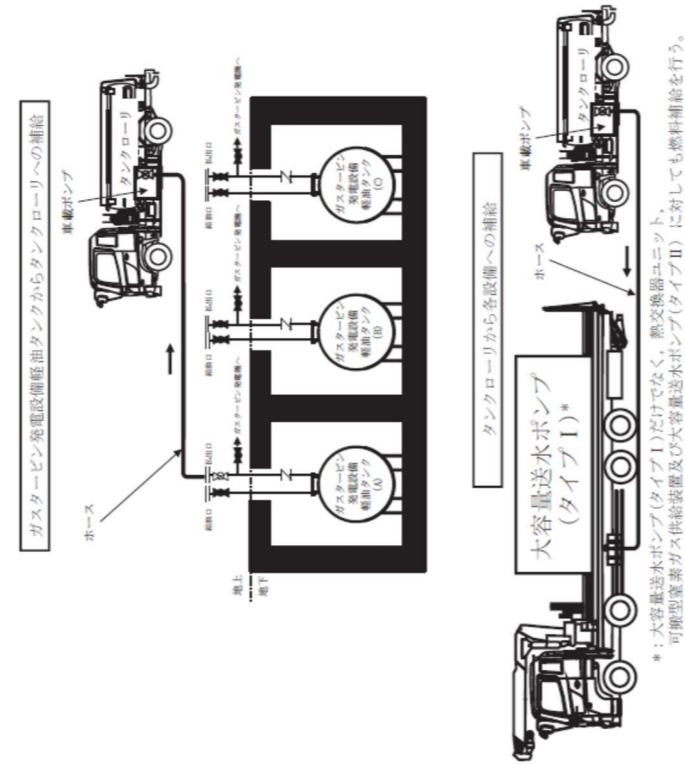


図3.14-48 燃料補給設備系統図
 (ガスタービン発電設備軽油タンク)

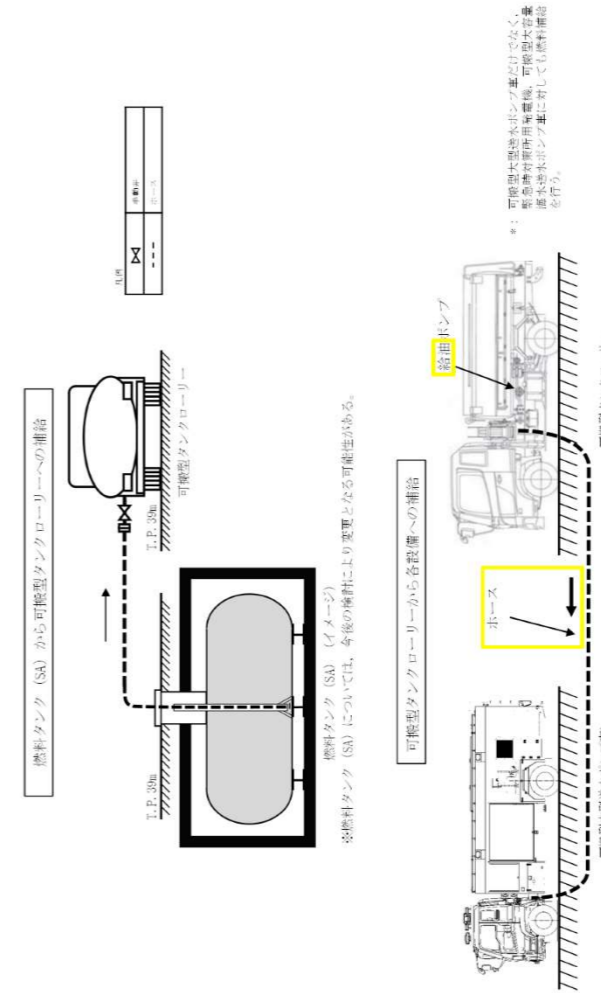


図2.14.53 燃料補給設備系統図
 (燃料タンク (SA) 使用時)

設備の相違
 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等
 対処設備として必要な設備を設けると
 いう点において同等である。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|---------|------|------|--|------|---|-----|---|------|--|-------|---|----|---|---|------|-----|------|--|------|---|-----|---|------|--|-------|--|----|---|--|
| | <p>表 3.14-134 燃料補給設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1" data-bbox="934 247 1617 567"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>軽油タンク*1【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク**【常設】 タンクローリ【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料源</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 ホース【可搬】</td> </tr> <tr> <td>燃料補給先</td> <td>タンクローリ 大容量送水ポンプ(タイプⅠ)【可搬】 熱交換器ユニット【可搬】 可搬型窒素ガス供給装置【可搬】 大容量送水ポンプ(タイプⅡ)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：軽油タンクは、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(A)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(B)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(C)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(D)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(E)、非常用ディーゼル発電設備軽油タンク(F)及び高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備軽油タンクにより構成される。</p> <p>*2：ガスタービン発電設備軽油タンクは、ガスタービン発電設備軽油タンク(A)、ガスタービン発電設備軽油タンク(B)及びガスタービン発電設備軽油タンク(C)により構成される。</p> | 設備区分 | 設備名 | 主要設備 | 軽油タンク*1【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク**【常設】 タンクローリ【可搬】 | 附属設備 | — | 燃料源 | — | 燃料流路 | 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 ホース【可搬】 | 燃料補給先 | タンクローリ 大容量送水ポンプ(タイプⅠ)【可搬】 熱交換器ユニット【可搬】 可搬型窒素ガス供給装置【可搬】 大容量送水ポンプ(タイプⅡ)【可搬】 | 電路 | — | <p>表 2.14.129 燃料補給設備に関する重大事故等対処設備一覧</p> <table border="1" data-bbox="1676 220 2395 583"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>主要設備</td> <td>ディーゼル発電機燃料油貯油槽*1【常設】 燃料タンク(SA)【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ*2【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料源</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>ディーゼル発電機設備(燃料油設備)配管・弁【常設】 ホース・接続口【可搬】</td> </tr> <tr> <td>燃料補給先</td> <td>可搬型タンクローリ 緊急時対策所用発電機 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型大容量海水送水ポンプ車</td> </tr> <tr> <td>電路</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：ディーゼル発電機燃料油貯油槽は、A1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽、A2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽、B1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽及びB2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽により構成される。</p> <p>*2：ディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、A-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及びB-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプにより構成される。</p> | 設備区分 | 設備名 | 主要設備 | ディーゼル発電機燃料油貯油槽*1【常設】 燃料タンク(SA)【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ*2【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 | 附属設備 | — | 燃料源 | — | 燃料流路 | ディーゼル発電機設備(燃料油設備)配管・弁【常設】 ホース・接続口【可搬】 | 燃料補給先 | 可搬型タンクローリ 緊急時対策所用発電機 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型大容量海水送水ポンプ車 | 電路 | — | <p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。 |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要設備 | 軽油タンク*1【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク**【常設】 タンクローリ【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属設備 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料源 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料流路 | 非常用ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 ガスタービン発電設備燃料移送系配管・弁【常設】 ホース【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料補給先 | タンクローリ 大容量送水ポンプ(タイプⅠ)【可搬】 熱交換器ユニット【可搬】 可搬型窒素ガス供給装置【可搬】 大容量送水ポンプ(タイプⅡ)【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電路 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要設備 | ディーゼル発電機燃料油貯油槽*1【常設】 燃料タンク(SA)【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ*2【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属設備 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料源 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料流路 | ディーゼル発電機設備(燃料油設備)配管・弁【常設】 ホース・接続口【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料補給先 | 可搬型タンクローリ 緊急時対策所用発電機 可搬型大型送水ポンプ車 可搬型大容量海水送水ポンプ車 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電路 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|---|---|
| | <p>3.14.3.3.2 主要設備の仕様 主要機器の仕様を以下に示す。</p> <p>(1) 軽油タンク 種類：横置円筒形 基数：6（1系列につき3基） ：1（1系列につき1基） 容量：約110kL（1基当たり） ：約170kL 使用燃料：軽油 最高使用圧力：静水頭 最高使用温度：66℃ 取付箇所：屋外</p> <p>(2) ガスタービン発電設備軽油タンク 種類：横置円筒形 基数：3 容量：約110kL（1基当たり） 使用燃料：軽油 最高使用圧力：静水頭 最高使用温度：50℃ 取付箇所：屋外</p> | <p>2.14.3.2.2 主要設備の仕様 主要機器の仕様を以下に示す。</p> <p>(1) ディーゼル発電機燃料油貯油槽 種類：横置円筒形 基数：4 容量：約146kL（1基当たり） 使用燃料：軽油 最高使用圧力：大気圧 最高使用温度：40℃ 取付箇所：屋外</p> <p>(2) 燃料タンク（SA） 型式：横置円筒形 基数：1 容量：約55kL 使用燃料：軽油 最高使用圧力：大気圧 最高使用温度：40℃ 取付箇所：屋外</p> <p>(3) ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ 種類：歯車形 台数：2 容量：約26kL/h（1台当たり） 吐出圧力：約0.3MPa[gage] 最高使用温度：50℃ 原動機出力：約11kW（1台当たり） 取付箇所：ディーゼル発電機建屋 T.P. 6. 2m</p> | <p>設備の相違 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるという点において同等である。 設備名称の相違（燃料油貯油槽） 炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>設備・運用の相違（燃料貯蔵設備）</p> <p>設備・運用の相違（燃料貯蔵設備）</p> <p>設備・運用の相違（可搬型タンクローリーへの燃料汲み上げ）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3／4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|--|--|
| | <p>(3) タンクローリ 容量：約4.0kL（1台あたり） 使用燃料：軽油 最高使用圧力：約24kPa[gage] 最高使用温度：40℃ 台数：2（予備1） 設置場所：屋外 保管場所：屋外 （第2保管エリア，第3保管エリア及び第4保管エリア）</p> | <p>(4) 可搬型タンクローリ 容量：約4kL（1台あたり） 使用燃料：軽油 最高使用圧力：約24kPa[gage] 最高使用温度：40℃ 台数：2（予備2） 設置場所：屋外 保管場所：屋外 （1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)）</p> | <p>設備の相違 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。 設備名称の相違（タンクローリ）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|---|------------|-----------|--|-----------|--------|-----|---|--|------|--|--|----|------------|-----------|--|-----------|--------|----|---|--|----|---|--|----|---|--|----|---|--|---|----|------------|-----------|-----------|--------|-----|--|--|------|---|--|----|------------|-----------|--|-----------|--------|--------|----|---|----|---|----|---|----|---|--|
| | <p>3.14.3.3.3 独立性及び位置的分散の確保</p> <p>燃料補給設備は、設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれることがないよう、表3.14-135で示すとおり、位置的分散を図った設計とする。</p> <p>燃料補給設備は、表3.14-136で示すとおり、地震、津波、火災及び溢水により同時に故障することを防止するため、非常用交流電源設備との独立性を確保する設計とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>表 3.14-135 燃料補給設備の位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計基準事故対処設備</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>燃料補給設備</td> </tr> <tr> <td>燃料源</td> <td>軽油タンク <屋外> 非常用ディーゼル発電設備 燃料デイトンク 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 燃料デイトンク <いずれも原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋付風枠内)></td> <td>軽油タンク <屋外> ガスタービン発電設備軽油タンク <屋外></td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>非常用ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ <いずれも屋外></td> <td>タンクローリー <屋外> (第2保管エリア、 第3保管エリア及び 第4保管エリア)></td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3.14-136 設計基準事故対処設備との独立性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計基準事故対処設備</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>燃料補給設備</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、耐震Sクラス設計とし、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準地震動Ssで機能維持可能な設計とすることで、基準地震動Ssが共通要因となり、同時にその機能が損なわれることのない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>津波</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、基準津波の影響を受けない原子炉建屋付風枠内及び屋外に設置し、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準津波の影響を受けない第2保管エリア、第3保管エリア及び第4保管エリアへ保管及び屋外へ設置することで、津波が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>火災</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、火災が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>溢水</td> <td colspan="2">設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、溢水が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す。）。</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>3.14.3.3.4 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>3.14.3.3.4.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針</p> <p>(1) 環境条件及び荷重条件(設置許可基準規則第43条第1項第一号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。</p> | 項目 | 設計基準事故対処設備 | 重大事故等対処設備 | | 非常用交流電源設備 | 燃料補給設備 | 燃料源 | 軽油タンク <屋外> 非常用ディーゼル発電設備 燃料デイトンク 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 燃料デイトンク <いずれも原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋付風枠内)> | 軽油タンク <屋外> ガスタービン発電設備軽油タンク <屋外> | 燃料流路 | 非常用ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ <いずれも屋外> | タンクローリー <屋外> (第2保管エリア、 第3保管エリア及び 第4保管エリア)> | 項目 | 設計基準事故対処設備 | 重大事故等対処設備 | | 非常用交流電源設備 | 燃料補給設備 | 地震 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、耐震Sクラス設計とし、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準地震動Ssで機能維持可能な設計とすることで、基準地震動Ssが共通要因となり、同時にその機能が損なわれることのない設計とする。 | | 津波 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、基準津波の影響を受けない原子炉建屋付風枠内及び屋外に設置し、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準津波の影響を受けない第2保管エリア、第3保管エリア及び第4保管エリアへ保管及び屋外へ設置することで、津波が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする。 | | 火災 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、火災が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す。）。 | | 溢水 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、溢水が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す。）。 | | <p>2.14.3.2.3 独立性及び位置的分散の確保</p> <p>燃料補給設備は、設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備と共通要因によって同時にその機能が損なわれることがないよう、表2.14.130で示すとおり、位置的分散を図った設計とする。</p> <p>燃料補給設備は、表2.14.131で示すとおり、地震、津波、火災及び溢水により同時に故障することを防止するため、非常用交流電源設備との独立性を確保する設計とする。</p> <div style="text-align: center;"> <p>表 2.14.130 燃料補給設備の位置的分散</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>設計基準事故対処設備</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> <tr> <th>非常用交流電源設備</th> <th>燃料補給設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料源</td> <td>ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> ディーゼル発電機 燃料油サービスタンク <周辺補機棟 T.P. 17.8m></td> <td>ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> 燃料タンク (SA) <屋外> 可搬型代替電源車 (車載燃料) <屋外></td> </tr> <tr> <td>燃料流路</td> <td>ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m></td> <td>可搬型タンクローリー <屋外(1号炉西側31mエリア 及び2号炉東側31m エリア(b))> ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m></td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.14.131 設計基準事故対処設備との独立性</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>設計基準事故対処設備</th> <th>重大事故等対処設備</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>非常用交流電源設備</td> <td>燃料補給設備</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">共通要因故障</td> <td>地震</td> <td>設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、耐震Sクラス設計とし、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準地震動で機能維持可能な設計とすることで、基準地震動が共通要因となり、同時にその機能が損なわれることのない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>津波</td> <td>設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、基準津波の影響を受けないディーゼル発電機建屋、周辺補機棟及び屋外に設置し、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準津波の影響を受けない屋外へ保管及び設置することで、津波が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>火災</td> <td>設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、火災が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-8 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>溢水</td> <td>設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、溢水が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-9 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す。）。</td> </tr> </tbody> </table> </div> <p>2.14.3.2.4 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>2.14.3.2.4.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針</p> <p>(1) 環境条件及び荷重条件(設置許可基準規則第43条第1項第一号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。</p> | 項目 | 設計基準事故対処設備 | 重大事故等対処設備 | 非常用交流電源設備 | 燃料補給設備 | 燃料源 | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> ディーゼル発電機 燃料油サービスタンク <周辺補機棟 T.P. 17.8m> | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> 燃料タンク (SA) <屋外> 可搬型代替電源車 (車載燃料) <屋外> | 燃料流路 | ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m> | 可搬型タンクローリー <屋外(1号炉西側31mエリア 及び2号炉東側31m エリア(b))> ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m> | 項目 | 設計基準事故対処設備 | 重大事故等対処設備 | | 非常用交流電源設備 | 燃料補給設備 | 共通要因故障 | 地震 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、耐震Sクラス設計とし、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準地震動で機能維持可能な設計とすることで、基準地震動が共通要因となり、同時にその機能が損なわれることのない設計とする。 | 津波 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、基準津波の影響を受けないディーゼル発電機建屋、周辺補機棟及び屋外に設置し、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準津波の影響を受けない屋外へ保管及び設置することで、津波が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする。 | 火災 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、火災が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-8 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す。）。 | 溢水 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、溢水が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-9 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す。）。 | <p>相違理由</p> <p>設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。 |
| 項目 | 設計基準事故対処設備 | 重大事故等対処設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 非常用交流電源設備 | 燃料補給設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料源 | 軽油タンク <屋外> 非常用ディーゼル発電設備 燃料デイトンク 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 燃料デイトンク <いずれも原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋付風枠内)> | 軽油タンク <屋外> ガスタービン発電設備軽油タンク <屋外> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料流路 | 非常用ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電設備 燃料移送ポンプ <いずれも屋外> | タンクローリー <屋外> (第2保管エリア、 第3保管エリア及び 第4保管エリア)> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 設計基準事故対処設備 | 重大事故等対処設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 非常用交流電源設備 | 燃料補給設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、耐震Sクラス設計とし、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準地震動Ssで機能維持可能な設計とすることで、基準地震動Ssが共通要因となり、同時にその機能が損なわれることのない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 津波 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、基準津波の影響を受けない原子炉建屋付風枠内及び屋外に設置し、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準津波の影響を受けない第2保管エリア、第3保管エリア及び第4保管エリアへ保管及び屋外へ設置することで、津波が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 火災 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、火災が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-7 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 溢水 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、溢水が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-8 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 設計基準事故対処設備 | 重大事故等対処設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 非常用交流電源設備 | 燃料補給設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料源 | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> ディーゼル発電機 燃料油サービスタンク <周辺補機棟 T.P. 17.8m> | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 <屋外> 燃料タンク (SA) <屋外> 可搬型代替電源車 (車載燃料) <屋外> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料流路 | ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m> | 可搬型タンクローリー <屋外(1号炉西側31mエリア 及び2号炉東側31m エリア(b))> ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ <ディーゼル発電機建屋 T.P. 6.2m> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 項目 | 設計基準事故対処設備 | 重大事故等対処設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 非常用交流電源設備 | 燃料補給設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 共通要因故障 | 地震 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、耐震Sクラス設計とし、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準地震動で機能維持可能な設計とすることで、基準地震動が共通要因となり、同時にその機能が損なわれることのない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 津波 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備は、基準津波の影響を受けないディーゼル発電機建屋、周辺補機棟及び屋外に設置し、重大事故等対処設備の燃料補給設備は、基準津波の影響を受けない屋外へ保管及び設置することで、津波が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 火災 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、火災が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-8 重大事故等対処設備の内部火災に対する防護方針について」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 溢水 | 設計基準事故対処設備の非常用交流電源設備及び重大事故等対処設備の燃料補給設備は、溢水が共通要因となり、同時に故障することのない設計とする（「共-9 重大事故等対処設備の内部溢水に対する防護方針について」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---------|------|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|---|----------|-----------------------------------|-------|-------------------------------------|-------|----|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|---|----------|-----------------------------------|-------|-------------------------------------|---|-------|----|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|---|----------|-----------------------------------|-------|-------------------------------------|---|
| | <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>燃料補給設備の軽油タンクは、常設で屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、以下の表3.14-137に示す設計とする。</p> <p>燃料補給設備のガスタービン発電設備軽油タンクは、常設で屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、以下の表3.14-138に示す設計とする。</p> <p>燃料補給設備のタンクローリは、可搬型で屋外の第2保管エリア、第3保管エリア及び第4保管エリアに保管し、重大事故等時は、屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、以下の表3.14-139に示す設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(57-2, 57-3)</p> <table border="1" data-bbox="943 1102 1596 1438"> <caption>表3.14-137 想定する環境条件及び荷重条件(軽油タンク)</caption> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <table border="1" data-bbox="943 1522 1596 1858"> <caption>表3.14-138 想定する環境条件及び荷重条件(ガスタービン発電設備軽油タンク)</caption> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.3 環境条件等」に示す。</p> <p>燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油貯油槽及び燃料タンク(SA)は、常設で屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、表2.14.132~133に示す設計とする。</p> <p>燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、常設でディーゼル発電機建屋 T.P.6.2m に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、ディーゼル発電機建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、表2.14.134に示す設計とする。</p> <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリは、可搬型で屋外の1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)に保管し、重大事故等時は、屋外に設置する設備であることから、その機能を期待される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、表2.14.135に示す設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(57-2, 57-4)</p> <table border="1" data-bbox="1691 1081 2389 1470"> <caption>表2.14.132 想定する環境条件及び荷重条件（ディーゼル発電機燃料油貯油槽）</caption> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>設備名称の相違（燃料油貯油槽） 設備・運用の相違（燃料貯蔵設備）</p> <p>設備・運用の相違（燃料貯蔵設備）</p> <p>設備・運用の相違（可搬型タンクローリへの燃料汲み上げ）</p> <p>設備名称の相違（タンクローリ） 保管場所の相違</p> |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|-----------|------|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|--|----------|---------------------------------------|-------|-------------------------------------|--|-------|----|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|---|----------|-----------------------------------|-------|-------------------------------------|-------|----|--------------|---|------------|----------------------------------|---------------|---------------|----|---|----------|---|-------|-------------------------------------|-------|----|--------------|--|------------|--|---------------|---------------|----|---|----------|---------------------------------------|-------|-------------------------------------|--|
| | <p style="text-align: center;">表 3.14-139 想定する環境条件及び荷重条件(タンクローリー)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、輪留め等で固定可能な設計とする。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外で想定される風荷重及び積雪荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 操作性（設置許可基準規則第 43 条第 1 項第二号）</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において確実に操作できるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、輪留め等で固定可能な設計とする。 | 風（台風）・積雪 | 屋外で想定される風荷重及び積雪荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p style="text-align: center;">表 2.14.133 想定する環境条件及び荷重条件（燃料タンク（SA））</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 2.14.134 想定する環境条件及び荷重条件（ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>ディーゼル発電機建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>ディーゼル発電機建屋内に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 2.14.135 想定する環境条件及び荷重条件（可搬型タンクローリー）</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 30%;">環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、固縛等で固定可能な設計とする。</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外で想定される風荷重及び積雪荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 操作性（設置許可基準規則第 43 条第 1 項第二号）</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において確実に操作できるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | 風（台風）・積雪 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、固縛等で固定可能な設計とする。 | 風（台風）・積雪 | 屋外で想定される風荷重及び積雪荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、輪留め等で固定可能な設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外で想定される風荷重及び積雪荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外の地下に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | ディーゼル発電機建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機能を損なわない設計とする（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | ディーゼル発電機建屋内に設置するため、風（台風）及び積雪による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 降水及び凍結により機能を損なうことのないよう防水対策及び凍結対策を行える設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しないことを確認し、固縛等で固定可能な設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外で想定される風荷重及び積雪荷重を考慮して、機能を損なわない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても、電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち，BWR 固有の設備や対応手段であり，泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 |
|----------------|---|---|--|
| | <p>燃料補給設備を運転する場合は、タンクローリーの配備及び軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクへのホース接続を行い、軽油の抜き取りを実施した後、タンクローリを大容量送水ポンプ(タイプ I)、熱交換器ユニット、可搬型窒素ガス供給装置及び大容量送水ポンプ(タイプ II) の近傍に移動及びホースの接続を行い、タンクローリを起動することで燃料の補給を行う。</p> <p>燃料補給設備の操作に必要な各機器及びホースを表 3. 14-140 及び表 3. 14-141 に示す。</p> <p>燃料補給設備の軽油タンクは、D/G 軽油タンク出口弁及び HPCS D/G 軽油タンク出口弁並びに D/G 軽油タンク払出口止め弁及び HPCS D/G 軽油タンク払出口止め弁を手動弁とすることで、設置場所で確実に操作可能な設計とする。</p> <p>燃料補給設備のガスタービン発電設備軽油タンクは、GTG 軽油タンク出口弁及び GTG 軽油タンク払出口止め弁を手動弁とすることで、設置場所で確実に操作可能な設計とする。</p> <p>燃料補給設備のタンクローリは、設置場所にて付属の操作スイッチからのスイッチ操作で起動する設計とする。</p> <p>タンクローリは付属の操作スイッチを操作するにあたり、運転員のアクセス性を考慮して十分な操作空間を確保する。</p> <p>また、それぞれの操作対象については銘板をつけることで識別可能とし、運転員の操作及び監視性を考慮して確実に操作できる設計とする。</p> <p>タンクローリは、D/G 軽油タンク払出口止め弁及び HPCS D/G 軽油タンク払出口止め弁並びに GTG 軽油タンク払出口止め弁まで移動可能な車両設計とするとともに、設置場所にて輪留めによる固定等が可能な設計とする。</p> <p>ホースの接続に当たっては、特殊な工具及び技量は必要とせず、専用の接続方式である専用金具にすることにより、確実に操作可能な設計とする。</p> <p>表 3. 14-140 及び表 3. 14-141 に操作対象機器を示す。 (57-2, 57-3)</p> | <p>燃料補給設備を運転する場合は、可搬型タンクローリーの配備及びディーゼル発電機燃料油貯油槽、燃料タンク (SA) 又はディーゼル発電機燃料油移送ポンプへのホース接続を行い、軽油の抜き取りを実施した後、可搬型タンクローリを緊急時対策所用発電機、可搬型大型送水ポンプ車及び可搬型大容量海水送水ポンプ車の近傍に移動及びホースの接続を行い、可搬型タンクローリを起動することで燃料の補給を行う。</p> <p>燃料補給設備の操作に必要な各機器及びホースを表 2. 14. 136 ~139 に示す。</p> <p>燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油貯油槽は、ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口の手動操作により、設置場所で確実に操作可能な設計とする。</p> <p>燃料補給設備の燃料タンク (SA) は、燃料タンク (SA) 給油口の手動操作により、設置場所で確実に操作可能な設計とする。</p> <p>燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、設置場所での操作器により操作が可能な設計とし、誤操作防止のために名称等により識別可能とし、操作者の操作及び監視性を考慮し、かつ、十分な操作空間を確保し、容易に操作可能な設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁、燃料油移送ポンプ出口連絡弁及び燃料油サービスタンク入口弁の手動操作により、設置場所で確実に操作可能な設計とする。</p> <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリは、設置場所にて付属の操作器からの操作器操作で起動する設計とする。</p> <p>可搬型タンクローリは付属の操作器を操作するにあたり、操作者のアクセス性を考慮して十分な操作空間を確保する。</p> <p>また、それぞれの操作対象については名称等により識別可能とし、操作者の操作及び監視性を考慮して確実に操作できる設計とする。</p> <p>可搬型タンクローリは、ディーゼル発電機燃料油貯油槽及び T.P. 10. 3m 原子炉補助建屋海側燃料油移送配管屋外接続口並びに燃料タンク (SA) まで移動可能な車両設計とするとともに、設置場所にて車輪止めによる固定等が可能な設計とする。</p> <p>ホースの接続に当たっては、特殊な工具及び技量は必要とせず、簡便な接続方法により、容易かつ確実に操作可能な設計とする。</p> <p>表 2. 14. 136~139 に操作対象機器の操作場所を示す。 (57-2, 57-4)</p> | <p>設備名称の相違 (タンクローリー)</p> <p>設備名称の相違 (燃料油貯油槽)</p> <p>設備・運用の相違 (燃料貯蔵設備)</p> <p>設備・運用の相違 (可搬型タンクローリーへの燃料汲み上げ)</p> <p>燃料補給対象の可搬型設備の相違</p> <p>設備名称の相違 (D/G)</p> <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>操作対象の相違</p> <p>設備・運用の相違 (燃料貯蔵設備)</p> <p>設備・運用の相違 (燃料貯蔵設備)</p> <p>設備・運用の相違 (可搬型タンクローリーへの燃料汲み上げ)</p> <p>設備名称の相違 (タンクローリー)</p> <p>記載表現の相違</p> <p>・女川：操作スイッチ，スイッチ操作→泊：操作器</p> <p>・女川：運転員→泊：操作者</p> <p>識別に係る記載表現の相違</p> <p>設備名称の相違 (D/G)</p> <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>設備・運用の相違 (燃料貯蔵設備)</p> <p>操作対象箇所の相違</p> <p>記載表現の相違 (車輪止め)</p> <p>記載表現の相違 (大飯審査実績を参照)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表 3.14-140 操作対象機器
(軽油タンク)

| 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 |
|-----------------------|-------|------|------|--------|----|
| D/G(A)軽油タンク(A)出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(A)軽油タンク(C)出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(A)軽油タンク(E)出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(B)軽油タンク(B)出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(B)軽油タンク(D)出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(B)軽油タンク(F)出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| HPCS D/G軽油タンク出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(A)軽油タンク(A) 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(A)軽油タンク(C) 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(A)軽油タンク(E) 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(B)軽油タンク(B) 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(B)軽油タンク(D) 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| D/G(B)軽油タンク(F) 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| HPCS D/G軽油タンク 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| 車載ポンプ | 停止→運転 | 屋外 | 屋外 | スイッチ操作 | |
| 吐出弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| ホース | ホース接続 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |

表 3.14-141 操作対象機器
(ガスタービン発電設備軽油タンク)

| 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 |
|---------------------|-------|------|------|--------|----|
| GTG 軽油タンク(A)出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| GTG 軽油タンク(B)出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| GTG 軽油タンク(C)出口弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| GTG 軽油タンク(A) 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| GTG 軽油タンク(B) 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| GTG 軽油タンク(C) 払出口止め弁 | 全閉→全開 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| 車載ポンプ | 停止→運転 | 屋外 | 屋外 | スイッチ操作 | |
| 吐出弁 | 全開→全閉 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| ホース | ホース接続 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |

表 2.14.136 操作対象機器
(ディーゼル発電機燃料油貯油槽～可搬型タンクローリー流路)

| 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 |
|--|-------|------|------|-------|----|
| A1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 又は A2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 又は B1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 又は B2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 | 閉止→開放 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| 可搬型タンクローリー給油ポンプ | 停止→運転 | 屋外 | 屋外 | 操作器操作 | |
| ホース | ホース接続 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |

表 2.14.137 操作対象機器
(ディーゼル発電機燃料油貯油槽～ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ～可搬型タンクローリー流路)

| 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 |
|--|-------|--------------------|---------------------|-------|----|
| 燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁 | 全閉→全開 | 周辺補機棟 T.P.17.8m | 周辺補機棟 T.P.17.8m | 手動操作 | |
| 燃料油移送ポンプ出口A側連絡弁 又は 燃料油移送ポンプ出口B側連絡弁 | 全閉→全開 | 周辺補機棟 T.P.17.8m | 周辺補機棟 T.P.17.8m | 手動操作 | |
| A-燃料油サービスタンク入口弁 又は B-燃料油サービスタンク入口弁 | 全開→全閉 | 周辺補機棟 T.P.17.8m | 周辺補機棟 T.P.17.8m | 手動操作 | |
| A-燃料油サービスタンク油面制御元弁 又は B-燃料油サービスタンク油面制御元弁 | 全開→全閉 | 周辺補機棟 T.P.17.8m | 周辺補機棟 T.P.17.8m | 手動操作 | |
| Aディーゼル発電機コントロールセンタ遮断器 (A-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ) 又は Bディーゼル発電機コントロールセンタ遮断器 (B-ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ) | 切→入 | 周辺補機棟 T.P.10.3m | 周辺補機棟 T.P.10.3m | 操作器操作 | |
| 可搬型タンクローリーマンホール | 閉止→開放 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| ホース | ホース接続 | 周辺補機棟 T.P.17.8m～屋外 | 周辺補機棟 T.P.17.8m及び屋外 | 手動操作 | |

表 2.14.138 操作対象機器
(燃料タンク(SA)～可搬型タンクローリー流路)

| 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 |
|-----------------|-------|------|------|-------|----|
| 燃料タンク(SA)給油口 | 閉止→開放 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |
| 可搬型タンクローリー給油ポンプ | 停止→運転 | 屋外 | 屋外 | 操作器操作 | |
| ホース | ホース接続 | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | |

設備名称の相違
 設置場所、操作場所、操作方法の相違
 設備の相違
 ・設備の仕様に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けると
 いう点において同等である。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------|---|--|------|-------|------|------|------|----|-----------------|-------|----|----|-------|--|-----|--------|----|----|------|--|---|
| | <p>(3) 試験及び検査(設置許可基準規則第43条第1項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>燃料補給設備の軽油タンクは、表3.14-142に示すように、発電用原子炉の運転中又は停止中に外観検査及び漏えい試験が可能な設計とし、発電用原子炉の停止中に開放検査が可能な設計とする。</p> <p>軽油タンク内面の確認として、目視により性能に影響を及ぼすおそれのある損傷、腐食等がないことの確認が可能な設計とする。</p> <p>具体的にはタンク上部のマンホールが開放可能であり、内面の点検が可能な設計とする。</p> <p>また、軽油タンクの漏えい試験の実施が可能な設計とする。</p> <p>具体的には漏えい試験が可能な隔離弁を設ける設計とする。</p> <p>軽油タンクは油面レベルの確認が可能な計器を設ける設計とする。</p> <p>燃料補給設備のガスタービン発電設備軽油タンクは、表3.14-143に示すように、発電用原子炉の運転中又は停止中に外観検査及び漏えい試験が可能な設計とし、発電用原子炉の停止中に開放検査が可能な設計とする。</p> <p>ガスタービン発電設備軽油タンク内面の確認として、目視により性能に影響を及ぼすおそれのある損傷、腐食等がないことの確認が可能な設計とする。具体的にはタンク上部のマンホールが開放可能であり、内面の点検が可能な設計とする。</p> <p>また、ガスタービン発電設備軽油タンクの漏えい試験の実施が可能な設計とする。具体的には漏えい試験が可能な隔離弁を設ける設計とする。</p> <p>ガスタービン発電設備軽油タンクは油面レベルの確認が可能な計器を設ける設計とする。</p> | <p>表2.14.139 操作対象機器 (可搬型タンクローリー～各燃料補給先流路)</p> <table border="1" data-bbox="1694 239 2386 386"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型タンクローリー給油ポンプ</td> <td>停止→運転</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> <td>操作器操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ホース</td> <td>ホース引出し</td> <td>屋外</td> <td>屋外</td> <td>手動操作</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 試験及び検査(設置許可基準規則第43条第1項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油貯油槽は、表2.14.140に示すように、発電用原子炉の運転中又は停止中に外観点検、漏えい試験及び開放点検が可能な設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽内面の確認として、目視により性能に影響を及ぼすおそれのある損傷、腐食等がないことの確認が可能な設計とする。</p> <p>具体的にはタンク上部のマンホールが開放可能であり、内面の点検が可能な設計とする。</p> <p>また、ディーゼル発電機燃料油貯油槽の漏えい試験の実施が可能な設計とする。</p> <p>具体的には漏えい試験が可能な隔離弁を設ける設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽は油面レベルの確認が可能な計器を設ける設計とする。</p> | 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 | 可搬型タンクローリー給油ポンプ | 停止→運転 | 屋外 | 屋外 | 操作器操作 | | ホース | ホース引出し | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | | <p>設備名称の相違(燃料油貯油槽)</p> <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川：検査→泊：点検 ・運転中及び停止中の試験及び検査の内容に差異がない。 <p>設備・運用の相違(燃料貯蔵設備)</p> |
| 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型タンクローリー給油ポンプ | 停止→運転 | 屋外 | 屋外 | 操作器操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ホース | ホース引出し | 屋外 | 屋外 | 手動操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|---|---|
| | <p>燃料補給設備のタンクローリは、表 3.14-144 に示すように、発電用原子炉の運転中又は停止中に漏えい試験、機能・性能試験、分解検査又は取替え並びに外観検査が可能な設計とする。</p> <p>また、タンクローリは車両として運転状態の確認及び外観検査が可能な設計とする。</p> <p>タンクローリは、油量及び漏えいの確認が可能なように油面計又は検尺口を設け、かつ、内部の確認が可能なようにマンホールを設ける設計とする。</p> <p>さらに、タンクローリは車両としての運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>タンクローリ付ポンプは、通常系統にて機能・性能確認ができる設計とし、分解が可能な設計とする。</p> <p>ホースの外観検査として、機能・性能に影響を及ぼすおそれのある亀裂、腐食等がないことの確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(57-4)</p> | <p>燃料補給設備の燃料タンク (SA) は、表 2.14.141 に示すように、発電用原子炉の運転中又は停止中に外観点検、漏えい試験及び開放点検が可能な設計とする。</p> <p>燃料タンク (SA) 内面の確認として、目視により性能に影響を及ぼすおそれのある損傷、腐食等がないことの確認が可能な設計とする。具体的にはタンク上部のマンホールが開放可能であり、内面の点検が可能な設計とする。</p> <p>また、燃料タンク (SA) の漏えい試験の実施が可能な設計とする。具体的には漏えい試験が可能な隔離弁を設ける設計とする。</p> <p>燃料タンク (SA) は油面レベルの確認が可能な計器を設ける設計とする。</p> <p>燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、表 2.14.142 に示すように、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能試験、漏えい試験、分解点検及び外観点検が可能な設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、運転性能の確認として、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプの吐出圧力、ポンプ周りの振動、異音、異臭等の確認が可能な設計とする。具体的には、試験用の系統を構成することにより機能・性能試験が可能な設計とする。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油移送ポンプの部品状態の確認として、目視等により性能に影響を及ぼすおそれのある損傷、腐食等がないことを確認する分解点検が可能な設計とする。</p> <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリは、表 2.14.143 に示すように、発電用原子炉の運転中又は停止中に漏えい試験、機能・性能試験、分解点検又は取替え並びに外観点検が可能な設計とする。</p> <p>また、可搬型タンクローリは車両として運転状態の確認及び外観点検が可能な設計とする。</p> <p>可搬型タンクローリは、油量及び漏えいの確認が可能なように油面計又は検尺口を設け、かつ、内部の確認が可能なようにマンホールを設ける設計とする。</p> <p>さらに、可搬型タンクローリは車両としての運転状態の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型タンクローリ付ポンプは、通常系統にて機能・性能確認ができる設計とし、分解が可能な設計とする。</p> <p>ホースの外観点検として、機能・性能に影響を及ぼすおそれのある亀裂、腐食等がないことの確認を行うことが可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(57-3)</p> | <p>設備・運用の相違（燃料貯蔵設備）</p> <p>設備・運用の相違（可搬型タンクローリへの燃料汲み上げ）</p> <p>設備名称の相違（タンクローリ）</p> <p>記載表現の相違 ・女川：検査→泊：点検</p> |



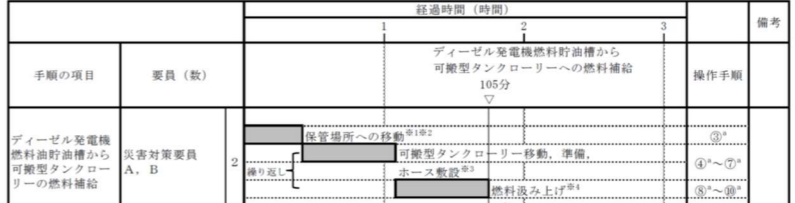
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------|--|--|------|----|-----|------|---------------------------------|-------|-----------|-----|------|---------------------------------|-------|-----------|------|---|-----------|----|----|-----|------|---------------------------------|-------|-----------|-----|------|---------------------------------|-------|-----------|------|---|-----------|----|----|-----|-------|-----------|---------|--------------------------------|------|--|------|------------------------------------|-----|-------|-----------|---------|--------------------------------|------|--|------|------------------------------------|---|-----------|----|----|------------------|------|---------------------------------|-------|-----------|------|--|-----------|----|----|------------------|------|---------------------------------|-------|-----------|------|---|-----------|----|----|------------------|---------|------------------------|-------|-----------|------|--------------------------------|------|---------------------|-----------|----|----|------------------|-------|-----------|---------|--------------------------------|------|--|------|---------------------------------------|---|
| | <p>表 3.14-142 軽油タンクの試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>外観検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認</td> </tr> <tr> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">停止中</td> <td>外観検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認</td> </tr> <tr> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td>開放検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 軽油タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3.14-143 ガスタービン発電設備軽油タンクの試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">運転中</td> <td>外観検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認</td> </tr> <tr> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">停止中</td> <td>外観検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認</td> </tr> <tr> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td>開放検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 軽油タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 3.14-144 タンクローリーの試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">運転中</td> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験</td> <td>安全弁の作動確認及び計器校正の実施 車両走行状態の確認</td> </tr> <tr> <td>分解検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 搭載機器部の分解又は取替え</td> </tr> <tr> <td>外観検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンクローリ外観の確認</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">停止中</td> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験</td> <td>安全弁の作動確認及び計器校正の実施 車両走行状態の確認</td> </tr> <tr> <td>分解検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 搭載機器部の分解又は取替え</td> </tr> <tr> <td>外観検査</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンクローリ外観の確認</td> </tr> </tbody> </table> | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 運転中 | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 停止中 | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 開放検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 軽油タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 運転中 | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 停止中 | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 開放検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 軽油タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 運転中 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 機能・性能試験 | 安全弁の作動確認及び計器校正の実施 車両走行状態の確認 | 分解検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 搭載機器部の分解又は取替え | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンクローリ外観の確認 | 停止中 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 機能・性能試験 | 安全弁の作動確認及び計器校正の実施 車両走行状態の確認 | 分解検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 搭載機器部の分解又は取替え | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンクローリ外観の確認 | <p>表 2.14.140 ディーゼル発電機燃料油貯油槽の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">運転中 又は 停止中</td> <td>外観点検</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認</td> </tr> <tr> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td>開放点検</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 ディーゼル発電機燃料油貯油槽内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.14.141 燃料タンク（SA）の試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">運転中 又は 停止中</td> <td>外観点検</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認</td> </tr> <tr> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td>開放点検</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 燃料タンク（SA）内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.14.142 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプの試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">運転中 又は 停止中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>試運転を行い、振動、異音、異臭等の有無を確認</td> </tr> <tr> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td>分解点検</td> <td>各部の分解並びに各部の点検、手入れ、清掃及び消耗部品の取替え</td> </tr> <tr> <td>外観点検</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認</td> </tr> </tbody> </table> <p>表 2.14.143 可搬型タンクローリーの試験及び検査</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">運転中 又は 停止中</td> <td>漏えい試験</td> <td>漏えいの有無の確認</td> </tr> <tr> <td>機能・性能試験</td> <td>安全弁の作動確認及び計器校正の実施 車両走行状態の確認</td> </tr> <tr> <td>分解点検</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 搭載機器部の分解又は取替え</td> </tr> <tr> <td>外観点検</td> <td>各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 可搬型タンクローリ外観の確認</td> </tr> </tbody> </table> | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 運転中 又は 停止中 | 外観点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 開放点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 ディーゼル発電機燃料油貯油槽内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 運転中 又は 停止中 | 外観点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 開放点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 燃料タンク（SA）内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 運転中 又は 停止中 | 機能・性能試験 | 試運転を行い、振動、異音、異臭等の有無を確認 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 分解点検 | 各部の分解並びに各部の点検、手入れ、清掃及び消耗部品の取替え | 外観点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 運転中 又は 停止中 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | 機能・性能試験 | 安全弁の作動確認及び計器校正の実施 車両走行状態の確認 | 分解点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 搭載機器部の分解又は取替え | 外観点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 可搬型タンクローリ外観の確認 | <p>記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・運転中及び停止中の試験及び検査の内容に差異がない。 |
| 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転中 | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 停止中 | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 開放検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 軽油タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転中 | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 停止中 | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 開放検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 軽油タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転中 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機能・性能試験 | 安全弁の作動確認及び計器校正の実施 車両走行状態の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 分解検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 搭載機器部の分解又は取替え | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンクローリ外観の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 停止中 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機能・性能試験 | 安全弁の作動確認及び計器校正の実施 車両走行状態の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 分解検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 搭載機器部の分解又は取替え | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外観検査 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンクローリ外観の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転中 又は 停止中 | 外観点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 開放点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 ディーゼル発電機燃料油貯油槽内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転中 又は 停止中 | 外観点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 油面レベルの確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 開放点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 燃料タンク（SA）内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転中 又は 停止中 | 機能・性能試験 | 試運転を行い、振動、異音、異臭等の有無を確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 分解点検 | 各部の分解並びに各部の点検、手入れ、清掃及び消耗部品の取替え | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外観点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 運転中 又は 停止中 | 漏えい試験 | 漏えいの有無の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 機能・性能試験 | 安全弁の作動確認及び計器校正の実施 車両走行状態の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 分解点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 タンク内面の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 搭載機器部の分解又は取替え | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 外観点検 | 各部の損傷、腐食等の有無を目視等で確認 可搬型タンクローリ外観の確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|--|--|
| | <p>(4) 切替えの容易性(設置許可基準規則第43条第1項第四号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあつては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>燃料補給設備のタンクローリは、本来の用途以外の用途には使用しない。</p> <p>燃料補給設備の軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクは、本来の用途以外の用途として使用するため、切り替えて使用する。</p> <p>軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクは、D/G軽油タンク出口弁、D/G軽油タンク払出口止め弁、HPCS D/G軽油タンク出口弁、HPCS D/G軽油タンク払出口止め弁、GTG軽油タンク出口弁及びGTG軽油タンク払出口止め弁を設けることにより速やかな切替えが可能な設計とする。</p> <p>なお、必要な燃料補給設備の操作の対象機器は表3.14-140及び表3.14-141と同様である。</p> <p>これにより、図3.14-49及び図3.14-50で示すタイムチャートのとおり速やかに切替えが可能である。</p> <p style="text-align: right;">(57-3)</p> <div style="text-align: center;">  <p>図3.14-49 軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクからタンクローリへの燃料補給のタイムチャート*</p>  <p>図3.14-50 タンクローリから各機器への燃料補給のタイムチャート*</p> </div> <p>*：「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての「1.14 電源の確保に関する手順等」で示すタイムチャート</p> | <p>(4) 切替えの容易性(設置許可基準規則第43条第1項第四号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあつては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリー及び燃料タンク (SA) は、本来の用途以外の用途には使用しない。</p> <p>燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油貯油槽及びディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、本来の用途以外の用途として使用するため、切り替えて使用する。</p> <p>ディーゼル発電機燃料油貯油槽及びディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口、燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁、燃料油移送ポンプ出口連絡弁及び燃料油サービスタンク入口弁を設けることにより、速やかな切替えが可能な設計とする。</p> <p>なお、必要な燃料補給設備の操作の対象機器は表2.14.136～139と同様である。</p> <p>これにより、図2.14.54～56で示すタイムチャートのとおり速やかに切替えが可能である。</p> <p style="text-align: right;">(57-4)</p> <div style="text-align: center;">  <p>図2.14.54 可搬型タンクローリーによる各機器への燃料補給のタイムチャート (ホース使用時)*</p> </div> | <p>設備名称の相違 (タンクローリー)</p> <p>設備名称の相違 (燃料油貯油槽)</p> <p>設備・運用の相違 (燃料貯蔵設備)</p> <p>新規に設置する燃料タンク (SA) は、重大事故等に必要な燃料を発電所内に保有するための専用タンクであるため、切替えには該当しないものと整理した。</p> <p>設備・運用の相違 (可搬型タンクローリーへの燃料汲み上げ)</p> <p>操作対象の相違</p> <p>タイムチャートの相違</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち，BWR固有の設備や対応手段であり，泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

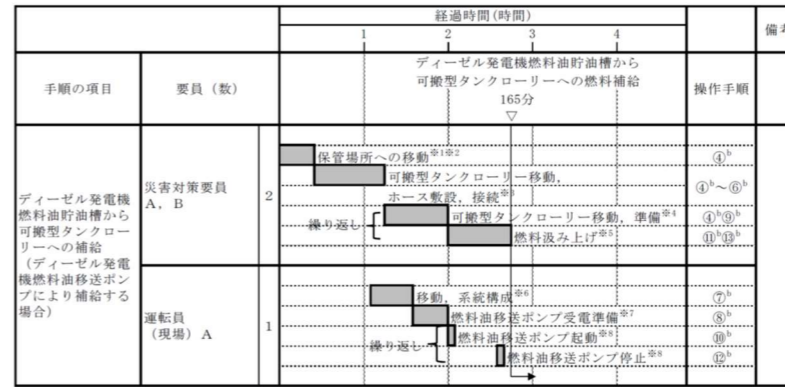
大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

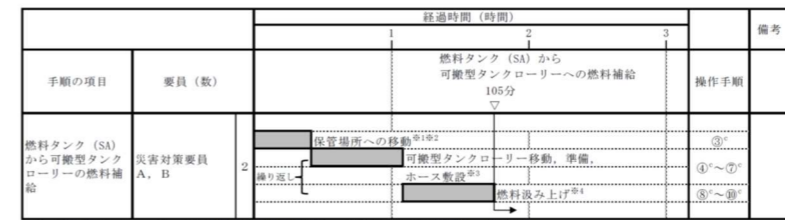
相違理由

タイムチャートの相違



※1：可搬型タンクローリーの保管場所は1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)。
 ※2：緊急時対策所から1号炉西側31mエリアまでの移動時間に余裕を見込んだ時間
 ※3：可搬型タンクローリーの移動時間として、1号炉西側31mエリアから原子炉補助建屋付近までを想定した移動時間及びホース敷設実績を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間
 ※4：可搬型タンクローリーの移動時間として原子炉補助建屋付近から3号出入管理室横通路までを想定した移動時間、可搬型タンクローリーの給油準備実績を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間
 ※5：可搬型タンクローリーの燃料汲み上げを想定した作業時間に余裕を見込んだ時間
 ※6：中央制御室から機器操作場所までの移動時間及び機器の操作時間に余裕を見込んだ時間
 ※7：燃料油移送ポンプ受電準備に余裕を見込んだ時間
 ※8：機器の操作時間に余裕を見込んだ時間

図 2.14.55 ディーゼル発電機燃料油貯油槽から可搬型タンクローリーへの燃料補給のタイムチャート(ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ使用時)*



※1：可搬型タンクローリーの保管場所は1号炉西側31mエリア及び2号炉東側31mエリア(b)
 ※2：緊急時対策所から1号炉西側31mエリアまでの移動時間に余裕を見込んだ時間
 ※3：可搬型タンクローリーの移動時間として、1号炉西側31mエリアから燃料タンク(SA)までを想定した移動時間及びホース敷設実績を考慮した作業時間に余裕を見込んだ時間
 ※4：可搬型タンクローリーの燃料汲み上げを想定した作業時間に余裕を見込んだ時間

図 2.14.56 燃料タンク(SA)から可搬型タンクローリーへの燃料補給のタイムチャート*

*：「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての「1.14 電源の確保に関する手順等」で示すタイムチャート

- (5) 悪影響の防止(設置許可基準規則第43条第1項第五号)
 - (i) 要求事項
工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。
 - (ii) 適合性
基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。

- (5) 悪影響の防止(設置許可基準規則第43条第1項第五号)
 - (i) 要求事項
工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。
 - (ii) 適合性
基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。

灰色：女川 2 号炉の記載のうち，BWR 固有の設備や対応手段であり，泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|----------------|--------|-------|----|-----------|----------------------|----|--------|-----------|----------------------|----|--------|-----------|----------------------|----|--------|-----------|-------------------|----|--------|-----------|-------------------|----|--------|-----------|-------------------|----|--------|-----------|----------------------|----|--------|-----------|----------------------|----|--------|-----------|----------------------|----|--------|-----------|-------------------|----|--------|-----------|-------------------|----|--------|-----------|-------------------|----|--------|-----------|----------------------|----|--------|-----------|-------------------|----|--------|------------|--------------------|----|--------|------------|--------------------|----|--------|------------|--------------------|----|--------|------------|-----------------|----|--------|------------|-----------------|----|--------|------------|-----------------|----|--------|---|-------|------|------|----|-----------|-----------------------|----|-------|-----------------------|----|-------|-----------------------|----|-------|-----------------------|----|-------|---------------------|----|--------|--|----------------|----|-------|--|
| | <p>燃料補給設備のタンクローリは、通常時は接続先の系統と分離して保管しており、重大事故等時に接続、弁操作等により重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>タンクローリは、輪留めによる固定等を行うことで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>燃料補給設備の軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクは、表 3.14-145 に示すように、通常時は軽油タンク及びガスタービン発電設備軽油タンクとタンクローリを分離して保管し、かつ、D/G 軽油タンク払出口止め弁、D/G 軽油タンク入口弁、HPCS D/G 軽油タンク払出口止め弁、HPCS D/G 軽油タンク入口弁、GTG 軽油タンク払出口止め弁及び GTG 軽油タンク入口弁を閉止することで隔離する系統構成としており、重大事故等時に弁操作等により重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、非常用交流電源設備及び常設代替交流電源設備に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>(57-3, 57-7)</p> <p style="text-align: center;">表 3.14-145 他系統との隔離</p> <table border="1" data-bbox="973 926 1567 1633"> <thead> <tr> <th>取合い系統</th> <th>系統隔離</th> <th>駆動方式</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(A)軽油タンク(A)払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(A)軽油タンク(C)払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(A)軽油タンク(E)払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(A)軽油タンク(A)入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(A)軽油タンク(C)入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(A)軽油タンク(E)入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(B)軽油タンク(B)払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(B)軽油タンク(D)払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(B)軽油タンク(F)払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(B)軽油タンク(B)入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(B)軽油タンク(D)入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>D/G(B)軽油タンク(F)入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>HPCS D/G 軽油タンク払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>非常用交流電源設備</td><td>HPCS D/G 軽油タンク入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>GTG 軽油タンク(A)払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>GTG 軽油タンク(B)払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>GTG 軽油タンク(C)払出口止め弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>GTG 軽油タンク(A)入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>GTG 軽油タンク(B)入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> <tr><td>常設代替交流電源設備</td><td>GTG 軽油タンク(C)入口弁</td><td>手動</td><td>通常時切離し</td></tr> </tbody> </table> <p>(6) 設置場所(設置許可基準規則第 43 条第 1 項第六号) (i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において重大事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> | 取合い系統 | 系統隔離 | 駆動方式 | 状態 | 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(A)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(C)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(E)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(A)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(C)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(E)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(B)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(D)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(F)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(B)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(D)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(F)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | HPCS D/G 軽油タンク払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 非常用交流電源設備 | HPCS D/G 軽油タンク入口弁 | 手動 | 通常時切離し | 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(A)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(B)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(C)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(A)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(B)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(C)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリは、通常時は接続先の系統と分離して保管しており、重大事故等時に接続、弁操作等により重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>可搬型タンクローリは、車輪止めによる固定等を行うことで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油貯油槽、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び燃料タンク (SA) は、表 2.14.144 に示すように、通常時はディーゼル発電機燃料油貯油槽、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ及び燃料タンク (SA) と可搬型タンクローリを分離して保管し、かつ、ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口、燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁及び燃料タンク (SA) 給油口を閉止することで隔離する系統構成としており、重大事故等時に弁操作等により重大事故等対処設備としての系統構成とすることで、非常用交流電源設備に対して悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>(57-4, 57-6)</p> <p style="text-align: center;">表 2.14.144 他系統との隔離</p> <table border="1" data-bbox="1685 919 2383 1367"> <thead> <tr> <th>取合い系統</th> <th>系統隔離</th> <th>駆動方式</th> <th>状態</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="6">非常用交流電源設備</td> <td>A 1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口</td> <td>手動</td> <td>通常時閉止</td> </tr> <tr> <td>A 2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口</td> <td>手動</td> <td>通常時閉止</td> </tr> <tr> <td>B 1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口</td> <td>手動</td> <td>通常時閉止</td> </tr> <tr> <td>B 2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口</td> <td>手動</td> <td>通常時閉止</td> </tr> <tr> <td>燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁</td> <td>手動</td> <td>通常時切離し</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備</td> <td>燃料タンク (SA) 給油口</td> <td>手動</td> <td>通常時閉止</td> </tr> </tbody> </table> <p>(6) 設置場所(設置許可基準規則第 43 条第 1 項第六号) (i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において重大事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> | 取合い系統 | 系統隔離 | 駆動方式 | 状態 | 非常用交流電源設備 | A 1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 | 手動 | 通常時閉止 | A 2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 | 手動 | 通常時閉止 | B 1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 | 手動 | 通常時閉止 | B 2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 | 手動 | 通常時閉止 | 燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁 | 手動 | 通常時切離し | 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備 | 燃料タンク (SA) 給油口 | 手動 | 通常時閉止 | <p>設備名称の相違 (タンクローリ)</p> <p>記載表現の相違 (車輪止め)</p> <p>設備名称の相違 (燃料油貯油槽)</p> <p>設備・運用の相違 (燃料貯蔵設備)</p> <p>設備・運用の相違 (可搬型タンクローリへの燃料汲み上げ)</p> <p>操作対象の相違</p> <p>設備名称の相違 (D/G 燃料油移送設備)</p> <p>設備名称の相違 (D/G)</p> <p>炉型による非常用電源設備構成の相違</p> <p>設備・運用の相違 (代替非常用発電機の燃料補給)</p> <p>他系統との隔離箇所の相違</p> |
| 取合い系統 | 系統隔離 | 駆動方式 | 状態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(A)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(C)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(E)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(A)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(C)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(A)軽油タンク(E)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(B)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(D)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(F)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(B)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(D)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | D/G(B)軽油タンク(F)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | HPCS D/G 軽油タンク払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | HPCS D/G 軽油タンク入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(A)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(B)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(C)払出口止め弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(A)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(B)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 常設代替交流電源設備 | GTG 軽油タンク(C)入口弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 取合い系統 | 系統隔離 | 駆動方式 | 状態 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 非常用交流電源設備 | A 1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 | 手動 | 通常時閉止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | A 2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 | 手動 | 通常時閉止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B 1-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 | 手動 | 通常時閉止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B 2-ディーゼル発電機燃料油貯油槽給油口 | 手動 | 通常時閉止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリング弁 | 手動 | 通常時切離し | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 可搬型代替直流電源設備 代替所内電気設備 | 燃料タンク (SA) 給油口 | 手動 | 通常時閉止 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|--|---|
| | <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>燃料補給設備の操作に必要な機器の設置場所及び操作場所を表3.14-140及び表3.14-141に示す。 これらの操作場所は、想定される重大事故等時における放射線量が高くなるおそれが少ないため、屋外で操作可能な設計とする。</p> <p>(57-2)</p> <p>3.14.3.3.4.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針 (1)容量(設置許可基準規則第43条第2項第一号) (i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。 (ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>a. 軽油タンク 燃料補給設備の軽油タンクは、想定される重大事故等時において、同時にその機能を発揮することを要求される可搬型重大事故等対処設備が、7日間連続運転する場合に必要な燃料量約74kLを上回る、容量約830kLを有する設計とする。</p> <p>(57-5)</p> <p>b. ガスタービン発電設備軽油タンク 燃料補給設備のガスタービン発電設備軽油タンクは、想定される重大事故等時において、同時にその機能を発揮することを要求される可搬型重大事故等対処設備が、7日間連続運転する場合に必要な燃料量約74kLを上回る、容量約330kLを有する設計とする。</p> <p>(57-5)</p> | <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.3 環境条件等」に示す。</p> <p>燃料補給設備の操作に必要な機器の設置場所及び操作場所を表2.14.136~139に示す。 これらの操作場所は、想定される重大事故等時における放射線量が高くなるおそれが少ないため、屋外又は周辺補機棟で操作可能な設計とする。</p> <p>(57-2)</p> <p>2.14.3.2.4.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針 (1) 容量(設置許可基準規則第43条第2項第一号) (i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。 (ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.2 容量等」に示す。</p> <p>a. ディーゼル発電機燃料油貯油槽 燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油貯油槽は、想定される重大事故等時において、同時にその機能を発揮することを要求される可搬型重大事故等対処設備が、7日間連続運転する場合に必要な燃料量約44.2kLを上回る、容量約540kLを有する設計とする。</p> <p>(57-5)</p> <p>b. 燃料タンク(SA) 燃料補給設備の燃料タンク(SA)は、想定される重大事故等時において、同時にその機能を発揮することを要求される可搬型重大事故等対処設備が、7日間連続運転する場合に必要な燃料量約44.2kLを上回る、容量約50kLを有する設計とする。</p> <p>(57-5)</p> | <p>設置場所の相違</p> <p>設備名称の相違(燃料油貯油槽)</p> <p>設備の相違 ・設備の容量に差異があるが、重大事故等対処設備として必要な設備を設けるといふ点において同等である。</p> <p>設備・運用の相違(燃料貯蔵設備)</p> <p>設備・運用の相違(燃料貯蔵設備)</p> |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 |
|----------------|--|---|-------------------------------------|
| | <p>(2) 共用の禁止（設置許可基準規則第 43 条第 2 項第二号）</p> <p>(i) 要求事項 二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>燃料補給設備は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性（設置許可基準規則第 43 条第 2 項第三号）</p> <p>(i) 要求事項 常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>燃料補給設備は、設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備と同時に機能喪失しない設計とする。</p> <p>これらの詳細については、3.14.3.3.3 項に記載のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">(57-2, 57-3)</p> <p>3.14.3.3.4.3 設置許可基準規則第 43 条第 3 項への適合状況</p> <p>(1) 容量（設置許可基準規則第 43 条第 3 項第一号）</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> | <p>c. ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ 燃料補給設備のディーゼル発電機燃料油移送ポンプは、可搬型重大事故等対処設備の燃料消費量を上回る、容量約 26kL/h/台、吐出圧力約 0.3MPa 及び原動機出力約 11kW/台を 2 台有する設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(57-5)</p> <p>(2) 共用の禁止（設置許可基準規則第 43 条第 2 項第二号）</p> <p>(i) 要求事項 二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>燃料補給設備は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性（設置許可基準規則第 43 条第 2 項第三号）</p> <p>(i) 要求事項 常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>燃料補給設備は、設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備と同時に機能喪失しない設計とする。</p> <p>これらの詳細については、2.14.3.2.3 項に記載のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">(57-2, 57-4)</p> <p>2.14.3.2.4.3 設置許可基準規則第 43 条第 3 項への適合方針</p> <p>(1) 容量（設置許可基準規則第 43 条第 3 項第一号）</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.2 容量等」に示す。</p> | <p>設備・運用の相違（可搬型タンクローリーへの燃料汲み上げ）</p> |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 |
|----------------|---|--|--|
| | <p>a. タンクローリ 燃料補給設備のタンクローリは、想定される重大事故等時において、その機能を発揮することが必要な重大事故等対処設備に、燃料を補給できる容量を有する設計とする。</p> <p>容量としては重大事故等時において、その機能を発揮することを要求される大容量送水ポンプ(タイプ I)及び熱交換器ユニットの連続運転が可能な燃料を、それぞれ大容量送水ポンプ(タイプ I)及び熱交換器ユニットに供給できる容量を有するものを 1 セット 2 台使用する。保有数は 1 セット 2 台と、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として 1 台の合計 3 台を分散して保管する。 (57-5, 57-11)</p> <p>(2) 確実な接続(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第二号) (i) 要求事項 常設設備(発電用原子炉施設と接続されている設備又は短時間に発電用原子炉施設と接続することができる常設の設備をいう。以下同じ。)と接続するものにあつては、当該常設設備と容易かつ確実に接続することができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子炉施設が相互に使用することができるよう、接続部の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>燃料補給設備のタンクローリと軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクの接続については、燃料ホースを接続するために、軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクの払出口に特別な工具を要しない専用金具を設けることにより、容易かつ確実に接続可能な設計とする。</p> <p>燃料補給設備の接続に必要なタンクローリホースは、現場で容易に接続可能な設計とする。表 3.14-146 及び表 3.14-147 に対象設備の接続場所を示す。 (57-2, 57-3)</p> | <p>a. 可搬型タンクローリ 燃料補給設備の可搬型タンクローリは、想定される重大事故等時において、その機能を発揮することが必要な重大事故等対処設備に、燃料を補給できる容量を有する設計とする。</p> <p>容量としては重大事故等時において、その機能を発揮することを要求される緊急時対策所用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車の連続運転が可能な燃料を、それぞれ緊急時対策所用発電機及び可搬型大型送水ポンプ車に供給できる容量を有するものを 1 セット 2 台使用する。保有数は 1 セット 2 台と、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として 2 台の合計 4 台を分散して保管する。 (57-5, 57-11)</p> <p>(2) 確実な接続(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第二号) (i) 要求事項 常設設備(発電用原子炉施設と接続されている設備又は短時間に発電用原子炉施設と接続することができる常設の設備をいう。以下同じ。)と接続するものにあつては、当該常設設備と容易かつ確実に接続することができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子炉施設が相互に使用することができるよう、接続部の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリとディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク(SA)の接続については、ホースを接続するために、ディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク(SA)の給油口を開放して給油口内にホースを挿入して接続することにより、容易かつ確実に接続可能な設計とする。</p> <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリとディーゼル発電機燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリングラインの接続については、配管・弁類及びホースを接続するために、ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ出口連絡サンプリングラインに配管・弁類及びホースを簡便な接続方法で接続することにより、容易かつ確実に接続可能な設計とする。</p> <p>燃料補給設備の接続に必要な可搬型タンクローリホース(ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ使用時は配管・弁類を含む。)は、現場で容易に接続可能な設計とする。表 2.14.145~147 に対象機器の接続場所を示す。 (57-2, 57-4)</p> | <p>設備名称の相違(タンクローリ)</p> <p>燃料補給対象の可搬型設備の相違</p> <p>設備・運用の相違(使用数及び保有数)</p> <p>設備名称の相違(タンクローリ) 設備名称の相違(燃料油貯油槽) 設備・運用の相違(燃料貯蔵設備) 設備・運用の相違(可搬型タンクローリへの燃料汲み上げ) 設備・運用の相違(代替非常用発電機の燃料補給)</p> <p>設備名称の相違(タンクローリ) 記載の充実(大飯審査実績の参照)</p> |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち，BWR 固有の設備や対応手段であり，泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------|---|--|------------|------|------|--------|-------|----|--------|--------|--------|----|-------|---------|---------|------|------|--------|---------------------|----|--------|--------|--------|----|-------|--|---------|---------|------|------|-----------|--------------------|----|------------|-----------|--------|----|-------|---------|---------|------|------|-----------|---|--|------|-----------|--------|----|-------|---------|---------|------|------|-----------|------------|----|------------|-----------|--------|----|-------|--|
| | <p style="text-align: center;">表 3.14-146 接続対象機器設置場所 (軽油タンク)</p> <table border="1" data-bbox="931 275 1605 352"> <thead> <tr> <th>接続元機器名称</th> <th>接続先機器名称</th> <th>接続場所</th> <th>接続方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タンクローリ</td> <td>軽油タンク</td> <td>屋外</td> <td>専用金具接続</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ</td> <td>各燃料補給先</td> <td>屋外</td> <td>ノズル接続</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 3.14-147 接続対象機器設置場所 (ガスタービン発電設備軽油タンク)</p> <table border="1" data-bbox="920 737 1593 842"> <thead> <tr> <th>接続元機器名称</th> <th>接続先機器名称</th> <th>接続場所</th> <th>接続方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>タンクローリ</td> <td>ガスタービン発電設備 軽油タンク</td> <td>屋外</td> <td>専用金具接続</td> </tr> <tr> <td>タンクローリ</td> <td>各燃料補給先</td> <td>屋外</td> <td>ノズル接続</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 複数の接続口(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 常設設備と接続するものにあつては，共通要因によって接続することができなくなることを防止するため，可搬型重大事故等対処設備(原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。)の接続口をそれぞれ互いに異なる複数の場所に設けるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については，「2.3.1 多様性，位置的分散，悪影響防止等」に示す。</p> <p>a. タンクローリ 燃料補給設備のタンクローリを接続する軽油タンク又はガスタービン発電設備軽油タンクは，100m 以上離隔を確保し，各々の接続箇所が共通要因により接続不可とならない設計とする。 (57-2)</p> <p>(4) 設置場所(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を設置場所に据え付け，及び常設設備と接続することができるよう，放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定，設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> | 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | タンクローリ | 軽油タンク | 屋外 | 専用金具接続 | タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | タンクローリ | ガスタービン発電設備 軽油タンク | 屋外 | 専用金具接続 | タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | <p style="text-align: center;">表 2.14.145 接続対象機器設置場所 (ディーゼル発電機燃料油貯油槽～各燃料補給先流路)</p> <table border="1" data-bbox="1694 281 2386 380"> <thead> <tr> <th>接続元機器名称</th> <th>接続先機器名称</th> <th>接続場所</th> <th>接続方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型タンクローリ</td> <td>ディーゼル発電機 燃料油貯油槽</td> <td>屋外</td> <td>ホース挿入による接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型タンクローリ</td> <td>各燃料補給先</td> <td>屋外</td> <td>ノズル接続</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 2.14.146 接続対象機器設置場所 (ディーゼル発電機燃料油貯油槽～ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ～各燃料補給先流路)</p> <table border="1" data-bbox="1694 485 2386 653"> <thead> <tr> <th>接続元機器名称</th> <th>接続先機器名称</th> <th>接続場所</th> <th>接続方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型タンクローリ</td> <td>ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ 出口連絡 サンプリングライン</td> <td>屋外 原子炉補助建屋 T.P. 17.8m 周辺補機棟 T.P. 17.8m</td> <td>継手接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型タンクローリ</td> <td>各燃料補給先</td> <td>屋外</td> <td>ノズル接続</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">表 2.14.147 接続対象機器設置場所 (燃料タンク (SA) ～各燃料補給先流路)</p> <table border="1" data-bbox="1694 751 2386 850"> <thead> <tr> <th>接続元機器名称</th> <th>接続先機器名称</th> <th>接続場所</th> <th>接続方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型タンクローリ</td> <td>燃料タンク (SA)</td> <td>屋外</td> <td>ホース挿入による接続</td> </tr> <tr> <td>可搬型タンクローリ</td> <td>各燃料補給先</td> <td>屋外</td> <td>ノズル接続</td> </tr> </tbody> </table> <p>(3) 複数の接続口(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 常設設備と接続するものにあつては，共通要因によって接続することができなくなることを防止するため，可搬型重大事故等対処設備(原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。)の接続口をそれぞれ互いに異なる複数の場所に設けるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については，「1.1.10.1 多様性，位置的分散，悪影響防止等」に示す。</p> <p>a. 可搬型タンクローリ 燃料補給設備の可搬型タンクローリを接続するディーゼル発電機燃料油貯油槽又は燃料タンク (SA)は，100m 以上離隔を確保し，各々の接続箇所が共通要因により接続不可とならない設計とする。 (57-2)</p> <p>(4) 設置場所(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を設置場所に据え付け，及び常設設備と接続することができるよう，放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定，設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> | 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | 可搬型タンクローリ | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 | 屋外 | ホース挿入による接続 | 可搬型タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | 可搬型タンクローリ | ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ 出口連絡 サンプリングライン | 屋外 原子炉補助建屋 T.P. 17.8m 周辺補機棟 T.P. 17.8m | 継手接続 | 可搬型タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | 可搬型タンクローリ | 燃料タンク (SA) | 屋外 | ホース挿入による接続 | 可搬型タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | <p>設備名称の相違 (タンクローリ) 設備名称の相違 (燃料油貯油槽) 設備・運用の相違 (燃料貯蔵設備) 設備・運用の相違 (代替非常用発電機の燃料補給)</p> |
| 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タンクローリ | 軽油タンク | 屋外 | 専用金具接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タンクローリ | ガスタービン発電設備 軽油タンク | 屋外 | 専用金具接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型タンクローリ | ディーゼル発電機 燃料油貯油槽 | 屋外 | ホース挿入による接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型タンクローリ | ディーゼル発電機 燃料油移送ポンプ 出口連絡 サンプリングライン | 屋外 原子炉補助建屋 T.P. 17.8m 周辺補機棟 T.P. 17.8m | 継手接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 接続元機器名称 | 接続先機器名称 | 接続場所 | 接続方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型タンクローリ | 燃料タンク (SA) | 屋外 | ホース挿入による接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型タンクローリ | 各燃料補給先 | 屋外 | ノズル接続 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち、BWR 固有の設備や対応手段であり、泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 |
|----------------|---|---|--|
| | <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>燃料補給設備のタンクローリーの接続場所は、表 3.14-146 及び表 3.14-147 と同様である。これらの接続場所は、想定される重大事故等時における放射線量が高くなるおそれが少ないため、接続場所で操作可能な設計とする。</p> <p>(57-2)</p> <p>(5) 保管場所(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第五号)</p> <p>(i) 要求事項 地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>燃料補給設備のタンクローリーは、地震、津波その他自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し、非常用交流電源設備及び常設代替交流電源設備と 100m 以上の離隔で位置的分散を図り、第 2 保管エリア、第 3 保管エリア及び第 4 保管エリアの複数箇所に分散して保管する設計とする。</p> <p>(57-2)</p> <p>(6) アクセスルートの確保(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第六号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> | <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.3 環境条件等」に示す。</p> <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリーの接続場所は、表 2.14.145~147 と同様である。これらの接続場所は、想定される重大事故等時における放射線量が高くなるおそれが少ないため、接続場所で操作可能な設計とする。</p> <p>(57-2)</p> <p>(5) 保管場所(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第五号)</p> <p>(i) 要求事項 地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリーは、地震、津波その他自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮し、非常用交流電源設備と 100m 以上の離隔で位置的分散を図り、1 号炉西側 31m エリア及び 2 号炉東側 31m エリア(b)の複数箇所に分散して保管する設計とする。</p> <p>(57-2)</p> <p>(6) アクセスルートの確保(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第六号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> | <p>設備名称の相違 (タンクローリー)</p> <p>設備名称の相違 (タンクローリー)</p> <p>設備・運用の相違 (代替非常用発電機の燃料補給)</p> <p>保管場所の相違</p> |

灰色：女川 2 号炉の記載のうち，BWR 固有の設備や対応手段であり，泊 3 号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所 3 / 4 号炉 | 女川原子力発電所 2 号炉 | 泊発電所 3 号炉 | 相違理由 |
|----------------|--|--|---|
| | <p>燃料補給設備のタンクローリは，想定される重大事故等が発生した場合においても，保管場所から配備場所までの経路について，設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう，複数のアクセスルートを確認する設計とする（「可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」参照）。</p> <p style="text-align: right;">(57-6)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第七号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>重大事故防止設備のうち可搬型のものは，共通要因によって，設計基準事故対処設備の安全機能，使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については，「2.3.1 多様性，位置的分散，悪影響防止等」に示す。</p> <p>燃料補給設備は，共通要因によって，設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備又は重大事故等対処設備である常設代替交流電源設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，多様性及び位置的分散を図る設計とする。</p> <p>これらの詳細については，3.14.3.3.3 項に記載のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">(57-2, 57-3)</p> | <p>燃料補給設備の可搬型タンクローリは，想定される重大事故等が発生した場合においても，保管場所から配備場所までの経路について，設備の運搬及び移動に支障をきたすことのないよう，複数のアクセスルートを確認する設計とする（「可搬型重大事故等対処設備保管場所及びアクセスルートについて」参照）。</p> <p style="text-align: right;">(57-7)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性(設置許可基準規則第 43 条第 3 項第七号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>重大事故防止設備のうち可搬型のものは，共通要因によって，設計基準事故対処設備の安全機能，使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については，「1.1.10.1 多様性，位置的分散，悪影響防止等」に示す。</p> <p>燃料補給設備は，共通要因によって，設計基準事故対処設備である非常用交流電源設備と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう，多様性及び位置的分散を図る設計とする。</p> <p>これらの詳細については，2.14.3.2.3 項に記載のとおりである。</p> <p style="text-align: right;">(57-2, 57-4)</p> | <p>設備名称の相違（タンクローリ）</p> <p>設備・運用の相違（代替非常用発電機の燃料補給）</p> |

| | |
|-------------|---------------|
| 泊発電所3号炉審査資料 | |
| 資料番号 | SA58-9 r. 8.0 |
| 提出年月日 | 令和5年6月30日 |

泊発電所3号炉

設置許可基準規則等への適合状況について (重大事故等対処設備) 比較表

2.15 計装設備【58条】

令和5年6月

北海道電力株式会社



枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|-------------|---------|------|
| 比較結果等を取りまとめた資料 | | | |
| 1. 先行審査実績を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降) | | | |
| 1-1) 設計方針・運用・体制などを変更し、まとめ資料を修正した箇所と理由 | | | |
| <p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：なし</p> <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：下記1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータを重大事故等対処設備に位置付けた。【比較表 p58-2, 8, 9, 11, 16, 17, 18, 19, 22, 23, 28, 29, 70】 <p>c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの：なし</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの：なし</p> | | | |
| 1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載の充実を行った箇所と理由 | | | |
| <p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：下記1件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・最新審査知見の反映の観点から、以下の資料を新規追加した。 補足説明資料 58-12 別紙（別紙5 原子炉格納容器内の冷却状況の原子炉格納容器外温度計での確認について、別紙6 原子炉圧力容器の水位の推定手段について） <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：下記5件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技術的能力 1.15 まとめ資料で 1.11 及び 1.12 のパラメータも抽出対象としたことに伴い、本条文でも使用済燃料ピット関連パラメータを追加した。 【比較表 p58-3, 9, 10, 11, 13, 14, 19, 20, 23, 26, 27, 36, 38, 46, 68, 69, 71】 ・重要監視パラメータと重要代替監視パラメータの計測装置間を電氣的に分離する方法（ヒューズ、アイソレータ等による分離）を追記した。【比較表 p58-9】 ・第 6.4.2 図（交流/直流の単線結線図）を交流及び直流の単線結線図に書き分けた。【比較表 p58-73, 74】 ・第 6.4.4 図（パラメータ記録時に使用する設備の系統概要図）を追加した。【比較表 p58-75】 ・最新審査知見の反映の観点から、以下の資料を新規追加した。 添付資料（2.15 計装設備【58条】）、補足説明資料 58-6（単線結線図）、58-11（パラメータの抽出について）、58-12 別紙（別紙1 格納容器内水位上昇時の計装設備への影響について、別紙2 格納容器内水位の計測設備について、別紙3 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの設定個数の考え方について）、58-13（重大事故等対処設備により計測する重要監視パラメータ）、58-14（「実用発電用原子炉及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則」の第 58 条に基づく主要な重大事故等対処設備一覧表） <p>c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの：なし</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの：下記2件</p> <ul style="list-style-type: none"> ・従来から第 6.4.4 表で重要代替監視パラメータに位置付けていた原子炉格納容器内水素処理装置温度及び格納容器水素イグナイタ温度を本文側にも反映した。 【比較表 p58-10, 16, 23, 32, 33, 43, 71】 ・記録に係る重大事故等対処設備であるデータ収集計算機及びデータ表示端末は、第 61 条及び第 62 条まとめ資料内の表現と整合を図るため、設備名称をデータ伝送設備（発電所内）とした。【比較表 p58-6, 9, 11, 20, 21, 24, 29, 36, 75】 | | | |
| 1-3) バックフィット関連事項 | | | |
| なし | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|-------------|---------|------|
| <p>2. まとめ資料との比較結果の概要</p> <p>2-1) 設備、運用又は体制の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・設備又は運用の主な相違を表1に示す。また、重大事故等対処設備一覧を表3に示す。 <p>2-2) 記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記載方針の主な相違を表2に示す。 | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 | |
|---|---|--|---|---|--|------|--|
| 表1：設備又は運用の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する） | | | | | | | |
| No. | 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | |
| ① | (重大事故等対処設備の補助パラメータ) — | 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータは重大事故等対処設備 | 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータは重大事故等対処設備 | 泊では、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータは重大事故等対処設備に位置付けている。(女川実績の反映) (例：比較表 p58-2) | | | |
| ② | (多重化された計器) 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器 | 当該パラメータの他チャンネルの計器 | 当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器 | PWR は、原子炉で加熱された1次冷却材を蒸気発生器において2次冷却材と熱交換を行う複数のループで構成しており、一部のパラメータ(※)については当該ループのパラメータを他ループの同様パラメータにより推定が可能である。 (例：比較表 p58-3, 第6.4.4表) ※1次冷却材温度(広域-高温側), 1次冷却材温度(広域-低温側), 1次冷却材圧力(広域), 主蒸気ライン圧力 | | | |
| ③ | (可搬型の重大事故等対処設備) ・可搬型計測器 ・可搬型格納容器水素ガス濃度 ・原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力 ・格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度(SA) | ・可搬型計測器 | ・可搬型計測器 ・可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット ・原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型) ・可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) ・可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット ・使用済燃料ピット水位(可搬型) ・使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ ・使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置 | ・女川では、可搬型の重大事故等対処設備は可搬型計測器のみであるが、泊では炉型の相違に伴う設備、対応手段の相違により、可搬型計測器以外にも可搬型の重大事故等対処設備がある。(例：比較表 p58-3) ・泊では、重大事故等時において、海水を通水して原子炉格納容器内の自然対流冷却を行う場合は、原子炉格納容器外の原子炉補機冷却水配管に可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)を取付け、原子炉格納容器内の冷却状況を計測、記録する手段を整備している。(大飯と同様) ・泊では、重大事故等時において、原子炉補機冷却水により原子炉格納容器内の自然対流冷却を行う場合に、原子炉補機冷却系統水の沸騰防止のために窒素ポンベにより加圧することから原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)を設置し監視する手順を整備している。(大飯と同様) ・泊の原子炉格納容器は鋼製であり、重大事故等時のアニュラス内の温度環境が、水素濃度計の使用可能温度範囲を超過することから、水素濃度計をアニュラス外に可搬型で設置し、計測することとしている。大飯の原子炉格納容器はコンクリート製PCCVであり、重大事故等時のアニュラス内の温度環境は鋼製に比べ悪化しにくく、使用可能温度範囲に収まることから、水素濃度計をアニュラス内に常設している。(伊方と同様) ・泊では、使用済燃料ピット水位(可搬型)及び使用済燃料ピット可搬型エリアモニタを用いて、使用済燃料ピットの水位及び放射線量率を計測する手段を整備している。また、常設の使用済燃料ピット監視カメラにより使用済燃料ピットの状態を監視する場合には、可搬型の使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置により使用済燃料ピット監視カメラを冷却する手段を整備している。大飯も同様の設備構成であるが、記載方針の相違(相違理由①)により58条では記載していない。 | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 | |
|---|--|---|---|--|--|------|--|
| 表1：設備又は運用の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する） | | | | | | | |
| No. | 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | |
| ④ | （記録に係る重大事故等対処設備） ・安全パラメータ表示システム（SPDS） ・SPDS表示装置 | ・安全パラメータ表示システム（SPDS） （データ収集装置、SPDS伝送装置及びSPDS表示装置） | ・データ伝送設備（発電所内） （データ収集計算機及びデータ表示端末） | 女川では、安全パラメータ表示システム（SPDS）のうち、データ収集装置でパラメータの値を収集、SPDS伝送装置で記録し、SPDS表示装置により記録したパラメータを確認できる設備構成としている。泊では、データ伝送設備（発電所内）のうち、データ収集計算機でパラメータの値を収集、記録し、データ表示端末により記録したパラメータを確認できる設備構成としている。大飯と泊の設備構成は同様。 （例：比較表 p58-6） | | | |
| ⑤ | （記録に係る重大事故等対処設備） 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）用） | — | 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度） | 泊では、重大事故等時において、海水を通水して原子炉格納容器内の自然対流冷却を行う場合は、原子炉格納容器外の原子炉補機冷却水配管に可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）を取付け、原子炉格納容器内の冷却状況を計測、記録する手段を整備している。（大飯も同様）（例：比較表 p58-6） | | | |
| ⑥ | （重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備の分離） パラメータ相互を分離 | パラメータ相互をヒューズにより電氣的に分離 | ヒューズ、アイソレータ等により電氣的に分離（東海第二、島根と同様） | 泊は、ヒューズの他にアイソレータ等により電氣的に分離している（東海第二及び島根2号炉と同様）。ここで、等にはアナログ信号入力ユニット、ディストリビュータ、测温抵抗体温度変換器が該当する。（比較表 p58-9） | | | |
| ⑦ | （可搬型計測器の計装ケーブルの接続方法） 具体的な記載なし | ボルト・ネジ接続 | プラグ接続 | 泊では、計測するパラメータの端子台にジャンボポストを設置しており、バナナプラグを差し込むことが可能であるため工具は不要である。（玄海3/4号炉と同様） （比較表 p58-27） | | | |
| 表2：記載方針の相違（以下については、相違理由欄にNo.を記載する） | | | | | | | |
| No. | 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | |
| ① | （パラメータ抽出の対象） 技術的能力に係る審査基準 1.1～1.10、1.13、1.14 | 技術的能力に係る審査基準 1.1～1.14 | 技術的能力に係る審査基準 1.1～1.14 | 泊では、重大事故等時において、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等のために監視が必要なパラメータとして、技術的能力 1.11、1.12に係るパラメータも抽出している。（女川実績の反映）（例：比較表 p58-3） | | | |
| ② | （原子炉格納容器内の水素処理装置を監視するパラメータ） 静的触媒式水素再結合装置温度、原子炉格納容器水素燃焼装置温度を第2.15-5表（重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定）にのみ重要代替パラメータとして記載 | 静的触媒式水素再結合装置動作監視装置を第6.4-3表（代替パラメータによる主要パラメータの推定）の他、重要代替監視パラメータとして必要な箇所に記載 | 原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度を第6.4.4表（代替パラメータによる主要パラメータの推定）の他、重要代替監視パラメータとして必要な箇所に記載 | 泊では、原子炉格納容器内の水素処理装置を監視するパラメータである原子炉格納容器内水素処理装置温度、格納容器水素イグナイタ温度は重要代替監視パラメータとして、まとめ資料内の必要な箇所に記載している。（女川実績の反映） （例：比較表 p58-16） | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| | 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|----------------------------|--|---|---|------|
| 表3：重大事故等対処設備一覧（1/2） | | | | |
| 設備 | 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | |
| 重要監視パラメータ／重要代替監視パラメータ | (常設) 1次冷却材高温側温度 (広域) 1次冷却材低温側温度 (広域) 1次冷却材圧力 加圧器水位 原子炉水位 高圧注入流量 余熱除去流量 恒設代替低圧注水積算流量 格納容器スプレイ積算流量 格納容器内温度 格納容器圧力(広域) AM用格納容器圧力 格納容器再循環サンプ水位 (広域) 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) 原子炉格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 静的触媒式水素再結合装置温度 原子炉格納容器水素燃焼装置温度 アンユラス水素濃度 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束 蒸気発生器水位(狭域) 蒸気発生器水位(広域) 蒸気発生器補助給水流量 主蒸気圧力 原子炉補機冷却水サージタンク水位 燃料取替用水ビット水位 ほう酸タンク水位 復水ビット水位 | (常設) 原子炉圧力容器温度 原子炉圧力 原子炉圧力(SA) 原子炉水位(広帯域) 原子炉水位(燃料域) 原子炉水位(SA広帯域) 原子炉水位(SA燃料域) 高圧代替注水系ポンプ出口流量 残留熱除去系洗浄ライン流量(残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) 残留熱除去系洗浄ライン流量(残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 代替循環冷却ポンプ出口流量 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 残留熱除去系ポンプ出口流量 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 原子炉格納容器代替スプレイ流量 原子炉格納容器下部注水流量 ドライウエル温度 圧力抑制室内空気温度 サプレッションプール水温度 原子炉格納容器下部温度 ドライウエル圧力 圧力抑制室圧力 圧力抑制室水位 原子炉格納容器下部水位 ドライウエル水位 格納容器内水素濃度(D/W) 格納容器内水素濃度(S/C) 格納容器内雰囲気水素濃度 格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) 格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C) 起動領域モニタ 平均出力領域モニタ フィルタ装置水位(広帯域) フィルタ装置入口圧力(広帯域) フィルタ装置出口圧力(広帯域) フィルタ装置水温度 フィルタ装置出口放射線モニタ フィルタ装置出口水素濃度 | (常設) 1次冷却材温度(広域-高温側) 1次冷却材温度(広域-低温側) 1次冷却材圧力(広域) 加圧器水位 原子炉容器水位 高圧注入流量 低圧注入流量 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量(AM用) 格納容器内温度 原子炉格納容器圧力 格納容器圧力(AM用) 格納容器再循環サンプ水位(広域) 格納容器再循環サンプ水位(狭域) 格納容器水位 原子炉下部キャビティ水位 原子炉格納容器内水素処理装置温度 格納容器水素イグナイト温度 格納容器内高レンジエリアモニタ(低レンジ) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ) 出力領域中性子束 中間領域中性子束 中性子源領域中性子束 蒸気発生器水位(狭域) 蒸気発生器水位(広域) 補助給水流量 主蒸気ライン圧力 原子炉補機冷却水サージタンク水位 燃料取替用水ビット水位 ほう酸タンク水位 補助給水ビット水位 使用済燃料ビット水位(AM用) 使用済燃料ビット温度(AM用) 使用済燃料ビット監視カメラ | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| | 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|------|
| 表3：重大事故等対処設備一覧（2/2） | | | | |
| | 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | |
| 重要監視パラメータ／重要代替監視パラメータ（続き） | （可搬型） 可搬型格納容器水素ガス濃度 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力 格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA） | （常設） 耐圧強化ベント系放射線モニタ 残留熱除去系熱交換器入口温度 残留熱除去系熱交換器出口温度 原子炉補機冷却水系系統流量 残留熱除去系熱交換器冷却水入流量 復水貯蔵タンク水位 高圧代替注水系ポンプ出口圧力 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 代替循環冷却ポンプ出口圧力 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 残留熱除去系ポンプ出口圧力 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 復水移送ポンプ出口圧力 原子炉建屋内水素濃度 静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 格納容器内雰囲気酸素濃度 使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式） 使用済燃料プール水位／温度（ガイドバルブ式） 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量，低線量） 使用済燃料プール監視カメラ | （可搬型） 格納容器内水素濃度 アンニユラス水素濃度（可搬型） 原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型） 格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度 使用済燃料ビット水位（可搬型） 使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ 使用済燃料ビット監視カメラ空冷装置 | |
| 補助パラメータ（重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ） | — | 6-2F-1母線電圧 6-2F-2母線電圧 6-2C母線電圧 6-2D母線電圧 6-2H母線電圧 4-2C母線電圧 4-2D母線電圧 125V直流主母線2A電圧 125V直流主母線2B電圧 125V直流主母線2A-1電圧 125V直流主母線2B-1電圧 250V直流主母線電圧 HPCS125V直流主母線電圧 高圧窒素ガス供給系ADS入口圧力 代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力 | 6-A，B母線電圧 A，B一直流コントロールセンタ母線電圧 A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用） 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） 原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） | |
| 記録装置 | 安全パラメータ表示システム（SPDS） SPDS表示装置 可搬型温度計測装置 | 安全パラメータ表示システム（SPDS） | データ伝送設備（発電所内） 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度） | |
| その他 | 可搬型計測器 | 可搬型計測器 | 可搬型計測器 | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|---|
| <p>2.15 計装設備【58条】</p> <p>2.15.1 適合方針</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータにより、検討した炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために必要な原子炉施設の状態を把握するための設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータは、「表2.15-3 重大事故等における対応手段と整備する手順」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の重要な監視パラメータ及び有効な監視パラメータとする。</p> <p>炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策を成功させるために必要な原子炉施設の状態を把握するためのパラメータは、「表2.15-3 重大事故等における対応手段と整備する手順」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータとする。</p> <p>重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータは、設計基準を超える状態における原子炉施設の状態を把握するための能力（最高計測可能温度等（設計基準最大値等））を明確にする。計測範囲を表2.15-1、2に、設計基準最大値等を表2.15-4に示す。</p> | <p>6.4 計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>6.4.1 概要</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ（炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータ）は、添付書類十の「第5.1-1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された主要パラメータ（重要監視パラメータ及び有効監視パラメータ）とする。</p> <p>当該パラメータを推定するために必要なパラメータは、添付書類十の「第5.1-1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された代替パラメータ（重要代替監視パラメータ及び有効監視パラメータ）とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備（重大事故等対処設備）について、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握するための能力（最高計測可能温度等（設計基準最大値等））を明確にする。計測範囲を第6.4-1表に、設計基準最大値等を第6.4-2表に示す。</p> <p>計装設備（重大事故等対処設備）の系統概要図を第6.4-1図から第6.4-5図に示す。</p> | <p>6.4 計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>6.4.1 概要</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器（非常用のものを含む。）の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ（炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握するためのパラメータ）は、添付書類十の「第5.1.1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された主要パラメータ（重要監視パラメータ及び有効監視パラメータ）とする。</p> <p>当該パラメータを推定するために必要なパラメータは、添付書類十の「第5.1.1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された代替パラメータ（重要代替監視パラメータ及び有効監視パラメータ）とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備（重大事故等対処設備）について、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握するための能力（最高計測可能温度等（設計基準最大値等））を明確にする。計測範囲を第6.4.1表に、設計基準最大値等を第6.4.2表に示す。</p> <p>計装設備（重大事故等対処設備）の系統概要図を第6.4.1図から第6.4.4図に示す。</p> | <p>【大阪】章番号の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 以降、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。 <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪ではまとめ資料の表を記載しているが、泊では女川実績を反映し設置許可申請書の添付書類十の表を記載している。 以降、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。 <p>【女川】図表番号の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 以降、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。 <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】図の構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊と女川で図示する内容は同様であるものの、女川（BWR）は原子炉格納容器周辺の重大事故等対処設備が多いため全体系統概略図と原子炉格納容器周辺のみを示した概略図に分割している。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|--|--|
| | <p>また、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。なお、補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。重大事故等対処設備の補助パラメータの対象を第6.4-4表に示す。</p> | <p>また、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。なお、補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。重大事故等対処設備の補助パラメータの対象を第6.4-4表に示す。</p> | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】設備の相違（相違理由①）（女川実績の反映）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|---|---|
| <p>原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。</p> <p>重要な監視パラメータ又は有効な監視パラメータ（原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等）の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合の推定は、「表 2.15-3 重大事故等における対応手段と整備する手順」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時のパラメータ推定又は計器の計測範囲を超えた場合のパラメータの推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測するとともに、重要代替パラメータが複数ある場合は、推定する重要な監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を表 2.15-5 に示す。</p> <p>具体的なパラメータは以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型格納容器水素ガス濃度 ・原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力 ・格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA） ・アンユラス水素濃度 <p>（2.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備【53条】） アンユラス水素濃度については、「2.10 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備【53条】」に記載する。</p> | <p>6.4.2 設計方針 (1) 監視機能喪失時に使用する設備</p> <p>発電用原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ又は有効監視パラメータ（原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等）の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合は、添付書類十の「第5.1-1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時の代替パラメータによる推定又は計器の計測範囲を超えた場合の代替パラメータによる推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時に、当該パラメータの他チャンネルの計器がある場合、他チャンネルの計器により計測するとともに、重要代替監視パラメータが複数ある場合は、推定する重要監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた計測される値の確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を第6.4-3表に示す。</p> <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】 現場の操作時に監視が必要なパラメータ及び常設の重大事故等対処設備の代替の機能を有するパラメータは、可搬型の重大事故等対処設備により計測できる設計とする。</p> | <p>6.4.2 設計方針 (1) 監視機能喪失時に使用する設備</p> <p>発電用原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ又は有効監視パラメータ（原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等）の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合は、添付書類十の「第5.1.1表 重大事故等対策における手順書の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時の代替パラメータによる推定又は計器の計測範囲を超えた場合の代替パラメータによる推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時に、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測するとともに、重要代替監視パラメータが複数ある場合は、推定する重要監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた計測される値の確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を第6.4.3表に示す。</p> <p>現場の操作時に監視が必要なパラメータ及び常設の重大事故等対処設備の代替の機能を有するパラメータは、可搬型の重大事故等対処設備により計測できる設計とする。</p> <p>主要な設備は以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット ・原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型） ・可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度） ・可搬型アンユラス水素濃度計測ユニット ・使用済燃料ビット水位（可搬型） ・使用済燃料ビット可搬型エリアモニタ | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備構成の相違（相違理由②）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <p>・可搬型の重大事故等対処設備について本ページ後段に主要な設備を示すため、可搬型の重大事故等対処設備により計測できる設計とする左記構文を記載している（伊方と同様）。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由③）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>・泊は、後段の女川記載表現（6.4.2の(2)以降）の反映により、パラメータそのものではなくパラメータを計測する設備とした。</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <p>・大阪はアンユラス水素濃度について53条で整理しているのに対し、泊は計装設備として58条においても基準適合性を整理する（大阪の記載内容が無いことについて伊方と同様）。</p> <p>【大阪】記載方針の相違（相違理由①）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|---|--|
| <p style="text-align: center;">比較のため58-6,7より再掲</p> <p>重大事故等対処設備は非常用母線に接続され、代替電源である空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）及び電源車から給電可能な設計とする。また、全交流動力電源喪失時においても、空冷式非常用発電装置からの給電までは十分な容量を有した蓄電池（安全防護系用）から給電可能な設計とする。全交流動力電源が喪失した場合において、計測設備へ交流電源を給電するため、空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、重油タンク及びタンクローリーを使用する。空冷式非常用発電装置は、計測設備へ交流電源を給電できる設計とする。また、常設直流電源系統が喪失した場合においても、直流電源を給電するため、蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器を使用する。蓄電池（安全防護系用）又は電源車及び可搬式整流器は、計測設備へ直流電源を給電できる設計とする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空冷式非常用発電装置（2.14 電源設備【57条】） ・燃料油貯蔵タンク（2.14 電源設備【57条】） ・重油タンク（2.14 電源設備【57条】） ・タンクローリー（2.14 電源設備【57条】） ・蓄電池（安全防護系用）（2.14 電源設備【57条】） ・電源車（2.14 電源設備【57条】） ・可搬式整流器（2.14 電源設備【57条】） <p>空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、タンクローリー、</p> | <p>(2) 計器電源喪失時に使用する設備</p> <p>非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、計装設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電池式直流電源設備、常設代替直流電源設備又は可搬型代替直流電源設備を使用する。</p> <p>【伊方3号炉1.14まとめ資料より転載】</p> <p>d. 代替電源（直流）による給電対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合において、交流動力電源又は代替電源（交流）による非常用直流母線への給電が復旧する見込みがない場合及び蓄電池（非常用）からの給電ができない場合、代替電源（直流）により非常用直流母線へ給電する手段がある。</p> <p>代替電源（直流）による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池（重大事故等対処用） ・可搬型直流電源装置（75kVA電源車及び可搬型整流器による構成） <p>1.14.2.4 代替電源（直流）による給電手順等</p> <p>(1) 蓄電池（重大事故等対処用）による代替電源（直流）からの給電</p> <p>蓄電池（非常用）は、全交流動力電源喪失時において、事象発生後、2時間以内に中央制御室に隣接する計装盤室において簡易な操作で不要な負荷を切離すことにより8時間、その後、事象発生から8時間以内に不要な負荷を切離し、蓄電池（重大事故等対処用）へ切替えることで24時間にわたって給電を確保する。</p> <p>(2) 可搬型直流電源装置による代替電源（直流）からの給電</p> <p>全交流動力電源喪失時に、蓄電池（重大事故等対処用）からの給電にて母線電圧が低下する前（事象発生後約24時間）に、可搬型直流電源装置による代替電源（直流）からの給電を行う。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設代替交流電源設備（10.2 代替電源設備） ・可搬型代替交流電源設備（10.2 代替電源設備） ・所内常設蓄電池式直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・常設代替直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・可搬型代替直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・代替所内電気設備（10.2 代替電源設備） <p>常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄</p> | <p>(2) 計器電源喪失時に使用する設備</p> <p>非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、計装設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電池式直流電源設備又は可搬型代替直流電源設備を使用する。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設代替交流電源設備（10.2 代替電源設備） ・可搬型代替交流電源設備（10.2 代替電源設備） ・所内常設蓄電池式直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・可搬型代替直流電源設備（10.2 代替電源設備） ・代替所内電気設備（10.2 代替電源設備） <p>常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄</p> | <p>【大阪】 記載方針等の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】 設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川では所内常設蓄電池式直流電源設備による給電ができない場合の手段として常設代替直流電源設備による給電を整備しており、これら電源による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能。 ・泊では所内常設蓄電池式直流電源設備（蓄電池（非常用）と後備蓄電池）による給電により24時間にわたり直流母線への給電が可能であり、後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合は、可搬型代替直流電源設備（可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器）による給電により対応する。（伊方と同様） |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|
| <p>蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器については、「2.14 電源設備【57条】」に記載する。</p> <p>全交流動力電源及び常設直流電源系統が喪失した場合においても可搬型格納容器水素ガス濃度は、電源を空冷式非常用発電装置から給電できる設計とする。</p> <p>直流電源が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータを計測する計器については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池を電源とした可搬型計測器により計測できる設計とする。計測できるパラメータ最大値等を表2.15-4に示す。</p> <p>可搬型計測器による測定においては、測定対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視できる設計とする。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し測定又は監視できる設計とする。</p> | <p>電式直流電源設備、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備及び代替所内電気設備については、「10.2 代替電源設備」に記載する。</p> <p>また、代替電源設備が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池等を電源とした可搬型計測器により計測できる設計とする。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視するものとする。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視するものとする。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 | <p>電式直流電源設備、可搬型代替直流電源設備及び代替所内電気設備については、「10.2 代替電源設備」に記載する。</p> <p>また、代替電源設備が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備については、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池を電源とした可搬型計測器により計測できる設計とする。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視するものとする。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視するものとする。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 | <p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の可搬型計測器の電源は、乾電池のほか AC アダプタからも給電が可能であるのに対し、泊は乾電池のみである。万一、乾電池の電源が無くなったとしても、乾電池の予備を配備しており、すぐに交換可能である（大阪と同様）。 <p>【大阪】記載箇所の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川実績の反映により、前段（6.4.1 概要）で記載している。 <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川実績の反映により、主要な設備として可搬型計測器を記載している。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|--|--|
| <p>原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータが計測又は監視及び記録ができる設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、原則、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われなるとともに帳票が出力できる設計とする。また、記録は必要な容量を保存できる設計とする。重大事故等の対応に必要な現場のパラメータについても、記録できる設計とする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全パラメータ表示システム（SPDS） SPDS表示装置 可搬型温度計測装置 <p style="border: 1px solid black; padding: 2px;">比較のため58-4,5へ再掲</p> <p>重大事故等対処設備は非常用母線に接続され、代替電源である空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）及び電源車から給電可能な設計とする。また、全交流動力電源喪失時においても、空冷式非常用発電装置からの給電までは十分な容量を有した蓄電池（安全防護系用）から給電可能な設計とする。全交流動力電源が喪失した場合において、計測設備へ交流電源を給電するため、空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、重油タンク及びタンクローリーを使用する。空冷式非常用発電装置は、計測設備へ交流電源を給電できる設計とする。また、常設直流電源系統が喪失した場合においても、直流電源を給電するため、蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器を使用する。蓄電池（安全防護系用）又は電源車及び可搬式整流器は、計測設備へ直流電源を給電できる設計とする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 空冷式非常用発電装置（2.14 電源設備【57条】） 燃料油貯蔵タンク（2.14 電源設備【57条】） 重油タンク（2.14 電源設備【57条】） タンクローリー（2.14 電源設備【57条】） 蓄電池（安全防護系用）（2.14 電源設備【57条】） 電源車（2.14 電源設備【57条】） 可搬式整流器（2.14 電源設備【57条】） <p>空冷式非常用発電装置、燃料油貯蔵タンク、タンクローリー、蓄電池（安全防護系用）、電源車及び可搬式整流器については、「2.14 電源設備【57条】」に記載する。</p> | <p>(3)パラメータ記録時に使用する設備</p> <p>原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは計測又は監視及び記録ができる設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われなるとともに、帳票が出力できる設計とする。</p> <p>また、記録は必要な容量を保存できる設計とする。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> 安全パラメータ表示システム（SPDS）（データ収集装置、SPDS 伝送装置及びSPDS表示装置） | <p>(3)パラメータ記録時に使用する設備</p> <p>原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは計測又は監視及び記録ができる設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われなるとともに、帳票が出力できる設計とする。</p> <p>また、記録は必要な容量を保存できる設計とする。</p> <p>主要な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> データ伝送設備（発電所内）（データ収集計算機及びデータ表示端末） 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度） | <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊は、女川と同様に現場で読み取った値を紙に記録するもの（可搬型計測器、現場指示計）については、設備ではなく手順（技術的能力1.15）として整理している。一方、大飯は、紙に記録するものを考慮し、「原則」を記載している。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【大飯】設備名称の相違 【女川】設備の相違（相違理由④） 【女川】設備の相違（相違理由⑤）</p> |

泊発電所3号炉 SA基準適合性 比較表

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|-------------|---------|------|
| <p>全交流動力電源及び常設直流電源系統が喪失した場合においても可搬型格納容器水素ガス濃度は、電源を空冷式非常用発電装置から給電できる設計とする。</p> | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|--|
| <p>2.15.1.1 多様性、位置的分散</p> <p>基本方針については、「1.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等について」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち重要代替パラメータ（当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器を除く。）による推定は、重要な監視パラメータと異なる物理量（水位、注水量等）又は測定原理とすることで、重要な監視パラメータに対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。重要代替パラメータは重要な監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>重要な監視パラメータの計測、重要代替パラメータの他チャンネルの計測及び重要代替パラメータの計測における電源は、設計基準事故対処設備としての電源に対して多様性を持った代替電源（空冷式非常用発電装置、蓄電池（安全防護系用）及び電源車）から給電できる設計とする。電源設備の多様性、位置的分散については、「2.14 電源設備【57条】」にて記載する。</p> | <p>6.4.2.1 多様性、位置的分散</p> <p>基本方針については、「1.1.7.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータを計測する設備と異なる物理量の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>補助パラメータを計測する設備は、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータを計測する設備のうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「1.1.7 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>重要監視パラメータを計測する設備及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> <p>電源設備の多様性、位置的分散については「10.2 代替電源設備」にて記載する。</p> | <p>6.4.2.1 多様性、位置的分散</p> <p>基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータを計測する設備と異なる物理量の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>補助パラメータを計測する設備は、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータを計測する設備のうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「1.1.10 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>重要監視パラメータを計測する設備及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> <p>電源設備の多様性、位置的分散については「10.2 代替電源設備」にて記載する。</p> | <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由①）（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|
| <p>2.15.1.2 悪影響防止</p> <p>基本方針については、「1.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等について」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、多重性を有するパラメータはチャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立性を図るとともに、重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータ間においてもパラメータ相互を分離し、パラメータ間の独立性を図ることで、他の設備に悪影響を及ぼさないよう独立した設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）及びSPDS表示装置は、電源操作によって、通常の系統構成から重大事故等対処設備として系統構成をすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度、原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力及び格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA）並びに可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> | <p>6.4.2.2 悪影響防止</p> <p>基本方針については、「1.1.7.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち、多重性を有するパラメータの計測装置は、チャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立を図る設計とする。また、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においてもパラメータ相互をヒューズにより電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>【島根2号炉まとめ資料より転載】</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち、多重性を有するパラメータの計測装置並びに重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においては、パラメータ相互をヒューズ、アイソレータ等により電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）は、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> | <p>6.4.2.2 悪影響防止</p> <p>基本方針については、「1.1.10.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち、多重性を有するパラメータの計測装置は、チャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立を図る設計とする。また、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においてもパラメータ相互をヒューズ、アイソレータ等により電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータの計測装置は、電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>データ伝送設備（発電所内）は、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）、可搬型アンユラス水素濃度計測ユニット、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）及び可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることにより、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> | <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由⑥）（東二及び島根と同様）</p> <p>【大阪】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【女川】記載表現の相違 ・上段の記載と合わせた。</p> <p>【大阪】記載表現及び設備名称の相違</p> <p>【女川】設備構成の相違（相違理由④）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（相違理由①）</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【女川】設備構成の相違（相違理由③）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|--|--|
| <p>2.15.2 容量等 基本方針については、「1.3.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備は、必要な計測範囲を有する計器により計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において原子炉施設の状態を推定できる設計とする。</p> | <p>6.4.2.3 容量等 基本方針については、「1.1.7.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準対象施設の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準対象施設と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（D/W） ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（S/C） ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式） <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力（SA） ・原子炉水位（SA広帯域） ・原子炉水位（SA燃料域） ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量） ・残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷 | <p>6.4.2.3 容量等 基本方針については、「1.1.10.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準対象施設の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準対象施設と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域－高温側） ・1次冷却材温度（広域－低温側） ・1次冷却材圧力（広域） ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・格納容器内温度 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器再循環サンプル水位（広域） ・格納容器再循環サンプル水位（狭域） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ） ・出力領域中性子束 ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・補助給水ピット水位 ・燃料取替水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・B－格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・格納容器圧力（AM用） ・格納容器水位 ・原子炉下部キャピティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイト温度 ・使用済燃料ピット水位（AM用） | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|---|---|
| | <p>却ライン洗浄流量)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレイ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウエル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サブプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・ドライウエル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウエル水位 ・格納容器内水素濃度 (D/W) ・格納容器内水素濃度 (S/C) ・フィルタ装置水位 (広帯域) ・フィルタ装置入口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置出口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置水温度 ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・フィルタ装置出口水素濃度 ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・復水貯蔵タンク水位 ・高圧代替注水系ポンプ出口圧力 ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 ・代替循環冷却ポンプ出口圧力 ・復水移送ポンプ出口圧力 ・原子炉建屋内水素濃度 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ・使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量) ・使用済燃料プール監視カメラ <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断ができ、系統の目的に応じて必要となる計測範囲を有する設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)は、想定される重大事故等時に発電所内の通信連絡をする必要のある場所に必要データ量を伝送することができる設計とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・使用済燃料ビット温度 (AM用) ・使用済燃料ビット監視カメラ <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断ができ、系統の目的に応じて必要となる計測範囲を有する設計とする。</p> <p>データ伝送設備(発電所内)は、想定される重大事故等時に発電所内の通信連絡をする必要のある場所に必要データ量を伝送することができる設計とする。</p> | <p>【大飯】設備の相違 (相違理由①)</p> <p>【女川】設備の相違 (相違理由④)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|--|
| <p>可搬型の重大事故等対処設備は、設計基準を超える状態において原子炉施設の状態を推定するための計測範囲及び、十分に余裕のある個数を有する設計とする。</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度は、3号炉及び4号炉それぞれで1個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで1個、機能要求の無い時期に保守点検可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として3号炉及び4号炉それぞれで1個の合計4個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力は、3号炉及び4号炉それぞれで1個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで1個、機能要求の無い時期に保守点検可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として3号炉及び4号炉それぞれで1個の合計4個を分散して保管する設計とする。</p> | <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型の格納容器水素濃度及びアンユラス水素濃度(AM)の計測装置は、1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を保管する。</p> <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型の格納容器水素濃度及びアンユラス水素濃度(AM)の計測装置は、1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を保管する。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の計測装置は、1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個を保管する。</p> | <p>可搬型の重大事故等対処設備は、設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲及び、十分に余裕のある個数を有する設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)は1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> | <p>【女川】記載方針の相違(大阪実績の反映) 【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】設備名称の相違 【伊方】記載表現の相違 【大阪】記載方針の相違 ・泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 【大阪】運用の相違 ・泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している(伊方と同様)。 【大阪】記載表現の相違(女川実績の反映) ・女川の記載表現の反映により「含めて」とした(後段の可搬型計測器の表現引用)。 【大阪】記載方針の相違 ・大阪は複数号炉の審査であるものの、1ユニット当たりの保有数は同じである。</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・大阪はアンユラス水素濃度について53条で整理しているのに対し、泊は計装設備として58条においても基準適合性を整理する(伊方と同様)。 【伊方】設備名称の相違 【伊方】記載表現の相違(女川実績の反映) ・女川の記載表現の反映により「含めて」とした(後段の可搬型計測器の表現引用)。 ・分散して保管していることを明記した。</p> <p>【大阪】設備名称の相違 【大阪】記載表現の相違 【大阪】記載方針の相違 ・泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 【大阪】運用の相違 ・泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している(伊方と同様)。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|
| <p>【比較のため大阪3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピット水位は、重大事故等時により変動する可能性のある使用済燃料ピット上部から底部近傍までの範囲にわたり測定できる設計とする。保有数は、3号炉及び4号炉それぞれで1セット2個、保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個（3号及び4号炉共用）の合計5個を保管する設計とする。</p> <p>【比較のため大阪3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタは、重大事故等時により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計とし、複数の設置場所での線量率の相関（減衰率）関係の評価及び各設置場所間での関係性を把握し、測定結果の傾向を確認することで、使用済燃料ピット区域の空間線量率を推定できる設計とする。可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタは3号炉及び4号炉それぞれで1セット2個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで1セット2個、保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個（3号及び4号炉共用）の合計5個を保管する設計とする。</p> | <p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット広域水位(AM)の計測装置は、重大事故等時により変動する可能性のある使用済燃料ピット上部から底部近傍までの範囲にわたり測定できる設計とする。保有数は1セット2個に、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計3個とする。</p> <p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピットエリアモニタは、重大事故等時により変動する可能性のある範囲にわたり測定できる設計とし、取り付けを想定する複数の場所の線量率と使用済燃料ピット区域の空間線量率の相関（減衰率）をあらかじめ評価しておくことで、使用済燃料ピット区域の空間線量率を推定できる設計とする。可搬式使用済燃料ピットエリアモニタは1セット2個使用する。保有数は1セット2個に、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計3個とする。</p> | <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）は1セット2個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計3個を分散して保管する設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした（後段の可搬型計測器の表現引用）。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は複数号炉の審査であるものの、1ユニット当たりの保有数は同じである <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 54条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では他の可搬型の計測設備と記載表現を統一するため、「重大事故等時により～設計とする。」は記載していない（54条ではその旨記載）。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 <p>【大阪】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している（伊方と同様）。 <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした（後段の可搬型計測器の表現引用）。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大阪は複数号炉の審査であるものの、1ユニット当たりの保有数は同じである。 <p>【大阪】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 分散して保管していることを明記した。 <p>【大阪】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 54条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では他の可搬型の計測設備と記載表現を統一するため、「重大事故等時により～設計とする。」は記載していない（54条ではその旨記載）。 <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、1個に必要な測定範囲を測定できる可搬型エリアモニタを選定しているため、1セットは1個である（大阪はレンジの異なる2個に必要な測定範囲を測定する）。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|--|
| <p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、使用済燃料ピット監視カメラの耐環境性向上用の空気を供給し、3号炉及び4号炉それぞれで1セット1個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで1セット1個、保守点検内容は目視点検等であり、保守点検中でも使用可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として1個（3号及び4号炉共用）の合計3個を保管する設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）計測用として3号炉及び4号</p> | <p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備は、使用済燃料ピット監視カメラの機能維持に必要な容量を有する設計とし、1セット1個使用する。保有数は1セット1個に、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を加えた合計2個とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）の計測用として26個（測定時</p> | <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）の計測用として1セット38</p> | <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 <p>【大飯】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している（伊方と同様）。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした（後段の可搬型計測器の表現引用）。 <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、1個に必要な測定範囲を測定できること、大飯は複数号炉であることから、合計個数が異なる。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 分散して保管していることを明記した。 <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 54条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では他の可搬型の計測設備と記載表現を統一するため、「使用済燃料ピット監視カメラへ供給し、」は記載していない（54条ではその旨記載）。 <p>【大飯】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。 <p>【大飯】運用の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している（伊方と同様）。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現の反映により「含めて」とした（後段の可搬型計測器の表現引用）。 <p>【大飯】設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 大飯は、ツインプラントであるため、台数が異なる。 <p>【大飯】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 分散して保管していることを明記した。 <p>【大飯】記載方針の相違</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|--|
| <p>炉それぞれで40個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで40個、機能要求のない時期に保守点検可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として40個（3号及び4号炉共用）の合計120個を分散して保管する設計とする。</p> <p>また、格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）計測用として、3号炉及び4号炉それぞれで3個使用する。保有数は3号炉及び4号炉それぞれで3個、機能要求の無い時期に保守点検可能であるため、保守点検用は考慮せずに、故障時のバックアップ用として3号炉及び4号炉それぞれで1個の合計8個を分散して保管する設計とする。</p> <p>詳細仕様については、表2.15-1, 2に示す。</p> | <p>の故障を想定した予備1個含む）使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として26個を含めて合計52個を分散して保管する。</p> <p>【女川2号炉58条本文添付資料より転載】</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）の計測用として1セット26個（測定時の故障を想定した予備1個含む）使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として26個を含めて合計52個を分散して保管する設計とする。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器再循環ユニット入口温度及び格納容器再循環ユニット出口温度の計測装置である可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口/出口用）は、1セット4個（測定時の故障を想定した1個含む）使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として4個を加えた合計8個を保管する。</p> | <p>個（測定時の故障を想定した予備1個含む）使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として38個を含めて合計76個を分散して保管する。</p> <p>また、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）は、1セット3個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計4個を分散して保管する。</p> <p>設備仕様については、第6.4.1表に示す。</p> | <p>・泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。</p> <p>【大飯】【女川】記載表現の相違</p> <p>・他の可搬型の計測設備の記載と整合させた。なお、女川も58条添付資料では「1セット」の記載あり。</p> <p>【大飯】【女川】設備構成の相違</p> <p>・可搬型計測器で計測するパラメータ数の相違により保有数が異なる。</p> <p>【大飯】運用の相違</p> <p>・泊は、女川と同様に保守点検による待機除外を考慮する。</p> <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違</p> <p>・可搬型計測器で計測するパラメータ数の相違により保有数が異なる。</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <p>・泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】運用の相違</p> <p>・泊は、機能要求がある時期の保守点検による待機除外を想定している（伊方と同様）。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>・女川の記載表現の反映により「含めて」とした（前段の可搬型計測器の表現引用）。</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <p>・大飯は複数号炉の審査であるものの、1ユニット当たりの保有数は同じである。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|--|---|
| <p>2.15.3 環境条件等 基本方針については、「1.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータは、重大事故等時の原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材高温側温度（広域） ・ 1次冷却材低温側温度（広域） ・ 1次冷却材圧力 ・ 加圧器水位 ・ 原子炉水位 ・ 格納容器内温度 ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域） ・ 原子炉格納容器水位 ・ 原子炉下部キャビティ水位 <ul style="list-style-type: none"> ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ） ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） <p>なお、出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束については、重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータは、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。インターフェイスシステムLOCA時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高圧注入流量 | <p>6.4.2.4 環境条件等 基本方針については、「1.1.7.3 環境条件等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉格納容器内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉圧力容器温度 ・ ドライウェル温度 ・ 圧力抑制室内空気温度 ・ サプレッションプール水温度 ・ 原子炉格納容器下部温度 ・ 原子炉格納容器下部水位 ・ ドライウェル水位 ・ 格納容器内水素濃度（D/W） ・ 格納容器内水素濃度（S/C） ・ 起動領域モニタ ・ 平均出力領域モニタ <p>なお、起動領域モニタ及び平均出力領域モニタについては、想定される重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉建屋原子炉棟内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉圧力 ・ 原子炉圧力（SA） ・ 原子炉水位（広帯域） | <p>6.4.2.4 環境条件等 基本方針については、「1.1.10.3 環境条件等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉格納容器内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 1次冷却材温度（広域－高温側） ・ 1次冷却材温度（広域－低温側） ・ 1次冷却材圧力（広域） ・ 加圧器水位 ・ 原子炉容器水位 ・ 格納容器内温度 ・ 格納容器再循環サンプ水位（広域） ・ 格納容器再循環サンプ水位（狭域） ・ 格納容器水位 ・ 原子炉下部キャビティ水位 ・ 原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・ 格納容器水素イグナイト温度 ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・ 格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ） ・ 出力領域中性子束 ・ 中間領域中性子束 ・ 中性子源領域中性子束 ・ 蒸気発生器水位（狭域） ・ 蒸気発生器水位（広域） <p>なお、出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束については、想定される重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、周辺補機棟内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 原子炉格納容器圧力 ・ 格納容器圧力（AM用） | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】パラメータ名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（相違理由②）</p> <p>【大阪】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】【女川】建屋名称の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 大阪の原子炉周辺建屋は、泊の周辺補機棟に相当する。 ・ 女川の原子炉建屋原子炉棟内は、泊の周辺補機棟に相当する。 <p>【大阪】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 泊の ISLOCA 時に使用する計器は、原子炉補助建屋内に設置しており、後段に記載している。 <p>【大阪】記載箇所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 計器設置箇所の相違による。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ・蒸気発生器補助給水流量 ・主蒸気圧力 <p style="margin-top: 20px;">常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータは、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉水位（燃料域） ・原子炉水位（SA広帯域） ・原子炉水位（SA燃料域） ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレーライン洗浄流量） ・残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量） ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレー系ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレー流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウェル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・格納容器内雰囲気気水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（D/W） ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（S/C） ・フィルタ装置水位（広帯域） ・フィルタ装置出口圧力（広帯域） ・フィルタ装置水温度 ・フィルタ装置出口水素濃度 ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・高圧代替注水系ポンプ出口圧力 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 ・復水移送ポンプ出口圧力 ・原子炉建屋内水素濃度 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・使用済燃料プール水位/温度（ヒートサーモ式） ・使用済燃料プール水位/温度（ガイドバルブ式） ・使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量，低線量） ・使用済燃料プール監視カメラ ・高圧窒素ガス供給系ADS入口圧力 <p style="margin-top: 20px;">重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉建屋付属棟内に設置し、想定される重大事</p> | <ul style="list-style-type: none"> ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位 ・原子炉補機冷却水供給母管流量（AM用） ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量（AM用） | <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・計器設置箇所の相違による。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・余熱除去流量 ・恒設代替低圧注水積算流量 ・格納容器スプレイ積算流量 ・格納容器圧力（広域） ・AM用格納容器圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・燃料取替用水ピット水位 ・復水ピット水位 | <p>故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・フィルタ装置入口圧力（広帯域） ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 ・代替循環冷却ポンプ出口圧力 ・代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力 <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、屋外（CST連絡トレンチ/バルブ室）に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、制御建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6-2F-1母線電圧 ・6-2F-2母線電圧 ・6-2C母線電圧 ・6-2D母線電圧 ・6-2H母線電圧 ・4-2C母線電圧 ・4-2D母線電圧 ・125V直流主母線2A電圧 ・125V直流主母線2B電圧 ・125V直流主母線2A-1電圧 ・125V直流主母線2B-1電圧 ・250V直流主母線電圧 ・HPCS125V直流主母線電圧 | <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉補助建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。インターフェイスシステムLOCA時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉補助建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ・ほう酸タンク水位 ・6-A, B母線電圧 ・A, B-直流コントロールセンタ母線電圧 ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量（AM用） | <p>【大飯】記載箇所の相違 ・計器設置箇所の相違による。</p> <p>【大飯】記載箇所の相違 ・計器設置箇所の相違による。 【大飯】設備の相違（相違理由①）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容
 赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|---|--|
| <p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】 使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット温度（AM用）は、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p style="text-align: center;">比較のため58-20へ再掲</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度、原子炉補機冷却水サージタンク、加圧ライン圧力及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（S A）並びに可搬型計測器は、原子炉周辺建屋、制御建屋内に保管及び設置するため、重大事故等時における原子炉周辺建屋及び制御建屋内の環境条件を考慮した設計とする。作業は計測場所でも可能な設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】 可搬式使用済燃料ピット水位は、原子炉周辺建屋内に保管及び設置するため、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。操作は設置場所でも可能な設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】 可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタは、制御建屋内に保管し、屋外に設置するため、重大事故等時における制御建屋内及び屋外の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。操作は設置場所でも可能な設計とする。</p> | <p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】 使用済燃料ピット水位（AM）及び使用済燃料ピット温度（AM）の計測装置は、燃料取扱棟内に設置し、重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】 可搬型の格納容器水素濃度、アンユラス水素濃度（AM）及び原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の計測装置は、原子炉建屋又は原子炉補助建屋内に保管及び設置し、重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。操作は設置場所（計測場所）でも可能な設計とする。</p> | <p>・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量（AM用）</p> <p>使用済燃料ピット水位（AM用）及び使用済燃料ピット温度（AM用）は、燃料取扱棟内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットは、周辺補機棟内に保管及び設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットの操作は、想定される重大事故等時において、設置場所でも可能な設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）は、周辺補機棟内及び緊急時対策所待機所内に保管し、周辺補機棟内に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所でも可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）は、燃料取扱棟内及び周辺補機棟内に保管し、燃料取扱棟内に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピット水位（可搬型）の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所でも可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの操作は、想定される重大事故等時において、設置場所でも可能な設計とする。</p> | <p>相違理由</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により、「想定される重大事故等時」を記載した。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由③） 【大飯】設備名称の相違 【大飯】記載箇所の相違 【大飯】記載方針の相違 ・大飯はアンユラス水素濃度について53条で整理しているのに対し、泊は計装設備として58条においても基準適合性を整理する（伊方と同様）。 【大飯】保管場所の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。 ・操作対象の明確化による。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【女川】設備の相違（相違理由③） 【大飯】設備名称の相違 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】保管場所の相違 【大飯】記載表現の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される～」と記載とした。 ・操作対象の明確化による。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【女川】設備の相違（相違理由③） 【大飯】設備名称の相違 【大飯】保管場所及び設置場所の相違 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。 ・操作対象の明確化による。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|--|
| <p>【比較のため大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラは、重大事故等時における原子炉周辺建屋内の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境を考慮して空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、原子炉周辺建屋内に保管し、屋外に設置するため、重大事故等時における原子炉周辺建屋内及び屋外の環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。操作は設置場所で可能な設計とする。</p> | <p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備は、原子炉補助建屋内に設置し、重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備と使用済燃料ピット監視カメラの接続及び使用済燃料ピット監視カメラ冷却設備の操作は現場で可能な設計とする。</p> | <p>使用済燃料ピット監視カメラは、燃料取扱棟内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境を考慮して空気を供給し冷却することで耐環境性向上を図る設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、原子炉補助建屋内に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置と使用済燃料ピット監視カメラの接続及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p> | <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。</p> <p>【女川】設備の相違 ・女川は、監視カメラと一体の空冷設備であるのに対し、泊は一体ではないことから、空冷装置の保管及び設置場所を記載している。</p> <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①） 【大飯】設備名称の相違 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】保管場所及び設置場所の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載した。</p> <p>【大飯】記載方針の相違 ・操作対象の明確化による。（伊方と同様）</p> |
| <p>比較のため58-19から再掲</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度、原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力及び格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度（SA）並びに可搬型計測器は、原子炉周辺建屋、制御建屋内に保管及び設置するため、重大事故等時における原子炉周辺建屋及び制御建屋内の環境条件を考慮した設計とする。作業は計測場所</p> | <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちデータ収集装置は、制御建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。データ収集装置は、想定される重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p> | <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、周辺補機棟内に設置するため、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度）の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p> | <p>【大飯】記載箇所の相違 【大飯】設備名称の相違 【大飯】建屋名称の相違 【大飯】保管場所及び設置場所の相違 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。 ・操作対象の明確化による。 【大飯】記載表現の相違</p> |
| <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）及びSPDS表示装置は、重大事故等時における中央制御室、原子炉周辺建屋、緊急時対策所のそれぞれの環境条件を考慮した設計とする。</p> | <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちSPDS伝送装置は、緊急時対策建屋緊急時対策所内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちSPDS伝送装置は、想定される重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p> | <p>データ伝送設備（発電所内）のうちデータ収集計算機は、原子炉補助建屋内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。データ収集計算機は、想定される重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p> | <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映） 【女川】設備構成の相違（相違理由④） 【女川】設備名称の相違 【大飯】設置場所の相違 【女川】建屋名称の相違 【女川】設備構成の相違（相違理由④）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|---|---|
| | <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちSPDS表示装置は、緊急時対策建屋緊急時対策所内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちSPDS表示装置の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、制御建屋内及び緊急時対策建屋緊急時対策所内に保管し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。可搬型計測器の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p> | <p>データ伝送設備(発電所内)のうちデータ表示端末は、緊急時対策所指揮所内に設置し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。データ伝送設備(発電所内)のうちデータ表示端末の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所持機所内に保管し、想定される重大事故等時における環境条件を考慮した設計とする。可搬型計測器の操作は、想定される重大事故等時において、設置場所で可能な設計とする。</p> | <p>【女川】設備の相違(相違理由④)</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【女川】建屋名称の相違</p> <p>【大飯】記載箇所の相違</p> <p>・大飯は、可搬型計測器について、他の可搬型の計測設備と一緒に前段で記載している。</p> <p>【女川】建屋名称の相違</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|--|
| <p>2.15.4 操作性及び試験・検査性について 基本方針については、「1.3.4 操作性及び試験・検査性について」に示す。</p> <p>(1) 操作性の確保</p> | <p>6.4.2.5 操作性の確保 基本方針については、「1.1.7.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設として使用する場合と同じ構成で使用できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉水位（広帯域） ・原子炉水位（燃料域） ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・格納容器内雰囲気水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（D/W） ・格納容器内雰囲気放射線モニタ（S/C） ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・使用済燃料プール水位/温度（ガイドバルブ式） ・6-2C母線電圧 ・6-2D母線電圧 ・6-2H母線電圧 ・4-2C母線電圧 ・4-2D母線電圧 ・125V直流主母線2A電圧 ・125V直流主母線2B電圧 ・250V直流主母線電圧 ・HPCS125V直流主母線電圧 ・高圧窒素ガス供給系ADS入口圧力 <p>格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度は、設計基準対象施設として使用する場合と同じ構成で、重大事故等対処設備として使用できる設計とする。格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度を計測するためのサンプリング装置は中央制御室の操作スイッチにより操作が可能な設計とする。</p> | <p>6.4.2.5 操作性の確保 基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設として使用する場合と同じ構成で使用できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度（広域—高温側） ・1次冷却材温度（広域—低温側） ・1次冷却材圧力（広域） ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 ・格納容器内温度 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器再循環サンプル水位（広域） ・格納容器再循環サンプル水位（狭域） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（低レンジ） ・格納容器内高レンジエリアモニタ（高レンジ） ・出力領域中性子束 ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位（狭域） ・蒸気発生器水位（広域） ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・燃料取替用水ピット水位 ・ほう酸タンク水位 ・補助給水ピット水位 ・6-A, B母線電圧 ・A, B—直流コントロールセンタ母線電圧 | <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|--|---|------------------------------|
| | <p style="text-align: right;">比較のため58-26へ再掲</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力 (SA) ・原子炉水位 (SA広帯域) ・原子炉水位 (SA燃料域) ・高压代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレイ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウエル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サブプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・ドライウエル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウエル水位 ・格納容器内水素濃度 (D/W) ・格納容器内水素濃度 (S/C) ・フィルタ装置水位 (広帯域) ・フィルタ装置入口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置出口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置水温度 ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・フィルタ装置出口水素濃度 ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・復水貯蔵タンク水位 ・高压代替注水系ポンプ出口圧力 ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 ・代替循環冷却ポンプ出口圧力 ・復水移送ポンプ出口圧力 ・原子炉建屋内水素濃度 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ・使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量) ・使用済燃料プール監視カメラ | <p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・格納容器圧力 (AM用) ・格納容器水位 ・原子炉下部キャビティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイタ温度 ・使用済燃料ピット水位 (AM用) ・使用済燃料ピット温度 (AM用) ・A-高压注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・A-高压注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) | <p>【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|--|---|
| <p>可搬型格納容器水素ガス濃度の計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉52条まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプは現場の操作スイッチ、可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置は、中央制御室の制御盤での操作が可能な設計とし、可搬型格納容器水素ガス濃度計の指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉52条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度計、格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ及び可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置は、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>【比較のため大飯3/4号炉52条まとめ資料抜粋より転載】</p> <p>可搬型格納容器水素ガス濃度計、格納容器水素ガス試料冷却器用可搬型冷却水ポンプ、可搬型格納容器水素ガス試料圧縮装置、格納容器水素ガス試料湿分分離器及び格納容器水素ガス試料冷却器を使用した原子炉格納容器内の水素濃度の監視を行う系統</p> | <p>・6-2F-1母線電圧 ・6-2F-2母線電圧 ・125V直流主母線2A-1電圧 ・125V直流主母線2B-1電圧 ・代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力 フィルタ装置出口水素濃度を計測するためのサンプリング装置は、想定される重大事故等時に切り替えることなく使用できる設計とする。フィルタ装置出口水素濃度を計測するためのサンプリング装置は、中央制御室の操作スイッチ及び原子炉建屋付属棟の弁を遠隔で手動操作が可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）は、想定される重大事故等時において、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちデータ収集装置及びSPDS伝送装置は、常時伝送を行うため、通常操作を必要としない設計とする。安全パラメータ表示システム（SPDS）のうちSPDS表示装置は、付属の操作スイッチにより緊急時対策建屋緊急時対策所内で操作が可能な設計とする。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器水素濃度計測装置を使用した原子炉格納容器内の水素濃度の監視を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切替えられる設計とする。</p> | <p>データ伝送設備（発電所内）は、想定される重大事故等時において、設計基準対象施設として使用する場合と同じ系統構成で重大事故等対処設備として使用する設計とする。データ伝送設備（発電所内）のうちデータ収集計算機は、常時伝送を行うため、通常操作を必要としない設計とする。データ伝送設備（発電所内）のうちデータ表示端末は、付属の操作スイッチにより緊急時対策所指揮所内で操作が可能な設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットに使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを使用した原子炉格納容器内の水素濃度の監視を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず、想定される重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。また、</p> | <p>【女川】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【女川】設備名称の相違</p> <p>【女川】建屋名称の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>・女川の記載表現の反映（後段の可搬型計測器）により、接続箇所として「設置場所で」を記載した。</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <p>・52条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では計装設備のみを記載し、ポンプ等に係る記載はしない。</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <p>・52条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では計装設備のみを記載し、ポンプ等に係る記載はしない。</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載内容の相違</p> <p>・52条と58条の条文間における記載内容の相違であり、58条では計装設備のみを</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|--|
| <p>は、重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。また、切替えに伴う接続作業は、簡便な接続方法による接続とし、確実に接続できる設計とする。</p> | <p>また、切替えに伴う配管の接続作業は、簡便な接続規格とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> | <p>切替に伴う配管の接続は、簡便な接続方式による接続とし、確実に接続できる設計とする。</p> | <p>記載し、ポンプ等に係る記載はしない。 【大飯】記載表現の相違 ・伊方の記載表現の反映により「設計基準対象施設と兼用せず」を記載した（伊方と同様）。 【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川の記載表現の反映により「想定される」と記載とした。</p> |
| <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型のアンユラス水素濃度(AM)計測装置に使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、現場で確実に接続できる設計とする。</p> <p>アンユラス水素濃度(AM)計測装置の指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。アンユラス水素濃度(AM)計測装置は、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>アンユラス水素濃度(AM)計測装置を使用したアンユラス部の水素濃度の測定を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切替えられる設計とする。</p> <p>また、切替えに伴う配管の接続作業は、簡便な接続規格とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型の原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力の接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> | <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットに使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、現場で確実に接続できる設計とする。</p> <p>アンユラス水素濃度(AM)計測装置の指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットは、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットを使用したアンユラス部の水素濃度の監視を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず、想定される重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。また、切替に伴う配管の接続は、簡便な接続方式による接続とし、確実に接続できる設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。</p> | <p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットに使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。</p> <p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットの指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットは、台車により運搬、移動ができる設計とするとともに、設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットを使用したアンユラス部の水素濃度の監視を行う系統は、設計基準対象施設と兼用せず、想定される重大事故等が発生した場合でも、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。また、切替に伴う配管の接続は、簡便な接続方式による接続とし、確実に接続できる設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。</p> | <p>【大飯】設備の相違 ・大飯は常設のアンユラス水素濃度計であることから、接続操作が不要のため記載なし。 【伊方】設備名称の相違 【伊方】記載表現の相違 ・「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備に係る記載と統一するため「設置場所」とした。 【伊方】設備名称の相違 【伊方】記載表現の相違 ・「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備に係る記載と統一するため「監視」とした。 ・泊は、大飯の記載表現を反映し、「接続規格を統一することにより」とは記載していない。 【大飯】設備名称の相違 【大飯】記載表現の相違 ・「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備に係る記載と統一するため「設置場所」とした。 【大飯】記載方針の相違 ・泊は、伊方の記載表現を反映し、原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の接続について、通常時の系統からの切替に係る設計方針を記載している（伊方と同様）。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|---|--|
| <p>可搬型の格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度（SA）の検出器と温度計本体の接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> <p>【比較のため大阪3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピット水位の吊込装置（フロート、シンカーを含む。）、延長ワイヤ等、可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、人力により運搬、移動ができる設計とする。</p> <p>可搬式使用済燃料ピット水位の吊込装置等の取り付けは、取付金具を用いて確実に取り付けできる設計とする。可搬式使用済燃料ピット水位の水位発信器及び延長ワイヤの接続は、確実に接続ができる設計とする。使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、現場での操作が可能な設計とする。</p> <p>可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタの取付架台への取り付けは、複数の設置場所での線量率の相関（減衰率）関係の評価及び各設置場所間での関係性を把握している場所のうち設置場所としている箇所、取付金具を用いて確実に取り付けできる設計とする。可搬式使用済燃料ピット区域周辺エリアモニタのケーブル接続はコネクタ接続とし、規格を統一することにより、ケーブルを確実に接続できる設計とする。</p> | <p>【伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器再循環ユニット入口温度及び格納容器再循環ユニット出口温度の計測装置である可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口／出口用）は、検出器と温度計本体の接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、現場で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切替えることなく使用できる設計とし、付属の操作スイッチにより、設置場所での操作が可能な設計とする。</p> <p>【比較のため58-23から再掲】</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち、以下のパラメータを計測する設備は設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。</p> <p>【伊方3号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>可搬式使用済燃料ピットエリアモニタの取付架台への取り付けは、取付箇所としている複数の場所の線量率と使用済燃料ピット区域の空間線量率の相関（減衰率）をあらかじめ評価しておくことで、その箇所において確実に取り付けできる設計とする。可搬式使用済燃料ピットエリアモニタの計装ケーブル及び電源ケーブルの接続はコネクタ接続とし、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。可搬式使用済燃料ピットエリアモニタは、付属の操作スイッチにより現場での操作が可能な設計とする。</p> | <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の検出器と温度計本体の接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所での操作が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）の吊込装置（フロート、シンカーを含む）、ワイヤー等、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、人力により運搬、移動ができる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）の吊込装置等の取り付けは、取付金具を用いて確実に取り付けできる設計とする。使用済燃料ピット水位（可搬型）の変換器及びワイヤーの接続は、確実に接続できる設計とする。使用済燃料ピット水位（可搬型）の計装ケーブル接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、確実に接続できる設計とする。使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置は、使用済燃料ピット監視カメラに確実に接続できるとともに、設置場所での操作が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、複数の場所の放射線量率と使用済燃料ピット区域の放射線量率の相関（減衰率）をあらかじめ評価している場所のうち設置場所としている箇所、車輪止めによる固定等ができる設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタのケーブル接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、ケーブルを確実に接続できる設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、付属の操作スイッチにより設置場所での操作が可能な設計とする。</p> | <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備に係る記載と統一するため「設置場所」とした。 <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、伊方の記載表現を反映し、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）の接続について、通常時の系統からの切替に係る設計方針を記載している（伊方と同様）。 <p>【大阪】記載方針の相違（相違理由①）</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 使用済燃料ピット水位（可搬型）には計装ケーブルの接続があること、空冷装置は監視カメラとの接続があることから、接続性について記載した。 <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】設計方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊の使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、タイヤ付きの台車に搭載しているため、大阪の送水車及び大容量ポンプ（放水砲用）と同様に車輪止めにより固定する。等には、運搬台車のタイヤロックが該当する。 <p>【大阪】記載方針等の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> どこの放射線量率の相関を評価するのかわかり易くなるよう記載した。（伊方と |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|--|---|
| <p>【大飯3/4号炉54条まとめ資料より転載】</p> <p>送水車及び大容量ポンプ（放水砲用）は、車両として移動可能な設計とするとともに、車輪止めを搭載し設置場所にて固定できる設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、接続規格を統一することにより、確実に接続できる設計とする。</p> | <p>可搬型計測器は、設計基準対象施設とは兼用しないため、想定される重大事故等時に切り替えることなく使用できる設計とする。可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、ボルト・ネジ接続とし、接続規格を統一することにより、一般的に使用される工具を用いて確実に接続できる設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所で操作が可能な設計とする。</p> <p>【玄海3/4号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型計測器（原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量（注水量）計測用）の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、現場で確実に接続できる設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所での操作が可能な設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用できる設計とする。接続口は、3号炉及び4号炉とも同一規格の接続を行う設計とする。</p> <p>【比較のため伊方3号炉まとめ資料より転載】</p> <p>格納容器水素濃度、アンユラス水素濃度（AM）、原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力、格納容器再循環ユニット入口温度及び格納容器再循環ユニット出口温度の計測装置並びに可搬型計測器は、屋内のアクセスルートを通行して設置場所まで移動できる設計とする。</p> <p>【島根2号炉まとめ資料より転載】</p> <p>可搬型計測器は、設計基準対象施設とは兼用しないため、想定される重大事故等時に切り替えることなく使用できる設計とする。可搬型計測器は、運転員等が携行して屋内のアクセスルートを通行できる設計とする。</p> | <p>可搬型計測器は、設計基準対象施設とは兼用しないため、想定される重大事故等時に切り替えることなく使用できる設計とする。可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、接続方式を統一することにより、確実に接続できる設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所で操作が可能な設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アンユラス水素濃度計測ユニットは、台車により運搬、移動し、屋内のアクセスルートを通行できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位（可搬型）及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、人力により運搬、移動し、屋内のアクセスルートを通行できる設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エアモニタは、人力により運搬、移動し、屋内及び屋外のアクセスルートを通行できる設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）、可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）及び可搬型計測器は、運転員等が携行して屋内のアクセスルートを通行できる設計とする。</p> | <p>同様）</p> <p>・「6.4.2.5 操作性の確保」で示す他設備の記載と整合を図り、使用済燃料ピット可搬型エアモニタの現場での操作ついて記載した。</p> <p>【大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】運用の相違（相違理由⑦）（プラグ接続について玄海と同様）</p> <p>【女川、大飯】記載表現の相違</p> <p>【女川】運用の相違</p> <p>・女川の可搬型の重大事故等対処設備である可搬型計測器は、すべて中央制御室で接続することとしており、屋内及び屋外のアクセスルートは不要であるため、女川はアクセスルートに係る記載なし。</p> <p>【伊方】設備名称の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>・女川を除くBWRは、アクセスルートについて記載しており、島根（BWR）の記載表現を反映し運搬方法を記載した（島根と同様）。</p> <p>【伊方】記載方針の相違</p> <p>・伊方は、使用済燃料ピット関連の可搬型設備について、54条にて記載している。</p> <p>【伊方】設備名称の相違</p> <p>【伊方】記載表現の相違</p> <p>・女川を除くBWRは、アクセスルートについて記載しており、島根（BWR）の記載表現を反映し運搬方法を記載した（島根と同様）。等には、災害対策要員が含まれる。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|--|-----------------------------|
| | <p>6.4.3 主要設備及び仕様</p> <p>計装設備（重大事故等対処設備）の主要機器仕様並びに重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを第6.4-1表及び第6.4-2表に、代替パラメータによる主要パラメータの推定を第6.4-3表に示す。また、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータを第6.4-4表に示す。</p> | <p>6.4.3 主要設備及び仕様</p> <p>計装設備（重大事故等対処設備）の主要機器仕様並びに重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを第6.4.1表及び第6.4.2表に、代替パラメータによる主要パラメータの推定を第6.4.3表に示す。また、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータを第6.4.4表に示す。</p> | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|---|
| <p>(2) 試験・検査</p> <p>重要な監視パラメータ及び重要代替パラメータを計測する計器は、特性の確認が可能なように、模擬入力による校正、標準器による校正又は線源校正ができる設計とする。また、警報動作を有するパラメータについては、特性の確認が可能なように、模擬入力による設定値確認ができる設計とする。</p> | <p>6.4.4 試験検査</p> <p>基本方針については、「1.1.7.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による機能・性能の確認（特性の確認）及び校正が可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム（SPDS）は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による性能の確認が可能な設計とする。</p> | <p>6.4.4 試験検査</p> <p>基本方針については、「1.1.10.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による機能・性能の確認（特性の確認）及び校正が可能な設計とする。</p> <p>データ伝送設備（発電所内）は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）及び可搬型計測器は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による性能の確認が可能な設計とする。</p> | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由④）</p> <p>【女川】設備の相違 ・泊は、可搬型計測器以外に可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）を使用するため、試験検査について記載。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|--|--|
| <p>表 2.15-1 計装設備（常設）の設備仕様</p> <p>(1) 1次冷却材高温側温度（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 4 計 測 範 囲 0～400℃</p> <p>(2) 1次冷却材低温側温度（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 4 計 測 範 囲 0～400℃</p> <p>(3) 1次冷却材圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～20.6MPa[gage]</p> <p>(4) 加圧器水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～100%</p> <p>(5) 原子炉水位</p> | <p>第6.4-1表 計装設備（重大事故等対処設備）の主要機器仕様</p> <p>(1) 原子炉圧力容器温度 個 数 5 計 測 範 囲 0～500℃</p> <p>(2) 原子炉圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～10MPa[gage]</p> <p>(3) 原子炉圧力（SA） 個 数 2 計 測 範 囲 0～11MPa[gage]</p> <p>(4) 原子炉水位（広帯域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 -3,800mm～1,500mm^{※1}</p> <p>(5) 原子炉水位（燃料域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 -3,800mm～1,300mm^{※2}</p> <p>(6) 原子炉水位（SA広帯域） 個 数 1 計 測 範 囲 -3,800mm～1,500mm^{※1}</p> <p>(7) 原子炉水位（SA燃料域） 個 数 1 計 測 範 囲 -3,800mm～1,300mm^{※2}</p> <p>(8) 高圧代替注水系ポンプ出口流量 個 数 1 計 測 範 囲 0～120m³/h</p> <p>(9) 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイ）</p> | <p>第6.4.1表 計装設備（重大事故等対処設備）の主要仕様</p> <p>(1) 1次冷却材温度（広域—高温側） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 3 計 測 範 囲 0～400℃</p> <p>(2) 1次冷却材温度（広域—低温側） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 3 計 測 範 囲 0～400℃</p> <p>(3) 1次冷却材圧力（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～21.0MPa[gage]</p> <p>(4) 加圧器水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～100%</p> <p>(5) 原子炉容器水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】【女川】既許可における記載の相違</p> <p>【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） ・女川実績の反映により、第6.4.1表は重大事故等対処設備を記載するとして表タイトルを見直したことによる（以降、同様の相違理由は、相違理由の記載を省略する）。 【大阪】設備構成の相違 ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違。 【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】設備構成の相違 ・大阪は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違。 【大阪】設備名称の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】設備の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし）（伊方と同様）</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大阪】設備名称の相違 【大阪】設備の相違 ・泊は設計基準事象対象設備及び重大事故等対処設備で兼用するのに対し、大阪は</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|---|--|
| 個数 1 計測範囲 0～100% (6) 高压注入流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 0～400m ³ /h (7) 余熱除去流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 0～1,300m ³ /h (8) 恒設代替低圧注水積算流量 個数 1 計測範囲 0～160m ³ /h（積算：0～10,000m ³ ） (9) 格納容器スプレイ積算流量 個数 1 計測範囲 0～1,700m ³ /h（積算：0～10,000m ³ ） (10) 格納容器内温度 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 0～220℃ (11) 格納容器圧力（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 -50～450kPa[gage] | ライン洗浄流量) 個数 1 計測範囲 0～220m ³ /h (10) 残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量） 個数 1 計測範囲 0～220m ³ /h (11) 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 個数 1 計測範囲 0～100m ³ /h (12) 代替循環冷却ポンプ出口流量 個数 1 計測範囲 0～200m ³ /h (13) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 1 計測範囲 0～150m ³ /h (14) 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 1 計測範囲 0～1,500m ³ /h (15) 残留熱除去系ポンプ出口流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 3 計測範囲 0～1,500m ³ /h (16) 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 1 計測範囲 0～1,500m ³ /h (17) 原子炉格納容器代替スプレイ流量 個数 2 計測範囲 0～100m ³ /h (18) 原子炉格納容器下部注水流量 | 個数 1 計測範囲 0～100% (6) 高压注入流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0～350m ³ /h (7) 低圧注入流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0～1,100m ³ /h (8) 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 個数 1 計測範囲 0～200m ³ /h（積算：0～10,000m ³ ） (9) B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） 個数 1 計測範囲 0～1,300m ³ /h（積算：0～10,000m ³ ） (10) 格納容器内温度 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0～220℃ (11) 原子炉格納容器圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0～0.35MPa[gage] | 重大事故等対処設備のみであるため。 【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】設備の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし）（伊方と同様） 【大阪】設備名称の相違 【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】設備の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし）（伊方と同様） 【大阪】設備名称の相違 【大阪】設備の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし）（伊方と同様） 【大阪】設備名称の相違 【大阪】設備の相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし）（伊方と同様） 【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） 【大阪】設備名称の相違 【大阪】設備の相違 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|--|--|
| <p>(12) AM用格納容器圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 1 計 測 範 囲 0～1.5MPa[gage]</p> | <p>個 数 1 計測範囲 0～110m³/h</p> <p>(19) ドライウェル温度 個 数 11 計測範囲 0～300℃</p> <p>(20) 圧力抑制室内空気温度 個 数 4 計測範囲 0～300℃</p> <p>(21) サプレッションプール水温度 個 数 16 計測範囲 0～200℃</p> | <p>(12) 格納容器圧力（AM用）</p> <p>個 数 2 計測範囲 0～1.0MPa[gage]</p> | <p>・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし）（伊方と同様）</p> <p>【大阪】設備名称の相違 【大阪】設備の相違</p> <p>・泊は重大事故等対処設備であるのに対し、大阪は設計基準対象設備及び重大事故等対処設備を兼用するため。</p> <p>【大阪】設備数の相違（高浜3/4と同様） 【大阪】設備の相違</p> <p>・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし）（伊方と同様）</p> |
| <p>(13) 格納容器再循環サンプル水位（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～100%</p> | <p>(22) 原子炉格納容器下部温度 個 数 12 計測範囲 0～700℃</p> <p>(23) ドライウェル圧力 個 数 1 計測範囲 0～1MPa [abs]</p> | <p>(13) 格納容器再循環サンプル水位（広域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 0～100%</p> | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> |
| <p>(14) 格納容器再循環サンプル水位（狭域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備）</p> <p>個 数 2 計 測 範 囲 0～100%</p> | <p>(24) 圧力抑制室圧力 個 数 1 計測範囲 0～1MPa [abs]</p> <p>(25) 圧力抑制室水位 個 数 2 計測範囲 0～5m (O.P. -3900mm～1100mm) *3</p> | <p>(14) 格納容器再循環サンプル水位（狭域） 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装</p> <p>個 数 2 計測範囲 0～100%</p> | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> |
| <p>(15) 原子炉格納容器水位 個 数 1 計 測 範 囲 ON-OFF</p> | <p>(26) 原子炉格納容器下部水位 個 数 12 計測範囲 0.5m, 1.0m, 1.5m, 2.0m, 2.5m, 2.8m (O.P. -2000mm, -1500mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm) *3</p> | <p>(15) 格納容器水位 個 数 1 計測範囲 ON-OFF</p> | <p>【大阪】設備名称の相違</p> |
| <p>(16) 原子炉下部キャビティ水位 個 数 1 計 測 範 囲 ON-OFF</p> | <p>(27) ドライウェル水位 個 数 6 計測範囲 0.02m, 0.23m, 0.34m (O.P. 1170mm, 1380mm, 1490mm) *3</p> | <p>(16) 原子炉下部キャビティ水位 個 数 1 計測範囲 ON-OFF</p> | <p>【大阪】記載方針の相違（相違理由②）</p> |
| <p>(17) 格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ）</p> | <p>(28) 格納容器内水素濃度（D/W） 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備</p> | <p>(17) 原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置 第9.7.1表 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>(18) 格納容器水素イグナイト温度監視装置 第9.7.1表 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備の主要仕様に記載する。</p> | <p>【大阪】記載方針の相違（相違理由②）</p> |
| | | <p>(19) 格納容器内高レンジエアモニタ（低レンジ） 第8.3.2表 放射線管理設備（重大事故等時）の主要仕様に</p> | <p>【大阪】記載方針の相違</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|---|---|
| <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線管理設備 計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 10²~10⁷μSv/h</p> <p>(18) 格納容器内高レンジエリアモニタ(高レンジ)</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線管理設備 計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 10³~10⁸mSv/h</p> <p>(19) 出力領域中性子束</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 炉外核計装 計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 4(上部と下部の中性子束平均) 計測範囲 0~120%</p> <p>(20) 中間領域中性子束</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 炉外核計装 計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 10⁻¹¹~5×10⁻³A</p> <p>(21) 中性子源領域中性子束</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 炉外核計装 計装設備（重大事故等対処設備） | <p>個数 2 計測範囲 0~100vo1%</p> <p>(29) 格納容器内水素濃度 (S/C)</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 <p>個数 2 計測範囲 0~100vo1%</p> <p>(30) 格納容器内雰囲気気水素濃度</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉プラントプロセス計装 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 <p>個数 4 計測範囲 0~30vo1%/0~100vo1%</p> <p>(31) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/W)</p> <p>第8.1-2表 放射線管理設備（重大事故等時）の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(32) 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C)</p> <p>第8.1-2表 放射線管理設備（重大事故等時）の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(33) 起動領域モニタ</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉核計装 <p>個数 8 計測範囲 10⁻¹cps~10⁶cps (1×10³cm⁻²・s⁻¹~1×10⁹cm⁻²・s⁻¹) 0~40%又は0~125% (1×10⁸cm⁻²・s⁻¹~2×10¹³cm⁻²・s⁻¹)</p> <p>(34) 平均出力領域モニタ</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉核計装 <p>個数 6⁴ 計測範囲 0~125% (1.2×10¹²cm⁻²・s⁻¹~2.8×10¹⁴cm⁻²・s⁻¹)</p> <p>(35) フィルタ装置水位 (広帯域)</p> <p>個数 3 計測範囲 0~3,650mm</p> <p>(36) フィルタ装置入口圧力 (広帯域)</p> | <p>記載する。</p> <p>【参考：引用先の記載】</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線管理設備（通常運転時等） 計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 10²~10⁷μSv/h</p> <p>(20) 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</p> <p>第8.3.2表 放射線管理設備（重大事故等時）の主要仕様に記載する。</p> <p>【参考：引用先の記載】</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 放射線管理設備（通常運転時等） 計装設備（重大事故等対処設備） <p>個数 2 計測範囲 10³~10⁸mSv/h</p> <p>(21) 出力領域中性子束</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉計装 <p>個数 4(上部と下部の中性子束平均) 計測範囲 0~120% (3.3×10⁵~1.2×10¹⁰cm⁻²・s⁻¹)</p> <p>(22) 中間領域中性子束</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉計装 <p>個数 2 計測範囲 10⁻¹¹~5×10⁻³A (1.3×10²~6.6×10¹⁰cm⁻²・s⁻¹)</p> <p>(23) 中性子源領域中性子束</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉計装 | <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、通常運転時と重大事故等時に使用する設備を分けて記載している。 <p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊では、通常運転時と重大事故等時に使用する設備を分けて記載している。 <p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現を反映し(起動領域モニタ及び平均出力領域モニタの計測範囲)、計測範囲に対応する中性子束レベルを記載した。 <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> <p>【大阪】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 女川の記載表現を反映し(起動領域モニタ及び平均出力領域モニタの計測範囲)、計測範囲に対応する中性子束レベルを記載した。 <p>【大阪】記載表現の相違</p> <p>【大阪】記載方針の相違(女川実績の反映)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|---|
| 個数 2 計測範囲 1~10 ⁶ cps | 個数 1 計測範囲 -0.1MPa~1MPa[gage] | 個数 2 計測範囲 1~10 ⁶ cps (10 ⁻¹ ~10 ⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹) | 【大飯】記載方針の相違 |
| (22) 蒸気発生器水位(狭域) 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備(重大事故等対処設備) | (37) フィルタ装置出口圧力(広帯域) 個数 1 計測範囲 -0.1MPa~1MPa[gage] | (24) 蒸気発生器水位(狭域) 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 | ・女川の記載表現を反映し(起動領域モニタ及び平均出力領域モニタの計測範囲)、計測範囲に対応する中性子束レベルを記載した。 |
| 個数 8 計測範囲 0~100% | (38) フィルタ装置水温度 個数 3 計測範囲 0~200℃ | 個数 6 計測範囲 0~100% | 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備構成の相違 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違 |
| (23) 蒸気発生器水位(広域) 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備(重大事故等対処設備) | (39) フィルタ装置出口放射線モニタ 第8.1-2表 放射線管理設備(重大事故等時)の主要機器仕様に記載する。 | (25) 蒸気発生器水位(広域) 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 | 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備構成の相違 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違 |
| 個数 4 計測範囲 0~100% | (40) フィルタ装置出口水素濃度 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 | 個数 3 計測範囲 0~100% | 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備構成の相違 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違 |
| (24) 蒸気発生器補助給水流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備(重大事故等対処設備) | (41) 耐圧強化ベント系放射線モニタ 第8.1-2表 放射線管理設備(重大事故等時)の主要機器仕様に記載する。 | (26) 補助給水流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 | 【大飯】設備名称の相違 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備構成の相違 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。(必要な範囲を計測できることに相違なし) |
| 個数 4 計測範囲 0~210m ³ /h | (42) 残留熱除去系熱交換器入口温度 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 | 個数 3 計測範囲 0~130m ³ /h | 【大飯】設備名称の相違 |
| (25) 主蒸気圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備(重大事故等対処設備) | (43) 残留熱除去系熱交換器出口温度 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 | (27) 主蒸気ライン圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 | 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) 【大飯】設備構成の相違 ・大飯は4ループ、泊は3ループプラントであることによる相違 ・設備の相違により計測範囲が異なる。(必要な範囲を計測できることに相違なし)(伊方と同様) |
| 個数 8 計測範囲 0~9.0MPa[gage] | (44) 原子炉補機冷却水系系統流量 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 | 個数 6 計測範囲 0~8.5MPa[gage] | 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) |
| (26) 原子炉補機冷却水サージタンク水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備(重大事故等対処設備) | (45) 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 兼用する設備は以下のとおり。 | (28) 原子炉補機冷却水サージタンク水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 | 【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映) |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|-------------------------------------|
| 個数 2 計測範囲 0~100% | ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~1,500m ³ /h | 個数 2 計測範囲 0~100% | |
| (27) 燃料取替用水ピット水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 0~100% | (46) 復水貯蔵タンク水位 個数 1 計測範囲 0~3,200m ³ (47) 高圧代替注水系ポンプ出口圧力 個数 1 計測範囲 0~15MPa[gage] | (29) 燃料取替用水ピット水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~100% | 【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） |
| (28) ほう酸タンク水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 0~100% | (48) 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 個数 1 計測範囲 0~2MPa[gage] (49) 代替循環冷却ポンプ出口圧力 個数 1 計測範囲 0~4MPa[gage] | (30) ほう酸タンク水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~100% | 【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） |
| (29) 復水ピット水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個数 2 計測範囲 0~100% | (50) 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 1 計測範囲 0~15MPa[gage] (51) 高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 1 計測範囲 0~12MPa[gage] | (31) 補助給水ピット水位 兼用する設備は以下のとおり。 ・プロセス計装 個数 2 計測範囲 0~100% | 【大阪】設備名称の相違 【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） |
| | (52) 残留熱除去系ポンプ出口圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 3 計測範囲 0~4MPa[gage] | | |
| | (53) 低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 個数 1 計測範囲 0~5MPa[gage] | | |
| | (54) 復水移送ポンプ出口圧力 個数 1 | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|--|--|
| <p>(30) 安全パラメータ表示システム（SPDS）（3号炉及び4号炉共用） 兼用する設備は以下のとおり。 ・緊急時対策所 ・通信連絡設備</p> | <p>計測範囲 0～1.5MPa [gage]</p> <p>(55) 原子炉建屋内水素濃度 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 個 数 7 計測範囲 0～10vol%</p> <p>(56) 静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 兼用する設備は以下のとおり。 ・水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 個 数 8 計測範囲 0～500℃</p> <p>(57) 格納容器内雰囲気酸素濃度 兼用する設備は以下のとおり。 ・原子炉プラント・プロセス計装 ・水素爆発による原子炉格納容器の損傷を防止するための設備 個 数 2 計測範囲 0～30vol%</p> <p>(58) 使用済燃料プール水位／温度（ヒートサーモ式） 第4.3-1表 使用済燃料プールの冷却等のための設備の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(59) 使用済燃料プール水位／温度（ガイドパルス式） 第4.3-1表 使用済燃料プールの冷却等のための設備の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(60) 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ（高線量，低線量） 第8.1-2表 放射線管理設備（重大事故等時）の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(61) 使用済燃料プール監視カメラ 第4.3-1表 使用済燃料プールの冷却等のための設備の主要機器仕様に記載する。</p> <p>(62) 安全パラメータ表示システム（SPDS） 第10.12-2表 通信連絡を行うために必要な設備（常設）の主要機器仕様に記載する。</p> | <p>(32) 使用済燃料ピット水位（AM用） 第4.2.1表 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>(33) 使用済燃料ピット温度（AM用） 第4.2.1表 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>(34) 使用済燃料ピット監視カメラ（使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置を含む。） 第4.2.1表 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>(35) データ伝送設備（発電所内） 第10.12.2表 通信連絡を行うために必要な設備の主要仕様に記載する。</p> | <p>【大阪】記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【大阪】記載方針の相違 ・相違理由①</p> <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊は、女川記載表現を反映し、データ伝送設備（発電所内）を構成する個別設備を記載せず、第10.12.2表に記載している。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|-------------|---------|---|
| <p>・計装設備（重大事故等対処設備） 個 数 一式</p> <p>(31) SPDS表示装置（3号炉及び4号炉共用） 兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緊急時対策所 ・通信連絡設備 ・計装設備（重大事故等対処設備） 個 数 一式 | | | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、女川の記載表現を反映し、データ伝送設備（発電所内）を構成する個別設備を記載せず、第10.12.2表に記載している。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|----------------|---------|------|----------|----|---|------|----------|----|--------|------|----------------|--|---|----|--------|------|----------|----|--------|------|----------|----|--------|------|----------------|--|
| <p>表 2.15-2 計装設備（可搬型）の設備仕様</p> <p>(1) 可搬型格納容器水素ガス濃度</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 計装設備（重大事故等対処設備） <table border="1" data-bbox="107 459 470 518"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～20vol%</td> </tr> </table> <p>【比較のため大飯3/4号炉53条まとめ資料より転載】</p> <p>(4) アニュラス水素濃度計</p> <table border="1" data-bbox="107 869 470 928"> <tr> <td>個数</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～20vol%</td> </tr> </table> <p>(2) 原子炉補機冷却水サージタンク加圧ライン圧力</p> <table border="1" data-bbox="107 1157 470 1216"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～1.6MPa[gage]</td> </tr> </table> | 個数 | 1（予備1） | 計測範囲 | 0～20vol% | 個数 | 2 | 計測範囲 | 0～20vol% | 個数 | 1（予備1） | 計測範囲 | 0～1.6MPa[gage] | | <p>(37) 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</p> <p>第9.7.1表 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>【参考：引用先の記載】</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水素爆発による原子炉格納容器の破損を防止するための設備 計装設備（重大事故等対処設備） <table border="1" data-bbox="1276 459 1639 518"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～20vo1%</td> </tr> </table> <p>(37) 可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット</p> <p>第9.8.1表 水素爆発による原子炉建屋等の破損を防止するための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>【参考：引用先の記載】</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 水素爆発による原子炉建屋等の損傷を防止するための設備 計装設備（重大事故等対処設備） <table border="1" data-bbox="1276 896 1639 956"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～20vo1%</td> </tr> </table> <p>(38) 原子炉補機冷却水サージタンク圧力（可搬型）</p> <table border="1" data-bbox="1276 1157 1639 1216"> <tr> <td>個数</td> <td>1（予備1）</td> </tr> <tr> <td>計測範囲</td> <td>0～1.0MPa[gage]</td> </tr> </table> <p>(39) 使用済燃料ピット水位（可搬型）</p> <p>第4.2.1表 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>(40) 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ</p> | 個数 | 1（予備1） | 計測範囲 | 0～20vo1% | 個数 | 1（予備1） | 計測範囲 | 0～20vo1% | 個数 | 1（予備1） | 計測範囲 | 0～1.0MPa[gage] | <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <p>【大飯】既設置許可における記載の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <p>【大飯】設備名称の相違</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <p>・大飯はアニュラス水素濃度について53条で整理しているのに対し、泊は計装設備として58条においても基準適合性を整理する（58条で整理することは伊方と同様であるが、伊方は泊の第6.4.2表に相当する表がない）。</p> <p>【大飯】設備の相違</p> <p>・大飯は、アニュラス水素濃度を常設設備で計測しており、個数も異なる。個数の考え方は、1セット1個に故障時及び保守点検による待機除外のバックアップ用として1個を加えた合計2個としており、伊方と同様である。</p> <p>【大飯】設備仕様の相違</p> <p>・設備の相違により計測範囲が異なる。（必要な範囲を計測できることに相違なし）（伊方と同様）</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> <p>・相違理由①</p> <p>【大飯】記載方針の相違</p> |
| 個数 | 1（予備1） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計測範囲 | 0～20vol% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個数 | 2 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計測範囲 | 0～20vol% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個数 | 1（予備1） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計測範囲 | 0～1.6MPa[gage] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個数 | 1（予備1） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計測範囲 | 0～20vo1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個数 | 1（予備1） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計測範囲 | 0～20vo1% | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 個数 | 1（予備1） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計測範囲 | 0～1.0MPa[gage] | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|---|--|
| <p>(3) 可搬型温度計測装置</p> <p>個数 3^{*1} (予備1) 計測範囲 0~200℃ ※1 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 (SA) 用</p> <p>(4) 可搬型計測器</p> <p>個数 40 (3号炉及び4号炉共用の予備40) 計測範囲 —^{*1} ※1 計測範囲については、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表を用いて工学値に換算する。</p> | <p>(63) 可搬型計測器</p> <p>個数 26 (予備26)</p> <p>*1：基準点はドライヤスカート底部付近（原子炉圧力容器零レベルより1,313cm上） *2：基準点は有効燃料棒頂部付近（原子炉圧力容器零レベルより900cm上） *3：O.P.（女川原子力発電所工事用基準面）=T.P.（東京湾平均海面）-0.74m *4：局部出力領域モニタの検出器は124個であり、平均出力領域モニタの各チャンネルには、A系17個及びB系14個ずつの言号が入力される。</p> | <p>第4.2.1表 使用済燃料貯蔵槽の冷却等のための設備の主要仕様に記載する。</p> <p>(41) 可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度） 兼用する設備は以下のとおり。 ・最終ヒートシンクへ熱を輸送するための設備 ・原子炉格納容器内の冷却等のための設備 ・原子炉格納容器の過圧破損を防止するための設備</p> <p>個数 3 (予備1) 計測範囲 0~200℃</p> <p>(42) 可搬型計測器</p> <p>個数 38 (予備38) 計測範囲 —^{*1} ※1 計測範囲については、可搬型計測器に表示される計測結果を読み取り、換算表を用いて工学値に換算する。</p> | <p>相違理由①</p> <p>【大阪】 設備名称の相違 【大阪】 記載方針の相違</p> <p>【大阪】 記載表現の相違 ・泊は、設備名称として記載。</p> <p>【大阪】 設備構成の相違 ・設置許可変更申請ユニット数及び計測対象となる重要監視パラメータ数の相違に伴い保有数が異なる。 【大阪】 記載方針の相違 ・泊は複数号炉の審査ではないため、複数号炉の記載はしない。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第2.15-1表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（2/5）

Table with 7 columns: 分類, 監視パラメータ, 仕様, 計装機器, 設計基準, 監視範囲, 監視手段. Includes rows for 炉内圧力, 炉内温度, 炉内水位, etc.

(つづき)

Continuation of Table 2.15-1, listing parameters like 炉内圧力, 炉内温度, 炉内水位, etc., with detailed specifications and monitoring methods.

第6.4.2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（2/6）

Table with 7 columns: 分類, 監視パラメータ, 仕様, 計装機器, 設計基準, 監視範囲, 監視手段. Includes rows for 格納容器スプレイレイン液漏, 格納容器内温度, etc.

【大飯】設備の相違
・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-4表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（3/5）

大飯発電所3/4号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 種数 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視範囲の考え方 | 可視化 計測器 種数 |
|---|--|----|---|------|--|------------------|
| 原子炉格納容器内の水素濃度 | 可視化格納容器水素ガス濃度 | 1 | 0~20vol% | — | 重大事故等時において、水素濃度15vol%を監視可能。 | — |
| 原子炉格納容器内の放射線量 | 格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ） ^① 格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ） ^② | 2 | 10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ Sv/h | — | 原子炉格納容器内での10 ⁻⁶ Sv/h以上を監視可能。格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ）と格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ）は計測範囲をオーバーラップするよう設定。 | — |
| 放射線量率 | 格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ） ^① | 2 | 10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ Sv/h | — | 設計基準事故時、事故初期は中性子束の急激に上昇し、一時的に計測範囲を超えるが、格納容器内の放射線量率に急激な変動は生じない。また、重大事故等時においては計測範囲を上回る放射線量率が生じない。計測範囲の下限は0~10 ⁻⁶ Sv/hに設定可能。 | — |
| 水素ガス濃度 検出又は監視 | 出力領域中性子束 ^① 中間領域中性子束 ^② 中性子領域中性子束 ^③ | 3 | 0~120% (注1)10 ⁻⁶ ~1.2×10 ⁻⁶ neut./sec. 10 ⁻⁶ ~5×10 ⁻⁶ neut./sec. (注2)10 ⁻⁶ ~6.0×10 ⁻⁶ neut./sec. 1~10cps (注3)10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ neut./sec. | — | 設計基準事故時、事故初期は中性子束の急激に上昇し、一時的に計測範囲を超えるが、格納容器内の放射線量率に急激な変動は生じない。また、重大事故等時においては計測範囲を上回る放射線量率が生じない。計測範囲の下限は0~10 ⁻⁶ Sv/hに設定可能。 | — |
| 1次冷却系高圧側温度（圧力） ^④ 1次冷却系低圧側温度（圧力） ^⑤ 2次冷却系温度 | 1次冷却系高圧側温度（圧力） ^④ 1次冷却系低圧側温度（圧力） ^⑤ 2次冷却系温度 | 3 | 0~2000kPa | — | 重大事故等時において、水素濃度15vol%を監視可能。 | — |
| 原子炉格納容器内の放射線量 | 格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ） ^① 格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ） ^② | 2 | 10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ Sv/h | — | 原子炉格納容器内での10 ⁻⁶ Sv/h以上を監視可能。格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ）と格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ）は計測範囲をオーバーラップするよう設定。 | — |

(つづき)

女川原子力発電所2号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 種数 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視範囲の考え方 | 可視化 計測器 種数 |
|---|--|----|---|------|--|------------------|
| 原子炉格納容器内の水素濃度 | 格納容器内水素濃度 | 1 | 0~20vol% | — | 重大事故等時において、水素濃度15vol%を監視可能。 | — |
| 原子炉格納容器内の放射線量 | 格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ） ^① 格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ） ^② | 2 | 10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ Sv/h | — | 原子炉格納容器内での10 ⁻⁶ Sv/h以上を監視可能。格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ）と格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ）は計測範囲をオーバーラップするよう設定。 | — |
| 放射線量率 | 出力領域中性子束 ^① 中間領域中性子束 ^② 中性子領域中性子束 ^③ | 3 | 0~120% (注1)10 ⁻⁶ ~1.2×10 ⁻⁶ neut./sec. 10 ⁻⁶ ~5×10 ⁻⁶ neut./sec. (注2)10 ⁻⁶ ~6.0×10 ⁻⁶ neut./sec. 1~10cps (注3)10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ neut./sec. | — | 設計基準事故時、事故初期は中性子束の急激に上昇し、一時的に計測範囲を超えるが、格納容器内の放射線量率に急激な変動は生じない。また、重大事故等時においては計測範囲を上回る放射線量率が生じない。計測範囲の下限は0~10 ⁻⁶ Sv/hに設定可能。 | — |
| 1次冷却系高圧側温度（圧力） ^④ 1次冷却系低圧側温度（圧力） ^⑤ 2次冷却系温度 | 1次冷却系高圧側温度（圧力） ^④ 1次冷却系低圧側温度（圧力） ^⑤ 2次冷却系温度 | 3 | 0~2000kPa | — | 重大事故等時において、水素濃度15vol%を監視可能。 | — |
| 原子炉格納容器内の放射線量 | 格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ） ^① 格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ） ^② | 2 | 10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ Sv/h | — | 原子炉格納容器内での10 ⁻⁶ Sv/h以上を監視可能。格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ）と格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ）は計測範囲をオーバーラップするよう設定。 | — |

第6.4.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（3/6）

泊発電所3号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 種数 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視範囲の考え方 | 可視化 計測器 種数 |
|---|--|----|---|-------|--|------------------|
| 原子炉格納容器内の水素濃度 | 格納容器内水素濃度 | 1 | 0~20vol% | —(注3) | 原子炉格納容器内の水素濃度の可能性（水素濃度：4vol%）を把握する上で監視可能。原子炉の著しい損傷時に原子炉格納容器内の水素濃度が変動する可能性のある範囲（0~15vol%）を監視可能。 | — |
| 原子炉格納容器内の放射線量 | 格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ） ^① 格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ） ^② | 2 | 10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ Sv/h | —(注3) | 原子炉格納容器内での10 ⁻⁶ Sv/h以上を監視可能。格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ）と格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ）は計測範囲をオーバーラップするよう設定。 | — |
| 放射線量率 | 出力領域中性子束 ^① 中間領域中性子束 ^② 中性子領域中性子束 ^③ | 3 | 0~120% (注1)10 ⁻⁶ ~1.2×10 ⁻⁶ neut./sec. 10 ⁻⁶ ~5×10 ⁻⁶ neut./sec. (注2)10 ⁻⁶ ~6.0×10 ⁻⁶ neut./sec. 1~10cps (注3)10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ neut./sec. | —(注3) | 設計基準事故時、事故初期は中性子束が急激に上昇し、一時的に計測範囲を超えるが、格納容器内の放射線量率に急激な変動は生じない。また、重大事故等時においては計測範囲を上回る放射線量率が生じない。計測範囲の下限は0~10 ⁻⁶ Sv/hに設定可能。 | — |
| 1次冷却系高圧側温度（圧力） ^④ 1次冷却系低圧側温度（圧力） ^⑤ 2次冷却系温度 | 1次冷却系高圧側温度（圧力） ^④ 1次冷却系低圧側温度（圧力） ^⑤ 2次冷却系温度 | 3 | 0~2000kPa | —(注3) | 重大事故等時において、水素濃度15vol%を監視可能。 | — |
| 原子炉格納容器内の放射線量 | 格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ） ^① 格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ） ^② | 2 | 10 ⁻⁶ ~10 ⁻⁸ Sv/h | —(注3) | 原子炉格納容器内での10 ⁻⁶ Sv/h以上を監視可能。格納容器内高圧モニタ（高圧レンジ）と格納容器内低圧モニタ（低圧レンジ）は計測範囲をオーバーラップするよう設定。 | — |

【大飯】設備の相違
 ・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。
 【大飯】記載方針の相違（相違理由②）

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-4表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（4/5）

大飯発電所3/4号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 重要代替パラメータ | 単位 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視能力 (計測範囲の考え方) | 可観測 計測器 の設置位置 |
|----|-------------------------|----|-------------------------|--|---|---------------------|
| | 格納容器圧力 (注1) ※1 | | | 最大値：100%以上 (注3) 最小値：0%以下 (注4) | 原子炉格納容器内の圧力を監視するパラメータと同じ | |
| | 蒸気発生器水位 (注5) ※1 | | 0~100% | 最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注6) | 格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能。「蒸気発生器水位 (注5)」と相まって、重大事故等時における蒸気発生器水位の変動を把握できる。 | 4 |
| | 蒸気発生器水位 (注5) ※1 | | 0~100% | 最大値：100%以上 (注5) 最小値：0%以下 (注6) | 格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能。重大事故等時における蒸気発生器水位の変動を把握できる。(注7) | 4 |
| | 蒸気発生器補給水流量 ※1 | | 0~210 m ³ /h | 最大値：108 m ³ /h (注8) | 補給給水流量 (108m ³ /h) を監視可能。重大事故等時において監視可能。 | 4 |
| | 蒸気発生器補給水圧力 ※1 | | 0~9.0MPa (gauge) | 最大値：7.84 MPa (gauge) | 2次冷却系高圧側圧力 (8.12MPa(gauge)) を監視可能。重大事故等時において監視可能。 | 4 |
| | 原子炉補給ポンプ出力流量 ※1 | | 0~1.0MPa (gauge) | 100% | 監視範囲 0~100% を監視可能。重大事故等時において監視可能。 | 1 |
| | 原子炉補給ポンプ出力圧力 ※1 | | 0~1.0MPa (gauge) | — (注3) | 原子炉補給ポンプ出力圧力 (0.3MPa(gauge)) を監視可能。 | — |
| | 可観測蒸気発生器出口温度 ※1 | | 0~200℃ (注9) | — (注3) | 設計基準事故時における蒸気発生器出口温度 (141℃) を監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度 (141℃) を監視可能。 | 3 |
| | AM用格納容器圧力 ※1 | | | | 原子炉補給容器内の圧力を監視するパラメータと同じ | |
| | 格納容器内温度 ※1 | | | | 原子炉補給容器内の温度を監視するパラメータと同じ | |
| | 1次冷却材最高温度 (注10) ※1 | | | | 原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ | |
| | 1次冷却材最低温度 (注10) ※1 | | | | 原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ | |
| | 1次冷却材圧力 ※1 | | | | 1次冷却材圧力を監視するパラメータと同じ | |

(つづき)

女川原子力発電所2号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 重要代替パラメータ | 単位 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視能力 (計測範囲の考え方) | 可観測 計測器 の設置位置 |
|----|-------------------------|----|---------------|------|---|---------------------|
| | 格納容器圧力 (注1) ※1 | | 0~220% (注1) | — | 蒸気発生器出口温度 (注1) 及び格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能 (注2) により監視可能。 | 1 |
| | 蒸気発生器水位 (注5) ※1 | | 0~220% (注1) | — | 蒸気発生器出口温度 (注1) 及び格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能 (注2) により監視可能。 | 1 |
| | 蒸気発生器水位 (注5) ※1 | | 0~100% (注1) | — | 蒸気発生器出口温度 (注1) 及び格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能 (注2) により監視可能。 | 1 |
| | 蒸気発生器補給水流量 ※1 | | 0~220% (注1) | — | 蒸気発生器出口温度 (注1) 及び格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能 (注2) により監視可能。 | 1 |
| | 蒸気発生器補給水圧力 ※1 | | 0~1.0MPa (注1) | — | 蒸気発生器出口温度 (注1) 及び格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能 (注2) により監視可能。 | 1 |
| | 原子炉補給ポンプ出力流量 ※1 | | 0~1.0MPa (注1) | — | 蒸気発生器出口温度 (注1) 及び格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能 (注2) により監視可能。 | 1 |
| | 原子炉補給ポンプ出力圧力 ※1 | | 0~1.0MPa (注1) | — | 蒸気発生器出口温度 (注1) 及び格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能 (注2) により監視可能。 | 1 |
| | 可観測蒸気発生器出口温度 ※1 | | 0~200℃ (注9) | — | 設計基準事故時における蒸気発生器出口温度 (141℃) を監視可能。 重大事故等時における蒸気発生器出口温度 (141℃) を監視可能。 | 3 |
| | AM用格納容器圧力 ※1 | | | | 原子炉補給容器内の圧力を監視するパラメータと同じ | |
| | 格納容器内温度 ※1 | | | | 原子炉補給容器内の温度を監視するパラメータと同じ | |
| | 1次冷却材最高温度 (注10) ※1 | | | | 原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ | |
| | 1次冷却材最低温度 (注10) ※1 | | | | 原子炉圧力容器内の温度を監視するパラメータと同じ | |
| | 1次冷却材圧力 ※1 | | | | 1次冷却材圧力を監視するパラメータと同じ | |

第6.4.2表 重要な監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（4/6）

泊発電所3号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 単位 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視能力 (計測範囲の考え方) | 可観測 計測器 の設置位置 |
|----|---------------------------|----|-------------------------|--|---|---------------------|
| | 原子炉格納容器圧力 ※1 | | | | 「原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | |
| | 蒸気発生器水位 (注5) ※1 | | 0~100% (注1) | 最大値：100%以上 (注6) 最小値：0%以下 (注7) | 格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能。「蒸気発生器水位 (注5)」と相まって、重大事故等時における蒸気発生器水位の変動を把握できる。 | 3 |
| | 蒸気発生器水位 (注5) ※1 | | 0~100% (注1) | 最大値：100%以上 (注6) 最小値：0%以下 (注7) | 格納容器下部から伝熱管上部まで監視可能。重大事故等時における蒸気発生器水位の変動を把握できる。(注8) | 3 |
| | 蒸気発生器補給水流量 ※1 | | 0~120 m ³ /h | 50 m ³ /h | 補給給水流量 (50m ³ /h) を監視可能。重大事故等時においても監視可能。 | 3 |
| | 蒸気発生器補給水圧力 ※1 | | 0~8.5MPa (gauge) | 最大値：約7.8MPa (gauge) | 2次冷却系高圧側圧力 (7.48MPa (gauge)) を監視可能。重大事故等時において監視可能。 | 3 |
| | 原子炉補給ポンプ出力流量 ※1 | | 0~100% (注1) | 100% | 監視範囲 0~100% を監視可能。重大事故等時において監視可能。 | 1 |
| | 原子炉補給ポンプ出力圧力 ※1 | | 0~1.0MPa (gauge) | — (注3) | 原子炉補給ポンプ出力圧力 (0.28MPa (gauge)) を監視可能。 | — |
| | 格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度 ※1 | | 0~200℃ (注9) | — (注2) | 格納容器最高使用温度 (132℃) 及び重大事故等時の格納容器最高温度 (141℃) を超える値を監視可能。 | 3 |
| | 格納容器圧力 (AM用) ※2 | | | | 「原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | |
| | 格納容器内温度 ※2 | | | | 「原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。 | |
| | 1次冷却材最高温度 (注10) ※2 | | | | 「原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。 | |
| | 1次冷却材最低温度 (注10) ※2 | | | | 「原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。 | |
| | 1次冷却材圧力 ※2 | | | | 「原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | |

相違理由

【大飯】設備の相違
 ・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-4表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（5/5）

大飯発電所3/4号炉

| 分類 | 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 単位 | 許容範囲 | 設計基準 | 相違理由 | 可搬型計測器 設置数 |
|--------------------|--------------------------|--------|--------|-----------------------------------|-----------------------------------|---------------|
| 格納容器 パイプの 監視 | 格納容器水位 (注1) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注2) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注3) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注4) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注5) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注6) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注7) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注8) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注9) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注10) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| 格納容器水位 (注11) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 | |

(つづき)

| 分類 | 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 単位 | 計測範囲 | 設計基準 | 相違理由 | 可搬型計測器 設置数 |
|--------------------|--------------------------|----|--------|--------|-----------------------------------|---------------|
| 格納容器 パイプの 監視 | 格納容器水位 (注1) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注2) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注3) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注4) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注5) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注6) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注7) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注8) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注9) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注10) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第6.4.2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ（重大事故等対処設備）（5/6）

| 分類 | 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 単位 | 計測範囲 | 設計基準 | 相違理由 | 可搬型計測器 設置数 |
|--------------------|--------------------------|----|--------|--------|-----------------------------------|---------------|
| 格納容器 パイプの 監視 | 格納容器水位 (注1) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注2) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注3) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注4) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注5) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注6) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注7) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注8) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注9) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |
| | 格納容器水位 (注10) 監視 | 水位 | 0~100% | 0~100% | 格納容器水位監視は、格納容器水位計と同一の計測範囲により監視可能。 | 1 |

【大飯】設備の相違
 ・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

(つづき)

| 分類 | 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 数値 | 計測範囲 | 設計基準 | 把握能力 (計測範囲の考え方) | 計測範囲 | 設計基準 | 計測範囲 | 把握能力 (計測範囲の考え方) |
|--------------------|--------------------------|----|------------------------|--------|---|---------------|--------|---------------|---------------------|
| 使用済燃料ピットの監視 | 使用済燃料ピット水位 (AM用) ※1 | 2 | 1. P. 25. 24 ~ 32. 70m | — (注3) | 重大事故等時において、変動する可能性のある使用済燃料ピット上端近傍から燃料貯蔵タンクと上端近傍の使用済燃料ピットの水位を監視可能。 | 使用中の燃料ピット水位 | — (注3) | 使用中の燃料ピット水位 | 使用中の燃料ピット水位を監視可能。 |
| | 使用済燃料ピット水位 (可搬型) ※1 | 2 | 1. P. 21. 30 ~ 32. 70m | — (注3) | 重大事故等時において、変動する可能性のある使用済燃料ピットの水位を監視可能。 | 使用中の燃料ピット水位 | — (注3) | 使用中の燃料ピット水位 | 使用中の燃料ピット水位を監視可能。 |
| 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 2 | 0 ~ 100 C | — (注3) | 重大事故等時において、変動する可能性のある範囲において使用済燃料ピットの温度を監視可能。 | 使用中の燃料ピット温度 | — (注3) | 使用中の燃料ピット温度 | 使用中の燃料ピット温度を監視可能。 |
| | 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 1 | 10mSV/h ~ 1,000mSV/h | — (注3) | 重大事故等時において、変動する可能性のある範囲 (2. 6µSv/h ~ 1,000mSV/h) にわたって放射線量を監視可能。 (注9) | 使用中の燃料ピット放射線量 | — (注3) | 使用中の燃料ピット放射線量 | 使用中の燃料ピット放射線量を監視可能。 |
| 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 1 | — | — (注3) | 重大事故等時において、使用済燃料ピットの状況を監視可能。 | 使用中の燃料ピット状況 | — (注3) | 使用中の燃料ピット状況 | 使用中の燃料ピット状況を監視可能。 |
| | 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 1 | — | — (注3) | 重大事故等時において、使用済燃料ピットの状況を監視可能。 | 使用中の燃料ピット状況 | — (注3) | 使用中の燃料ピット状況 | 使用中の燃料ピット状況を監視可能。 |

第6.4.2表 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (6/6)

| 分類 | 重要監視パラメータ (注1) 重要代替監視パラメータ | 数値 | 計測範囲 | 設計基準 | 把握能力 (計測範囲の考え方) |
|--------------------|-------------------------------|----|------------------------|--------|---|
| 使用済燃料ピットの監視 | 使用済燃料ピット水位 (AM用) ※1 | 2 | 1. P. 25. 24 ~ 32. 70m | — (注3) | 重大事故等時において、変動する可能性のある使用済燃料ピット上端近傍から燃料貯蔵タンクと上端近傍の使用済燃料ピットの水位を監視可能。 |
| | 使用済燃料ピット水位 (可搬型) ※1 | 2 | 1. P. 21. 30 ~ 32. 70m | — (注3) | 重大事故等時において、変動する可能性のある使用済燃料ピットの水位を監視可能。 |
| 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 2 | 0 ~ 100 C | — (注3) | 重大事故等時において、変動する可能性のある範囲において使用済燃料ピットの温度を監視可能。 |
| | 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 1 | 10mSV/h ~ 1,000mSV/h | — (注3) | 重大事故等時において、変動する可能性のある範囲 (2. 6µSv/h ~ 1,000mSV/h) にわたって放射線量を監視可能。 (注9) |
| 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 1 | — | — (注3) | 重大事故等時において、使用済燃料ピットの状況を監視可能。 |
| | 使用済燃料ピット可搬型エアモニタ※1 | 1 | — | — (注3) | 重大事故等時において、使用済燃料ピットの状況を監視可能。 |

※1：重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ ※2：重要代替監視パラメータ ※3：上端と下部の中性子束平均値 ※4：入口用1層、出口用2層
 (注1) 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの値については、原一タ伝送設備 (発電所内) のうちゲージ数計算機及び5分間表示器末又は可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) によりアラートを記録する。なお、原子炉循環冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は加圧操作時の一時的な監視であり、記録用紙へ記録する。
 (注2) 許容範囲を一時的に超えるが、このときには1次冷却材圧力 (広域) と1次冷却材温度 (広域・高温度) によって原子炉の冷却状態を監視する。
 (注3) 許容範囲を一時的に超えるが、このときにも設計基準事故時は無い。
 (注4) 炉心損傷判断の値は10mSV/hであり、設計基準事故時は急峻な急峻であるため運転監視上影響はない。
 (注5) 120%定格出力を超えるのは短時間であり、かつ出力上昇及び下降は急峻であるため運転監視上影響はない。
 (注6) 計測範囲を一時的に超えるが、100%以上であること、かつ出力上昇及び下降は急峻であるため運転監視上影響はない。
 (注7) 計測範囲を一時的に超えるが、破断前の蒸気発生率において、破断の蒸気発生率に比べて下回っていること、かつ出力上昇及び下降は急峻であるため運転監視上影響はない。
 (注8) 蒸気発生器水位 (広域) 下流を、一時的に下回る重大事故等時の現象があるが、下回っていること、かつ蒸気発生器水位がドライアウトしている又はそのおそれがあることを監視可能。
 (注9) 放射線量の1,000mSV/hは、使用済燃料ピット可搬型エアモニタ設置箇所における放射線量の最大値 (約1×10⁶µSv/h) を指す。
 (注10) 使用済燃料ピット監視カメラ※1を指す。

【大飯】記載方針の相違 (相違理由①)
 【大飯】設備の相違
 ・パラメータ個々の相違理由は第6.4.1表参照。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|-------------------|-------------------|---------|------|
| (つづき) | | | |
| <p>炉内温度計</p> | <p>炉内温度計</p> | | |
| <p>炉内温度計の仕様</p> | <p>炉内温度計の仕様</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |
| <p>炉内温度計の設置位置</p> | <p>炉内温度計の設置位置</p> | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|--|---------|----------------------|-------------------------------|---------------------|-------------------|---------------------|-------------------|-----|---------------|--|--|------------------------------|--|--|----|---------------|--|--|--|--|--|----|-----------------|--|--|--|--|--|----|-----------------|--|--|--|--|--|----|--------------------|--|--|------------------------------|--|--|----|--------------|--|--|--|--|--|------|------------------------|--|--|------------------------------|--|--|-----|--------------------------|--|--|-------------------------------|--|--|------|--------------------------|--|--|-------------------------------|--|--|----|------------------------|--|--|--|--|--|----|-------------------|--|--|------------------------|--|--|------|--------------|--|--|--|--|--|----|-----------------|--|--|--|--|--|----|--------------------|--|--|------------------------------|--|--|------|--------------|--|--|--|--|--|--|--|
| (つづき) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="703 1385 741 1433">分類</th> <th data-bbox="703 1118 741 1385">系統図記号 重要代替監視パラメータ</th> <th data-bbox="703 1038 741 1118">個数</th> <th data-bbox="703 927 741 1038">計測範囲</th> <th data-bbox="703 778 741 927">設計基準</th> <th data-bbox="703 150 741 778">監視単位 (計測範囲のみを指す)</th> <th data-bbox="703 150 741 150">可搬型 計測設備 設置</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="741 1385 779 1433">原子炉</td> <td data-bbox="741 1118 779 1385">原子炉水位 (広帯域) ②</td> <td data-bbox="741 1038 779 1118"></td> <td data-bbox="741 927 779 1038"></td> <td data-bbox="741 778 779 927">「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="741 150 779 778"></td> <td data-bbox="741 150 779 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="779 1385 817 1433">燃料</td> <td data-bbox="779 1118 817 1385">原子炉水位 (燃料域) ②</td> <td data-bbox="779 1038 817 1118"></td> <td data-bbox="779 927 817 1038"></td> <td data-bbox="779 778 817 927"></td> <td data-bbox="779 150 817 778"></td> <td data-bbox="779 150 817 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="817 1385 855 1433">圧力</td> <td data-bbox="817 1118 855 1385">原子炉水位 (SA広帯域) ②</td> <td data-bbox="817 1038 855 1118"></td> <td data-bbox="817 927 855 1038"></td> <td data-bbox="817 778 855 927"></td> <td data-bbox="817 150 855 778"></td> <td data-bbox="817 150 855 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="855 1385 893 1433">容器</td> <td data-bbox="855 1118 893 1385">原子炉水位 (SA広帯域) ②</td> <td data-bbox="855 1038 893 1118"></td> <td data-bbox="855 927 893 1038"></td> <td data-bbox="855 778 893 927"></td> <td data-bbox="855 150 893 778"></td> <td data-bbox="855 150 893 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="893 1385 931 1433">監視</td> <td data-bbox="893 1118 931 1385">原子炉圧力^①</td> <td data-bbox="893 1038 931 1118"></td> <td data-bbox="893 927 931 1038"></td> <td data-bbox="893 778 931 927">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="893 150 931 778"></td> <td data-bbox="893 150 931 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="931 1385 969 1433">設備</td> <td data-bbox="931 1118 969 1385">原子炉圧力 (SA) ②</td> <td data-bbox="931 1038 969 1118"></td> <td data-bbox="931 927 969 1038"></td> <td data-bbox="931 778 969 927"></td> <td data-bbox="931 150 969 778"></td> <td data-bbox="931 150 969 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="969 1385 1008 1433">システム</td> <td data-bbox="969 1118 1008 1385">原子炉圧力容器温度^①</td> <td data-bbox="969 1038 1008 1118"></td> <td data-bbox="969 927 1008 1038"></td> <td data-bbox="969 778 1008 927">「②原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="969 150 1008 778"></td> <td data-bbox="969 150 1008 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1008 1385 1046 1433">パイプ</td> <td data-bbox="1008 1118 1046 1385">炉下ライクウォール温度^②</td> <td data-bbox="1008 1038 1046 1118"></td> <td data-bbox="1008 927 1046 1038"></td> <td data-bbox="1008 778 1046 927">「②原子炉燃料箱容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1008 150 1046 778"></td> <td data-bbox="1008 150 1046 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1046 1385 1084 1433">システム</td> <td data-bbox="1046 1118 1084 1385">炉下ライクウォール圧力^②</td> <td data-bbox="1046 1038 1084 1118"></td> <td data-bbox="1046 927 1084 1038"></td> <td data-bbox="1046 778 1084 927">「②原子炉燃料箱容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1046 150 1084 778"></td> <td data-bbox="1046 150 1084 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1084 1385 1122 1433">監視</td> <td data-bbox="1084 1118 1122 1385">炉下圧力と相連圧力^①</td> <td data-bbox="1084 1038 1122 1118"></td> <td data-bbox="1084 927 1122 1038"></td> <td data-bbox="1084 778 1122 927"></td> <td data-bbox="1084 150 1122 778"></td> <td data-bbox="1084 150 1122 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1122 1385 1160 1433">設備</td> <td data-bbox="1122 1118 1160 1385">蒸気炉心スプレイ系統ポンプ出口圧力</td> <td data-bbox="1122 1038 1160 1118"></td> <td data-bbox="1122 927 1160 1038"></td> <td data-bbox="1122 778 1160 927">「積水側の漏洩」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1122 150 1160 778"></td> <td data-bbox="1122 150 1160 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1160 1385 1198 1433">システム</td> <td data-bbox="1160 1118 1198 1385">汽機熱源系ポンプ出口圧力</td> <td data-bbox="1160 1038 1198 1118"></td> <td data-bbox="1160 927 1198 1038"></td> <td data-bbox="1160 778 1198 927"></td> <td data-bbox="1160 150 1198 778"></td> <td data-bbox="1160 150 1198 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1198 1385 1236 1433">監視</td> <td data-bbox="1198 1118 1236 1385">炉心スプレイ系統ポンプ出口圧力</td> <td data-bbox="1198 1038 1236 1118"></td> <td data-bbox="1198 927 1236 1038"></td> <td data-bbox="1198 778 1236 927"></td> <td data-bbox="1198 150 1236 778"></td> <td data-bbox="1198 150 1236 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1236 1385 1274 1433">設備</td> <td data-bbox="1236 1118 1274 1385">原子炉圧力^①</td> <td data-bbox="1236 1038 1274 1118"></td> <td data-bbox="1236 927 1274 1038"></td> <td data-bbox="1236 778 1274 927">「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。</td> <td data-bbox="1236 150 1274 778"></td> <td data-bbox="1236 150 1274 150"></td> </tr> <tr> <td data-bbox="1274 1385 1312 1433">システム</td> <td data-bbox="1274 1118 1312 1385">原子炉圧力 (SA) ②</td> <td data-bbox="1274 1038 1312 1118"></td> <td data-bbox="1274 927 1312 1038"></td> <td data-bbox="1274 778 1312 927"></td> <td data-bbox="1274 150 1312 778"></td> <td data-bbox="1274 150 1312 150"></td> </tr> </tbody> </table> | 分類 | 系統図記号 重要代替監視パラメータ | 個数 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視単位 (計測範囲のみを指す) | 可搬型 計測設備 設置 | 原子炉 | 原子炉水位 (広帯域) ② | | | 「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。 | | | 燃料 | 原子炉水位 (燃料域) ② | | | | | | 圧力 | 原子炉水位 (SA広帯域) ② | | | | | | 容器 | 原子炉水位 (SA広帯域) ② | | | | | | 監視 | 原子炉圧力 ^① | | | 「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | | | 設備 | 原子炉圧力 (SA) ② | | | | | | システム | 原子炉圧力容器温度 ^① | | | 「②原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。 | | | パイプ | 炉下ライクウォール温度 ^② | | | 「②原子炉燃料箱容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。 | | | システム | 炉下ライクウォール圧力 ^② | | | 「②原子炉燃料箱容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | | | 監視 | 炉下圧力と相連圧力 ^① | | | | | | 設備 | 蒸気炉心スプレイ系統ポンプ出口圧力 | | | 「積水側の漏洩」を監視するパラメータと同じ。 | | | システム | 汽機熱源系ポンプ出口圧力 | | | | | | 監視 | 炉心スプレイ系統ポンプ出口圧力 | | | | | | 設備 | 原子炉圧力 ^① | | | 「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | | | システム | 原子炉圧力 (SA) ② | | | | | | | |
| 分類 | 系統図記号 重要代替監視パラメータ | 個数 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視単位 (計測範囲のみを指す) | 可搬型 計測設備 設置 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉 | 原子炉水位 (広帯域) ② | | | 「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料 | 原子炉水位 (燃料域) ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 圧力 | 原子炉水位 (SA広帯域) ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 容器 | 原子炉水位 (SA広帯域) ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視 | 原子炉圧力 ^① | | | 「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備 | 原子炉圧力 (SA) ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システム | 原子炉圧力容器温度 ^① | | | 「②原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| パイプ | 炉下ライクウォール温度 ^② | | | 「②原子炉燃料箱容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システム | 炉下ライクウォール圧力 ^② | | | 「②原子炉燃料箱容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視 | 炉下圧力と相連圧力 ^① | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備 | 蒸気炉心スプレイ系統ポンプ出口圧力 | | | 「積水側の漏洩」を監視するパラメータと同じ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システム | 汽機熱源系ポンプ出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視 | 炉心スプレイ系統ポンプ出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備 | 原子炉圧力 ^① | | | 「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| システム | 原子炉圧力 (SA) ② | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (1/16)

大阪発電所3/4号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ 〔多様性抑圧設備〕 | 代替パラメータ推定方法 |
|-------------|---|--|--|
| 原子炉圧力容器内の温度 | ①1次冷却材高温側温度（広域） ②1次冷却材低温側温度（広域） ③〔炉心出口温度〕 | ①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材高温側温度（広域） ③〔炉心出口温度〕 | ・1次冷却材高温側温度（広域）の1グループが故障した場合は、他グループの1次冷却材高温側温度（広域）により推定する。 ・1次冷却材低温側温度（広域）の計測が困難となった場合は、1次冷却材低温側温度（広域）により推定する。また、使用可能であれば炉心出口温度（多様性抑圧設備）により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 ・1次冷却材低温側温度（広域）の1グループが故障した場合は、他グループの1次冷却材低温側温度（広域）により推定する。 ・1次冷却材高温側温度（広域）の計測が困難となった場合は、1次冷却材高温側温度（広域）により推定する。また、使用可能であれば炉心出口温度（多様性抑圧設備）により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 |
| | ①炉心出口温度 | ①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材高温側温度（広域） ③1次冷却材低温側温度（広域） | ・炉心出口温度（多様性抑圧設備）の1つの検出器が故障した場合は、他検出器の炉心出口温度（多様性抑圧設備）により推定する。 ・炉心出口温度（多様性抑圧設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材高温側温度（広域）又は1次冷却材低温側温度（広域）により推定する。推定は、炉心出口のより直接的なパラメータである1次冷却材高温側温度（広域）を優先する。 |

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

女川原子力発電所2号炉

第6.4-3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ | 代替パラメータ推定方法 |
|-------------|---|---|---|
| 原子炉圧力容器内の温度 | ①主要パラメータの他グループ ②原子炉圧力（SA） ③原子炉水位（広帯域） ④原子炉水位（燃料棒） ⑤原子炉水位（SAS） ⑥原子炉水位（SAS） ⑦原子炉水位（SAS） ⑧原子炉圧力容器温度 | ①原子炉圧力容器温度の1つの検出器が故障した場合は、他の検出器により推定する。 ②原子炉圧力容器温度の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態を推定することによって、原子炉圧力より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の温度を推定する。 ③原子炉水位、原子炉水位が有効な材料表面部に到達するまでの経過時間より原子炉圧力容器内の温度を推定する。 ④燃料棒除去系が運転状態であれば、積留熱除去系熱交換器入口温度を推定する。推定は、主要パラメータの他の検出器を優先する。 | |
| | ①炉心出口温度 | ①主要パラメータの他グループ ②原子炉圧力（SA） ③原子炉水位（広帯域） ④原子炉水位（燃料棒） ⑤原子炉水位（SAS） ⑥原子炉水位（SAS） ⑦原子炉水位（SAS） ⑧原子炉圧力容器温度 | ①原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力（SA）により推定する。 ②原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態を推定することによって、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。 |
| 原子炉圧力容器内の圧力 | ①主要パラメータの他グループ ②原子炉圧力（SA） ③原子炉水位（広帯域） ④原子炉水位（燃料棒） ⑤原子炉水位（SAS） ⑥原子炉水位（SAS） ⑦原子炉水位（SAS） ⑧原子炉圧力容器温度 | ①主要パラメータの他グループ ②原子炉圧力（SA） ③原子炉水位（広帯域） ④原子炉水位（燃料棒） ⑤原子炉水位（SAS） ⑥原子炉水位（SAS） ⑦原子炉水位（SAS） ⑧原子炉圧力容器温度 | ①原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、他グループの1次冷却材温度（広域-高温側）により推定する。 ②原子炉圧力（SA）の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ③原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態を推定することによって、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。 |
| | ①炉心出口温度 | ①主要パラメータの他グループ ②原子炉圧力（SA） ③原子炉水位（広帯域） ④原子炉水位（燃料棒） ⑤原子炉水位（SAS） ⑥原子炉水位（SAS） ⑦原子炉水位（SAS） ⑧原子炉圧力容器温度 | ①原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、他グループの1次冷却材温度（広域-高温側）により推定する。 ②原子炉圧力（SA）の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力により推定する。 ③原子炉圧力の監視が不可能となった場合は、原子炉水位から原子炉圧力容器内の飽和状態を推定することによって、原子炉圧力容器温度より飽和温度/圧力の関係を利用して原子炉圧力容器内の圧力を推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。 |

第6.4.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (1/18)

泊発電所3号炉

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ | 代替パラメータ推定方法 |
|-----------------|---|--|---|
| 1次冷却材温度（広域-高温側） | ①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材温度（広域-低温側） ③〔炉心出口温度〕** | ①1次冷却材温度（広域-高温側） ②1次冷却材温度（広域-低温側） ③〔炉心出口温度〕** | ①1次冷却材温度（広域-高温側）の1グループが故障した場合は、他グループの1次冷却材温度（広域-高温側）により推定する。 ②1次冷却材温度（広域-低温側）の監視が不可能となった場合は、1次冷却材温度（広域-低温側）により推定する。この推定方法では、重大事故等時において約10℃程度の温度差が生じる可能性があることを考慮する。 ③1次冷却材温度（広域-高温側）の監視が不可能となった場合は、監視可能であれば炉心出口温度（自主対策設備）により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。 |
| | ①炉心出口温度 | ①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材温度（広域-低温側） ③〔炉心出口温度〕** | ①1次冷却材温度（広域-低温側）の監視が不可能となった場合は、他グループの1次冷却材温度（広域-低温側）により推定する。 ②1次冷却材温度（広域-低温側）の監視が不可能となった場合は、1次冷却材温度（広域-高温側）により推定する。この推定方法では、重大事故等時において約10℃程度の温度差が生じる可能性があることを考慮する。 ③1次冷却材温度（広域-低温側）の監視が不可能となった場合は、監視可能であれば炉心出口温度（自主対策設備）により、原子炉圧力容器内の温度を推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。 |
| 原子炉圧力容器内の温度 | ①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材温度（広域-高温側） ③〔炉心出口温度〕** | ①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材温度（広域-低温側） ③〔炉心出口温度〕** | ①炉心出口温度（自主対策設備）の1つの検出器が故障した場合は、他検出器の炉心出口温度（自主対策設備）により推定する。 ②炉心出口温度（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、炉心出口により近い値を示す1次冷却材温度（広域-高温側）により推定する。1次冷却材温度（広域-高温側）と炉心出口温度（自主対策設備）の関係は、炉心炉水状態から炉心相関を判断する時点(50℃)において、1次冷却材温度（広域-高温側）の方がやや低い値を示すもの、大きな温度差は見られないことから、1次冷却材温度（広域-高温側）により炉心相関を判断することが可能である。 ③炉心出口温度（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、1次冷却材温度（広域-低温側）により推定する。 推定は、主要パラメータの他検出器を優先する。 |
| | ①炉心出口温度 | ①主要パラメータの他グループ ②1次冷却材温度（広域-高温側） ③1次冷却材温度（広域-低温側） | ①炉心出口温度（自主対策設備）の1つの検出器が故障した場合は、他検出器の炉心出口温度（自主対策設備）により推定する。 ②炉心出口温度（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、炉心出口により近い値を示す1次冷却材温度（広域-高温側）により推定する。1次冷却材温度（広域-高温側）と炉心出口温度（自主対策設備）の関係は、炉心炉水状態から炉心相関を判断する時点(50℃)において、1次冷却材温度（広域-高温側）の方がやや低い値を示すもの、大きな温度差は見られないことから、1次冷却材温度（広域-高温側）により炉心相関を判断することが可能である。 ③炉心出口温度（自主対策設備）の監視が不可能となった場合は、1次冷却材温度（広域-低温側）により推定する。 推定は、主要パラメータの他検出器を優先する。 |

相違理由

【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。
 【女川】炉型の相違
 ・女川については、PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.1.5-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定（3/16）

大飯発電所3/4号炉

| 分類 | 重要監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ 〔多様性別別設備〕 | 代替パラメータ推定方法 |
|--------------|---------------------------|---|---|
| 原子炉圧力容器への注水量 | 高圧注入流量 | ①主要パラメータの他チャンネル ②燃料取替用水ピペット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 高圧注入流量の計測が困難な場合は、他チャンネルの高圧注入流量により推定する。 高圧注入流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料取替用水ピペット水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 |
| | 余熱除去流量 | ①主要パラメータの他チャンネル ②燃料取替用水ピペット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 余熱除去流量の計測が困難な場合は、他チャンネルの余熱除去流量により推定する。 余熱除去流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料取替用水ピペット水位及び加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 |
| | 相設代替低圧注水積算流量 | ①燃料取替用水ピペット水位 ②戻水ピペット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 相設代替低圧注水積算流量の計測が困難となった場合は、水源である燃料取替用水ピペット水位、戻水ピペット水位及び加圧器水位または、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 可搬型の仮設組立本機を水源とする場合及び戻水ピペットに淡水や海水を補給している場合は、ポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量により推定する。 LOCAが発生した場合においては、格納容器再循環ポンプ水位(広域)の傾向監視により注水量を推定する。 |

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

女川原子力発電所2号炉

| 分類 | 重要代替パラメータ | 重要代替パラメータ | 代替パラメータ推定方法 |
|--------|--|---|---|
| 高圧注入流量 | ①燃料取替用水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域) | ①燃料取替用水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 |
| | 余熱除去流量 | ①燃料取替用水ピペット水位 ②戻水ピペット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 余熱除去流量の監視が不可能となった場合は、余熱除去流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 |
| | 相設代替低圧注水積算流量 | ①燃料取替用水ピペット水位 ②戻水ピペット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 相設代替低圧注水積算流量の監視が不可能となった場合は、高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合においては、格納容器再循環ポンプ水位(広域)の傾向監視により注水量を推定する。 |

泊発電所3号炉

相違理由

第6.4.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定(3/18)

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ | 代替パラメータ推定方法 |
|--------------|--|---|---|
| 高圧注入流量 | ①燃料取替用水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域) | ①燃料取替用水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 |
| | 余熱除去流量 | ①燃料取替用水ピペット水位 ②戻水ピペット水位 ③加圧器水位 ④原子炉水位 ⑤格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 余熱除去流量の監視が不可能となった場合は、余熱除去流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 |
| 原子炉圧力容器への注水量 | ①燃料取替用水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域) | ①燃料取替用水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 |
| | ①燃料取替用水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域) | ①燃料取替用水ピペット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器再循環ポンプ水位(広域) | <ul style="list-style-type: none"> 高圧注入流量の監視が不可能となった場合は、高圧注入流量の傾向監視により注水量を推定する。 また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 LOCAが発生した場合において格納容器再循環ポンプ水位(広域)の水位変化により注水量を推定する。 |

【大飯】記載方針の相違(女川実績の反映)
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15.5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (4/16)

| 分類 | 重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕 | 代替パラメータ推定方法 |
|--------------|----------------------------|-----------------------------------|---|
| 原子炉圧力容器への注水量 | 〔未てん水流量〕 | ①燃料取扱用海水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 | ・未てん水流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、燃料取扱用海水ピット水位又は加圧器水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、本所である燃料取扱用海水ピット水位、注水先の加圧器水位の順で優先し使用する。また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 |
| | 〔蓄圧タンク圧力〕 | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ・蓄圧タンク圧力（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力及び1次冷却材低流量温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。 |
| | 〔蓄圧タンク水位〕 | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ・蓄圧タンク水位（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力及び1次冷却材低流量温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。 |
| | 〔AM用消火水積算流量〕 | ①余熱除去流量 ②加圧器水位 ③原子炉水位 | ・AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、余熱除去流量又は、加圧器水位、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、原子炉圧力容器への注水量を直接計測できる余熱除去流量を優先する。 |

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

(つづき)

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ | 代替パラメータ推定方法 |
|--------------|--|--|--|
| 原子炉冷却設備の注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器内積算注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器内積算注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位及び加圧器水位は、本所である燃料取扱用海水ピット水位、注水先の加圧器水位の順で優先し使用する。また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ④格納容器内積算注水量は、AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、余熱除去流量又は、加圧器水位、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、原子炉圧力容器への注水量を直接計測できる余熱除去流量を優先する。 |
| | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ・蓄圧タンク圧力（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力及び1次冷却材低流量温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。 |
| 原子炉圧力容器への注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器内積算注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器内積算注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位及び加圧器水位は、本所である燃料取扱用海水ピット水位、注水先の加圧器水位の順で優先し使用する。また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ④格納容器内積算注水量は、AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、余熱除去流量又は、加圧器水位、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、原子炉圧力容器への注水量を直接計測できる余熱除去流量を優先する。 |
| | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ・蓄圧タンク圧力（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力及び1次冷却材低流量温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。 |

第6.4.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (4/18)

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ | 代替パラメータ推定方法 |
|--------------|--|--|--|
| 原子炉圧力容器への注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器内積算注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器内積算注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位及び加圧器水位は、本所である燃料取扱用海水ピット水位、注水先の加圧器水位の順で優先し使用する。また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ④格納容器内積算注水量は、AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、余熱除去流量又は、加圧器水位、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、原子炉圧力容器への注水量を直接計測できる余熱除去流量を優先する。 |
| | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ・蓄圧タンク圧力（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力及び1次冷却材低流量温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。 |
| 原子炉圧力容器への注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器内積算注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位 ②加圧器水位 ③原子炉水位 ④格納容器内積算注水量 | ①燃料取扱用海水ピット水位及び加圧器水位は、本所である燃料取扱用海水ピット水位、注水先の加圧器水位の順で優先し使用する。また、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。 ④格納容器内積算注水量は、AM用消火水積算流量（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、余熱除去流量又は、加圧器水位、原子炉水位の傾向監視により注水量を推定する。推定は、原子炉圧力容器への注水量を直接計測できる余熱除去流量を優先する。 |
| | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ①1次冷却材圧力 ①1次冷却材低流量温度（広域） | ・蓄圧タンク圧力（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力及び1次冷却材低流量温度（広域）の傾向監視により蓄圧タンクからの注水開始を推定する。 |

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (6/16)

| 分類 | 重要監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕 | 代替パラメータ推定方法 |
|-------------|---------------------------|---|--|
| | 原子炉格納容器内温度 | ①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器圧力 (広域) ③AMI用格納容器圧力 | ①格納容器内温度の1チャンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器圧力 (広域) 又はAMI用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できない格納容器圧力 (広域) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は、圧力を優先する。 |
| 原子炉格納容器内の圧力 | 格納容器圧力 (広域) | ①主要パラメータの他チャンネル ②AMI用格納容器圧力 ③ [格納容器圧力 (狭域)] ④格納容器内温度 | ・格納容器圧力 (広域) の1チャンネルが故障した場合は、他チャンネルの格納容器圧力 (広域) により推定する。 ・格納容器圧力 (広域) の計測が困難となった場合は、AMI用格納容器圧力、格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、AMI用格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は、圧力を優先する。 |
| | AMI用格納容器圧力 | ①格納容器圧力 (広域) ② [格納容器圧力 (狭域)] | ・AMI用格納容器圧力 (広域) の計測が困難となった場合は、計測範囲内であれば格納容器圧力 (広域) 及び格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、格納容器圧力 (広域) 又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は、圧力を優先する。 |

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

| 分類 | 重要監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕 | 代替パラメータ推定方法 |
|-------------|---|---|--|
| 原子炉格納容器内温度 | ①格納容器内温度の1チャンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器圧力 (広域) 又はAMI用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できない格納容器圧力 (広域) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は、圧力を優先する。 | ①格納容器内温度の1チャンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器圧力 (広域) 又はAMI用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できない格納容器圧力 (広域) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は、圧力を優先する。 | ①格納容器内温度の1チャンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器圧力 (広域) 又はAMI用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、詳細な値を把握できない格納容器圧力 (広域) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は、圧力を優先する。 |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ①格納容器圧力 (広域) ② [格納容器圧力 (狭域)] | ①格納容器圧力 (広域) ② [格納容器圧力 (狭域)] | ①格納容器圧力 (広域) の計測が困難となった場合は、AMI用格納容器圧力、格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) により推定する。また、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器内温度により圧力を推定する。推定は、AMI用格納容器圧力又は格納容器圧力 (狭域) (多様性拡張設備) を優先する。なお、原子炉格納容器内の飽和状態でない場合は、圧力を優先する。 |

第6.4.3表 重要代替パラメータによる主要パラメータの推定 (6/18)

| 分類 | 主要パラメータ | 重要代替パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ推定方法 |
|-------------|--|---|---|
| | 原子炉格納容器内温度 | ①格納容器内温度 ②原子炉格納容器圧力 (AMI用) ③格納容器圧力 (AMI用) | ①格納容器内温度の1チャンネルの格納容器内温度により推定する。 ②格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器内の飽和状態であれば、格納容器圧力 (AMI用) 又はAMI用格納容器圧力により、温度を推定する。推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 |
| 原子炉格納容器内の圧力 | ①格納容器圧力 (AMI用) ② [格納容器圧力 (狭域)] ** ③格納容器内温度 | ①原子炉格納容器圧力 (AMI用) ②AMI用格納容器圧力 (AMI用) ③格納容器内温度 | ①原子炉格納容器圧力 (AMI用) の計測が困難となった場合は、AMI用格納容器圧力 (AMI用) 又はAMI用格納容器圧力 (AMI用) により推定する。推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 ②AMI用格納容器圧力 (AMI用) の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器圧力 (AMI用) 又はAMI用格納容器圧力 (AMI用) により推定する。推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 ③格納容器内温度の計測が困難となった場合は、原子炉格納容器圧力 (AMI用) 又はAMI用格納容器圧力 (AMI用) により推定する。推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 |

相違理由

【大版】記載方針の相違 (女川実績の反映)
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.1.5-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定 (7/16)

大飯発電所3/4号炉

| 分類 | 重要監視パラメータ 〔有効監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ 〔多様性監視設備〕 | 代替パラメータ推定方法 |
|-------------------|---|---|---|
| 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①主要パラメータの他チェンネル ②格納容器再循環サンプ水位 (広域) ③原子炉下部キャビティ水位 ④原子炉格納容器水位 ⑤燃料貯蔵用水レベル積算流量 ⑥排水ピット水位 ⑦格納容器スプレイ積算流量 ⑧追加代替燃料圧注水積算流量 | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) ②燃料貯蔵用水レベル積算流量 ③追加代替燃料圧注水積算流量 | ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) のチェンネルが故障した場合は、他チェンネルの格納容器再循環サンプ水位 (広域) により推定する。 ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が困難となった場合は、測定範囲内であれば格納容器再循環サンプ水位 (広域)、原子炉下部キャビティ水位、原子炉格納容器水位及び燃料貯蔵用水レベル積算流量、燃料貯蔵用水ピット水位、排水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替燃料圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) を優先する。 |
| 原子炉下部キャビティ水位 (広域) | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 ②排水ピット水位 ③格納容器スプレイ積算流量 ④追加代替燃料圧注水積算流量 | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) ②燃料貯蔵用水レベル積算流量 ③追加代替燃料圧注水積算流量 | ・原子炉下部キャビティ水位の計測が困難となった場合は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) 又は注水量である燃料貯蔵用水ピット水位、排水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替燃料圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) を優先する。 |
| 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) ②燃料貯蔵用水レベル積算流量 ③追加代替燃料圧注水積算流量 | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) ②燃料貯蔵用水レベル積算流量 ③追加代替燃料圧注水積算流量 | ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が困難となった場合は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) との相関関係により水位を推定する。 |
| 原子炉格納容器水位 | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 ②排水ピット水位 ③格納容器スプレイ積算流量 ④追加代替燃料圧注水積算流量 | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 ②排水ピット水位 ③格納容器スプレイ積算流量 ④追加代替燃料圧注水積算流量 | ・原子炉格納容器水位の計測が困難となった場合は、注水量である燃料貯蔵用水ピット水位、排水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替燃料圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。 |

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

(つづき)

| 分類 | 主要パラメータ | 重要代替パラメータ | 代替パラメータ推定方法 |
|-------------------|--------------------|--------------------|---|
| 燃料貯蔵用水レベル積算流量 | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 | 燃料貯蔵用水レベル積算流量の計測が困難となった場合は、燃料貯蔵用水レベル積算流量の計測が可能なチェンネルの燃料貯蔵用水レベル積算流量により推定する。 |
| 排水ピット水位 | ①排水ピット水位 | ①排水ピット水位 | 排水ピット水位の計測が困難となった場合は、排水ピット水位の計測が可能なチェンネルの排水ピット水位により推定する。 |
| 格納容器スプレイ積算流量 | ①格納容器スプレイ積算流量 | ①格納容器スプレイ積算流量 | 格納容器スプレイ積算流量の計測が困難となった場合は、格納容器スプレイ積算流量の計測が可能なチェンネルの格納容器スプレイ積算流量により推定する。 |
| 追加代替燃料圧注水積算流量 | ①追加代替燃料圧注水積算流量 | ①追加代替燃料圧注水積算流量 | 追加代替燃料圧注水積算流量の計測が困難となった場合は、追加代替燃料圧注水積算流量の計測が可能なチェンネルの追加代替燃料圧注水積算流量により推定する。 |
| 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) | 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が困難となった場合は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が可能なチェンネルの格納容器再循環サンプ水位 (広域) により推定する。 |
| 燃料貯蔵用水レベル積算流量 | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 | 燃料貯蔵用水レベル積算流量の計測が困難となった場合は、燃料貯蔵用水レベル積算流量の計測が可能なチェンネルの燃料貯蔵用水レベル積算流量により推定する。 |
| 排水ピット水位 | ①排水ピット水位 | ①排水ピット水位 | 排水ピット水位の計測が困難となった場合は、排水ピット水位の計測が可能なチェンネルの排水ピット水位により推定する。 |
| 格納容器スプレイ積算流量 | ①格納容器スプレイ積算流量 | ①格納容器スプレイ積算流量 | 格納容器スプレイ積算流量の計測が困難となった場合は、格納容器スプレイ積算流量の計測が可能なチェンネルの格納容器スプレイ積算流量により推定する。 |
| 追加代替燃料圧注水積算流量 | ①追加代替燃料圧注水積算流量 | ①追加代替燃料圧注水積算流量 | 追加代替燃料圧注水積算流量の計測が困難となった場合は、追加代替燃料圧注水積算流量の計測が可能なチェンネルの追加代替燃料圧注水積算流量により推定する。 |
| 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) | 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が困難となった場合は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が可能なチェンネルの格納容器再循環サンプ水位 (広域) により推定する。 |

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

第6.4.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (7/18)

| 分類 | 主要パラメータ | 重要代替パラメータ | 代替パラメータ推定方法 |
|-------------------|---|--|---|
| 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①主要パラメータの他チェンネル ②格納容器再循環サンプ水位 (広域) ③原子炉下部キャビティ水位 ④燃料貯蔵用水レベル積算流量 ⑤排水ピット水位 ⑥格納容器スプレイ積算流量 ⑦追加代替燃料圧注水積算流量 | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) ②燃料貯蔵用水レベル積算流量 ③追加代替燃料圧注水積算流量 | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) のチェンネルが故障した場合は、他チェンネルの格納容器再循環サンプ水位 (広域) により推定する。 ②格納容器再循環サンプ水位 (広域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的に監視ができる格納容器再循環サンプ水位 (広域) により推定する。 ③燃料貯蔵用水レベル積算流量、燃料貯蔵用水ピット水位、排水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替燃料圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) を優先する。 |
| 原子炉下部キャビティ水位 (広域) | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 ②排水ピット水位 ③格納容器スプレイ積算流量 ④追加代替燃料圧注水積算流量 | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) ②燃料貯蔵用水レベル積算流量 ③追加代替燃料圧注水積算流量 | ・原子炉下部キャビティ水位の監視が不可能となった場合は、注水量である燃料貯蔵用水ピット水位、排水ピット水位、格納容器スプレイ積算流量及び追加代替燃料圧注水積算流量により求めた注水量により原子炉格納容器内の水位を推定する。推定は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) を優先する。 |
| 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) ②燃料貯蔵用水レベル積算流量 ③追加代替燃料圧注水積算流量 | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) ②燃料貯蔵用水レベル積算流量 ③追加代替燃料圧注水積算流量 | ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) の監視が不可能となった場合は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) との相関関係により水位を推定する。 |
| 燃料貯蔵用水レベル積算流量 | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 | ①燃料貯蔵用水レベル積算流量 | 燃料貯蔵用水レベル積算流量の計測が困難となった場合は、燃料貯蔵用水レベル積算流量の計測が可能なチェンネルの燃料貯蔵用水レベル積算流量により推定する。 |
| 排水ピット水位 | ①排水ピット水位 | ①排水ピット水位 | 排水ピット水位の計測が困難となった場合は、排水ピット水位の計測が可能なチェンネルの排水ピット水位により推定する。 |
| 格納容器スプレイ積算流量 | ①格納容器スプレイ積算流量 | ①格納容器スプレイ積算流量 | 格納容器スプレイ積算流量の計測が困難となった場合は、格納容器スプレイ積算流量の計測が可能なチェンネルの格納容器スプレイ積算流量により推定する。 |
| 追加代替燃料圧注水積算流量 | ①追加代替燃料圧注水積算流量 | ①追加代替燃料圧注水積算流量 | 追加代替燃料圧注水積算流量の計測が困難となった場合は、追加代替燃料圧注水積算流量の計測が可能なチェンネルの追加代替燃料圧注水積算流量により推定する。 |
| 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) | ①格納容器再循環サンプ水位 (広域) | 格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が困難となった場合は、格納容器再循環サンプ水位 (広域) の計測が可能なチェンネルの格納容器再循環サンプ水位 (広域) により推定する。 |

【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.1.5-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定（13/16）

大飯発電所3/4号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕 | 代替パラメータ推定方法 |
|-------------|----------------------------|--|---|
| 格付監視バイパスの監視 | 蒸気発生器水位 (広域) | ①主要パラメータの他チャンネル ② 蒸気発生器水位 (広域) ③主蒸気圧力 ④蒸気発生器補助給水流量 | ・蒸気発生器水位 (狭域) の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの蒸気発生器水位 (狭域) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ・蒸気発生器水位 (狭域) の計測が困難となった場合、蒸気発生器水位 (広域) の上昇により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。また、主蒸気圧力及び蒸気発生器補助給水流量により傾向監視する。 |
| | 主蒸気圧力 | ①主要パラメータの他チャンネル ②蒸気発生器水位 (広域) ④蒸気発生器補助給水流量 | ・主蒸気圧力の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの主蒸気圧力により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ・主蒸気圧力の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び蒸気発生器補助給水流量の減少を傾向監視することによって蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 |
| 1次冷却材圧力 | | ①主要パラメータの他チャンネル ②〔加圧器圧力 (CRT)〕 ③蒸気発生器水位 (狭域) ④主蒸気圧力 ⑤格付容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑥1次冷却材高温側温度 (広域) ⑦1次冷却材低温側温度 (広域) | ・1次冷却材圧力の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの1次冷却材圧力により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ・1次冷却材圧力の計測が困難となった場合は、測定範囲内であれば、加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。また、蒸気発生器水位 (狭域) の上昇及び格付容器再循環ポンプ水位 (広域) の上昇がないこととインテグレーションLOCAを推定する。原子炉圧力容器内の飽和状態であれば、1次冷却材高温側温度 (広域) 又は1次冷却材低温側温度 (広域) により、1次冷却材圧力を推定する。推定は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (CRT) (多様性拡張設備) を優先する。 |

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

女川原子力発電所2号炉

第6.4.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (13/18)

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ① | 代替パラメータ推定方法 |
|--------------|--------------|---|---|
| 格付監視バイパスの監視 | 蒸気発生器水位 (狭域) | ①主要パラメータの他チャンネル ②蒸気発生器水位 (広域) ③主蒸気ライン圧力 ④補助給水流量 | ①蒸気発生器水位 (狭域) の1チャンネルの蒸気発生器水位 (狭域) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ②蒸気発生器水位 (狭域) の監視が不可能となった場合、蒸気発生器水位 (広域) の上昇により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③蒸気発生器水位 (狭域) の監視が不可能となった場合、主蒸気ライン圧力及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 |
| | 主蒸気ライン圧力 | ①主要パラメータの他チャンネル ②蒸気発生器水位 (広域) ④補助給水流量 | ①主蒸気ライン圧力の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの主蒸気ライン圧力により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ②主蒸気ライン圧力の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (広域) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 |
| 1次冷却材圧力 (広域) | | ①主要パラメータの他グループ ②〔加圧器圧力〕 ③蒸気発生器水位 (狭域) ④格付容器再循環ポンプ水位 (広域) ⑤1次冷却材温度 (広域-高温側) ⑥1次冷却材温度 (広域-低温側) | ①1次冷却材圧力の1グループが故障した場合、他グループの1次冷却材圧力 (広域) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ②1次冷却材圧力 (広域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば、1次冷却材圧力を直接測定している加圧器圧力 (自注対策設備) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③1次冷却材圧力 (広域) の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (狭域) 及び主蒸気ライン圧力の傾向監視により蒸気発生器伝熱管破損がないこと及び格付容器再循環ポンプ水位 (広域) の上昇がないこととインテグレーションLOCAを推定する。 ④1次冷却材圧力 (広域) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器内の飽和状態であれば、格付容器再循環ポンプ水位 (広域-高温側) 又は1次冷却材温度 (広域-高温側) を利用して1次冷却材圧力 (広域) を推定する。 推定は、主要パラメータの他グループを優先する。 |

相違理由

【大飯】記載方針の相違 (女川実績の反映)
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定（14/16）

大飯発電所3/4号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要な代替パラメータ 〔多様な計装設備〕 | 代替パラメータ推定方法 |
|---------------|----------------------------|---|--|
| 他の計装設備をベースの監視 | 〔炉水側空気抽出器ガスモニタ〕 | ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | ・炉水側空気抽出器ガスモニタ（多様な計装設備）の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。 |
| | 〔蒸気発生器フロアワンドウガン水モニタ〕 | ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | ・蒸気発生器フロアワンドウガン水モニタ（多様な計装設備）の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。 |
| | 〔高感度型主蒸気管モニタ〕 | ①蒸気発生器水位（圧検） ①1次冷却材圧力 | ・高感度型主蒸気管モニタ（多様な計装設備）の計測が困難となった場合は、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。 |
| | 〔清気筒ガスモニタ〕 | ①加圧器水位 ①格納容器再循環ポンプ水位（圧検） ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | ・清気筒ガスモニタ（多様な計装設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力、加圧器水位、格納容器再循環ポンプ水位（圧検）、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 |
| | 〔原子炉側建屋中ポンプタンク水位〕 | ①1次冷却材圧力 ①加圧器水位 ①格納容器再循環ポンプ水位（圧検） ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | ・原子炉側建屋中ポンプタンク水位（多様な計装設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力、加圧器水位、格納容器再循環ポンプ水位（圧検）、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 |
| | 〔余熱除去ポンプ吐出圧力〕 | ①1次冷却材圧力 ①加圧器水位 ①格納容器再循環ポンプ水位（圧検） ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | ・余熱除去ポンプ吐出圧力（多様な計装設備）の計測が困難となった場合は、1次冷却材圧力、加圧器水位、格納容器再循環ポンプ水位（圧検）、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 |

重要代替パラメータの番号は最先順位を示す。

女川原子力発電所2号炉

第6.4.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定（14/18）

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ ^{※1} | 代替パラメータ推定方法 |
|------------|------------------------------------|---|---|
| 格納容器とイヘの監視 | 〔炉水側排気ガスモニタ〕 ^{※1} | ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | 1 炉水側排気ガスモニタ（自主計装設備）の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。 |
| | 〔蒸気発生器フロアワンドウガン水モニタ〕 ^{※1} | ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | 1 蒸気発生器フロアワンドウガン水モニタ（自主計装設備）の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。 |
| | 〔高感度型主蒸気管モニタ〕 ^{※1} | ①蒸気発生器水位（圧検） ①1次冷却材圧力 | 1 高感度型主蒸気管モニタ（自主計装設備）の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力の変化により蒸気発生器伝熱管破損の傾向監視ができる。 |
| | 〔清気筒ガスモニタ〕 ^{※2} | ①1次冷却材圧力（圧検） ①格納容器再循環ポンプ水位（圧検） ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | 1 清気筒ガスモニタ（自主計装設備）の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力（圧検）、加圧器水位、格納容器再循環ポンプ水位（圧検）、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 |
| | 〔原子炉側建屋中ポンプタンク水位〕 ^{※2} | ①1次冷却材圧力（圧検） ①加圧器水位 ①格納容器再循環ポンプ水位（圧検） ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | 1 原子炉側建屋中ポンプタンク水位（自主計装設備）の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力（圧検）、加圧器水位、格納容器再循環ポンプ水位（圧検）、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 |
| | 〔余熱除去ポンプ吐出圧力〕 ^{※2} | ①1次冷却材圧力（圧検） ①加圧器水位 ①格納容器再循環ポンプ水位（圧検） ①蒸気発生器水位（圧検） ①主蒸気圧力 | 1 余熱除去ポンプ吐出圧力（自主計装設備）の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力（圧検）、加圧器水位、格納容器再循環ポンプ水位（圧検）、蒸気発生器水位（圧検）及び主蒸気圧力により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 |

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第 2.15-5 表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定（15/16）

| 大飯発電所3/4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 | |
|-------------------------|--|--|--|--|--|---|---|
| 分類 | 重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕 | 代替パラメータ推定方法 | 分類 | 重要な監視パラメータ 〔有効な監視パラメータ〕 | 重要代替パラメータ 〔多様性拡張設備〕 | 代替パラメータ推定方法 |
| 格納容器 蒸気発生器 ベースの監視 | 〔加圧器速がしタンク圧力（広域）〕 | ①1次冷卻材圧力 ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ・加圧器速がしタンク圧力（広域）（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷卻材圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンプ水位（CRT）（多様性拡張設備）の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 | ①加圧器速がしタンク圧力 ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域） ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ①加圧器速がしタンク圧力 ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ・加圧器速がしタンク圧力（広域）（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷卻材圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンプ水位（CRT）（多様性拡張設備）の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 |
| | 〔加圧器速がしタンク水位〕 | ①1次冷卻材圧力 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ・加圧器速がしタンク水位（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷卻材圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンプ水位（CRT）（多様性拡張設備）の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 | ①1次冷卻材圧力 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ①加圧器速がしタンク水位 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ①加圧器速がしタンク水位 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ・加圧器速がしタンク水位（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷卻材圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンプ水位（CRT）（多様性拡張設備）の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 |
| | 〔加圧器速がしタンク温度〕 | ①1次冷卻材圧力 ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ・加圧器速がしタンク温度（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷卻材圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンプ水位（CRT）（多様性拡張設備）の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 | ・加圧器速がしタンク温度（多様性拡張設備）の計測が困難となった場合は、1次冷卻材圧力及び加圧器水位の低下、格納容器サンプ水位（CRT）（多様性拡張設備）の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 | ①1次冷卻材圧力 ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ①加圧器速がしタンク温度 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 | ①加圧器速がしタンク温度 ②〔格納容器サンプ水位（CRT）〕 |
| 重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。 | | | | | | | |
| 格納容器 蒸気発生器 ベースの監視 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 |

第 6.4.3 表 代替パラメータによる主要パラメータの推定（15/18）

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ* | 代替パラメータ推定方法 |
|-------------------------|------------------------------|--|---|
| 格納容器 蒸気発生器 ベースの監視 | ①加圧器速がしタンク圧力 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 |
| | ①加圧器速がしタンク水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 |
| | ①加圧器速がしタンク温度 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 |
| 格納容器 蒸気発生器 ベースの監視 | ①加圧器速がしタンク圧力 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 |
| | ①加圧器速がしタンク水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 |
| | ①加圧器速がしタンク温度 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①1次冷卻材圧力（広域） ①加圧器水位 ②〔格納容器サンプ水位〕 | ①加圧器速がしタンク圧力（広域）及び加圧器水位を優先する。 ②加圧器速がしタンク水位（広域）及び加圧器水位を優先する。 ③加圧器速がしタンク温度（広域）及び加圧器水位を優先する。 |

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第2.15-5表 重要代替パラメータによる重要な監視パラメータの推定（16/16）

大飯発電所3/4号炉

| 分類 | 重要な監視パラメータ 【有線な監視パラメータ】 | 重要な代替パラメータ 【多様性拡張設備】 | 代替パラメータ推定方法 |
|---------|----------------------------|---|---|
| | 水 源 の 確 保 | 燃料取替用水レベル水位 | ①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器再循環ポンプ水位（広域） ③格納容器スプレイ積算流量 ④格納容器スプレイ流量 ⑤格納容器スプレイ流量 ⑥冷却注入流量 ⑦冷却除去流量 ⑧（広域）水流量 ⑨冷却代替格納器注水積算流量 |
| 取水ピット水位 | | ①主要パラメータの他チャンネル ②蒸気発生器補助給水流量 ③格納容器スプレイ積算流量 ④冷却代替格納器注水積算流量 | ・取水ピット水位の計測が困難となった場合は、他チャンネルの取水ピット水位により推定する。 ・ほう酸タンク水位を推定し、水源の有無や使用量を推定する。また、炉心へのほう酸注入に伴う炉心の反応度と連動していることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。 |
| | ほう酸タンク水位 | ①主要パラメータの他チャンネル ②（緊急ほう酸水補給流量） ③出力領域中性子束 ④中間領域中性子束 ⑤中性子源領域中性子束 | ・ほう酸タンク水位の計測が困難となった場合は、緊急ほう酸水補給流量（多様性拡張設備）によりほう酸タンク水位を推定し、水源の有無や使用量を推定する。 ・ほう酸タンク水位の計測が困難となった場合は、蒸気発生器補助給水流量等の取水ピットを水源とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。 |

重要代替パラメータの番号は優先順位を示す。

女川原子力発電所2号炉

第6.4.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定（16/18）

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ※1 | 代替パラメータ推定方法 |
|-----------|-----------------------|--|--|
| | 水 源 の 確 保 | 燃料取替用水レベル水位 | ①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器再循環ポンプ水位（広域） ③B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量（AM用） ④格納容器スプレイ流量 ※2 ⑤冷却注入流量 ⑥格納器注水流量 ⑦（広域）水流量 ⑧代替格納器スプレイポンプ出口積算流量 |
| 補助給水レベル水位 | | ①主要パラメータの他チャンネル ②補助給水流量 ③代替格納器スプレイポンプ出口積算流量 | ①補助給水レベル水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの補助給水レベル水位により推定する。 ②補助給水レベル水位の監視が不可能となった場合は、補助給水流量及び代替格納器スプレイポンプ出口積算流量である補助給水レベルを水源とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。この推定方法は、放水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 |
| | ほう酸タンク水位 | ①主要パラメータの他チャンネル ②緊急ほう酸注入ライン流量 ※2 ③出力領域中性子束 ④中間領域中性子束 ⑤中性子源領域中性子束 | ①ほう酸タンク水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルのほう酸タンク水位により推定する。 ②緊急ほう酸注入ライン流量（自主対策設備）によりほう酸タンク水位を推定し、水源の有無や使用量を推定する。 ③ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、炉心へのほう酸注入に伴う炉心の反応度と連動していることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子源領域中性子束の指示低下により水源の有無を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 |

相違理由

【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映）
 ・代替パラメータ推定方法欄に優先順位の番号を記載した。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|-------------------|--|--|---------|-----------|-------------|-------------|----------------|---|--|----------------|-------------------|--|-------------------|-------------------|---|------------|-------------------|--|----|------------|--|---|---------------|--|--|---------------------------|
| | | <p style="text-align: center;">第6.4.3表 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (18/18)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分類</th> <th style="width: 25%;">主要パラメータ</th> <th style="width: 25%;">代替パラメータ※1</th> <th style="width: 35%;">代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">使用済燃料ピットの監視</td> <td>〔使用済燃料ピット水位〕※2</td> <td>〔使用済燃料ピット水位 (AM用)〕 ①使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピット温度〕※2</td> <td>①使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>①使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピットエアモニタ〕※2</td> <td>①使用済燃料ピット可搬型エアモニタ</td> <td>①使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの放射線量を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水温計〕※2</td> <td>①使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> <td>①携帯型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">監視</td> <td>〔携帯型水位計〕※2</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (AM用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>①携帯型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水位・水温計〕※2</td> <td>①使用済燃料ピット水位 (AM用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>①携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1：代替パラメータの番号は優先順位を示す。 ※2：「①」は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器（耐震性又は耐環境性等はないが、監視可能であれば発電用原子力施設の機能を把握することが可能な計器）を示す。</p> | 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ※1 | 代替パラメータ推定方法 | 使用済燃料ピットの監視 | 〔使用済燃料ピット水位〕※2 | 〔使用済燃料ピット水位 (AM用)〕 ①使用済燃料ピット水位 (可搬型) | ①使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | 〔使用済燃料ピット温度〕※2 | ①使用済燃料ピット温度 (AM用) | ①使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。 | 〔使用済燃料ピットエアモニタ〕※2 | ①使用済燃料ピット可搬型エアモニタ | ①使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの放射線量を推定する。 | 〔携帯型水温計〕※2 | ①使用済燃料ピット温度 (AM用) | ①携帯型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。 | 監視 | 〔携帯型水位計〕※2 | ①使用済燃料ピット水位 (AM用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型) | ①携帯型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | 〔携帯型水位・水温計〕※2 | ①使用済燃料ピット水位 (AM用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型) | ①携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | <p>【大飯】記載方針の相違（相違理由①）</p> |
| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ※1 | 代替パラメータ推定方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピットの監視 | 〔使用済燃料ピット水位〕※2 | 〔使用済燃料ピット水位 (AM用)〕 ①使用済燃料ピット水位 (可搬型) | ①使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〔使用済燃料ピット温度〕※2 | ①使用済燃料ピット温度 (AM用) | ①使用済燃料ピット温度 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〔使用済燃料ピットエアモニタ〕※2 | ①使用済燃料ピット可搬型エアモニタ | ①使用済燃料ピットエアモニタ (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピットの放射線量を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〔携帯型水温計〕※2 | ①使用済燃料ピット温度 (AM用) | ①携帯型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット温度 (AM用) により温度を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視 | 〔携帯型水位計〕※2 | ①使用済燃料ピット水位 (AM用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型) | ①携帯型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〔携帯型水位・水温計〕※2 | ①使用済燃料ピット水位 (AM用) ①使用済燃料ピット水位 (可搬型) | ①携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

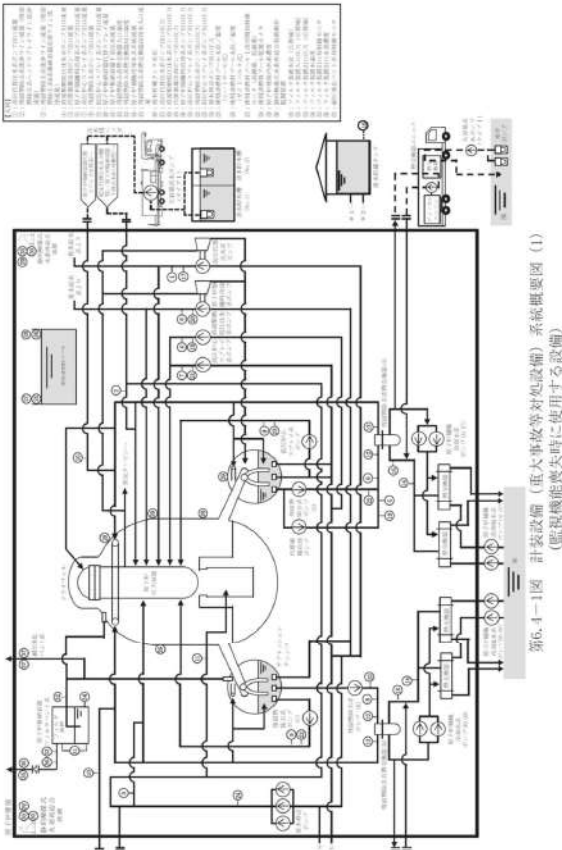
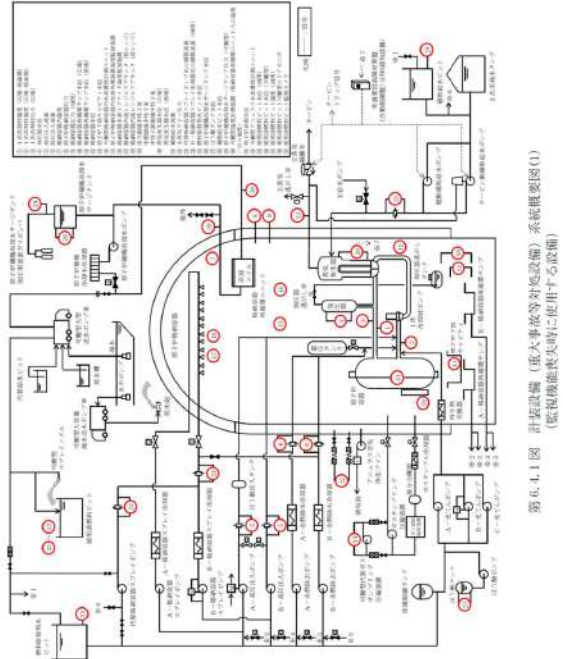
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---------|---------|----|-------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|------------------|------------------|--------------------|--------------------|--------------|------------------|-----|--------------------|--------------------------|--|----|---------|----|-------------|----------------------|----|------------------------------|---------------------------|-----|---------------------------|----------------------|---|
| | <p>第6.4-4表 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ</p> <table border="1" data-bbox="667 264 1223 676"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="13">電源</td><td>6-2F-1 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2F-2 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2C 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2D 母線電圧</td></tr> <tr><td>6-2H 母線電圧</td></tr> <tr><td>4-2C 母線電圧</td></tr> <tr><td>4-2D 母線電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2A 電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2B 電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2A-1 電圧</td></tr> <tr><td>125V 直流主母線 2B-1 電圧</td></tr> <tr><td>250V 直流主母線電圧</td></tr> <tr><td>HPCS125V 直流主母線電圧</td></tr> <tr><td rowspan="2">その他</td><td>高圧窒素ガス供給系 ADS 入口圧力</td></tr> <tr><td>代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力</td></tr> </tbody> </table> | 分類 | 補助パラメータ | 電源 | 6-2F-1 母線電圧 | 6-2F-2 母線電圧 | 6-2C 母線電圧 | 6-2D 母線電圧 | 6-2H 母線電圧 | 4-2C 母線電圧 | 4-2D 母線電圧 | 125V 直流主母線 2A 電圧 | 125V 直流主母線 2B 電圧 | 125V 直流主母線 2A-1 電圧 | 125V 直流主母線 2B-1 電圧 | 250V 直流主母線電圧 | HPCS125V 直流主母線電圧 | その他 | 高圧窒素ガス供給系 ADS 入口圧力 | 代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力 | <p>第6.4.4表 重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いる補助パラメータ</p> <table border="1" data-bbox="1249 258 1818 523"> <thead> <tr> <th>分類</th> <th>補助パラメータ</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td rowspan="2">電源</td><td>6-A, B 母線電圧</td></tr> <tr><td>A, B-直流コントロールセンタ母線電圧</td></tr> <tr><td rowspan="2">補機</td><td>A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td></tr> <tr><td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td></tr> <tr><td rowspan="2">その他</td><td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用)</td></tr> <tr><td>原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用)</td></tr> </tbody> </table> | 分類 | 補助パラメータ | 電源 | 6-A, B 母線電圧 | A, B-直流コントロールセンタ母線電圧 | 補機 | A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) | A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) | その他 | 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) | 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) | <p>【大飯】設備の相違（女川実績の反映） （相違理由①）</p> <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。 |
| 分類 | 補助パラメータ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源 | 6-2F-1 母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6-2F-2 母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6-2C 母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6-2D 母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 6-2H 母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4-2C 母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 4-2D 母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 直流主母線 2A 電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 直流主母線 2B 電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 直流主母線 2A-1 電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V 直流主母線 2B-1 電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 250V 直流主母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | HPCS125V 直流主母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 高圧窒素ガス供給系 ADS 入口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 分類 | 補助パラメータ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源 | 6-A, B 母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | A, B-直流コントロールセンタ母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補機 | A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| その他 | 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

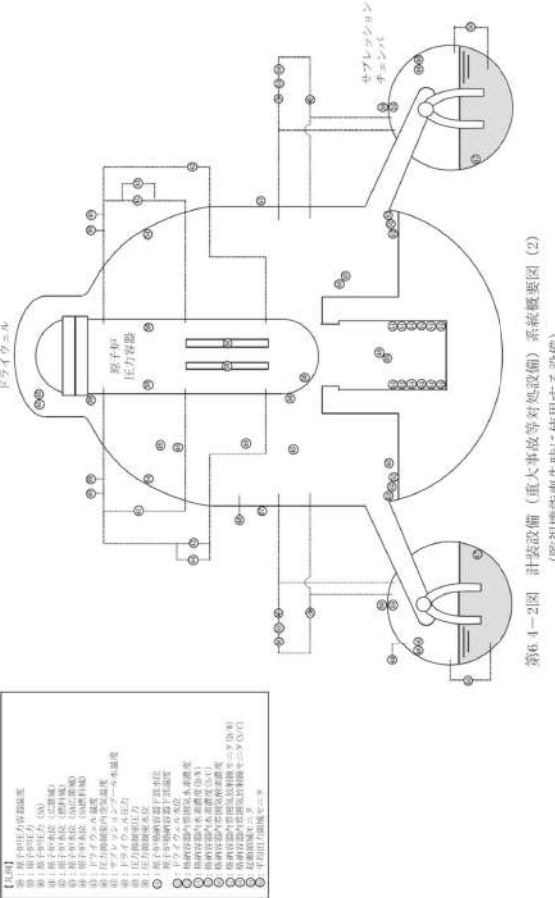
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|---|---|
| |  <p>第6.4-11図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図（1） （監視機能喪失時に使用する設備）</p> |  <p>第6.4.1図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図(1) （監視機能喪失時に使用する設備）</p> | <p>【大阪】記載方針の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊では、女川と同様に設備の概略系統図を記載している。 <p>【女川】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWRとBWRで想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。 |

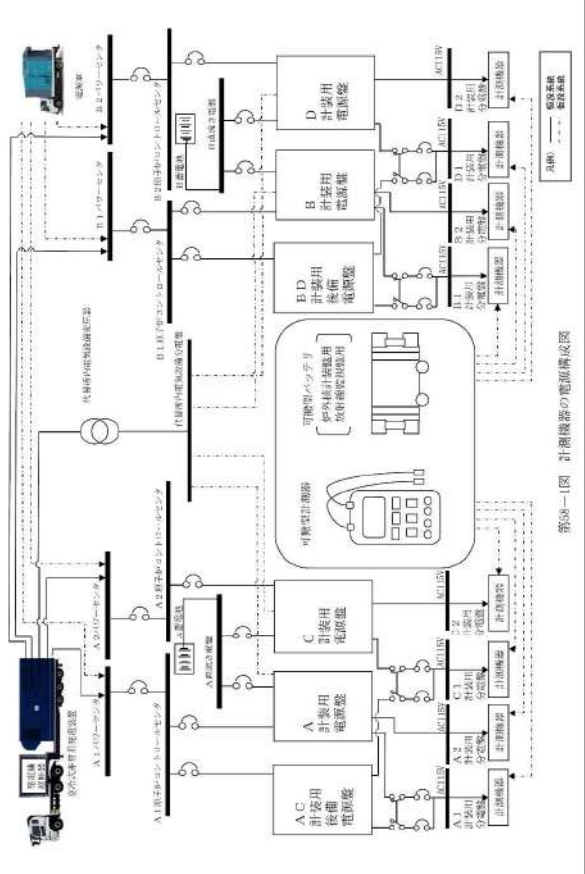
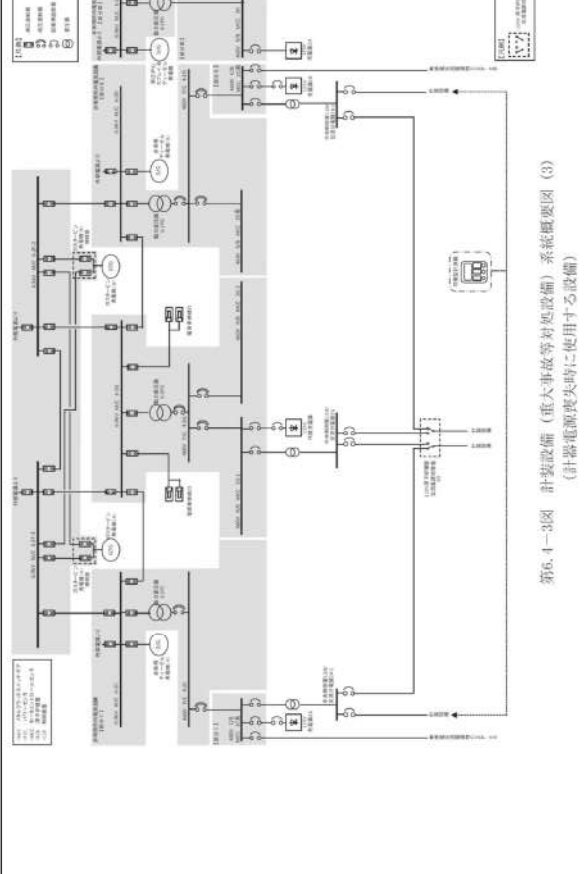
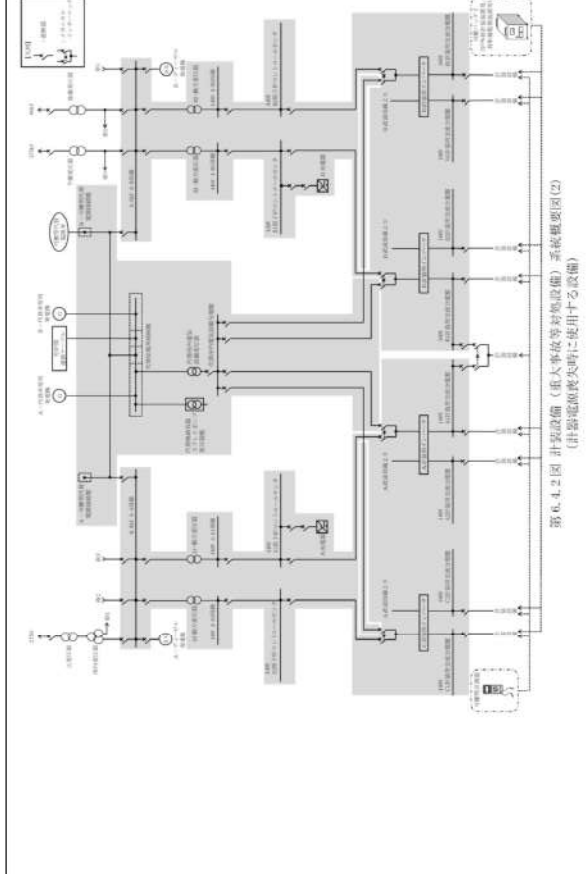
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|--|---------|---|
| |  <p>第6-4-2図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図（2） （監視機能喪失時に使用する設備）</p> | | <p>【女川】記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWRとBWRでは想定される重大事故等及び対処するために監視するパラメータが異なり、女川はパラメータ数が多いことから格納容器内を示した図を記載しているのに対し、泊では前段の一つの図で示している。 |

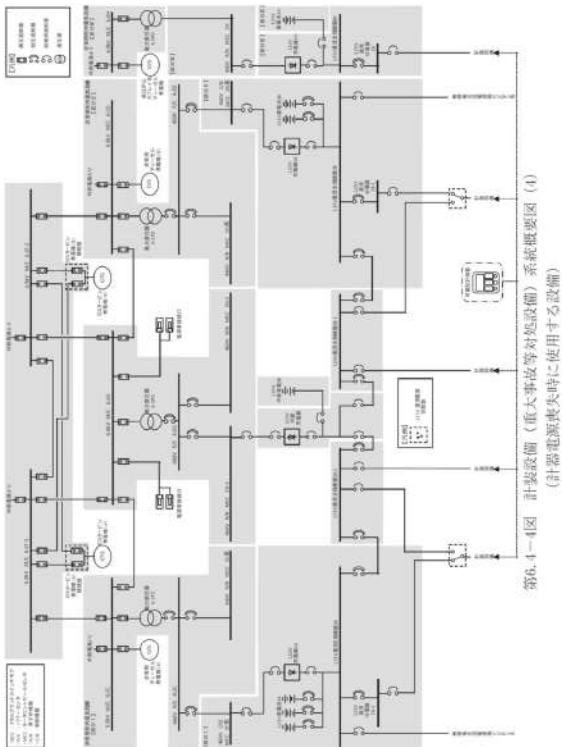
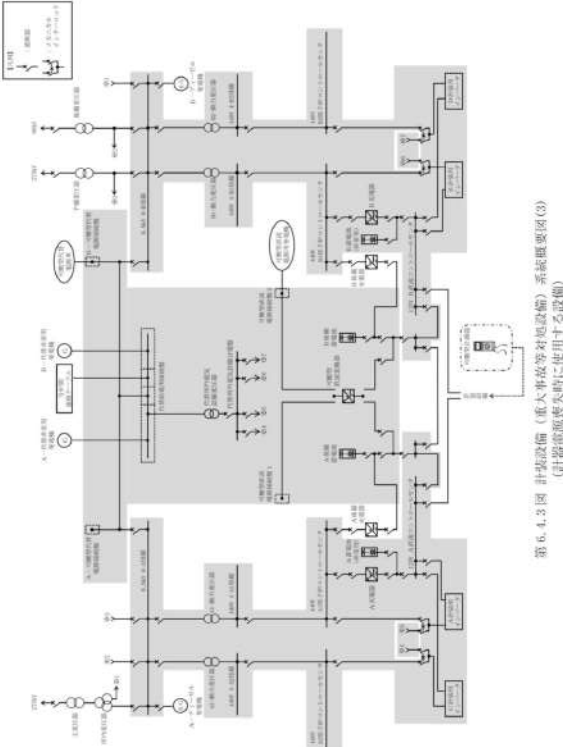
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|--|
|  <p>第58-1図 計測機器の電源構成図</p> |  <p>第58-2図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図(3) （計器電源喪失時に使用する設備）</p> |  <p>第6.4.2図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図(2) （計器電源喪失時に使用する設備）</p> | <p>【大飯】【女川】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源構成の相違 <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の記載表現を反映し、交流と直流で図を分けた（左記の図は交流）。 |

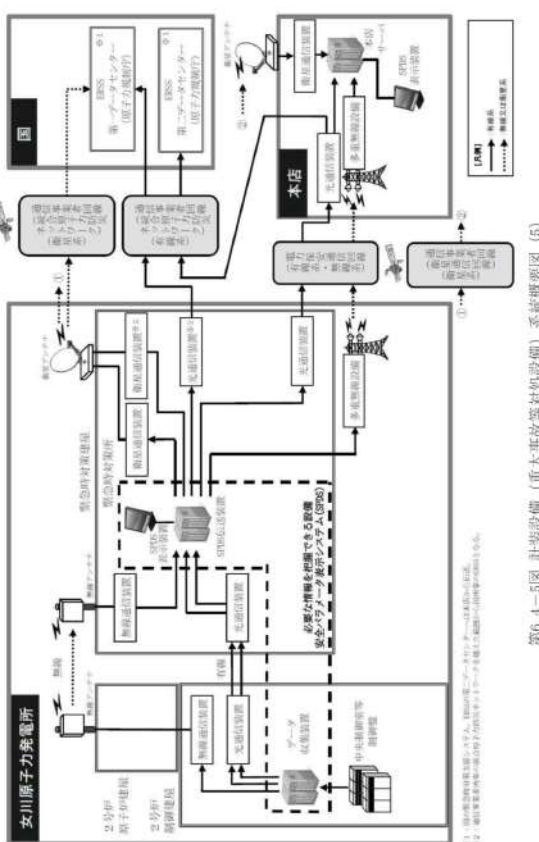
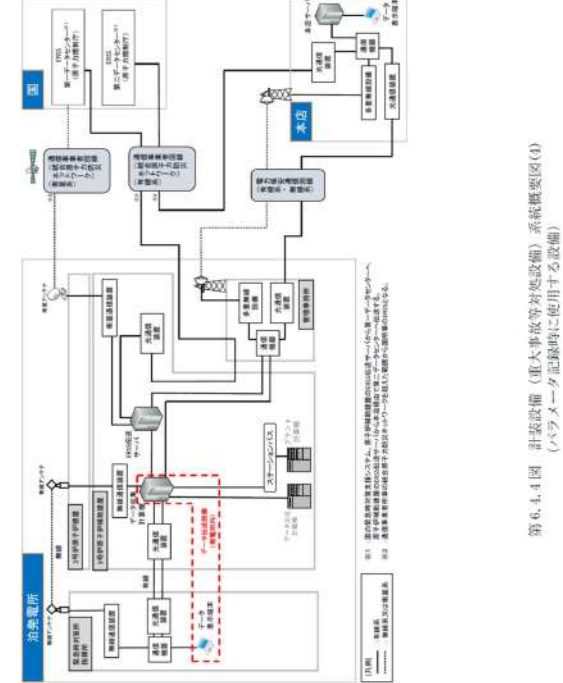
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|--|--|
| |  <p>第6.4-4図 計装設備（重大事故等対応設備）系統概要図(1) (計器電源喪失時に使用する設備)</p> |  <p>第6.4.3図 計装設備（重大事故等対応設備）系統概要図(3) (計器電源喪失時に使用する設備)</p> | <p>【女川】設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電源構成の相違 <p>【大飯】記載表現の相違（女川実績の反映）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の記載表現を反映し、交流と直流で図を分けた（左記の図は直流）。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|--|---|--|
| |  <p>第6.4-5図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図(5) （パラメータ記録時に使用する設備）</p> <p>図1：計装設備の構成 図2：データ記録装置の構成</p> |  <p>第6.4.4図 計装設備（重大事故等対処設備）系統概要図(4) （パラメータ記録時に使用する設備）</p> | <p>【大飯】記載方針の相違（女川実績の反映） ・泊は女川実績を反映し、パラメータ記録時に使用する設備の概略系統図を記載している。</p> <p>【女川】設備の相違（相違理由④）</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------------------|--|--|--|
| <p>(大阪該当資料なし。以降同様)</p> | <p>3.15 計装設備【58条】</p> <p style="text-align: center;">< 添付資料 目次 ></p> <p>3.15 計装設備</p> <p>3.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針</p> <p>(1) 把握能力の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 a))</p> <p>(2) 推定手段の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 b))</p> <p>(3) パラメータ記録時に使用する設備 (設置許可基準規則解釈の第1項 c))</p> <p>3.15.2 重大事故等対処設備</p> <p>3.15.2.1 計装設備</p> <p>3.15.2.1.1 設備概要</p> <p>3.15.2.1.2 主要設備の仕様</p> <p>3.15.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>3.15.2.1.3.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針</p> <p>(1) 環境条件及び荷重条件 (設置許可基準規則第43条第1項第一号)</p> <p>(2) 操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)</p> <p>(3) 試験及び検査 (設置許可基準規則第43条第1項第三号)</p> <p>(4) 切替えの容易性 (設置許可基準規則第43条第1項第四号)</p> <p>(5) 悪影響の防止 (設置許可基準規則第43条第1項第五号)</p> <p>(6) 設置場所 (設置許可基準規則第43条第1項第六号)</p> <p>3.15.2.1.3.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針</p> <p>(1) 容量 (設置許可基準規則第43条第2項第一号)</p> <p>(2) 共用の禁止 (設置許可基準規則第43条第2項第二号)</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第2項第三号)</p> <p>3.15.2.1.3.3 設置許可基準規則第43条第3項への適合方針</p> <p>(1) 容量 (設置許可基準規則第43条第3項第一号)</p> <p>(2) 確実な接続 (設置許可基準規則第43条第3項第二号)</p> <p>(3) 複数の接続口 (設置許可基準規則第43条第3項第三号)</p> <p>(4) 設置場所 (設置許可基準規則第43条第3項第四号)</p> <p>(5) 保管場所 (設置許可基準規則第43条第3項第五号)</p> <p>(6) アクセスルートの確保 (設置許可基準規則第43条第3項第六号)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第3項第七号)</p> | <p>2.15 計装設備【58条】</p> <p style="text-align: center;">< 添付資料 目次 ></p> <p>2.15 計装設備</p> <p>2.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針</p> <p>(1) 把握能力の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 a))</p> <p>(2) 推定手段の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 b))</p> <p>(3) パラメータ記録時に使用する設備 (設置許可基準規則解釈の第1項 c))</p> <p>2.15.2 重大事故等対処設備</p> <p>2.15.2.1 計装設備</p> <p>2.15.2.1.1 設備概要</p> <p>2.15.2.1.2 主要設備の仕様</p> <p>2.15.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針</p> <p>2.15.2.1.3.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針</p> <p>(1) 環境条件及び荷重条件 (設置許可基準規則第43条第1項第一号)</p> <p>(2) 操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)</p> <p>(3) 試験及び検査 (設置許可基準規則第43条第1項第三号)</p> <p>(4) 切替えの容易性 (設置許可基準規則第43条第1項第四号)</p> <p>(5) 悪影響の防止 (設置許可基準規則第43条第1項第五号)</p> <p>(6) 設置場所 (設置許可基準規則第43条第1項第六号)</p> <p>2.15.2.1.3.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針</p> <p>(1) 容量 (設置許可基準規則第43条第2項第一号)</p> <p>(2) 共用の禁止 (設置許可基準規則第43条第2項第二号)</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第2項第三号)</p> <p>2.15.2.1.3.3 設置許可基準規則第43条第3項への適合方針</p> <p>(1) 容量 (設置許可基準規則第43条第3項第一号)</p> <p>(2) 確実な接続 (設置許可基準規則第43条第3項第二号)</p> <p>(3) 複数の接続口 (設置許可基準規則第43条第3項第三号)</p> <p>(4) 設置場所 (設置許可基準規則第43条第3項第四号)</p> <p>(5) 保管場所 (設置許可基準規則第43条第3項第五号)</p> <p>(6) アクセスルートの確保 (設置許可基準規則第43条第3項第六号)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第3項第七号)</p> | <p>■章番号の相違</p> <p>・以下、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|---|---|------|
| | <p>3.15 計装設備【58条】</p> <p>【設置許可基準規則】 (計装設備)</p> <p>第五十八条 発電用原子炉施設には、重大事故等が発生し、計測機器(非常用のものを含む。)の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備を設けなければならない。</p> <p>(解釈)</p> <p>1 第58条に規定する「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。なお、「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ」とは、事業者が検討すべき炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を意味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態の把握能力を明確にすること。(最高計測可能温度等) b) 発電用原子炉施設の状態の把握能力(最高計測可能温度等)を超えた場合の発電用原子炉施設の状態の推定手段を整備すること。 <ul style="list-style-type: none"> i) 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位が推定できる手段を整備すること。 ii) 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量が推定できる手段を整備すること。 iii) 推定するために必要なパラメータは、複数のパラメータの中から確からしさを考慮し、優先順位を定めておくこと。 c) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータが計測又は監視及び記録ができること。 <p>3.15 計装設備</p> <p>3.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器(非常用のものを含む。)の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ(炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握</p> | <p>2.15 計装設備【58条】</p> <p>【設置許可基準規則】 (計装設備)</p> <p>第五十八条 発電用原子炉施設には、重大事故等が発生し、計測機器(非常用のものを含む。)の故障により当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備を設けなければならない。</p> <p>(解釈)</p> <p>1 第58条に規定する「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において当該パラメータを推定するために有効な情報を把握できる設備」とは、以下に掲げる措置又はこれらと同等以上の効果を有する措置を行うための設備をいう。なお、「当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ」とは、事業者が検討すべき炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を意味する。</p> <ul style="list-style-type: none"> a) 設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態の把握能力を明確にすること。(最高計測可能温度等) b) 発電用原子炉施設の状態の把握能力(最高計測可能温度等)を超えた場合の発電用原子炉施設の状態の推定手段を整備すること。 <ul style="list-style-type: none"> i) 原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位が推定できる手段を整備すること。 ii) 原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量が推定できる手段を整備すること。 iii) 推定するために必要なパラメータは、複数のパラメータの中から確からしさを考慮し、優先順位を定めておくこと。 c) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度及び放射線量率など想定される重大事故等の対応に必要なパラメータが計測又は監視及び記録ができること。 <p>2.15 計装設備</p> <p>2.15.1 設置許可基準規則第58条への適合方針</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器(非常用のものを含む。)の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータ(炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために必要な発電用原子炉施設の状態を把握</p> | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|------|
| <p>するためのパラメータ)は、「表 3.15-9 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された主要パラメータ (重要監視パラメータ)とする。</p> <p>当該パラメータを推定するために必要なパラメータは、「表 3.15-9 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された代替パラメータ (重要代替監視パラメータ)とする。</p> <p>主要パラメータ及び代替パラメータのうち自主対策設備の計器のみで計測される場合は、有効監視パラメータ (自主対策設備)とする (図 3.15-3 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> <p>また、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとし、補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転及び動作状態を表示する設備 (ランプ表示灯)については、各条文の設置許可基準規則第43条への適合方針のうち、(2)操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)にて適合性を整理する (図 3.15-3 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> <p>【島根2号炉まとめ資料 (添付) より転載】</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転及び動作状態を表示する設備 (ランプ表示灯等)については、各条文の設置許可基準規則第43条への適合状況のうち、(2)操作性 (設置許可基準規則第43条第1項二)にて、適合性を整理する (第3.15-2 図 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> <p>(1) 把握能力の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 a)) 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備 (重大事故等対処設備)について、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握するための能力 (最高計測可能温度等 (設計基準最大値等))を明確にする。計測範囲を表 3.15-10 に示す。</p> <p>(2) 推定手段の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 b)) a. 監視機能喪失時に使用する設備 発電用原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。 重要監視パラメータ又は有効監視パラメータ (原子炉圧力</p> | <p>するためのパラメータ)は、「表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された主要パラメータ (重要監視パラメータ)とする。</p> <p>当該パラメータを推定するために必要なパラメータは、「表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」のパラメータの選定で分類された代替パラメータ (重要代替監視パラメータ)とする。</p> <p>主要パラメータ及び代替パラメータのうち自主対策設備の計器のみで計測される場合は、有効監視パラメータ (自主対策設備)とする (図 2.15.2 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> <p>また、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとし、補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。</p> <p>なお、重大事故等対処設備の運転及び動作状態を表示する設備 (ランプ表示灯等)については、各条文の設置許可基準規則第43条への適合方針のうち、(2)操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)にて適合性を整理する (図 2.15.2 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー参照)。</p> <p>(1) 把握能力の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 a)) 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備 (重大事故等対処設備)について、設計基準を超える状態における発電用原子炉施設の状態を把握するための能力 (最高計測可能温度等 (設計基準最大値等))を明確にする。計測範囲を表 2.15.9 に示す。</p> <p>(2) 推定手段の整備 (設置許可基準規則解釈の第1項 b)) a. 監視機能喪失時に使用する設備 発電用原子炉施設の状態の把握能力を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定する手段を有する設計とする。 重要監視パラメータ又は有効監視パラメータ (原子炉圧力</p> | <p>■図表番号の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 以下、同様の相違は、相違理由の記載を省略する。 <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は重大事故等対処設備の操作をハードウェア又はソフトウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯以外に画面表示がある (柏崎、東二、島根も同様)。女川はハードスイッチにより行うため、ランプ表示灯のみ。 | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|--|--|---|
| | <p>容器内の温度、圧力及び水位並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等)の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合、「表 3.15-9 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時の代替パラメータによる推定又は計器の計測範囲を超えた場合の代替パラメータによる推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時に、当該パラメータの他チャンネルの計器がある場合、他チャンネルの計器により計測するとともに、重要代替監視パラメータが複数ある場合は、推定する重要監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた計測される値の確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を表 3.15-11 に示す。</p> <p>b. 計器電源喪失時に使用する設備</p> <p>非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、計装設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電式直流電源設備、常設代替直流電源設備又は可搬型代替直流電源設備を使用する。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設代替交流電源設備 ・可搬型代替交流電源設備 ・所内常設蓄電式直流電源設備 ・常設代替直流電源設備 ・可搬型代替直流電源設備 ・代替所内電気設備 <p>【伊方3号炉 1.14 まとめ資料より転載】</p> <p>d. 代替電源 (直流) による給電対応手段及び設備</p> <p>(a) 対応手段</p> <p>全交流動力電源が喪失した場合において、交流動力電源又は代替電源 (交流) による非常用直流母線への給電が復旧する見込みがない場合及び蓄電池 (非常用) からの給電ができない場合、代替電源 (直流) により非常用直流母線へ給電する手段がある。</p> <p>代替電源 (直流) による給電に使用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・蓄電池 (重大事故等対処用) ・可搬型直流電源装置 (75kVA 電源車及び可搬型整流器による構成) <p>1.14.2.4 代替電源 (直流) による給電手順等</p> <p>(1) 蓄電池 (重大事故等対処用) による代替電源 (直流) からの給電</p> | <p>容器内の温度、圧力及び水位並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量等)の計測が困難となった場合又は計測範囲を超えた場合、「表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要」のうち、「1.15 事故時の計装に関する手順等」の計器故障時の代替パラメータによる推定又は計器の計測範囲を超えた場合の代替パラメータによる推定の対応手段等により推定ができる設計とする。</p> <p>計器故障時に、当該パラメータの他チャンネル又は他ループの計器がある場合、他チャンネルの計器による計測を優先し、次に他ループの計器により計測するとともに、重要代替監視パラメータが複数ある場合は、推定する重要監視パラメータとの関係性がより直接的なパラメータ、検出器の種類及び使用環境条件を踏まえた計測される値の確からしさを考慮し、優先順位を定める。推定手段及び優先順位を表 2.15.10 に示す。</p> <p>b. 計器電源喪失時に使用する設備</p> <p>非常用交流電源設備又は非常用直流電源設備の喪失等により計器電源が喪失した場合において、計装設備への代替電源設備として常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備、所内常設蓄電式直流電源設備又は可搬型代替直流電源設備を使用する。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・常設代替交流電源設備 ・可搬型代替交流電源設備 ・所内常設蓄電式直流電源設備 ・可搬型代替直流電源設備 ・代替所内電気設備 | <p>■設備構成の相違 (相違理由②)</p> <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川では所内常設蓄電式直流電源設備による給電ができない場合の手段として常設代替直流電源設備による給電を整備しており、これら電源による給電により 24 時間にわたり直流母線への給電が可能。 ・泊では所内常設蓄電式直流電源設備 (蓄電池 (非常用) と後備蓄電池) による給電により 24 時間にわたり直流母線への給電が可能であり、後備蓄電池投入後、早期の電源復旧が見込めない場合は、可搬型代替直流電源設備 (可搬型直流電源用発電機及び可搬型直流変換器) による給電により対応する (伊方と同様)。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|--|--|
| | <p>蓄電池 (非常用) は、全交流動力電源喪失時において、事象発生後、2時間以内に中央制御室に隣接する計装盤室において簡易な操作で不要な負荷を切離すことにより8時間、その後、事象発生から8時間以内に不要な負荷を切離し、蓄電池 (重大事故等対処用) へ切替えることで24時間にわたって給電を確保する。</p> <p>(2) 可搬型直流電源装置による代替電源 (直流) からの給電 全交流動力電源喪失時に、蓄電池 (重大事故等対処用) からの給電にて母線電圧が低下する前 (事象発生後約24時間) に、可搬型直流電源装置による代替電源 (直流) からの給電を行う。</p> <p>また、代替電源設備が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備として、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池等を電源とした可搬型計測器を整備する。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視するものとする。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視するものとする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(3) パラメータ記録時に使用する設備 (設置許可基準規則解釈の第1項c)) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは計測又は監視及び記録が可能な設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われないとともに、帳票が出力可能な設計とする。</p> <p>また、記録は必要な容量を保存可能な設計とする。</p> <p>具体的な設備については、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全パラメータ表示システム (SPDS) (データ収集装置、SPDS 伝送装置及び SPDS 表示装置) <p>(図 3.15-6)</p> | <p>また、代替電源設備が喪失し計測に必要な計器電源が喪失した場合、特に重要なパラメータとして、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備として、温度、圧力、水位及び流量に係るものについて、乾電池を電源とした可搬型計測器を整備する。</p> <p>なお、可搬型計測器による計測においては、計測対象の選定を行う際の考え方として、同一パラメータにチャンネルが複数ある場合は、いずれか1つの適切なチャンネルを選定し計測又は監視するものとする。同一の物理量について、複数のパラメータがある場合は、いずれか1つの適切なパラメータを選定し計測又は監視するものとする。</p> <p>具体的な設備は、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・可搬型計測器 <p>(3) パラメータ記録時に使用する設備 (設置許可基準規則解釈の第1項c)) 原子炉格納容器内の温度、圧力、水位、水素濃度、放射線量率等想定される重大事故等の対応に必要な重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは計測又は監視及び記録が可能な設計とする。</p> <p>重大事故等の対応に必要なパラメータは、電磁的に記録、保存し、電源喪失により保存した記録が失われないとともに、帳票が出力可能な設計とする。</p> <p>また、記録は必要な容量を保存可能な設計とする。</p> <p>具体的な設備については、以下のとおりとする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ伝送設備 (発電所内) (データ収集計算機及びデータ表示端末) ・可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) <p>(図 2.15.4)</p> | <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の可搬型計測器は、乾電池のほかACアダプタからも給電が可能であるのに対し、泊は乾電池のみである。万一、乾電池の電源が無くなったとしても、乾電池の予備を配備しており、すぐに交換可能である (大飯と同様)。 <p>■設備の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|---|---|------|
| | <p>3.15.2 重大事故等対処設備</p> <p>3.15.2.1 計装設備</p> <p>3.15.2.1.1 設備概要</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器 (非常用のものを含む。) の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>表 3.15-1 に計測設備に関する重大事故等対処設備一覧を示す。</p> <p>図 3.15-4 から図 3.15-6 に重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計装設備の概要図を示す。</p> <p>なお、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータについては、重大事故等時の有効な情報を把握するため、設計基準対象施設の計装設備も用いて監視している。このような計装設備は、設計基準対象施設としての要件に沿って設置しており、かつ、その使用目的を変えるものではないが、推定という手法も含めて設置許可基準規則第 58 条適合のために必要な設備であることから、他の重大事故等対処設備の計装設備と併せて設置許可基準規則第 43 条への適合方針を整理する。</p> <p>また、発電用原子炉施設の状態を補助的に監視する補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。</p> | <p>2.15.2 重大事故等対処設備</p> <p>2.15.2.1 計装設備</p> <p>2.15.2.1.1 設備概要</p> <p>重大事故等が発生し、計測機器 (非常用のものを含む。) の故障により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために必要なパラメータを計測する設備を設置又は保管する。</p> <p>表 2.15.1 に計測設備に関する重大事故等対処設備一覧を示す。</p> <p>図 2.15.3 及び図 2.15.4 に重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計装設備の概要図を示す。</p> <p>なお、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータについては、重大事故等時の有効な情報を把握するため、設計基準対象施設の計装設備も用いて監視している。このような計装設備は、設計基準対象施設としての要件に沿って設置しており、かつ、その使用目的を変えるものではないが、推定という手法も含めて設置許可基準規則第 58 条適合のために必要な設備であることから、他の重大事故等対処設備の計装設備と併せて設置許可基準規則第 43 条への適合方針を整理する。</p> <p>また、発電用原子炉施設の状態を補助的に監視する補助パラメータのうち、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断基準として用いるパラメータについては、重大事故等対処設備とする。</p> | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------|---|---------|------|------|---------------|-----------|----------------|-----------------|-----------------|-------------------|-------------------|--------------------|--|---|----------------------|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------|-------------------------------|---------------------|-------------------|--------------|----------------|--------------------|-----------------|--------------|-------------|-------------|-----------------|--------------|---------------------|---------------------|------------------|--------------------------|--------------------------|-------------|---|------|-----|------|----------------------|----------------------|------------------|-----------|-------------|---------------------|---------------------|-------------------------|--------------------------------|-------------|---------------|------------------|-----------------------|-----------------------|------------|------------------|----------------------------|----------------------------|--------------|--------------|----------------|---------------------------|---------------------------|---------------------|-----------------------|-------------------------------|-----------------|--------------|------------------------|--------------------------|-----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|---------------------|--|
| | <p>表2.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (1/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="30">主要設備</td> <td>原子炉圧力容器温度【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SA燃料域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>高压代替注水系ポンプ出口流量【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)【常設】</td> </tr> <tr> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量【常設】</td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>高压炉心スプレイスポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレイスポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器代替スプレイ流量【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水流量【常設】</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル温度【常設】</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室内空気温度【常設】</td> </tr> <tr> <td>サブプレッションプール水温度【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度【常設】</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>圧力抑制室水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>ドライウエル水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (D/W)【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (S/C)【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気水素濃度【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/F)【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C)【常設】</td> </tr> <tr> <td>起動領域モニタ【常設】</td> </tr> </tbody> </table> <p>(次頁へ続く)</p> | 設備区分 | 設備名 | 主要設備 | 原子炉圧力容器温度【常設】 | 原子炉圧力【常設】 | 原子炉圧力 (SA)【常設】 | 原子炉水位 (広帯域)【常設】 | 原子炉水位 (燃料域)【常設】 | 原子炉水位 (SA広帯域)【常設】 | 原子炉水位 (SA燃料域)【常設】 | 高压代替注水系ポンプ出口流量【常設】 | 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)【常設】 | 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)【常設】 | 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量【常設】 | 代替循環冷却ポンプ出口流量【常設】 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】 | 高压炉心スプレイスポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】 | 残留熱除去系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】 | 低圧炉心スプレイスポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】 | 原子炉格納容器代替スプレイ流量【常設】 | 原子炉格納容器下部注水流量【常設】 | ドライウエル温度【常設】 | 圧力抑制室内空気温度【常設】 | サブプレッションプール水温度【常設】 | 原子炉格納容器下部温度【常設】 | ドライウエル圧力【常設】 | 圧力抑制室圧力【常設】 | 圧力抑制室水位【常設】 | 原子炉格納容器下部水位【常設】 | ドライウエル水位【常設】 | 格納容器内水素濃度 (D/W)【常設】 | 格納容器内水素濃度 (S/C)【常設】 | 格納容器内雰囲気水素濃度【常設】 | 格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/F)【常設】 | 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C)【常設】 | 起動領域モニタ【常設】 | <p>表2.15.1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (1/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="30">主要設備</td> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)【常設】</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)【常設】</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>高压注入流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量【常設】</td> </tr> <tr> <td>B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力 (AM用)【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)【常設】</td> </tr> <tr> <td>出力領域中性子束【常設】</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束【常設】</td> </tr> <tr> <td>中性子源領域中性子束【常設】</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域) (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域) (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補給冷却水サージタンク水位 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>燃料取替用水ピット水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット水位 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイタ温度監視装置【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ【常設】</td> </tr> <tr> <td>データ伝送設備 (発電所内)【常設】*</td> </tr> </tbody> </table> <p>(次頁へ続く)</p> | 設備区分 | 設備名 | 主要設備 | 1次冷却材温度 (広域-高温側)【常設】 | 1次冷却材温度 (広域-低温側)【常設】 | 1次冷却材圧力 (広域)【常設】 | 加圧器水位【常設】 | 原子炉容器水位【常設】 | 高压注入流量 (設計基準拡張)【常設】 | 低圧注入流量 (設計基準拡張)【常設】 | 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量【常設】 | B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)【常設】 | 格納容器内温度【常設】 | 原子炉格納容器圧力【常設】 | 格納容器圧力 (AM用)【常設】 | 格納容器再循環サンプ水位 (広域)【常設】 | 格納容器再循環サンプ水位 (狭域)【常設】 | 格納容器水位【常設】 | 原子炉下部キャビティ水位【常設】 | 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)【常設】 | 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)【常設】 | 出力領域中性子束【常設】 | 中間領域中性子束【常設】 | 中性子源領域中性子束【常設】 | 蒸気発生器水位 (狭域) (設計基準拡張)【常設】 | 蒸気発生器水位 (広域) (設計基準拡張)【常設】 | 補助給水流量 (設計基準拡張)【常設】 | 主蒸気ライン圧力 (設計基準拡張)【常設】 | 原子炉補給冷却水サージタンク水位 (設計基準拡張)【常設】 | 燃料取替用水ピット水位【常設】 | ほう酸タンク水位【常設】 | 補助給水ピット水位 (設計基準拡張)【常設】 | 原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置【常設】 | 格納容器水素イグナイタ温度監視装置【常設】 | 使用済燃料ピット水位 (AM用)【常設】 | 使用済燃料ピット温度 (AM用)【常設】 | 使用済燃料ピット監視カメラ【常設】 | データ伝送設備 (発電所内)【常設】* | <p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。 |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要設備 | 原子炉圧力容器温度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉圧力【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉圧力 (SA)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (広帯域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (燃料域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (SA広帯域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (SA燃料域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高压代替注水系ポンプ出口流量【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 代替循環冷却ポンプ出口流量【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高压炉心スプレイスポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去系ポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低圧炉心スプレイスポンプ出口流量 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器代替スプレイ流量【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器下部注水流量【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ドライウエル温度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 圧力抑制室内空気温度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | サブプレッションプール水温度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器下部温度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ドライウエル圧力【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 圧力抑制室圧力【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 圧力抑制室水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器下部水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ドライウエル水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内水素濃度 (D/W)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内水素濃度 (S/C)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内雰囲気水素濃度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/F)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 起動領域モニタ【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要設備 | 1次冷却材温度 (広域-高温側)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1次冷却材温度 (広域-低温側)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1次冷却材圧力 (広域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 加圧器水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉容器水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高压注入流量 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低圧注入流量 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内温度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器圧力【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器圧力 (AM用)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器再循環サンプ水位 (広域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器再循環サンプ水位 (狭域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉下部キャビティ水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 出力領域中性子束【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中間領域中性子束【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中性子源領域中性子束【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蒸気発生器水位 (狭域) (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蒸気発生器水位 (広域) (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 補助給水流量 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 主蒸気ライン圧力 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉補給冷却水サージタンク水位 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 燃料取替用水ピット水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ほう酸タンク水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 補助給水ピット水位 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器水素イグナイタ温度監視装置【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット水位 (AM用)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット温度 (AM用)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット監視カメラ【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| データ伝送設備 (発電所内)【常設】* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------|--|---------|------|------|---------------|--------------------|----------------------|----------------------|--------------|--------------------|------------------|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|----------------------------|--------------------------------|---------------|--------------------|----------------------|-------------------|-------------------------------|-------------------------------|----------------------------|-------------------------------|-----------------|----------------|------------------------|------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------------|-------------------|---------------------------|------------|------|---|----|---|----|---|-----|---|--|------|-----|------|------------------------|------------------------|----------------------------|----------------------|-----------------------|-----------------------|--------------------------------------|------------|---|---|------|---|----|---|----|---|-----|---|--|
| | <p>表3.16-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (2/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="32">主要設備</td> <td>平均出力領域モニタ【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力 (広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口圧力 (広帯域)【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置温度【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度【常設】</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水系系統流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>復水貯蔵タンク水位【常設】</td> </tr> <tr> <td>高圧代替注水系ポンプ出口圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却ポンプ出口圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】</td> </tr> <tr> <td>復水移送ポンプ出口圧力【常設】</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内水素濃度【常設】</td> </tr> <tr> <td>静的触媒式水素再結合装置動作監視装置【常設】</td> </tr> <tr> <td>格納容器内雰囲気酸素濃度【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量)【常設】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ【常設】</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム (SPDS)【常設】*</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器【可搬】</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(次頁へ続く)</p> | 設備区分 | 設備名 | 主要設備 | 平均出力領域モニタ【常設】 | フィルタ装置水位 (広帯域)【常設】 | フィルタ装置入口圧力 (広帯域)【常設】 | フィルタ装置出口圧力 (広帯域)【常設】 | フィルタ装置温度【常設】 | フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】 | フィルタ装置出口水素濃度【常設】 | 耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】 | 残留熱除去系熱交換器入口温度 (設計基準拡張)【常設】 | 残留熱除去系熱交換器出口温度 (設計基準拡張)【常設】 | 原子炉補機冷却水系系統流量 (設計基準拡張)【常設】 | 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (設計基準拡張)【常設】 | 復水貯蔵タンク水位【常設】 | 高圧代替注水系ポンプ出口圧力【常設】 | 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力【常設】 | 代替循環冷却ポンプ出口圧力【常設】 | 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】 | 高圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】 | 残留熱除去系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】 | 低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】 | 復水移送ポンプ出口圧力【常設】 | 原子炉建屋内水素濃度【常設】 | 静的触媒式水素再結合装置動作監視装置【常設】 | 格納容器内雰囲気酸素濃度【常設】 | 使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)【常設】 | 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)【常設】 | 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量)【常設】 | 使用済燃料プール監視カメラ【常設】 | 安全パラメータ表示システム (SPDS)【常設】* | 可搬型計測器【可搬】 | 附属設備 | — | 水源 | — | 流路 | — | 注水先 | — | <p>表2.15.1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">主要設備</td> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット【可搬】</td> </tr> <tr> <td>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット【可搬】</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ【可搬】</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置【可搬】</td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)【可搬】</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器【可搬】</td> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> <tr> <td>—</td> </tr> <tr> <td>附属設備</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>水源</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>流路</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>注水先</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(次頁へ続く)</p> | 設備区分 | 設備名 | 主要設備 | 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット【可搬】 | 可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット【可搬】 | 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)【可搬】 | 使用済燃料ピット水位 (可搬型)【可搬】 | 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ【可搬】 | 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置【可搬】 | 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)【可搬】 | 可搬型計測器【可搬】 | — | — | 附属設備 | — | 水源 | — | 流路 | — | 注水先 | — | |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要設備 | 平均出力領域モニタ【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フィルタ装置水位 (広帯域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フィルタ装置入口圧力 (広帯域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フィルタ装置出口圧力 (広帯域)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フィルタ装置温度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フィルタ装置出口放射線モニタ【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | フィルタ装置出口水素濃度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 耐圧強化ベント系放射線モニタ【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去系熱交換器入口温度 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去系熱交換器出口温度 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉補機冷却水系系統流量 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復水貯蔵タンク水位【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧代替注水系ポンプ出口圧力【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 代替循環冷却ポンプ出口圧力【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 低圧炉心スプレー系ポンプ出口圧力 (設計基準拡張)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 復水移送ポンプ出口圧力【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉建屋内水素濃度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 静的触媒式水素再結合装置動作監視装置【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内雰囲気酸素濃度【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量, 低線量)【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用済燃料プール監視カメラ【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 安全パラメータ表示システム (SPDS)【常設】* | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 可搬型計測器【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 附属設備 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 水源 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 流路 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注水先 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主要設備 | 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用済燃料ピット水位 (可搬型)【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 可搬型計測器【可搬】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 附属設備 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水源 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 流路 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 注水先 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | |
|--------------------|---|---------|------|--------------------|--|---|------|-----|--------------------|---|--|
| | <p>表3.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (3/4)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源設備²⁾</td> <td> 常設代替交流電源設備 ガスタービン発電機【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 ガスタービン発電機接続盤【常設】 緊急用高圧母線2F系【常設】 緊急用高圧母線2G系【常設】 緊急用動力変圧器2G系【常設】 緊急用低圧母線2G系【常設】 緊急用交流電解切替器2G系【常設】 非常用高圧母線2C系【常設】 非常用高圧母線2D系【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 125V蓄電池2A【常設】 125V蓄電池2B【常設】 125V充電器2A【常設】 125V充電器2B【常設】 常設代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 電源車【可搬】 125V代替充電器【常設】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 </td> </tr> </tbody> </table> <p>(次頁へ続く)</p> | 設備区分 | 設備名 | 電源設備 ²⁾ | 常設代替交流電源設備 ガスタービン発電機【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 ガスタービン発電機接続盤【常設】 緊急用高圧母線2F系【常設】 緊急用高圧母線2G系【常設】 緊急用動力変圧器2G系【常設】 緊急用低圧母線2G系【常設】 緊急用交流電解切替器2G系【常設】 非常用高圧母線2C系【常設】 非常用高圧母線2D系【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 125V蓄電池2A【常設】 125V蓄電池2B【常設】 125V充電器2A【常設】 125V充電器2B【常設】 常設代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 電源車【可搬】 125V代替充電器【常設】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 | <p>表2.15.1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>電源設備²⁾</td> <td> 常設代替交流電源設備 代替非常用発電機【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 可搬型代替電源車【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 代替非常用発電機【常設】 可搬型代替電源車【可搬】 代替所内電気設備変圧器【常設】 代替所内電気設備分電盤【常設】 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 後備蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 可搬型直流電源用発電機【可搬】 可搬型直流変換器【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 非常用交流電源設備 ディーゼル発電機 (設計基準拡張)【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ (設計基準拡張)【常設】 非常用直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 非常用交流電源設備 </td> </tr> </tbody> </table> | 設備区分 | 設備名 | 電源設備 ²⁾ | 常設代替交流電源設備 代替非常用発電機【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 可搬型代替電源車【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 代替非常用発電機【常設】 可搬型代替電源車【可搬】 代替所内電気設備変圧器【常設】 代替所内電気設備分電盤【常設】 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 後備蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 可搬型直流電源用発電機【可搬】 可搬型直流変換器【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 非常用交流電源設備 ディーゼル発電機 (設計基準拡張)【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ (設計基準拡張)【常設】 非常用直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 非常用交流電源設備 | |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | |
| 電源設備 ²⁾ | 常設代替交流電源設備 ガスタービン発電機【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備燃料移送ポンプ【常設】 軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 電源車【可搬】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 ガスタービン発電機接続盤【常設】 緊急用高圧母線2F系【常設】 緊急用高圧母線2G系【常設】 緊急用動力変圧器2G系【常設】 緊急用低圧母線2G系【常設】 緊急用交流電解切替器2G系【常設】 非常用高圧母線2C系【常設】 非常用高圧母線2D系【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 125V蓄電池2A【常設】 125V蓄電池2B【常設】 125V充電器2A【常設】 125V充電器2B【常設】 常設代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 125V代替蓄電池【常設】 電源車【可搬】 125V代替充電器【常設】 軽油タンク【常設】 ガスタービン発電設備軽油タンク【常設】 タンクローリ【可搬】 | | | | | | | | | | |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | |
| 電源設備 ²⁾ | 常設代替交流電源設備 代替非常用発電機【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 可搬型代替交流電源設備 可搬型代替電源車【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 代替所内電気設備 代替非常用発電機【常設】 可搬型代替電源車【可搬】 代替所内電気設備変圧器【常設】 代替所内電気設備分電盤【常設】 代替格納容器スプレイポンプ変圧器盤【常設】 所内常設蓄電式直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 後備蓄電池【常設】 可搬型代替直流電源設備 可搬型直流電源用発電機【可搬】 可搬型直流変換器【可搬】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 可搬型タンクローリ【可搬】 非常用交流電源設備 ディーゼル発電機 (設計基準拡張)【常設】 ディーゼル発電機燃料油貯油槽【常設】 ディーゼル発電機燃料油移送ポンプ (設計基準拡張)【常設】 非常用直流電源設備 蓄電池 (非常用)【常設】 上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 常設代替交流電源設備 可搬型代替交流電源設備 上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 非常用交流電源設備 | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------|--|---------|------|--------------------|-----------|---------------------------|---------------------------------|-----------|----------------|----------------|-------------------------|----------------|----------------|-------------------------|---|------------|-------------|-------------------------------------|-----------|---|--|
| | <p>表3.15-1 計装設備に関する重大事故等対処設備一覧 (4/4)</p> <table border="1" data-bbox="672 167 1223 571"> <thead> <tr> <th>設備区分</th> <th>設備名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="15">電源設備^{※2}</td> <td>非常用交流電源設備</td> </tr> <tr> <td>非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>非常用直流電源設備</td> </tr> <tr> <td>125V蓄電池2A 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V蓄電池2B 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V蓄電池2H (設計基準拡張) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V充電器2A 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V充電器2B 【常設】</td> </tr> <tr> <td>125V充電器2H (設計基準拡張) 【常設】</td> </tr> <tr> <td>上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。</td> </tr> <tr> <td>常設代替交流電源設備</td> </tr> <tr> <td>可搬型代替交流電源設備</td> </tr> <tr> <td>上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。</td> </tr> <tr> <td>非常用交流電源設備</td> </tr> </tbody> </table> <p>*1：安全パラメータ表示システム (SPDS) については、「3.19 通信連絡を行うために必要な設備 (設置許可基準規則第32条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p> <p>*2：単線結線図を補足説明資料58-2に示す。</p> <p>電源設備については、「3.14 電源設備 (設置許可基準規則第57条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p> | 設備区分 | 設備名 | 電源設備 ^{※2} | 非常用交流電源設備 | 非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】 | 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】 | 非常用直流電源設備 | 125V蓄電池2A 【常設】 | 125V蓄電池2B 【常設】 | 125V蓄電池2H (設計基準拡張) 【常設】 | 125V充電器2A 【常設】 | 125V充電器2B 【常設】 | 125V充電器2H (設計基準拡張) 【常設】 | 上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 | 常設代替交流電源設備 | 可搬型代替交流電源設備 | 上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 | 非常用交流電源設備 | <p>*1：データ伝送設備 (発電所内) については、「2.19 通信連絡を行うために必要な設備 (設置許可基準規則第62条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p> <p>*2：単線結線図を補足説明資料58-6に示す。</p> <p>電源設備については、「2.14 電源設備 (設置許可基準規則第57条に対する設計方針を示す章)」で示す。</p> | |
| 設備区分 | 設備名 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電源設備 ^{※2} | 非常用交流電源設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 非常用ディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧炉心スプレイ系ディーゼル発電機 (設計基準拡張) 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 非常用直流電源設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V蓄電池2A 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V蓄電池2B 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V蓄電池2H (設計基準拡張) 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V充電器2A 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V充電器2B 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V充電器2H (設計基準拡張) 【常設】 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 上記所内常設蓄電式直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 常設代替交流電源設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 可搬型代替交流電源設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 上記非常用直流電源設備への給電のための設備として以下の設備を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 非常用交流電源設備 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--------------------------------------|--|--|--------|--------------------------------|----|------|-----------|-----|--------|---|----------|-------|----------------------|---------------|---|-------------------------|------------|----------------------|---------------|---|-------------------------|-------------|-----------------------|--------------------------------|---|-------------------------|-------------|-----------------------|--------------------------------|---|-------------------------|---------------|-----------------------|--------------------------------|---|-------------------------|----------------|-----------------------|--------------------------------|---|-------------------------|--------------|-----------------------|------------------------|---|-------------------------|--------------------------------------|-----------------------|------------------------|---|-------------------------|-------------------------------------|-----------------------|------------------------|---|-------------------------|-----------------|-----------------------|------------------------|---|-------------------------|---------------|-----------------------|------------------------|---|-------------------------|-----------------|-----------------------|------------------------|---|-------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------|---|-------------------------|---------------|-----------------------|--------------------------|---|--------------------------------|------------------|-----------------------|--------------------------|---|-------------------------|-----------------|-----------------------|------------------------|---|-------------------------|---------------|-----------------------|------------------------|---|-------------------------|----------|-----|--------|----|----------|------------|-----|--------|---|----------|----------------|-------|--------|----|----------|-------------|-----|--------|----|----------|----------|----------------------|-------------|---|-------------------------|---------|----------------------|-------------|---|-------------------------|---------|-----------------------|------------------------------|---|-------------------------|-------------|----------|--|----|----------|---|----|--------|------|----|------|------------------|-------|--------|---|----------|------------------|-------|--------|---|----------|--------------|----------------------|------------------|---|----------|-------|-----------------------|--------|---|----------|---------|-----------------------|--------|---|----------|--------|-----------------------|------------------------|---|---------------------|--------|-----------------------|---------------------------|---|---------------------|---------------------|-----------------------|--|---|----------------------|--------------------------|-----------------------|--|---|---------------------|---------|-------|--------|---|----------|-----------|----------------------|-------------------|---|--------------------|-------------|----------------------|------------------|---|--------------------|-------------------|-----------------------|--------|---|----------|-------------------|-----------------------|--------|---|----------|--------------|----------|--------|---|----------|------------------------|-----|--|---|----------|------------------------|-----|--|---|----------|----------|-----------|--|---|----------|----------|----------|--|---|----------|--|
| | <p>3.15.2.1.2 主要設備の仕様 主要設備の仕様を表3.15-2に示す。</p> <p>表3.15-2 主要設備の仕様(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="667 245 1227 1005"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>許容範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>原子炉圧力容器温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~500℃</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力</td> <td>弾性圧力検出器^①</td> <td>0~10MPa[gage]</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (GA)</td> <td>弾性圧力検出器^②</td> <td>0~11MPa[gage]</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広帯域)</td> <td>差圧式水位検出器^③</td> <td>-3,800mm~-1,300mm^④</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> <td>差圧式水位検出器^⑤</td> <td>-3,800mm~-1,300mm^⑥</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (SAC帯域)</td> <td>差圧式水位検出器^⑦</td> <td>-3,800mm~-1,300mm^⑧</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (GAS燃料域)</td> <td>差圧式水位検出器^⑨</td> <td>-3,800mm~-1,300mm^⑩</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却水ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑪</td> <td>0~120m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量)</td> <td>差圧式流量検出器^⑫</td> <td>0~220m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量)</td> <td>差圧式流量検出器^⑬</td> <td>0~220m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>式機駆動低圧注水ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑭</td> <td>0~100m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>代替循環冷却ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑮</td> <td>0~200m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑯</td> <td>0~150m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレイ系ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑰</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑱</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地-2階 (A及びB) (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>低圧中心スプレイ系ポンプ出口流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑲</td> <td>0~1,300m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器代替スプレイ流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑳</td> <td>0~100m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部注水流量</td> <td>差圧式流量検出器^㉑</td> <td>0~110m³/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>11</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室内空気温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>4</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>サブレンジョンズプール水温度</td> <td>測風抵抗体</td> <td>0~200℃</td> <td>16</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~700℃</td> <td>12</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>ドライウェル圧力</td> <td>弾性圧力検出器^㉒</td> <td>0~10Pa[abs]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室圧力</td> <td>弾性圧力検出器^㉓</td> <td>0~10Pa[abs]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室水位</td> <td>差圧式水位検出器^㉔</td> <td>0~5m 0. P. -1300mm~1100mm</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>0. 5m, 1. 0m, 1. 5m, 2. 0m, 2. 5m, 2. 8m^⑳ 0. P. -2000mm, -1300mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm</td> <td>12</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> </tbody> </table> | 名称 | 検出器の種類 | 許容範囲 | 個数 | 取付箇所 | 原子炉圧力容器温度 | 熱電対 | 0~500℃ | 2 | 原子炉格納容器内 | 原子炉圧力 | 弾性圧力検出器 ^① | 0~10MPa[gage] | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉圧力 (GA) | 弾性圧力検出器 ^② | 0~11MPa[gage] | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉水位 (広帯域) | 差圧式水位検出器 ^③ | -3,800mm~-1,300mm ^④ | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉水位 (燃料域) | 差圧式水位検出器 ^⑤ | -3,800mm~-1,300mm ^⑥ | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉水位 (SAC帯域) | 差圧式水位検出器 ^⑦ | -3,800mm~-1,300mm ^⑧ | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉水位 (GAS燃料域) | 差圧式水位検出器 ^⑨ | -3,800mm~-1,300mm ^⑩ | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 高圧冷却水ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑪ | 0~120m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) | 差圧式流量検出器 ^⑫ | 0~220m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) | 差圧式流量検出器 ^⑬ | 0~220m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 式機駆動低圧注水ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑭ | 0~100m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 代替循環冷却ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑮ | 0~200m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑯ | 0~150m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 高圧中心スプレイ系ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑰ | 0~1,300m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 残留熱除去系ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑱ | 0~1,300m ³ /h | 3 | 原子炉建屋地-2階 (A及びB) (原子炉建屋原子炉格納内) | 低圧中心スプレイ系ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑲ | 0~1,300m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉格納容器代替スプレイ流量 | 差圧式流量検出器 ^⑳ | 0~100m ³ /h | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉格納容器下部注水流量 | 差圧式流量検出器 ^㉑ | 0~110m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | ドライウェル温度 | 熱電対 | 0~300℃ | 11 | 原子炉格納容器内 | 圧力制御室内空気温度 | 熱電対 | 0~300℃ | 4 | 原子炉格納容器内 | サブレンジョンズプール水温度 | 測風抵抗体 | 0~200℃ | 16 | 原子炉格納容器内 | 原子炉格納容器下部温度 | 熱電対 | 0~700℃ | 12 | 原子炉格納容器内 | ドライウェル圧力 | 弾性圧力検出器 ^㉒ | 0~10Pa[abs] | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 圧力制御室圧力 | 弾性圧力検出器 ^㉓ | 0~10Pa[abs] | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 圧力制御室水位 | 差圧式水位検出器 ^㉔ | 0~5m 0. P. -1300mm~1100mm | 2 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉格納容器下部水位 | 電極式水位検出器 | 0. 5m, 1. 0m, 1. 5m, 2. 0m, 2. 5m, 2. 8m ^⑳ 0. P. -2000mm, -1300mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm | 12 | 原子炉格納容器内 | <p>2.15.2.1.2 主要設備の仕様 主要設備の仕様を表2.15.2に示す。</p> <p>表2.15.2 主要設備の仕様(1/3)</p> <table border="1" data-bbox="1254 261 1814 1018"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>許容範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高温側)</td> <td>測風抵抗体</td> <td>0~400℃</td> <td>3</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低温側)</td> <td>測風抵抗体</td> <td>0~400℃</td> <td>3</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> <td>弾性圧力検出器^①</td> <td>0~21.0MPa [gage]</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>加圧器水位</td> <td>差圧式水位検出器^②</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器水位</td> <td>差圧式水位検出器^③</td> <td>0~100%</td> <td>1</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>高圧注入流量</td> <td>差圧式流量検出器^④</td> <td>0~350m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉補助建屋 T. P. 2. 8m</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑤</td> <td>0~1, 100m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉補助建屋 T. P. 2. 8m</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>差圧式流量検出器^⑥</td> <td>0~300m³/h (積算: 0~10, 000m³)</td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (A用)</td> <td>差圧式流量検出器^⑦</td> <td>0~1, 300m³/h (積算: 0~10, 000 m³)</td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 T. P. 2. 8m</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> <td>測風抵抗体</td> <td>0~220℃</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力</td> <td>弾性圧力検出器^⑧</td> <td>0~0. 30MPa [gage]</td> <td>2</td> <td>周辺構機棟 T. P. 17. 8m</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力 (A用)</td> <td>弾性圧力検出器^⑨</td> <td>0~1. 0MPa [gage]</td> <td>2</td> <td>周辺構機棟 T. P. 24. 8m</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (広域)</td> <td>差圧式水位検出器^⑩</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環サンプ水位 (狭域)</td> <td>差圧式水位検出器^⑪</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャピタリ水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>0N-GFF</td> <td>1</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ)</td> <td>電離箱</td> <td>10¹²~10¹⁵ μSv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ)</td> <td>電離箱</td> <td>10¹²~10¹⁵ μSv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>出力領域中性子束</td> <td>γ線非補償型電離箱</td> <td>0~120% (3. 3×10¹²~1. 2×10¹³cm⁻²・s)</td> <td>4</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>中間領域中性子束</td> <td>γ線補償型電離箱</td> <td>10¹²~5×10¹⁴ (1. 3×10¹²~4. 6×10¹⁴cm⁻²・s)</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> </tbody> </table> | 名称 | 検出器の種類 | 許容範囲 | 個数 | 取付箇所 | 1次冷却材温度 (広域-高温側) | 測風抵抗体 | 0~400℃ | 3 | 原子炉格納容器内 | 1次冷却材温度 (広域-低温側) | 測風抵抗体 | 0~400℃ | 3 | 原子炉格納容器内 | 1次冷却材圧力 (広域) | 弾性圧力検出器 ^① | 0~21.0MPa [gage] | 2 | 原子炉格納容器内 | 加圧器水位 | 差圧式水位検出器 ^② | 0~100% | 2 | 原子炉格納容器内 | 原子炉容器水位 | 差圧式水位検出器 ^③ | 0~100% | 1 | 原子炉格納容器内 | 高圧注入流量 | 差圧式流量検出器 ^④ | 0~350m ³ /h | 2 | 原子炉補助建屋 T. P. 2. 8m | 低圧注入流量 | 差圧式流量検出器 ^⑤ | 0~1, 100m ³ /h | 2 | 原子炉補助建屋 T. P. 2. 8m | 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 | 差圧式流量検出器 ^⑥ | 0~300m ³ /h (積算: 0~10, 000m ³) | 1 | 原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m | B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (A用) | 差圧式流量検出器 ^⑦ | 0~1, 300m ³ /h (積算: 0~10, 000 m ³) | 1 | 原子炉補助建屋 T. P. 2. 8m | 格納容器内温度 | 測風抵抗体 | 0~220℃ | 2 | 原子炉格納容器内 | 原子炉格納容器圧力 | 弾性圧力検出器 ^⑧ | 0~0. 30MPa [gage] | 2 | 周辺構機棟 T. P. 17. 8m | 格納容器圧力 (A用) | 弾性圧力検出器 ^⑨ | 0~1. 0MPa [gage] | 2 | 周辺構機棟 T. P. 24. 8m | 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | 差圧式水位検出器 ^⑩ | 0~100% | 2 | 原子炉格納容器内 | 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) | 差圧式水位検出器 ^⑪ | 0~100% | 2 | 原子炉格納容器内 | 原子炉下部キャピタリ水位 | 電極式水位検出器 | 0N-GFF | 1 | 原子炉格納容器内 | 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) | 電離箱 | 10 ¹² ~10 ¹⁵ μSv/h | 2 | 原子炉格納容器内 | 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) | 電離箱 | 10 ¹² ~10 ¹⁵ μSv/h | 2 | 原子炉格納容器内 | 出力領域中性子束 | γ線非補償型電離箱 | 0~120% (3. 3×10 ¹² ~1. 2×10 ¹³ cm ⁻² ・s) | 4 | 原子炉格納容器内 | 中間領域中性子束 | γ線補償型電離箱 | 10 ¹² ~5×10 ¹⁴ (1. 3×10 ¹² ~4. 6×10 ¹⁴ cm ⁻² ・s) | 2 | 原子炉格納容器内 | <p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外としている。以降、同表において同じ。 |
| 名称 | 検出器の種類 | 許容範囲 | 個数 | 取付箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉圧力容器温度 | 熱電対 | 0~500℃ | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉圧力 | 弾性圧力検出器 ^① | 0~10MPa[gage] | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉圧力 (GA) | 弾性圧力検出器 ^② | 0~11MPa[gage] | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉水位 (広帯域) | 差圧式水位検出器 ^③ | -3,800mm~-1,300mm ^④ | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉水位 (燃料域) | 差圧式水位検出器 ^⑤ | -3,800mm~-1,300mm ^⑥ | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉水位 (SAC帯域) | 差圧式水位検出器 ^⑦ | -3,800mm~-1,300mm ^⑧ | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉水位 (GAS燃料域) | 差圧式水位検出器 ^⑨ | -3,800mm~-1,300mm ^⑩ | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高圧冷却水ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑪ | 0~120m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) | 差圧式流量検出器 ^⑫ | 0~220m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系格納容器冷却ライン洗浄流量) | 差圧式流量検出器 ^⑬ | 0~220m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 式機駆動低圧注水ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑭ | 0~100m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 代替循環冷却ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑮ | 0~200m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑯ | 0~150m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高圧中心スプレイ系ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑰ | 0~1,300m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 残留熱除去系ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑱ | 0~1,300m ³ /h | 3 | 原子炉建屋地-2階 (A及びB) (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低圧中心スプレイ系ポンプ出口流量 | 差圧式流量検出器 ^⑲ | 0~1,300m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器代替スプレイ流量 | 差圧式流量検出器 ^⑳ | 0~100m ³ /h | 2 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器下部注水流量 | 差圧式流量検出器 ^㉑ | 0~110m ³ /h | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ドライウェル温度 | 熱電対 | 0~300℃ | 11 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 圧力制御室内空気温度 | 熱電対 | 0~300℃ | 4 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| サブレンジョンズプール水温度 | 測風抵抗体 | 0~200℃ | 16 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器下部温度 | 熱電対 | 0~700℃ | 12 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ドライウェル圧力 | 弾性圧力検出器 ^㉒ | 0~10Pa[abs] | 1 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 圧力制御室圧力 | 弾性圧力検出器 ^㉓ | 0~10Pa[abs] | 1 | 原子炉建屋地-1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 圧力制御室水位 | 差圧式水位検出器 ^㉔ | 0~5m 0. P. -1300mm~1100mm | 2 | 原子炉建屋地-2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器下部水位 | 電極式水位検出器 | 0. 5m, 1. 0m, 1. 5m, 2. 0m, 2. 5m, 2. 8m ^⑳ 0. P. -2000mm, -1300mm, -1000mm, -500mm, 0mm, 300mm | 12 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | 検出器の種類 | 許容範囲 | 個数 | 取付箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1次冷却材温度 (広域-高温側) | 測風抵抗体 | 0~400℃ | 3 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1次冷却材温度 (広域-低温側) | 測風抵抗体 | 0~400℃ | 3 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1次冷却材圧力 (広域) | 弾性圧力検出器 ^① | 0~21.0MPa [gage] | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 加圧器水位 | 差圧式水位検出器 ^② | 0~100% | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉容器水位 | 差圧式水位検出器 ^③ | 0~100% | 1 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高圧注入流量 | 差圧式流量検出器 ^④ | 0~350m ³ /h | 2 | 原子炉補助建屋 T. P. 2. 8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低圧注入流量 | 差圧式流量検出器 ^⑤ | 0~1, 100m ³ /h | 2 | 原子炉補助建屋 T. P. 2. 8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 | 差圧式流量検出器 ^⑥ | 0~300m ³ /h (積算: 0~10, 000m ³) | 1 | 原子炉補助建屋 T. P. 10. 3m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (A用) | 差圧式流量検出器 ^⑦ | 0~1, 300m ³ /h (積算: 0~10, 000 m ³) | 1 | 原子炉補助建屋 T. P. 2. 8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内温度 | 測風抵抗体 | 0~220℃ | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器圧力 | 弾性圧力検出器 ^⑧ | 0~0. 30MPa [gage] | 2 | 周辺構機棟 T. P. 17. 8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器圧力 (A用) | 弾性圧力検出器 ^⑨ | 0~1. 0MPa [gage] | 2 | 周辺構機棟 T. P. 24. 8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器再循環サンプ水位 (広域) | 差圧式水位検出器 ^⑩ | 0~100% | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器再循環サンプ水位 (狭域) | 差圧式水位検出器 ^⑪ | 0~100% | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉下部キャピタリ水位 | 電極式水位検出器 | 0N-GFF | 1 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) | 電離箱 | 10 ¹² ~10 ¹⁵ μSv/h | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) | 電離箱 | 10 ¹² ~10 ¹⁵ μSv/h | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 出力領域中性子束 | γ線非補償型電離箱 | 0~120% (3. 3×10 ¹² ~1. 2×10 ¹³ cm ⁻² ・s) | 4 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中間領域中性子束 | γ線補償型電離箱 | 10 ¹² ~5×10 ¹⁴ (1. 3×10 ¹² ~4. 6×10 ¹⁴ cm ⁻² ・s) | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------------------|---|---|-----------------|---|----|------|----------|----------|--|---|----------|-----------------|--------------|------------|---|----------|-----------------|--------------|------------|---|----------|---------------|------------|-------------------------|--------|--|-----------------------|-----|--|---|---------------------------|-----------------------|-----|--|---|---------------------------|---------|--------|---|---|----------|-----------|--------|---|-----------------|----------|----------------|------------------------|-----------|---|---------------------------|------------------|-----------------------|--------------------|---|---------------------------|------------------|-----------------------|--------------------|---|---------------------------|-----------|-----|--------|---|---------------------------|----------------|-----|--|---|---------------------------|--------------|------------|-------------------------|--------|--|----------------|-----|--|---|---------------------------|----------------|-----|--------|---|---------------------------|----------------|-----|--------|---|---------------------------|--------------|------------------------|--------------------------|---|---------------------------|-------------------|------------------------|--------------------------|---|---------------------------|------------|----------|-----------------------|---|-----------------------|---------------|-----------------------|----------------|---|---------------------------|------------------|-----------------------|----------------|---|---------------------------|---------------|-----------------------|----------------|---|---------------------------|------------------|-----------------------|----------------|---|---------------------------|--|----|--------|------|----|------|------------|-------|--|---|----------|--------------|------------------------|--------|---|----------|--------------|------------------------|--------|---|----------|--------|-------------------------|------------------------|---|------------------|----------|------------------------|---------------------|---|------------------|------------------|-------------------------|--------|---|------------------|-------------|-------------------------|--------|---|------------------|----------|-------------------------|--------|---|--------------------|-----------|-------------------------|--------|---|------------------|----------------------|-----|--------|---|----------|-------------------|-----|--------|----|----------|------------------|----------|-------------------|---|-------|------------------|-------|--------|---|-------|---------------|--------|---|---|-------|-------------------|---|---|---|---|--------------------|---------|-----------|---|---|--------------------|---------|-----------|---|---|------------------------|---------------------------------|----------------------|---|---|------------------|------------|-------------------|---|---------------------------------------|--|
| | <p>表 3.15-2 主要設備の仕様 (2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>輸出値の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>ドライウェル水位</td> <td>電極式水位検出器</td> <td>0.02m, 0.23m, 0.334m¹⁾ (0. P. 1170mm, 1385mm, 1490mm)</td> <td>6</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (D/N)</td> <td>水素検測材料式水素検出器</td> <td>0~100vol%K</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内水素濃度 (S/C)</td> <td>水素検測材料式水素検出器</td> <td>0~100vol%K</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気発生水素濃度</td> <td>熱伝導率式水素検出器</td> <td>0~30vol%K 0~100vol%K</td> <td>2 2</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気発生放射線モニタ (h/c)</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻⁵sv/h~10⁵sv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気発生放射線モニタ (s/c)</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻⁵sv/h~10⁵sv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気モニタ</td> <td>積分型電離箱</td> <td>中性子線領域 10⁻⁵app~10⁵app (1×10⁵cm⁻²・s⁻¹~ 1×10¹⁵cm⁻²・s⁻¹) 中性子線領域 0~40%又は10~105% (1×10¹⁵cm⁻²・s⁻¹~ 2×10¹⁵cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>6</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>平均出力機軸モニタ</td> <td>積分型電離箱</td> <td>0~125%²⁾ (1.2×10¹⁵cm⁻²・s⁻¹~ 2.5×10¹⁵cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>6²⁾</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水位 (広帯域)</td> <td>差圧式水位検出器³⁾</td> <td>0~5.650mm</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置入口圧力 (広帯域)</td> <td>弾性圧力検出器⁴⁾</td> <td>0~1MPa~10Pa[scale]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口圧力 (広帯域)</td> <td>弾性圧力検出器⁴⁾</td> <td>0~1MPa~10Pa[scale]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置水温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~200℃</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口放射線モニタ</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻⁵sv/h~10⁵sv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度</td> <td>熱伝導率式水素検出器</td> <td>0~30vol%K 0~100vol%K</td> <td>1 1</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>耐圧強化バント系放射線モニタ</td> <td>電離箱</td> <td>10⁻⁵sv/h~10⁵sv/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器入口温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器出口温度</td> <td>熱電対</td> <td>0~300℃</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素濃度</td> <td>差圧式水素検出器⁵⁾</td> <td>0~1.000m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量</td> <td>差圧式流量検出器⁶⁾</td> <td>0~1,500m³/h</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>冷却水貯蔵タンク水位</td> <td>差圧式水位検出器</td> <td>0~3,200⁷⁾</td> <td>1</td> <td>屋外 (GST連絡トンネルバルブ室)</td> </tr> <tr> <td>高圧式冷却水ポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器⁸⁾</td> <td>0~10MPa[scale]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>表圧駆動高圧冷却水ポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器⁸⁾</td> <td>0~20MPa[scale]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>汽動蒸気冷却ポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器⁸⁾</td> <td>0~30MPa[scale]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器⁸⁾</td> <td>0~10MPa[scale]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> </tr> </tbody> </table> | 名称 | 輸出値の種類 | 計測範囲 | 個数 | 取付箇所 | ドライウェル水位 | 電極式水位検出器 | 0.02m, 0.23m, 0.334m ¹⁾ (0. P. 1170mm, 1385mm, 1490mm) | 6 | 原子炉格納容器内 | 格納容器内水素濃度 (D/N) | 水素検測材料式水素検出器 | 0~100vol%K | 2 | 原子炉格納容器内 | 格納容器内水素濃度 (S/C) | 水素検測材料式水素検出器 | 0~100vol%K | 2 | 原子炉格納容器内 | 格納容器内蒸気発生水素濃度 | 熱伝導率式水素検出器 | 0~30vol%K 0~100vol%K | 2 2 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) | 格納容器内蒸気発生放射線モニタ (h/c) | 電離箱 | 10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h | 2 | 原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 格納容器内蒸気発生放射線モニタ (s/c) | 電離箱 | 10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h | 2 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | 圧縮空気モニタ | 積分型電離箱 | 中性子線領域 10 ⁻⁵ app~10 ⁵ app (1×10 ⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 1×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹) 中性子線領域 0~40%又は10~105% (1×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 2×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹) | 6 | 原子炉格納容器内 | 平均出力機軸モニタ | 積分型電離箱 | 0~125% ²⁾ (1.2×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 2.5×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹) | 6 ²⁾ | 原子炉格納容器内 | フィルタ装置水位 (広帯域) | 差圧式水位検出器 ³⁾ | 0~5.650mm | 2 | 原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内) | フィルタ装置入口圧力 (広帯域) | 弾性圧力検出器 ⁴⁾ | 0~1MPa~10Pa[scale] | 1 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | フィルタ装置出口圧力 (広帯域) | 弾性圧力検出器 ⁴⁾ | 0~1MPa~10Pa[scale] | 1 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | フィルタ装置水温度 | 熱電対 | 0~200℃ | 2 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | フィルタ装置出口放射線モニタ | 電離箱 | 10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h | 2 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) | フィルタ装置出口水素濃度 | 熱伝導率式水素検出器 | 0~30vol%K 0~100vol%K | 1 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) | 耐圧強化バント系放射線モニタ | 電離箱 | 10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h | 2 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 残留熱除去系熱交換器入口温度 | 熱電対 | 0~300℃ | 2 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 残留熱除去系熱交換器出口温度 | 熱電対 | 0~300℃ | 2 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 原子炉格納容器内水素濃度 | 差圧式水素検出器 ⁵⁾ | 0~1.000m ³ /h | 2 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 | 差圧式流量検出器 ⁶⁾ | 0~1,500m ³ /h | 2 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | 冷却水貯蔵タンク水位 | 差圧式水位検出器 | 0~3,200 ⁷⁾ | 1 | 屋外 (GST連絡トンネルバルブ室) | 高圧式冷却水ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 ⁸⁾ | 0~10MPa[scale] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | 表圧駆動高圧冷却水ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 ⁸⁾ | 0~20MPa[scale] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | 汽動蒸気冷却ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 ⁸⁾ | 0~30MPa[scale] | 1 | 原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内) | 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 ⁸⁾ | 0~10MPa[scale] | 1 | 原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内) | <p>表 2.15.2 主要設備の仕様 (2/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>中性子源領域中性子束</td> <td>比例計数管</td> <td>1~10⁶cps (10⁴~10⁸cm⁻²・s⁻¹)</td> <td>2</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (奥域)</td> <td>差圧式水位検出器⁹⁾</td> <td>0~100%</td> <td>6</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> <td>差圧式水位検出器⁹⁾</td> <td>0~100%</td> <td>3</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> <td>差圧式流量検出器¹⁰⁾</td> <td>0~130m³/h</td> <td>3</td> <td>周辺補機棟 T.P. 10.3m</td> </tr> <tr> <td>主蒸気ライン圧力</td> <td>弾性圧力検出器¹¹⁾</td> <td>0~8.5MPa [range]</td> <td>6</td> <td>周辺補機棟 T.P. 33.1m</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助冷却水サージタンク水位</td> <td>差圧式水位検出器¹²⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>周辺補機棟 T.P. 43.6m</td> </tr> <tr> <td>燃料取扱用水ビット水位</td> <td>差圧式水位検出器¹³⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>周辺補機棟 T.P. 24.8m</td> </tr> <tr> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>差圧式水位検出器¹⁴⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 12.8m</td> </tr> <tr> <td>補助給水ビット水位</td> <td>差圧式水位検出器¹⁵⁾</td> <td>0~100%</td> <td>2</td> <td>周辺補機棟 T.P. 24.8m</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素濃度監視温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>5</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イオンイタ温度監視装置</td> <td>熱電対</td> <td>0~800℃</td> <td>13</td> <td>原子炉格納容器内</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット水位 (AM用)</td> <td>電流式水位検出器</td> <td>T.P. 25.24~32.76m</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット温度 (AM用)</td> <td>温度抵抗体</td> <td>0~100℃</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット監視カメラ</td> <td>非視線カメラ</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>燃料取扱棟</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 33.1m (周辺補機棟 T.P. 33.1m 及び原子炉補助建屋 T.P. 33.1mに保管)</td> </tr> <tr> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</td> <td>熱伝導式検出器</td> <td>0~20vol%K</td> <td>1</td> <td>周辺補機棟 T.P. 24.8m (周辺補機棟 T.P. 24.8mに保管)</td> </tr> <tr> <td>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット</td> <td>熱伝導式検出器</td> <td>0~20vol%K</td> <td>1</td> <td>周辺補機棟 T.P. 24.8m (周辺補機棟 T.P. 24.8mに保管)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補助冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> <td>ブルドン管型¹⁶⁾ (弾性変形)</td> <td>0~1,000Pa [range]</td> <td>1</td> <td>周辺補機棟 T.P. 43.6m (周辺補機棟 T.P. 43.6m 及び緊急時対策所待機所内に保管)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ビット水位 (可搬型)</td> <td>フロート式水位検出器</td> <td>T.P. 21.30~32.76m</td> <td>2</td> <td>燃料取扱棟 (燃料取扱棟及び周辺補機棟 T.P. 33.1mに保管)</td> </tr> </tbody> </table> | 名称 | 検出器の種類 | 計測範囲 | 個数 | 取付箇所 | 中性子源領域中性子束 | 比例計数管 | 1~10 ⁶ cps (10 ⁴ ~10 ⁸ cm ⁻² ・s ⁻¹) | 2 | 原子炉格納容器内 | 蒸気発生器水位 (奥域) | 差圧式水位検出器 ⁹⁾ | 0~100% | 6 | 原子炉格納容器内 | 蒸気発生器水位 (広域) | 差圧式水位検出器 ⁹⁾ | 0~100% | 3 | 原子炉格納容器内 | 補助給水流量 | 差圧式流量検出器 ¹⁰⁾ | 0~130m ³ /h | 3 | 周辺補機棟 T.P. 10.3m | 主蒸気ライン圧力 | 弾性圧力検出器 ¹¹⁾ | 0~8.5MPa [range] | 6 | 周辺補機棟 T.P. 33.1m | 原子炉補助冷却水サージタンク水位 | 差圧式水位検出器 ¹²⁾ | 0~100% | 2 | 周辺補機棟 T.P. 43.6m | 燃料取扱用水ビット水位 | 差圧式水位検出器 ¹³⁾ | 0~100% | 2 | 周辺補機棟 T.P. 24.8m | ほう酸タンク水位 | 差圧式水位検出器 ¹⁴⁾ | 0~100% | 2 | 原子炉補助建屋 T.P. 12.8m | 補助給水ビット水位 | 差圧式水位検出器 ¹⁵⁾ | 0~100% | 2 | 周辺補機棟 T.P. 24.8m | 原子炉格納容器内水素濃度監視温度監視装置 | 熱電対 | 0~800℃ | 5 | 原子炉格納容器内 | 格納容器水素イオンイタ温度監視装置 | 熱電対 | 0~800℃ | 13 | 原子炉格納容器内 | 使用済燃料ビット水位 (AM用) | 電流式水位検出器 | T.P. 25.24~32.76m | 2 | 燃料取扱棟 | 使用済燃料ビット温度 (AM用) | 温度抵抗体 | 0~100℃ | 2 | 燃料取扱棟 | 使用済燃料ビット監視カメラ | 非視線カメラ | — | 1 | 燃料取扱棟 | 使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置 | — | — | 1 | 原子炉補助建屋 T.P. 33.1m (周辺補機棟 T.P. 33.1m 及び原子炉補助建屋 T.P. 33.1mに保管) | 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット | 熱伝導式検出器 | 0~20vol%K | 1 | 周辺補機棟 T.P. 24.8m (周辺補機棟 T.P. 24.8mに保管) | 可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット | 熱伝導式検出器 | 0~20vol%K | 1 | 周辺補機棟 T.P. 24.8m (周辺補機棟 T.P. 24.8mに保管) | 原子炉補助冷却水サージタンク圧力 (可搬型) | ブルドン管型 ¹⁶⁾ (弾性変形) | 0~1,000Pa [range] | 1 | 周辺補機棟 T.P. 43.6m (周辺補機棟 T.P. 43.6m 及び緊急時対策所待機所内に保管) | 使用済燃料ビット水位 (可搬型) | フロート式水位検出器 | T.P. 21.30~32.76m | 2 | 燃料取扱棟 (燃料取扱棟及び周辺補機棟 T.P. 33.1mに保管) | |
| 名称 | 輸出値の種類 | 計測範囲 | 個数 | 取付箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ドライウェル水位 | 電極式水位検出器 | 0.02m, 0.23m, 0.334m ¹⁾ (0. P. 1170mm, 1385mm, 1490mm) | 6 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内水素濃度 (D/N) | 水素検測材料式水素検出器 | 0~100vol%K | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内水素濃度 (S/C) | 水素検測材料式水素検出器 | 0~100vol%K | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内蒸気発生水素濃度 | 熱伝導率式水素検出器 | 0~30vol%K 0~100vol%K | 2 2 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内蒸気発生放射線モニタ (h/c) | 電離箱 | 10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h | 2 | 原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内蒸気発生放射線モニタ (s/c) | 電離箱 | 10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h | 2 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 圧縮空気モニタ | 積分型電離箱 | 中性子線領域 10 ⁻⁵ app~10 ⁵ app (1×10 ⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 1×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹) 中性子線領域 0~40%又は10~105% (1×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 2×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹) | 6 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 平均出力機軸モニタ | 積分型電離箱 | 0~125% ²⁾ (1.2×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹ ~ 2.5×10 ¹⁵ cm ⁻² ・s ⁻¹) | 6 ²⁾ | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置水位 (広帯域) | 差圧式水位検出器 ³⁾ | 0~5.650mm | 2 | 原子炉建屋地下1階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置入口圧力 (広帯域) | 弾性圧力検出器 ⁴⁾ | 0~1MPa~10Pa[scale] | 1 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置出口圧力 (広帯域) | 弾性圧力検出器 ⁴⁾ | 0~1MPa~10Pa[scale] | 1 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置水温度 | 熱電対 | 0~200℃ | 2 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置出口放射線モニタ | 電離箱 | 10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h | 2 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置出口水素濃度 | 熱伝導率式水素検出器 | 0~30vol%K 0~100vol%K | 1 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 耐圧強化バント系放射線モニタ | 電離箱 | 10 ⁻⁵ sv/h~10 ⁵ sv/h | 2 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 残留熱除去系熱交換器入口温度 | 熱電対 | 0~300℃ | 2 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 残留熱除去系熱交換器出口温度 | 熱電対 | 0~300℃ | 2 | 原子炉建屋地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内水素濃度 | 差圧式水素検出器 ⁵⁾ | 0~1.000m ³ /h | 2 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 | 差圧式流量検出器 ⁶⁾ | 0~1,500m ³ /h | 2 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 冷却水貯蔵タンク水位 | 差圧式水位検出器 | 0~3,200 ⁷⁾ | 1 | 屋外 (GST連絡トンネルバルブ室) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高圧式冷却水ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 ⁸⁾ | 0~10MPa[scale] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 表圧駆動高圧冷却水ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 ⁸⁾ | 0~20MPa[scale] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 汽動蒸気冷却ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 ⁸⁾ | 0~30MPa[scale] | 1 | 原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 ⁸⁾ | 0~10MPa[scale] | 1 | 原子炉建屋地下3階 (原子炉建屋原子炉室内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | 検出器の種類 | 計測範囲 | 個数 | 取付箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 中性子源領域中性子束 | 比例計数管 | 1~10 ⁶ cps (10 ⁴ ~10 ⁸ cm ⁻² ・s ⁻¹) | 2 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 蒸気発生器水位 (奥域) | 差圧式水位検出器 ⁹⁾ | 0~100% | 6 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 蒸気発生器水位 (広域) | 差圧式水位検出器 ⁹⁾ | 0~100% | 3 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補助給水流量 | 差圧式流量検出器 ¹⁰⁾ | 0~130m ³ /h | 3 | 周辺補機棟 T.P. 10.3m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 主蒸気ライン圧力 | 弾性圧力検出器 ¹¹⁾ | 0~8.5MPa [range] | 6 | 周辺補機棟 T.P. 33.1m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉補助冷却水サージタンク水位 | 差圧式水位検出器 ¹²⁾ | 0~100% | 2 | 周辺補機棟 T.P. 43.6m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料取扱用水ビット水位 | 差圧式水位検出器 ¹³⁾ | 0~100% | 2 | 周辺補機棟 T.P. 24.8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| ほう酸タンク水位 | 差圧式水位検出器 ¹⁴⁾ | 0~100% | 2 | 原子炉補助建屋 T.P. 12.8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補助給水ビット水位 | 差圧式水位検出器 ¹⁵⁾ | 0~100% | 2 | 周辺補機棟 T.P. 24.8m | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内水素濃度監視温度監視装置 | 熱電対 | 0~800℃ | 5 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器水素イオンイタ温度監視装置 | 熱電対 | 0~800℃ | 13 | 原子炉格納容器内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ビット水位 (AM用) | 電流式水位検出器 | T.P. 25.24~32.76m | 2 | 燃料取扱棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ビット温度 (AM用) | 温度抵抗体 | 0~100℃ | 2 | 燃料取扱棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ビット監視カメラ | 非視線カメラ | — | 1 | 燃料取扱棟 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ビット監視カメラ冷却装置 | — | — | 1 | 原子炉補助建屋 T.P. 33.1m (周辺補機棟 T.P. 33.1m 及び原子炉補助建屋 T.P. 33.1mに保管) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット | 熱伝導式検出器 | 0~20vol%K | 1 | 周辺補機棟 T.P. 24.8m (周辺補機棟 T.P. 24.8mに保管) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット | 熱伝導式検出器 | 0~20vol%K | 1 | 周辺補機棟 T.P. 24.8m (周辺補機棟 T.P. 24.8mに保管) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉補助冷却水サージタンク圧力 (可搬型) | ブルドン管型 ¹⁶⁾ (弾性変形) | 0~1,000Pa [range] | 1 | 周辺補機棟 T.P. 43.6m (周辺補機棟 T.P. 43.6m 及び緊急時対策所待機所内に保管) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ビット水位 (可搬型) | フロート式水位検出器 | T.P. 21.30~32.76m | 2 | 燃料取扱棟 (燃料取扱棟及び周辺補機棟 T.P. 33.1mに保管) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|---|--------|--|----|------|------------------|----------------------|----------------|---|----------------------------|-------------|----------------------|---------------|---|--|------------------|----------------------|---------------|---|----------------------------|-------------|----------------------|-----------------|---|----------------------------|------------|----------|-----------|---|---------------------------------|--|-------------|-----------|---|---------------------------------|-------------------|-----|------------|---|----------------------------|--------------|-------------|-----------|---|----------------------------|------------------------|-----|---|---|----------------------------|--------|---|--|--------|---|--|-------------------------|-------------|---|---|----------------------------|-------|--------|---|--|------------------------------|-----|---|---|----------------------------|---|---|----------------------------|---------------|--------|---|---|-------------|--|----|--------|------|----|------|----------------|------------------------------|--------------------|---|--|----------------------------------|-------|--------|---|---|--------|---|--|---|
| | <p>表3.15-2 主要設備の仕様(3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>高圧中心スプレイズポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器[※]</td> <td>0~12MPa[range]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>残圧除去ポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器[※]</td> <td>0~9MPa[range]</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地下2階 (A及びB) 原子炉建屋地下2階 (C) (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>圧下中心スプレイズポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器[※]</td> <td>0~5MPa[range]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>廃水移送ポンプ出口圧力</td> <td>弾性圧力検出器[※]</td> <td>0~1.5MPa[range]</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>原子炉建屋内水車速度</td> <td>無感式水車検出器</td> <td>0~10r/min</td> <td>3</td> <td>原子炉建屋地上2階、地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>気体熱伝導式水車検出器</td> <td>0~10r/min</td> <td>4</td> <td>原子炉建屋地上2階、地下1階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>静的無感式水車開始位置異常検出装置</td> <td>磁磁式</td> <td>0~500r/min</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気発生器温度</td> <td>熱電気抵抗式温度検出器</td> <td>0~30r/min</td> <td>2</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">使用済燃料プール水位/温度 (モニター方式)</td> <td rowspan="3">熱電気</td> <td>0~7.015mm^{H2O} (0.P.20920mm~21070mm)</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>0~150℃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td>0~150℃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料プール水位/温度 (サイドベイス式)</td> <td rowspan="2">ダイバース式水位検出器</td> <td>1.200mm~7.310mm^{H2O} (0.P.21650mm~22770mm)</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>測温抵抗体</td> <td>0~120℃</td> <td>1</td> <td></td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、程線量)</td> <td rowspan="2">電離室</td> <td>10⁶cts/h~10⁷cts/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>10⁶cts/h~10⁷cts/h</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>可視光カメラ</td> <td>—</td> <td>1</td> <td>原子炉建屋原子炉格納内</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む)。主大気圧の差を計測。 ※2. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と格納容器下部の差圧を計測。 ※3. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※4. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※5. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※6. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※7. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※8. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※9. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※10. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※11. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※12. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※13. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※14. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※15. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※16. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※17. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※18. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※19. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※20. 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。</p> <p>枠囲みの内容は商業機密の観点から公開できません。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急時対策所 (通常運転時等) 緊急時対策所 (重大事故時等) 通信連絡設備 (通常運転時等) 通信連絡設備 (重大事故時等) <p>設備名 データ収集装置 使用回線 有線系回線及び無線系回線 個数 一式 取付箇所 制御建屋地上3階</p> <p>設備名 SPDS 伝送装置 使用回線 有線系回線及び無線系回線 個数 一式 取付箇所 緊急時対策建屋地下2階</p> | 名称 | 検出器の種類 | 計測範囲 | 個数 | 取付箇所 | 高圧中心スプレイズポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 [※] | 0~12MPa[range] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 残圧除去ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 [※] | 0~9MPa[range] | 3 | 原子炉建屋地下2階 (A及びB) 原子炉建屋地下2階 (C) (原子炉建屋原子炉格納内) | 圧下中心スプレイズポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 [※] | 0~5MPa[range] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 廃水移送ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 [※] | 0~1.5MPa[range] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 原子炉建屋内水車速度 | 無感式水車検出器 | 0~10r/min | 3 | 原子炉建屋地上2階、地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | 気体熱伝導式水車検出器 | 0~10r/min | 4 | 原子炉建屋地上2階、地下1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 静的無感式水車開始位置異常検出装置 | 磁磁式 | 0~500r/min | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 格納容器内蒸気発生器温度 | 熱電気抵抗式温度検出器 | 0~30r/min | 2 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 使用済燃料プール水位/温度 (モニター方式) | 熱電気 | 0~7.015mm ^{H2O} (0.P.20920mm~21070mm) | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 0~150℃ | 1 | | 0~150℃ | 1 | | 使用済燃料プール水位/温度 (サイドベイス式) | ダイバース式水位検出器 | 1.200mm~7.310mm ^{H2O} (0.P.21650mm~22770mm) | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 測温抵抗体 | 0~120℃ | 1 | | 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、程線量) | 電離室 | 10 ⁶ cts/h~10 ⁷ cts/h | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 10 ⁶ cts/h~10 ⁷ cts/h | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | 使用済燃料プール監視カメラ | 可視光カメラ | — | 1 | 原子炉建屋原子炉格納内 | <p>表2.15.2 主要設備の仕様 (3/3)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>名称</th> <th>検出器の種類</th> <th>計測範囲</th> <th>個数</th> <th>取付箇所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型モニタ</td> <td>半導体検出器 NaI(Tl)シンチレーション検出器</td> <td>10nds/h~1,000nds/h</td> <td>1</td> <td>周辺補機棟 T.P.33.3m、原子炉補助建屋 T.P.33.1m 又は屋外 (原子炉補助建屋 T.P.33.1m 及び原子炉補助建屋 T.P.33.1m に保管)</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)</td> <td rowspan="2">測温抵抗体</td> <td>0~200℃</td> <td>1</td> <td>周辺補機棟 T.P.10.3m (中間床) (原子炉補助建屋 T.P.17.8m 及び緊急時対策済機室内に保管)</td> </tr> <tr> <td>0~200℃</td> <td>2</td> <td>周辺補機棟 T.P.17.8m (原子炉補助建屋 T.P.17.8m 及び緊急時対策済機室内に保管)</td> </tr> </tbody> </table> <p>※1: 凝液ダイヤフラムにかかる1次冷却材圧力を計測。 ※2: 凝液ダイヤフラムにかかる加圧器圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と加圧器下部の差圧を計測。 ※3: 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉圧力と原子炉容器下部の差圧を計測。 ※4: 凝液ダイヤフラムにかかる絞り機構前後の差圧を計測。 ※5: 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉格納容器圧力を計測。 ※6: 凝液ダイヤフラムにかかる原子炉格納容器内の圧力と格納容器再循環サブ下部の差圧を計測。 ※7: 凝液ダイヤフラムにかかる蒸気発生器圧力 (凝縮槽からの水頭圧を含む) と蒸気発生器下部の差圧を計測。 ※8: 凝液ダイヤフラムにかかる主蒸気ライン圧力を計測。 ※9: 凝液ダイヤフラムにかかるタンク内の圧力 (気相部) とタンク下部の差圧を計測。 ※10: 凝液ダイヤフラムにかかるピットの水頭圧と大気圧の差圧を計測。 ※11: プルドン管 (弾性変形) にかかる原子炉補助冷却水サージタンク圧力を計測。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>兼用する設備は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> 緊急時対策所 (通常運転時等) 緊急時対策所 (重大事故時等) 通信連絡設備 (通常運転時等) 通信連絡設備 (重大事故時等) <p>設備名 データ収集計算機 使用回線 有線系回線及び無線系回線 個数 1式 取付箇所 原子炉補助建屋 T.P.17.8m</p> | 名称 | 検出器の種類 | 計測範囲 | 個数 | 取付箇所 | 使用済燃料ピット可搬型モニタ | 半導体検出器 NaI(Tl)シンチレーション検出器 | 10nds/h~1,000nds/h | 1 | 周辺補機棟 T.P.33.3m、原子炉補助建屋 T.P.33.1m 又は屋外 (原子炉補助建屋 T.P.33.1m 及び原子炉補助建屋 T.P.33.1m に保管) | 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) | 測温抵抗体 | 0~200℃ | 1 | 周辺補機棟 T.P.10.3m (中間床) (原子炉補助建屋 T.P.17.8m 及び緊急時対策済機室内に保管) | 0~200℃ | 2 | 周辺補機棟 T.P.17.8m (原子炉補助建屋 T.P.17.8m 及び緊急時対策済機室内に保管) | <p>■設備の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>■建屋名称及び設置箇所の相違</p> <p>■設備の相違 (相違理由④)</p> |
| 名称 | 検出器の種類 | 計測範囲 | 個数 | 取付箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 高圧中心スプレイズポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 [※] | 0~12MPa[range] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 残圧除去ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 [※] | 0~9MPa[range] | 3 | 原子炉建屋地下2階 (A及びB) 原子炉建屋地下2階 (C) (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 圧下中心スプレイズポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 [※] | 0~5MPa[range] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 廃水移送ポンプ出口圧力 | 弾性圧力検出器 [※] | 0~1.5MPa[range] | 1 | 原子炉建屋地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉建屋内水車速度 | 無感式水車検出器 | 0~10r/min | 3 | 原子炉建屋地上2階、地下2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 気体熱伝導式水車検出器 | 0~10r/min | 4 | 原子炉建屋地上2階、地下1階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 静的無感式水車開始位置異常検出装置 | 磁磁式 | 0~500r/min | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内蒸気発生器温度 | 熱電気抵抗式温度検出器 | 0~30r/min | 2 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール水位/温度 (モニター方式) | 熱電気 | 0~7.015mm ^{H2O} (0.P.20920mm~21070mm) | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 0~150℃ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 0~150℃ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール水位/温度 (サイドベイス式) | ダイバース式水位検出器 | 1.200mm~7.310mm ^{H2O} (0.P.21650mm~22770mm) | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 測温抵抗体 | 0~120℃ | 1 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール上部空間放射線モニタ (高線量、程線量) | 電離室 | 10 ⁶ cts/h~10 ⁷ cts/h | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 10 ⁶ cts/h~10 ⁷ cts/h | 1 | 原子炉建屋地上2階 (原子炉建屋原子炉格納内) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール監視カメラ | 可視光カメラ | — | 1 | 原子炉建屋原子炉格納内 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 名称 | 検出器の種類 | 計測範囲 | 個数 | 取付箇所 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット可搬型モニタ | 半導体検出器 NaI(Tl)シンチレーション検出器 | 10nds/h~1,000nds/h | 1 | 周辺補機棟 T.P.33.3m、原子炉補助建屋 T.P.33.1m 又は屋外 (原子炉補助建屋 T.P.33.1m 及び原子炉補助建屋 T.P.33.1m に保管) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) | 測温抵抗体 | 0~200℃ | 1 | 周辺補機棟 T.P.10.3m (中間床) (原子炉補助建屋 T.P.17.8m 及び緊急時対策済機室内に保管) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | 0~200℃ | 2 | 周辺補機棟 T.P.17.8m (原子炉補助建屋 T.P.17.8m 及び緊急時対策済機室内に保管) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|---|--|---|
| | <p>設備名 SPDS表示装置</p> <p>個数 一式</p> <p>取付箇所 緊急時対策建屋地下2階</p> <p>可搬型計測器の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>個数 26 (予備 26)</p> <p>保管場所 制御建屋地上3階 緊急時対策建屋地下2階</p> <p>3.15.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針 3.15.2.1.3.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針 (1) 環境条件及び荷重条件 (設置許可基準規則第43条第1項第一号) (i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。 (ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉格納容器内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉格納容器内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-3に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・ドライウェル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サブプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウェル水位 ・格納容器内水素濃度(D/W) ・格納容器内水素濃度(S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ | <p>設備名 データ表示端末</p> <p>個数 1式</p> <p>取付箇所 緊急時対策所指揮所</p> <p>可搬型計測器の主要機器仕様を以下に示す。</p> <p>個数 38 (予備 38)</p> <p>保管場所 原子炉補助建屋 T.P.17.8m 緊急時対策所待機所</p> <p>2.15.2.1.3 設置許可基準規則第43条への適合方針 2.15.2.1.3.1 設置許可基準規則第43条第1項への適合方針 (1) 環境条件及び荷重条件 (設置許可基準規則第43条第1項第一号) (i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合における温度、放射線、荷重その他の使用条件において、重大事故等に対処するために必要な機能を有効に発揮するものであること。 (ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉格納容器内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉格納容器内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.3に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・1次冷却材圧力 (広域) ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・格納容器内温度 ・格納容器再循環サンプル水位 (広域) ・格納容器再循環サンプル水位 (狭域) ・格納容器水位 ・原子炉下部キャビティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイト温度 ・格納容器内高レンジエアモニタ (低レンジ) ・格納容器内高レンジエアモニタ (高レンジ) ・出力領域中性子束 | <p>■設備名称の相違</p> <p>■建屋名称及び設置箇所の相違</p> <p>■設備構成の相違</p> <p>・可搬型計測器で計測するパラメータ数の相違により保有数が異なる (表 2.15.9 に対象を記載)。</p> <p>■建屋名称及び設置箇所の相違</p> <p>・屋内のうち格納容器内の設備について記載</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|--|
| <p>なお、起動領域モニタ及び平均出力領域モニタについては、重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉建屋原子炉棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉建屋原子炉棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 3.15-3 に示す設計とする。</p> <p>格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度の計測に必要な操作は、中央制御室の操作スイッチにて遠隔操作可能な設計とする。</p> <p>フィルタ装置出口水素濃度の計測に必要な弁の操作は、弁の設置場所と異なる原子炉建屋付属棟内から遠隔で手動操作にて操作可能な設計とするとともに、サンプリング装置については、中央制御室の操作スイッチにて遠隔操作可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉圧力 (SA) ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料域) ・原子炉水位 (SA 広帯域) ・原子炉水位 (SA 燃料域) ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレイ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウェル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・格納容器内雰囲気水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/W) | <p>なお、出力領域中性子束、中間領域中性子束及び中性子源領域中性子束については、重大事故等時初期における原子炉格納容器内の環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器圧力 (AM 用) ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・燃料取替用水ピット水位 ・補助給水ピット水位 ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM 用) ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM 用) <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。また、インターフェイスシステム LOCA 時に使用するため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM 用) ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 | <ul style="list-style-type: none"> ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位 (狭域) ・蒸気発生器水位 (広域) | <p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・屋内のうち周辺補機棟内の設備について記載 ■建屋名称の相違 ・泊は、屋内である原子炉補助建屋に設置する設備のうち、左記の設備については、インターフェイスシステム LOCA 時に使用することから、その環境条件を考慮する設計方針を記載している。 ・屋内のうち原子炉補助建屋内の設備について記載 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|-------------|--|---|
| | | <p>することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、周辺補機棟内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) は、燃料取扱棟内及び周辺補機棟内に保管し、重大事故等時は燃料取扱棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、燃料取扱棟内及び周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラは、燃料取扱棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、燃料取扱棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、重大事故等時は原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 2.15.3 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> | <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|-------------------|--|---------|------|--------------|---|------------|---|---------------|---------------|----|---|----------|--|-------|------------------------------------|---|-------|----|--------------|---|------------|---|---------------|---------------|----|---|----------|--|-------|------------------------------------|--|
| <p>大阪発電所3/4号炉</p> | <p>女川原子力発電所2号炉</p> <p style="text-align: center;">比較のため添58-19より再掲</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちデータ収集装置は、制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-5に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">比較のため添58-20より再掲</p> <p>可搬型計測器は、制御建屋内に保管し、重大事故等時は制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-5に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.15-3 想定する環境条件及び荷重条件（屋内）</p> <table border="1" data-bbox="665 802 1229 1058"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: center;">重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、屋外（CST 連絡トレンチ/バルブ室）に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-4に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・復水貯蔵タンク水位 | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。） | 風（台風）・積雪 | 原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>泊発電所3号炉</p> <p>可搬型温度計測装置（格納容器再循環ユニット入口温度／出口温度）は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、周辺補機棟内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.3に示す設計とする。</p> <p>データ伝送設備（発電所内）のうちデータ収集計算機は、原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.3に示す設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、原子炉補助建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.3に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表2.15.3 想定する環境条件及び荷重条件（屋内）</p> <table border="1" data-bbox="1252 802 1816 1058"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>使用済燃料ビット可搬型エリアモニタは、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、屋外の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮すること</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。） | 風（台風）・積雪 | 原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>相違理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ■設備の相違（相違理由③） ■設備の相違（相違理由④） ■設備名称及び建屋名称の相違 ■建屋名称の相違 ■設備保管場所の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、可搬型計測器を原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に分散して保管する。 ■設備の相違 <ul style="list-style-type: none"> ・泊の屋外に設置する設備は、使用済燃料ビット可搬型エリアモニタが該当する（使用済燃料ビットの放射線量率を可搬型設備で計測することとしており、周 |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 原子炉格納容器内、原子炉建屋原子炉種内及び原子炉建屋付属棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 原子炉格納容器内、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内及び燃料取扱棟内に設置するため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|---|---------|------|--------------|---|------------|---------------------------------|---------------|---------------|----|--|----------|--------------------------------------|-------|------------------------------------|--|-------|----|--------------|---|------------|---------------------------------|---------------|---------------|----|---|----------|--|-------|------------------------------------|--|
| | <p>表3.15-4 想定する環境条件及び荷重条件（屋外）</p> <table border="1" data-bbox="665 312 1229 561"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するが、地下へ設けるため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外に設置するが、地下へ設けるため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータのうち以下のパラメータを計測する設備は、制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 3.15-5 に示す設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6-2F-1 母線電圧 ・6-2F-2 母線電圧 ・6-2C 母線電圧 ・6-2D 母線電圧 ・6-2H 母線電圧 ・4-2C 母線電圧 ・4-2D 母線電圧 ・125V 直流主母線 2A 電圧 ・125V 直流主母線 2B 電圧 ・125V 直流主母線 2A-1 電圧 ・125V 直流主母線 2B-1 電圧 ・250V 直流主母線電圧 ・HPCS125V 直流主母線電圧 <p style="text-align: right;">比較のため添 58-18 へ再掲</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちデータ収集装置は、制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表 3.15-5 に示す設計とする。</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 屋外に設置するが、地下へ設けるため、天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。） | 風（台風）・積雪 | 屋外に設置するが、地下へ設けるため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>ができるよう、表 2.15.4 に示す設計とする。使用済燃料ピットの水位が異常に低下する事故時に使用する設備であるため、その環境条件を考慮した設計とする。</p> <p>表2.15.4 想定する環境条件及び荷重条件（屋外）</p> <table border="1" data-bbox="1256 304 1809 536"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>屋外に設置するが、天候によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。）</td> </tr> <tr> <td>風（台風）・積雪</td> <td>屋外に設置するが、風（台風）及び積雪によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 屋外に設置するが、天候によりその機能が損なわれない設計とする。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。） | 風（台風）・積雪 | 屋外に設置するが、風（台風）及び積雪によりその機能が損なわれない設計とする。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>辺補機棟内又は原子炉補助建屋内に保管し、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外に設置する。</p> |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 屋外に設置するが、地下へ設けるため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする（詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外に設置するが、地下へ設けるため、風（台風）及び積雪の影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 屋外で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 屋外に設置するが、天候によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする。（詳細は「1.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。） | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風（台風）・積雪 | 屋外に設置するが、風（台風）及び積雪によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---------|------|--------------|--|------------|----------------------------|---------------|---------------|----|---|------------|-----------------------------------|-------|------------------------------------|--|--|
| | <p style="text-align: right;">比較のため添 58-18へ再掲</p> <p>可搬型計測器は、制御建屋内に保管し、重大事故等時は制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、制御建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-5に示す設計とする。</p> <p style="text-align: center;">表3.15-5 想定する環境条件及び荷重条件 (制御建屋内)</p> <table border="1" data-bbox="667 363 1227 596"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>制御建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>制御建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>海水を通水する系統への影響</td> <td>海水を通水することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)</td> </tr> <tr> <td>風 (台風) ・積雪</td> <td>制御建屋内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けない。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS)のうち SPDS 伝送装置及び SPDS 表示装置は、緊急時対策建屋緊急時対策所内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-6に示す設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、緊急時対策建屋緊急時対策所内に保管し、重大事故等時は制御建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策建屋内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表3.15-6に示す設計とする。</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 制御建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 制御建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。 | 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | 風 (台風) ・積雪 | 制御建屋内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けない。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、周辺補機棟内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策所待機所内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.5に示す設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は周辺補機棟内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策所待機所内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.5に示す設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) のうちデータ表示端末は、緊急時対策所指揮所内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策所指揮所内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.5に示す設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管し、重大事故等時は原子炉補助建屋内に設置する設備であることから、想定される重大事故等時における、緊急時対策所待機所内の環境条件及び荷重条件を考慮し、その機能を有効に発揮することができるよう、表2.15.5に示す設計とする。</p> | <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由④) ■設備名称及び建屋名称の相違</p> <p>■設備保管場所の相違 ・泊は、可搬型計測器を原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に分散して保管する。 ■建屋名称の相違</p> |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 制御建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 制御建屋内に設置するため、天候による影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通水する系統への影響 | 海水を通水することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風 (台風) ・積雪 | 制御建屋内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けない。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------|--|---------|------|--------------|---|------------|--------------------------------|---------------|---------------|----|---|------------|---------------------------------------|-------|------------------------------------|---|-------|----|--------------|---|------------|--|---------------|---------------|----|---|------------|---|-------|------------------------------------|---|
| | <p>表3.15-6 想定する環境条件及び荷重条件 (緊急時対策建屋内)</p> <table border="1" data-bbox="667 167 1227 395"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>緊急時対策建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>緊急時対策建屋内に設置するため、天候による影響は受けにくい。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)</td> </tr> <tr> <td>風 (台風) ・積雪</td> <td>緊急時対策建屋内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けにくい。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p style="text-align: right;">(58-3)</p> <p>(2) 操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合において確実に操作できるものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度は、通常時からサンプリング方式による計測を実施し、中央制御室にて監視を行う。サンプリング装置は、中央制御室の操作スイッチにて遠隔操作が可能な設計とする。中央制御室の制御盤の操作器、表示器及び銘板は、操作者の操作性・監視性・識別性を考慮し、また、十分な操作空間を確保することで、確実に操作可能な設計とする。</p> <p>フィルタ装置出口水素濃度は、サンプリング方式による計測を実施し、サンプリングに必要な弁の操作は、弁の設置場所と異なる原子炉建屋付属棟内から遠隔で手動操作を可能とし、想定される重大事故等時の環境下においても確実に操作可能な設計とする。サンプリング装置については中央制御室の操作スイッチにて遠隔操作が可能な設計とする。中央制御室の制御盤の操作器、表示器及び銘板は、操作者の操作性・監視性・識別性を考慮し、また、十分な操作空間を確保することで、確実に操作可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) のうち SPDS 表示装置は、電源、通信ケーブルは接続されており、各パラメータの監視は、緊急時対策建屋の操作スイッチにより監視が可能な設計とする。緊急時対策建屋の SPDS 表示装置は、操作者の操作性・監視性・識別性を考慮し、また、十分な操作空間を確保することで、確実に操作可能な設計とする。</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 緊急時対策建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 緊急時対策建屋内に設置するため、天候による影響は受けにくい。 | 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | 風 (台風) ・積雪 | 緊急時対策建屋内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けにくい。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>表2.15.5 想定する環境条件及び荷重条件 (緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内)</p> <table border="1" data-bbox="1254 167 1803 422"> <thead> <tr> <th>環境条件等</th> <th>対応</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>温度・圧力・湿度・放射線</td> <td>緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。</td> </tr> <tr> <td>屋外の天候による影響</td> <td>緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内に設置するため、天候による影響は受けにくい。</td> </tr> <tr> <td>海水を通過する系統への影響</td> <td>海水を通過することはない。</td> </tr> <tr> <td>地震</td> <td>適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。)</td> </tr> <tr> <td>風 (台風) ・積雪</td> <td>緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けにくい。</td> </tr> <tr> <td>電磁的障害</td> <td>重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。</td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 操作性 (設置許可基準規則第43条第1項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合において確実に操作できるものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) のうちデータ表示端末は、電源、通信ケーブルは接続されており、各パラメータの監視は、緊急時対策所指揮所の操作スイッチにより監視が可能な設計とする。緊急時対策所指揮所のデータ表示端末は、操作者の操作性・監視性・識別性を考慮し、また、十分な操作空間を確保することで、確実に操作可能な設計とする。</p> | 環境条件等 | 対応 | 温度・圧力・湿度・放射線 | 緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | 屋外の天候による影響 | 緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内に設置するため、天候による影響は受けにくい。 | 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | 風 (台風) ・積雪 | 緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けにくい。 | 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | <p>■設備の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>■建屋名称の相違</p> |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 緊急時対策建屋内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 緊急時対策建屋内に設置するため、天候による影響は受けにくい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風 (台風) ・積雪 | 緊急時対策建屋内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けにくい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 環境条件等 | 対応 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度・圧力・湿度・放射線 | 緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内で想定される温度、圧力、湿度及び放射線条件下に耐えられる性能を確認した機器を使用する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 屋外の天候による影響 | 緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内に設置するため、天候による影響は受けにくい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 海水を通過する系統への影響 | 海水を通過することはない。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 地震 | 適切な地震荷重との組合せを考慮した上で機器が損傷しない設計とする (詳細は「2.1.2 耐震設計の基本方針」に示す。) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 風 (台風) ・積雪 | 緊急時対策所指揮所内及び緊急時対策所持機所内に設置するため、風 (台風) 及び積雪の影響は受けにくい。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電磁的障害 | 重大事故等時においても電磁波によりその機能が損なわれない設計とする。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|-------------|---|---|
| | | <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットを使用した原子炉格納容器内の水素濃度の監視を行う系統及び可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットを使用したアニュラス部の水素濃度の測定を行う系統は、想定される重大事故等が発生した場合において、通常時の系統から弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とする。また、切替えに伴う配管の接続は、簡便な接続方式による接続とし、確実に接続可能な設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットに使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続可能な設計とする。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットの指示値は、中央制御室にて確認できる設計とする。また、台車により運搬、移動可能な設計とするとともに、設置場所にて固定可能な設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力(可搬型)の接続は、コネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、弁操作等にて速やかに切り替えられる設計とするとともに、人が携行して移動可能な設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置(格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)の検出器と温度計本体の計装ケーブルの接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続できる設計とする。また、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用可能な設計とするとともに、人が携行して移動し、付属の操作スイッチにより設置場所で操作が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位(可搬型)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、設計基準対象施設と兼用せず、他の系統と切り替えることなく使用可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位(可搬型)の吊込装置(フロート、シンカーを含む。)、ワイヤー等、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、人力により運搬、移動が可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位(可搬型)の吊込装置等の取り付けは、取付金具を用いて確実に取付可能な設計とする。使用済燃料ピット水位(可搬型)の変換器及びワイヤーの接続は、確実に接続可能な設計とする。使用済燃料ピット水</p> | <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|---|--|
| <p>可搬型計測器の接続は、中央制御室にて操作可能であり、想定される重大事故等時の環境下においても、確実に操作が可能な設計とする。操作場所である中央制御室では、十分な操作空間を確保することで確実に操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、ボルト・ネジ接続とし、接続規格を統一することにより、一般的に使用される工具を用いて接続箇所確実に接続が可能な設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所で操作が可能な設計とする。</p> <p>表 3.15-7 に操作対象機器を示す。</p> | <p>可搬型計測器の接続は、中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室にて操作可能であり、想定される重大事故等時の環境下においても、確実に操作が可能な設計とする。操作場所である中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室では、十分な操作空間を確保することで確実に操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、接続方式を統一することにより、接続箇所確実に接続が可能な設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>表 2.15.6 に操作対象機器を示す。</p> | <p>位（可搬型）のケーブル接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、ケーブルを確実に接続可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、使用済燃料ピット監視カメラに確実に接続できるとともに、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、複数の場所の放射線量率と使用済燃料ピット区域の放射線量率の相関（減衰率）をあらかじめ評価している場所のうち設置場所としている箇所、車輪止めによる固定等により固定が可能な設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタのケーブル接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、ケーブルを確実に接続可能な設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、付属の操作スイッチにより設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の接続は、中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室にて操作可能であり、想定される重大事故等時の環境下においても、確実に操作が可能な設計とする。操作場所である中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室では、十分な操作空間を確保することで確実に操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、接続方式を統一することにより、接続箇所確実に接続が可能な設計とし、付属の操作スイッチにより設置場所で操作可能な設計とする。</p> | <p>■接続場所の相違 ・泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍（同一フロア）のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。</p> <p>■運用の相違（相違理由⑦） ■記載表現の相違</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------------------|---|---|---|--------------------|------|------|----|------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------|------------|--|------------------------|---------------------------|-------------------------------|-------|------------|--|---------------------|-------|-------------------------------|-----------------------------|------|--|------------------|-------|-------------------------------|-----------------------------|------|--|------------------|-------|-------------------------------|-----------------------------|------|--|--------------------------|-------|-------------------------------|-------|------------|--|----------|--------------------|-----------------------------|-----------------------------|------------|--|--------|-----------------------|-------|-------|--------------------|--|---|------|-------|------|------|------|----|--------------------|-------|----------------------|----------------------------------|----------------|---|-------------------|-------|----------------------|----------------------------------|----------------|---|------------------------|-------|----------------------|----------------------|------|---|------------------|-------|-------|-------|------|---|-------------------|-------|---|---|----------------|---|-------------------|--------|------------------------|------------------------|----------------|---|---------|--------------------|---------------|---------------|--------|---|----------------------------------|-------|--|--|----------------|---|--------|---------------------|---|---|----------------|---|--|
| | <p>表3.15-7 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>格納容器内蒸気気体濃度 (サンプリング装置)</td> <td>停止→起動 測定点選択 (0/300S/C)</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>中央制御室</td> <td>スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>格納容器内蒸気気体濃度 (サンプリング装置)</td> <td>停止→起動 測定点選択 (0/300S/C)</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>中央制御室</td> <td>スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度計ドレン排出弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物)</td> <td>手動操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度計入口弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物)</td> <td>手動操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度計出口弁</td> <td>全閉→全開</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物)</td> <td>手動操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>フィルタ装置出口水素濃度計 (サンプリング装置)</td> <td>停止→起動</td> <td>原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内)</td> <td>中央制御室</td> <td>スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>SPDS表示装置</td> <td>停止→起動 (パラメータ監視)</td> <td>緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所)</td> <td>緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所)</td> <td>スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器</td> <td>接続箇所端子リフト 可搬型計測器接続</td> <td>中央制御室</td> <td>中央制御室</td> <td>接続操作 スイッチ 操作</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、想定される重大事故等時において中央制御室で監視できる設計であり現場又は中央制御室による操作は発生しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力 ・原子炉圧力 (SA) ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料域) ・原子炉水位 (SA 広帯域) ・原子炉水位 (SA 燃料域) ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレイライン洗浄流量) ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系 B 系格納容器冷却ライン洗浄流量) ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレイ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 | 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 | 格納容器内蒸気気体濃度 (サンプリング装置) | 停止→起動 測定点選択 (0/300S/C) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 中央制御室 | スイッチ 操作 | | 格納容器内蒸気気体濃度 (サンプリング装置) | 停止→起動 測定点選択 (0/300S/C) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 中央制御室 | スイッチ 操作 | | フィルタ装置出口水素濃度計ドレン排出弁 | 全閉→全開 | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物) | 手動操作 | | フィルタ装置出口水素濃度計入口弁 | 全閉→全開 | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物) | 手動操作 | | フィルタ装置出口水素濃度計出口弁 | 全閉→全開 | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物) | 手動操作 | | フィルタ装置出口水素濃度計 (サンプリング装置) | 停止→起動 | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 中央制御室 | スイッチ 操作 | | SPDS表示装置 | 停止→起動 (パラメータ監視) | 緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所) | 緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所) | スイッチ 操作 | | 可搬型計測器 | 接続箇所端子リフト 可搬型計測器接続 | 中央制御室 | 中央制御室 | 接続操作 スイッチ 操作 | | <p>表2.15.6 操作対象機器</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>機器名称</th> <th>状態の変化</th> <th>設置場所</th> <th>操作場所</th> <th>操作方法</th> <th>備考</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P. 24. 8m</td> <td>周辺補機棟 T.P. 24. 8m 及び 中央制御室</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型アナログ水素濃度計測ユニット</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P. 24. 8m</td> <td>周辺補機棟 T.P. 24. 8m 及び 中央制御室</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P. 43. 6m</td> <td>周辺補機棟 T.P. 43. 6m</td> <td>接続操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> <td>検出器取付</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>燃料取扱棟</td> <td>接続操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P. 33. 1m、原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m 又は 燃料取扱棟</td> <td>周辺補機棟 T.P. 33. 1m、原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m 又は 燃料取扱棟</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置</td> <td>冷却装置取付</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>データ表示端末</td> <td>停止→起動 (パラメータ監視)</td> <td>緊急時対策所 指揮所</td> <td>緊急時対策所 指揮所</td> <td>スイッチ操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型湿度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度)</td> <td>検出器取付</td> <td>周辺補機棟 T.P. 10. 3m (中間床) 及び T.P. 17. 8m</td> <td>周辺補機棟 T.P. 10. 3m (中間床) 及び T.P. 17. 8m</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器</td> <td>可搬型計測器接続 (プラグ接続)</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m (中央制御室、安全系計装室及び 非常用系計装室)</td> <td>原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m (中央制御室、安全系計装室及び 非常用系計装室)</td> <td>接続操作 スイッチ操作</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、想定される重大事故等時において中央制御室又は設置場所で監視できる設計であり現場又は中央制御室による操作は発生しない。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・1次冷却材圧力 (広域) ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・格納容器内温度 ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器再循環サンプ水位 (狭域) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・出力領域中性子束 ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位 (狭域) ・蒸気発生器水位 (広域) ・高圧注入流量 ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・低圧注入流量 ・原子炉格納容器圧力 | 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 | 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 24. 8m | 周辺補機棟 T.P. 24. 8m 及び 中央制御室 | 接続操作 スイッチ操作 | — | 可搬型アナログ水素濃度計測ユニット | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 24. 8m | 周辺補機棟 T.P. 24. 8m 及び 中央制御室 | 接続操作 スイッチ操作 | — | 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 43. 6m | 周辺補機棟 T.P. 43. 6m | 接続操作 | — | 使用済燃料ピット水位 (可搬型) | 検出器取付 | 燃料取扱棟 | 燃料取扱棟 | 接続操作 | — | 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 33. 1m、原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m 又は 燃料取扱棟 | 周辺補機棟 T.P. 33. 1m、原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m 又は 燃料取扱棟 | 接続操作 スイッチ操作 | — | 使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置 | 冷却装置取付 | 原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m | 原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m | 接続操作 スイッチ操作 | — | データ表示端末 | 停止→起動 (パラメータ監視) | 緊急時対策所 指揮所 | 緊急時対策所 指揮所 | スイッチ操作 | — | 可搬型湿度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 10. 3m (中間床) 及び T.P. 17. 8m | 周辺補機棟 T.P. 10. 3m (中間床) 及び T.P. 17. 8m | 接続操作 スイッチ操作 | — | 可搬型計測器 | 可搬型計測器接続 (プラグ接続) | 原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m (中央制御室、安全系計装室及び 非常用系計装室) | 原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m (中央制御室、安全系計装室及び 非常用系計装室) | 接続操作 スイッチ操作 | — | <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、設置場所である現場にて監視するパラメータがある。左記のうち以下が該当する (いずれも補助パラメータ (SA 設備))。 <ul style="list-style-type: none"> ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) |
| 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内蒸気気体濃度 (サンプリング装置) | 停止→起動 測定点選択 (0/300S/C) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 中央制御室 | スイッチ 操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内蒸気気体濃度 (サンプリング装置) | 停止→起動 測定点選択 (0/300S/C) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 中央制御室 | スイッチ 操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置出口水素濃度計ドレン排出弁 | 全閉→全開 | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物) | 手動操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置出口水素濃度計入口弁 | 全閉→全開 | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物) | 手動操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置出口水素濃度計出口弁 | 全閉→全開 | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋付属物) | 手動操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| フィルタ装置出口水素濃度計 (サンプリング装置) | 停止→起動 | 原子炉建屋 地上1階 (原子炉建屋原子炉室内) | 中央制御室 | スイッチ 操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| SPDS表示装置 | 停止→起動 (パラメータ監視) | 緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所) | 緊急時対策建屋 地下2階 (緊急時対策所) | スイッチ 操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型計測器 | 接続箇所端子リフト 可搬型計測器接続 | 中央制御室 | 中央制御室 | 接続操作 スイッチ 操作 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 機器名称 | 状態の変化 | 設置場所 | 操作場所 | 操作方法 | 備考 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 24. 8m | 周辺補機棟 T.P. 24. 8m 及び 中央制御室 | 接続操作 スイッチ操作 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型アナログ水素濃度計測ユニット | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 24. 8m | 周辺補機棟 T.P. 24. 8m 及び 中央制御室 | 接続操作 スイッチ操作 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 43. 6m | 周辺補機棟 T.P. 43. 6m | 接続操作 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット水位 (可搬型) | 検出器取付 | 燃料取扱棟 | 燃料取扱棟 | 接続操作 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 33. 1m、原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m 又は 燃料取扱棟 | 周辺補機棟 T.P. 33. 1m、原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m 又は 燃料取扱棟 | 接続操作 スイッチ操作 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット監視カメラ冷却装置 | 冷却装置取付 | 原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m | 原子炉補助建屋 T.P. 33. 1m | 接続操作 スイッチ操作 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| データ表示端末 | 停止→起動 (パラメータ監視) | 緊急時対策所 指揮所 | 緊急時対策所 指揮所 | スイッチ操作 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型湿度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) | 検出器取付 | 周辺補機棟 T.P. 10. 3m (中間床) 及び T.P. 17. 8m | 周辺補機棟 T.P. 10. 3m (中間床) 及び T.P. 17. 8m | 接続操作 スイッチ操作 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型計測器 | 可搬型計測器接続 (プラグ接続) | 原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m (中央制御室、安全系計装室及び 非常用系計装室) | 原子炉補助建屋 T.P. 17. 8m (中央制御室、安全系計装室及び 非常用系計装室) | 接続操作 スイッチ操作 | — | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|---|--|------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・ドライウェル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サブプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・ドライウェル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウェル水位 ・格納容器内水素濃度(D/W) ・格納容器内水素濃度(S/C) ・格納容器内雰囲気放射線モニタ(D/W) ・格納容器内雰囲気放射線モニタ(S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・フィルタ装置水位 (広帯域) ・フィルタ装置入口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置出口圧力 (広帯域) ・フィルタ装置水温度 ・フィルタ装置出口放射線モニタ ・耐圧強化ベント系放射線モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・復水貯蔵タンク水位 ・高圧代替注水系ポンプ出口圧力 ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力 ・代替循環冷却ポンプ出口圧力 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口圧力 ・復水移送ポンプ出口圧力 ・原子炉建屋内水素濃度 ・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置 ・使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式) ・使用済燃料プール水位/温度 (ガイドパルス式) ・使用済燃料プール上部空開放射線モニタ (高線量, 低線量) ・使用済燃料プール監視カメラ ・6-2F-1 母線電圧 ・6-2F-2 母線電圧 ・6-2C 母線電圧 ・6-2D 母線電圧 ・6-2H 母線電圧 | <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・ほう酸タンク水位 ・燃料取替用水ビット水位 ・補助給水ビット水位 ・代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 ・B-格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ・格納容器圧力 (AM用) ・格納容器水位 ・原子炉下部キャビティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイタ温度 ・6-A, B母線電圧 ・A, B-直流コントロールセンタ母線電圧 ・A-高圧注入ポンプ及び油冷却器補機冷却水流量 (AM用) ・A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水冷却器補機冷却海水流量 (AM用) ・原子炉補機冷却水供給母管流量 (AM用) ・使用済燃料ビット水位 (AM用) ・使用済燃料ビット温度 (AM用) ・使用済燃料ビット監視カメラ | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|---|---|---|
| | <p>・4-2C 母線電圧 ・4-2D 母線電圧 ・125V 直流主母線2A 電圧 ・125V 直流主母線2B 電圧 ・125V 直流主母線2A-1 電圧 ・125V 直流主母線2B-1 電圧 ・250V 直流主母線電圧 ・HPCS125V 直流主母線電圧 ・高圧窒素ガス供給系ADS 入口圧力 ・代替高圧窒素ガス供給系窒素ガス供給止め弁入口圧力</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)のうちデータ収集装置及びSPDS 伝送装置は、通常は操作を行わずに常時伝送が可能であり、通常時及び重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p> <p>(3) 試験及び検査 (設置許可基準規則第43条第1項第三号) (i) 要求事項 健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による機能・性能の確認 (特性の確認) 及び校正が可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム(SPDS)は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による性能の確認が可能な設計とする。</p> <p>計装設備の試験及び検査について表3.15-8へ示す。 (58-5)</p> | <p>データ伝送設備 (発電所内) のうちデータ収集計算機は、通常は操作を行わずに常時伝送が可能であり、通常時及び重大事故等時に操作を行う必要がない設計とする。</p> <p>(3) 試験及び検査 (設置許可基準規則第43条第1項第三号) (i) 要求事項 健全性及び能力を確認するため、発電用原子炉の運転中又は停止中に試験又は検査ができるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による機能・性能の確認 (特性の確認) 及び校正ができる設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、発電用原子炉の運転中又は停止中に機能・性能の確認及び外観の確認が可能な設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) 及び可搬型計測器は、発電用原子炉の運転中又は停止中に、模擬入力による性能の確認が可能な設計とする。</p> <p>計装設備の試験及び検査について表2.15.7へ示す。 (58-3)</p> | <p>■設備の相違 (相違理由④) ■設備名称の相違</p> <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---------------------------------|---|-----------|-------------------------------|----------------------|----------|------|------|-------------|-----|------|------|-------------|---------------|------------|------------|---------|----------------|-----------|-------------|---------|-----|--------------------------|----------|------|----------------------|------------|-----|---------|---------|-------------------|-------------------|----------------|------------------|--------------|----------------|------------------|-------------|------------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|----------------|-----|------|------|------------------------|------------------------|------------------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----|----------------|-----|------|------|------------------|-------------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|-----------|--|------|-------|-----------|----|----|-----|-------|-----|------|------|---------|-------------------|-------------------|--------|--------------|--------------|--------------|-------------------|-------------|-----|---------|----------|------|------|-----------|------------------|------------------|--------------|-----------|--------------|--------|-------------------------|--------|----------|------|------|--------|----------------------|----------------------------|--------|------------------------------|---------------------------|--------------------------|---------------------|------------------|-----|------|-------------------------------|------------------|---------|----------------------|-------------------|------------------|---------------------------------|--|
| | <p>表3.15-8 計装設備の試験及び検査(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">水位計</td> <td>原子炉水位 (広領域)</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (燃料貯留域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室水位</td> </tr> <tr> <td>プールの積留水位 (広領域)</td> </tr> <tr> <td>排水圧縮タンク水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器下部水位</td> </tr> <tr> <td>下ライオン水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="20">圧力計</td> <td>使用済燃料プール水位/編成 (プラインバース式)</td> <td>停止中又は運転中</td> <td rowspan="20">特性試験</td> <td rowspan="20">計器校正 動作確認 計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉圧力 (SA)</td> <td rowspan="20">停止中</td> </tr> <tr> <td>下ライオン圧力</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室圧力</td> </tr> <tr> <td>プールの冷却器入口圧力 (広領域)</td> </tr> <tr> <td>プールの冷却器出口圧力 (広領域)</td> </tr> <tr> <td>高圧代特注水素ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>前送熱交換器日本水ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>圧力制御室冷却器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器冷却器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレッドポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去装置出口圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレッドポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>排水移送ポンプ出口圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器入口圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器入口圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器入口圧力</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口圧力</td> </tr> <tr> <td rowspan="15">流量計</td> <td>高圧代特注水素ポンプ出口流量</td> <td rowspan="15">停止中</td> <td rowspan="15">特性試験</td> <td rowspan="15">計器校正</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去装置冷却器出口流量 (検出制御用)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去装置冷却器出口流量 (検出制御用)</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去装置冷却器出口流量 (検出制御用)</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口流量</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">温度計</td> <td>原子炉格納容器冷却器出口温度</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>高圧中心スプレッドポンプ出口温度</td> </tr> <tr> <td>残留熱除去装置出口温度</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口温度</td> </tr> <tr> <td>高圧冷却器出口温度</td> </tr> </tbody> </table> | 計器分類 | パラメータ | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 水位計 | 原子炉水位 (広領域) | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | 原子炉水位 (燃料域) | 原子炉水位 (燃料貯留域) | 原子炉水位 (広域) | 原子炉水位 (狭域) | 圧力制御室水位 | プールの積留水位 (広領域) | 排水圧縮タンク水位 | 原子炉格納容器下部水位 | 下ライオン水位 | 圧力計 | 使用済燃料プール水位/編成 (プラインバース式) | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 動作確認 計器校正 | 原子炉圧力 (SA) | 停止中 | 下ライオン圧力 | 圧力制御室圧力 | プールの冷却器入口圧力 (広領域) | プールの冷却器出口圧力 (広領域) | 高圧代特注水素ポンプ出口圧力 | 前送熱交換器日本水ポンプ出口圧力 | 圧力制御室冷却器出口圧力 | 原子炉格納容器冷却器出口圧力 | 高圧中心スプレッドポンプ出口圧力 | 残留熱除去装置出口圧力 | 高圧中心スプレッドポンプ出口圧力 | 排水移送ポンプ出口圧力 | 高圧冷却器入口圧力 | 高圧冷却器出口圧力 | 高圧冷却器入口圧力 | 高圧冷却器出口圧力 | 高圧冷却器入口圧力 | 高圧冷却器出口圧力 | 流量計 | 高圧代特注水素ポンプ出口流量 | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | 残留熱除去装置冷却器出口流量 (検出制御用) | 残留熱除去装置冷却器出口流量 (検出制御用) | 残留熱除去装置冷却器出口流量 (検出制御用) | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 高圧冷却器出口流量 | 温度計 | 原子炉格納容器冷却器出口温度 | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | 高圧中心スプレッドポンプ出口温度 | 残留熱除去装置出口温度 | 高圧冷却器出口温度 | 高圧冷却器出口温度 | 高圧冷却器出口温度 | 高圧冷却器出口温度 | 高圧冷却器出口温度 | 高圧冷却器出口温度 | 高圧冷却器出口温度 | <p>表2.15.7 計装設備の試験及び検査(1/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計器分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">水位計</td> <td>加圧器水位</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>原子炉容器水位</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器再循環タンク水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器水位</td> </tr> <tr> <td>原子炉下部キャビティ水位</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (広域)</td> </tr> <tr> <td>蒸気発生器水位 (狭域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サーージタンク水位</td> </tr> <tr> <td>燃料電機用水ピット水位</td> </tr> <tr> <td rowspan="10">圧力計</td> <td>圧縮タンク水位</td> <td rowspan="10">停止中又は運転中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>補助給水ピット水位</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット水位 (可搬型)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材圧力 (広域)</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器圧力</td> </tr> <tr> <td>格納容器圧力 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>圧縮空気圧力</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水サーージタンク圧力 (可搬型)</td> </tr> <tr> <td>高圧注入流量</td> <td rowspan="10">停止中又は運転中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正</td> </tr> <tr> <td>低圧注入流量</td> </tr> <tr> <td>代替格納容器スプレッドポンプ出口積算流量</td> </tr> <tr> <td>B-格納容器スプレッドポンプ出口積算流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>補助給水流量</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ及び重冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-高領域)</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">計器校正 記録値計測 動作確認 計器校正</td> </tr> <tr> <td>1次冷却材温度 (広域-低領域)</td> </tr> <tr> <td>格納容器内温度</td> </tr> <tr> <td>原子炉格納容器内水素発生装置温度監視装置</td> </tr> <tr> <td>格納容器水素イグナイタ温度監視装置</td> </tr> <tr> <td>使用済燃料ピット温度 (AM用)</td> </tr> <tr> <td>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ピット入口温度/出口温度)</td> </tr> </tbody> </table> | 計器分類 | パラメータ | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 水位計 | 加圧器水位 | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | 原子炉容器水位 | 格納容器再循環タンク水位 (広域) | 格納容器再循環タンク水位 (狭域) | 格納容器水位 | 原子炉下部キャビティ水位 | 蒸気発生器水位 (広域) | 蒸気発生器水位 (狭域) | 原子炉補機冷却水サーージタンク水位 | 燃料電機用水ピット水位 | 圧力計 | 圧縮タンク水位 | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | 補助給水ピット水位 | 使用済燃料ピット水位 (AM用) | 使用済燃料ピット水位 (可搬型) | 1次冷却材圧力 (広域) | 原子炉格納容器圧力 | 格納容器圧力 (AM用) | 圧縮空気圧力 | 原子炉補機冷却水サーージタンク圧力 (可搬型) | 高圧注入流量 | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | 低圧注入流量 | 代替格納容器スプレッドポンプ出口積算流量 | B-格納容器スプレッドポンプ出口積算流量 (AM用) | 補助給水流量 | A-高圧注入ポンプ及び重冷却器補機冷却水流量 (AM用) | A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) | 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用) | 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用) | 1次冷却材温度 (広域-高領域) | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 記録値計測 動作確認 計器校正 | 1次冷却材温度 (広域-低領域) | 格納容器内温度 | 原子炉格納容器内水素発生装置温度監視装置 | 格納容器水素イグナイタ温度監視装置 | 使用済燃料ピット温度 (AM用) | 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ピット入口温度/出口温度) | |
| 計器分類 | パラメータ | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水位計 | 原子炉水位 (広領域) | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (燃料域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (燃料貯留域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (広域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (狭域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 圧力制御室水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | プールの積留水位 (広領域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 排水圧縮タンク水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器下部水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 下ライオン水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 圧力計 | 使用済燃料プール水位/編成 (プラインバース式) | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 動作確認 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉圧力 (SA) | 停止中 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 下ライオン圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 圧力制御室圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | プールの冷却器入口圧力 (広領域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | プールの冷却器出口圧力 (広領域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧代特注水素ポンプ出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 前送熱交換器日本水ポンプ出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 圧力制御室冷却器出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器冷却器出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧中心スプレッドポンプ出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去装置出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧中心スプレッドポンプ出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 排水移送ポンプ出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器入口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器入口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器入口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 流量計 | 高圧代特注水素ポンプ出口流量 | | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去装置冷却器出口流量 (検出制御用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去装置冷却器出口流量 (検出制御用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去装置冷却器出口流量 (検出制御用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度計 | 原子炉格納容器冷却器出口温度 | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧中心スプレッドポンプ出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 残留熱除去装置出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧冷却器出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計器分類 | パラメータ | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水位計 | 加圧器水位 | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉容器水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器再循環タンク水位 (広域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器再循環タンク水位 (狭域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉下部キャビティ水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蒸気発生器水位 (広域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 蒸気発生器水位 (狭域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉補機冷却水サーージタンク水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 燃料電機用水ピット水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 圧力計 | 圧縮タンク水位 | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 補助給水ピット水位 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用済燃料ピット水位 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 使用済燃料ピット水位 (可搬型) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 1次冷却材圧力 (広域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器圧力 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 圧縮空気圧力 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉補機冷却水サーージタンク圧力 (可搬型) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 高圧注入流量 | | | | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 低圧注入流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 代替格納容器スプレッドポンプ出口積算流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| B-格納容器スプレッドポンプ出口積算流量 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 補助給水流量 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-高圧注入ポンプ及び重冷却器補機冷却水流量 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| A-高圧注入ポンプ電動機補機冷却水流量 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉補機冷却水冷却器補機冷却水流量 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉補機冷却水供給管流量 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1次冷却材温度 (広域-高領域) | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 記録値計測 動作確認 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 1次冷却材温度 (広域-低領域) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器内温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉格納容器内水素発生装置温度監視装置 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 格納容器水素イグナイタ温度監視装置 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット温度 (AM用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ピット入口温度/出口温度) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |


灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|----------------------|--|---|----------------------------|------------------------|----|----|-----|-----------|-----|------|------------------------|---------|-----------|---------------|-------------|----------------|----------------|---------|------------------|------------------|-----------|------------------|-----|------|----------------|------------------|----------------|-------------|---------------|--------|----------------------|-----|------|------|------------------------|------------------|---------------|---------------------------|-------|---------|-----|------|------|---------|---------|-----|-----------|-----|---------|------|-----------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|---------|------------|------------|------------|------------|------------|---------------|----------|---------|--------------|----------------------|----------|---------|----------------------------|--------|----------|------|------|--|------|-------|-----------|----|----|-------|--------------------|-----|------|----------------|-----|--------|---------------------|-----|------|----------------|-----|--------|---------------------|-----|------|------|---------------------|-------|-------------------|----------|------|------|----------|----------|----------|-----|-----|------------|-----|---------|---------------|-----------|---------------|---------------------|----------|---------|--------------|----------------|----------|--------|--|----------|------|------|--|
| <p>大阪発電所3 / 4号炉</p> | <p>表3.15.8 計装設備の試験及び検査(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計装分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="10">温度計</td> <td>原子炉圧力容器最高</td> <td rowspan="10">停止中</td> <td rowspan="10">特性試験</td> <td rowspan="10">最終圧力測定 温度確認 計器校正</td> </tr> <tr><td>上ライオン最高</td></tr> <tr><td>圧力制御室圧力最高</td></tr> <tr><td>サブプレッションタンク最高</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器下部温度</td></tr> <tr><td>冷却熱源から熱交換器入口温度</td></tr> <tr><td>冷却熱源から熱交換器出口温度</td></tr> <tr><td>冷却水戻り温度</td></tr> <tr><td>格納容器内水素濃度 (0.1%)</td></tr> <tr><td>格納容器内水素濃度 (0.2%)</td></tr> <tr> <td rowspan="5">水素及び酸素濃度計</td> <td>格納容器内水素濃度 (0.1%)</td> <td rowspan="5">停止中</td> <td rowspan="5">特性試験</td> <td rowspan="5">基準ガス校正 計器校正</td> </tr> <tr><td>格納容器内水素濃度 (0.2%)</td></tr> <tr><td>エアロスチア装置出口水素濃度</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器水素濃度</td></tr> <tr><td>格納容器内空気窒素水素濃度</td></tr> <tr> <td rowspan="5">放射線量率計</td> <td>格納容器内空気窒素放射線モニタ (圧力)</td> <td rowspan="5">停止中</td> <td rowspan="5">特性試験</td> <td rowspan="5">計器校正</td> </tr> <tr><td>格納容器内空気窒素放射線モニタ (0.1%)</td></tr> <tr><td>エアロスチア装置出口放射線モニタ</td></tr> <tr><td>原子炉格納容器放射線モニタ</td></tr> <tr><td>格納容器内空気窒素放射線モニタ (高線量、低線量)</td></tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉出力</td> <td>総熱出力モニタ</td> <td rowspan="3">停止中</td> <td rowspan="3">特性試験</td> <td rowspan="3">計器校正</td> </tr> <tr><td>平均出力モニタ</td></tr> <tr><td>平均出力モニタ</td></tr> <tr> <td rowspan="15">電圧計</td> <td>B-0-1母線電圧</td> <td rowspan="15">停止中</td> <td rowspan="15">機能・性能試験</td> <td rowspan="15">計器校正</td> </tr> <tr><td>B-0-2母線電圧</td></tr> <tr><td>B-1母線電圧</td></tr> <tr><td>B-2母線電圧</td></tr> <tr><td>B-3母線電圧</td></tr> <tr><td>B-4母線電圧</td></tr> <tr><td>B-5母線電圧</td></tr> <tr><td>B-6母線電圧</td></tr> <tr><td>B-7母線電圧</td></tr> <tr><td>B-8母線電圧</td></tr> <tr><td>B-9母線電圧</td></tr> <tr><td>125V直流母線電圧</td></tr> <tr><td>125V直流母線電圧</td></tr> <tr><td>125V直流母線電圧</td></tr> <tr><td>125V直流母線電圧</td></tr> <tr><td>250V直流母線電圧</td></tr> <tr> <td>使用済燃料プール監視カメラ</td> <td>停止中又は運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>映像確認 映像確認</td> </tr> <tr> <td>安全パラメータ表示システム (SIPS)</td> <td>停止中又は運転中</td> <td>機能・性能試験</td> <td>映像確認 機建 (データの表示及び伝送) 確認</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器</td> <td>停止中又は運転中</td> <td>特性試験</td> <td>計器校正</td> </tr> </tbody> </table> | 計装分類 | パラメータ | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 温度計 | 原子炉圧力容器最高 | 停止中 | 特性試験 | 最終圧力測定 温度確認 計器校正 | 上ライオン最高 | 圧力制御室圧力最高 | サブプレッションタンク最高 | 原子炉格納容器下部温度 | 冷却熱源から熱交換器入口温度 | 冷却熱源から熱交換器出口温度 | 冷却水戻り温度 | 格納容器内水素濃度 (0.1%) | 格納容器内水素濃度 (0.2%) | 水素及び酸素濃度計 | 格納容器内水素濃度 (0.1%) | 停止中 | 特性試験 | 基準ガス校正 計器校正 | 格納容器内水素濃度 (0.2%) | エアロスチア装置出口水素濃度 | 原子炉格納容器水素濃度 | 格納容器内空気窒素水素濃度 | 放射線量率計 | 格納容器内空気窒素放射線モニタ (圧力) | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | 格納容器内空気窒素放射線モニタ (0.1%) | エアロスチア装置出口放射線モニタ | 原子炉格納容器放射線モニタ | 格納容器内空気窒素放射線モニタ (高線量、低線量) | 原子炉出力 | 総熱出力モニタ | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | 平均出力モニタ | 平均出力モニタ | 電圧計 | B-0-1母線電圧 | 停止中 | 機能・性能試験 | 計器校正 | B-0-2母線電圧 | B-1母線電圧 | B-2母線電圧 | B-3母線電圧 | B-4母線電圧 | B-5母線電圧 | B-6母線電圧 | B-7母線電圧 | B-8母線電圧 | B-9母線電圧 | 125V直流母線電圧 | 125V直流母線電圧 | 125V直流母線電圧 | 125V直流母線電圧 | 250V直流母線電圧 | 使用済燃料プール監視カメラ | 停止中又は運転中 | 機能・性能試験 | 映像確認 映像確認 | 安全パラメータ表示システム (SIPS) | 停止中又は運転中 | 機能・性能試験 | 映像確認 機建 (データの表示及び伝送) 確認 | 可搬型計測器 | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | <p>表2.15.7 計装設備の試験及び検査(2/2)</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>計装分類</th> <th>パラメータ</th> <th>発電用原子炉の状態</th> <th>項目</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">水素濃度計</td> <td>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット</td> <td>運転中</td> <td rowspan="2">特性試験</td> <td rowspan="2">基準ガス校正 計器校正</td> </tr> <tr><td>停止中</td></tr> <tr> <td rowspan="2">放射線量率計</td> <td>可搬型エアロスチア水素濃度計測ユニット</td> <td>運転中</td> <td rowspan="2">特性試験</td> <td rowspan="2">基準ガス校正 計器校正</td> </tr> <tr><td>停止中</td></tr> <tr> <td rowspan="2">放射線量率計</td> <td>格納容器内高レンジモニタ (低レンジ)</td> <td rowspan="2">停止中</td> <td rowspan="2">特性試験</td> <td rowspan="2">計器校正</td> </tr> <tr><td>格納容器内高レンジモニタ (高レンジ)</td></tr> <tr> <td rowspan="3">原子炉出力</td> <td>使用済燃料ピット可搬型エアロスチア</td> <td>停止中又は運転中</td> <td rowspan="3">特性試験</td> <td rowspan="3">計器校正</td> </tr> <tr><td>出力領域中性子束</td> <td>停止中又は運転中</td> </tr> <tr><td>中間領域中性子束</td> <td>停止中</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">電圧計</td> <td>中性子線領域中性子束</td> <td rowspan="2">停止中</td> <td rowspan="2">機能・性能試験</td> <td rowspan="2">計器校正 ブロー特性</td> </tr> <tr><td>G-A、B母線電圧</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">使用済燃料ピット監視カメラ</td> <td>A、B一直流コントロールセンタ母線電圧</td> <td>停止中又は運転中</td> <td rowspan="2">機能・性能試験</td> <td rowspan="2">映像確認 映像確認</td> </tr> <tr><td>データ伝送設備 (発電所内)</td> <td>停止中又は運転中</td> </tr> <tr> <td>可搬型計測器</td> <td></td> <td>停止中又は運転中</td> <td>特性試験</td> <td>計器校正</td> </tr> </tbody> </table> | 計装分類 | パラメータ | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | 水素濃度計 | 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット | 運転中 | 特性試験 | 基準ガス校正 計器校正 | 停止中 | 放射線量率計 | 可搬型エアロスチア水素濃度計測ユニット | 運転中 | 特性試験 | 基準ガス校正 計器校正 | 停止中 | 放射線量率計 | 格納容器内高レンジモニタ (低レンジ) | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | 格納容器内高レンジモニタ (高レンジ) | 原子炉出力 | 使用済燃料ピット可搬型エアロスチア | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | 出力領域中性子束 | 停止中又は運転中 | 中間領域中性子束 | 停止中 | 電圧計 | 中性子線領域中性子束 | 停止中 | 機能・性能試験 | 計器校正 ブロー特性 | G-A、B母線電圧 | 使用済燃料ピット監視カメラ | A、B一直流コントロールセンタ母線電圧 | 停止中又は運転中 | 機能・性能試験 | 映像確認 映像確認 | データ伝送設備 (発電所内) | 停止中又は運転中 | 可搬型計測器 | | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | <p>(4) 切替えの容易性 (設置許可基準規則第43条第1項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあつては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。</p> <p>なお、フィルタ装置出口水素濃度は、計測に必要な弁操</p> |
| 計装分類 | パラメータ | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 温度計 | 原子炉圧力容器最高 | 停止中 | 特性試験 | 最終圧力測定 温度確認 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 上ライオン最高 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 圧力制御室圧力最高 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | サブプレッションタンク最高 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器下部温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 冷却熱源から熱交換器入口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 冷却熱源から熱交換器出口温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 冷却水戻り温度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内水素濃度 (0.1%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内水素濃度 (0.2%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水素及び酸素濃度計 | 格納容器内水素濃度 (0.1%) | 停止中 | 特性試験 | 基準ガス校正 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内水素濃度 (0.2%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | エアロスチア装置出口水素濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器水素濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内空気窒素水素濃度 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線量率計 | 格納容器内空気窒素放射線モニタ (圧力) | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内空気窒素放射線モニタ (0.1%) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | エアロスチア装置出口放射線モニタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 原子炉格納容器放射線モニタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内空気窒素放射線モニタ (高線量、低線量) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉出力 | 総熱出力モニタ | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 平均出力モニタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 平均出力モニタ | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電圧計 | B-0-1母線電圧 | 停止中 | 機能・性能試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-0-2母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-1母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-2母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-3母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-4母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-5母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-6母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-7母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-8母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | B-9母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V直流母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V直流母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V直流母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 125V直流母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 250V直流母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料プール監視カメラ | 停止中又は運転中 | 機能・性能試験 | 映像確認 映像確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 安全パラメータ表示システム (SIPS) | 停止中又は運転中 | 機能・性能試験 | 映像確認 機建 (データの表示及び伝送) 確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型計測器 | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 計装分類 | パラメータ | 発電用原子炉の状態 | 項目 | 内容 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水素濃度計 | 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット | 運転中 | 特性試験 | 基準ガス校正 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 停止中 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線量率計 | 可搬型エアロスチア水素濃度計測ユニット | 運転中 | 特性試験 | 基準ガス校正 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 停止中 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 放射線量率計 | 格納容器内高レンジモニタ (低レンジ) | 停止中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 格納容器内高レンジモニタ (高レンジ) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 原子炉出力 | 使用済燃料ピット可搬型エアロスチア | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 出力領域中性子束 | 停止中又は運転中 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 中間領域中性子束 | 停止中 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 電圧計 | 中性子線領域中性子束 | 停止中 | 機能・性能試験 | 計器校正 ブロー特性 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | G-A、B母線電圧 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピット監視カメラ | A、B一直流コントロールセンタ母線電圧 | 停止中又は運転中 | 機能・性能試験 | 映像確認 映像確認 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | データ伝送設備 (発電所内) | 停止中又は運転中 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 可搬型計測器 | | 停止中又は運転中 | 特性試験 | 計器校正 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | <p>(4) 切替えの容易性 (設置許可基準規則第43条第1項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあつては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。</p> <p>なお、フィルタ装置出口水素濃度は、計測に必要な弁操</p> | <p>(4) 切替えの容易性 (設置許可基準規則第43条第1項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 本来の用途以外の用途として重大事故等に対処するために使用する設備にあつては、通常時に使用する系統から速やかに切り替えられる機能を備えるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|--|---|--|
| | <p>作については、速やかに実施可能な設計とする。</p> <p>図 3.15-1 にフィルタ装置出口水素濃度計測のタイムチャートを示す。</p>  <p>図3.15-1 フィルタ装置出口水素濃度計測のタイムチャート*</p> <p>*：「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての1.7で示すタイムチャート。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS)は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、本来の用途以外には使用しない設計とする。可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、接続規格を統一することにより、速やかに接続操作可能な設計とする。</p> <p>図 3.15-2 に中央制御室での可搬型計測器接続による監視パラメータ計測のタイムチャートを示す。</p> | <p>データ伝送設備（発電所内）は、本来の用途以外の用途には使用しない設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、本来の用途以外には使用しない設計とする。可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、接続方式を統一することにより、速やかに接続操作可能な設計とする。</p> <p>図 2.15.1 に中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室での可搬型計測器接続による監視パラメータ計測のタイムチャートを示す。</p> | <p>■設備構成の相違（相違理由④）</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■接続場所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍（同一フロア）のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|--|---|---|
| | <p>図3.15-2 可搬型計測器接続による監視パラメータ計測のタイムチャート*</p> <p>*：「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての1.15で示すタイムチャート</p> <p>(5) 悪影響の防止 (設置許可基準規則第43条第1項第五号)</p> <p>(i) 要求事項 工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち多重性を有するパラメータの計測装置は、チャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立を図る設計とする。また、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においてもパラメータ相互をヒューズにより電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>【島根2号炉58条まとめ資料本文より転載】</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち、多重性を有するパラメータの計測装置並びに重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においては、パラメータ相互をヒューズ、アイソレータ等により電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、通常時から他系統と隔離された系統構成となっており、通常時の系統構成を変えることなく重大事故等対処設備としての系統構成が可能な設計とすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> | <p>図2.15.1 可搬型計測器接続による監視パラメータ計測のタイムチャート*</p> <p>*：「実用発電用原子炉に係る発電用原子炉設置者の重大事故の発生及び拡大の防止に必要な措置を実施するために必要な技術的能力に係る審査基準」への適合状況についての1.15で示すタイムチャート</p> <p>(5) 悪影響の防止 (設置許可基準規則第43条第1項第五号)</p> <p>(i) 要求事項 工場等内の他の設備に対して悪影響を及ぼさないものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備のうち多重性を有するパラメータの計測装置は、チャンネル相互を物理的、電気的に分離し、チャンネル間の独立を図る設計とする。また、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータの計測装置の間においてもパラメータ相互をヒューズ、アイソレータ等により電気的に分離することで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> | <p>■設備の相違 (相違理由⑥) (東二及び島根と同様)</p> <p>■記載表現の相違</p> <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|------|
| <p>可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>(6) 設置場所 (設置許可基準規則第43条第1項第六号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合において重大事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>計測のための操作に必要な機器の設置場所及び操作場所を表3.15-7に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、重大事故等時において中央制御室にて監視できる設計であり現場における操作は発生しない。</p> <p>格納容器内雰囲気水素濃度及び格納容器内雰囲気酸素濃度は、すべて中央制御室にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>フィルタ装置出口水素濃度は、サンプリングに必要な弁の操作は原子炉建屋付属棟内にて操作を行い、サンプリング装置については中央制御室にて操作を行うため、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS)のうち SPDS 表示装置は、緊急時対策建屋内に設置されており、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> | <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)、可搬型アンユラス水素濃度計測ユニット、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) 及び可搬型計測器は、通常時に接続先の系統と分離された状態であること及び重大事故等時は重大事故等対処設備として系統構成をすることで、他の設備に悪影響を及ぼさない設計とする。</p> <p>(6) 設置場所 (設置許可基準規則第43条第1項第六号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>想定される重大事故等が発生した場合において重大事故等対処設備の操作及び復旧作業を行うことができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>計測のための操作に必要な機器の設置場所及び操作場所を表2.15.6に示す。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、重大事故等時において中央制御室又は設置場所にて監視できる設計であり現場における操作は発生しない。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内)のうちデータ表示端末は、緊急時対策所指揮所内に設置されており、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、サンプリン</p> | <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備の相違</p> <p>・泊は、設置場所である現場にて監視するパラメータがある (例えば、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)等)。</p> <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備名称の相違</p> <p>■建屋名称の相違</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|--|
| <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、すべて中央制御室にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>(58-3) (58-9)</p> <p>3.15.2.1.3.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針</p> <p>(1) 容量 (設置許可基準規則第43条第2項第一号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準事故時の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準対象施設と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力 ・原子炉水位 (広帯域) ・原子炉水位 (燃料域) ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量 ・高圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系ポンプ出口流量 ・低圧炉心スプレイ系ポンプ出口流量 | <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、すべて中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>(58-2) (58-9)</p> <p>2.15.2.1.3.2 設置許可基準規則第43条第2項への適合方針</p> <p>(1) 容量 (設置許可基準規則第43条第2項第一号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量を有するものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、設計基準事故時の計測機能と兼用しており、設計基準事故時に使用する場合の計測範囲が、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定できるため、設計基準対象施設と同仕様の設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1次冷却材温度 (広域-高温側) ・1次冷却材温度 (広域-低温側) ・1次冷却材圧力 (広域) ・加圧器水位 ・原子炉容器水位 ・高圧注入流量 ・低圧注入流量 | <p>グに必要な弁の操作は周辺補機棟内で操作を行い、サンプリング装置については中央制御室にて操作を行うため、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットは、サンプリングに必要な弁の操作は周辺補機棟内にて操作を行い、サンプリング装置については中央制御室にて操作を行うため、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、周辺補機棟内にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) は、周辺補機棟内にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、すべて中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室にて操作を行い、操作位置の放射線量が高くなるおそれが少ないため操作が可能である。</p> <p>(58-2) (58-9)</p> | <p>■接続場所の相違</p> <p>・泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍の近傍 (同一フロア) のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|--|------|
| | <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内雰囲気水素濃度 ・格納容器内雰囲気放射線モニタ (D/W) ・格納容器内雰囲気放射線モニタ (S/C) ・起動領域モニタ ・平均出力領域モニタ ・残留熱除去系熱交換器入口温度 ・残留熱除去系熱交換器出口温度 ・原子炉補機冷却水系系統流量 ・残留熱除去系熱交換器冷却水入口流量 ・原子炉隔離時冷却系ポンプ出口圧力 ・高圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力 ・残留熱除去系ポンプ出口圧力 ・低圧炉心スプレィ系ポンプ出口圧力 ・格納容器内雰囲気酸素濃度 ・使用済燃料プール水位/温度 (ガイドバルブ式) <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・原子炉圧力容器温度 ・原子炉圧力 (SA) ・原子炉水位 (SA 広帯域) ・原子炉水位 (SA 燃料域) ・高圧代替注水系ポンプ出口流量 ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系ヘッドスプレィライン洗浄流量) ・残留熱除去系洗浄ライン流量 (残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量) ・直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量 ・代替循環冷却ポンプ出口流量 ・原子炉格納容器代替スプレィ流量 ・原子炉格納容器下部注水流量 ・ドライウェル温度 ・圧力抑制室内空気温度 ・サブプレッションプール水温度 ・原子炉格納容器下部温度 ・ドライウェル圧力 ・圧力抑制室圧力 ・圧力抑制室水位 ・原子炉格納容器下部水位 ・ドライウェル水位 ・格納容器内水素濃度 (D/W) ・格納容器内水素濃度 (S/C) | <ul style="list-style-type: none"> ・格納容器内温度 ・原子炉格納容器圧力 ・格納容器再循環サンプ水位 (広域) ・格納容器再循環サンプ水位 (狭域) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (低レンジ) ・格納容器内高レンジエリアモニタ (高レンジ) ・出力領域中性子束 ・中間領域中性子束 ・中性子源領域中性子束 ・蒸気発生器水位 (狭域) ・蒸気発生器水位 (広域) ・補助給水流量 ・主蒸気ライン圧力 ・原子炉補機冷却水サージタンク水位 ・補助給水ビット水位 ・燃料取替用水ビット水位 ・ほう酸タンク水位 <p>常設の重大事故等対処設備のうち以下のパラメータを計測する設備は、計器の不確かさを考慮しても設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定可能な設計とする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替格納容器スプレィポンプ出口積算流量 ・B-格納容器スプレィ冷却器出口積算流量 (AM用) ・格納容器圧力 (AM用) ・格納容器水位 ・原子炉下部キャビティ水位 ・原子炉格納容器内水素処理装置温度 ・格納容器水素イグナイト温度 ・使用済燃料ビット水位 (AM用) ・使用済燃料ビット温度 (AM用) ・使用済燃料ビット監視カメラ | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|--|---|---|
| | <p>・フィルタ装置水位 (広帯域)</p> <p>・フィルタ装置入口圧力 (広帯域)</p> <p>・フィルタ装置出口圧力 (広帯域)</p> <p>・フィルタ装置水温度</p> <p>・フィルタ装置出口放射線モニタ</p> <p>・フィルタ装置出口水素濃度</p> <p>・耐圧強化ベント系放射線モニタ</p> <p>・復水貯蔵タンク水位</p> <p>・高圧代替注水系ポンプ出口圧力</p> <p>・直流駆動低圧注水系ポンプ出口圧力</p> <p>・代替循環冷却ポンプ出口圧力</p> <p>・復水移送ポンプ出口圧力</p> <p>・原子炉建屋内水素濃度</p> <p>・静的触媒式水素再結合装置動作監視装置</p> <p>・使用済燃料プール水位/温度 (ヒートサーモ式)</p> <p>・使用済燃料プール上部空開放射線モニタ (高線量, 低線量)</p> <p>・使用済燃料プール監視カメラ</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断ができ、系統の目的に応じて必要となる計測範囲を有する設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、設計基準対象施設として必要となるデータ量の伝送及び表示が可能な設計とする。</p> <p>また、重大事故等時、発電所内の必要のある場所に必要データ量を伝送及び表示が可能な設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) のうち SPDS 表示装置は、緊急時対策建屋内に1式を設置し、保守点検又は故障時のバックアップ用として、自主的に1式を保管する設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(58-6)</p> <p>(2) 共用の禁止 (設置許可基準規則第43条第2項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> | <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、重大事故等対処設備を活用する手順等の着手の判断ができ、系統の目的に応じて必要となる計測範囲を有する設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、設計基準対象施設として必要となるデータ量の伝送及び表示が可能な設計とする。</p> <p>また、重大事故等時、発電所内の必要のある場所に必要データ量を伝送及び表示が可能な設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) のうちデータ表示端末は、緊急時対策所指揮所内に1式を設置し、保守点検又は故障時のバックアップ用として、自主的に1式を保管する設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(58-5)</p> <p>(2) 共用の禁止 (設置許可基準規則第43条第2項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>二以上の発電用原子炉施設において共用するものでないこと。ただし、二以上の発電用原子炉施設と共用することによって当該二以上の発電用原子炉施設の安全性が向上する場合であって、同一の工場等内の他の発電用原子炉施設に対して悪影響を及ぼさない場合は、この限りでない。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> | <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備名称及び建屋名称の相違</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|---|
| <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第2項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータと異なる物理量 (水位、注水量等) の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータのうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「2.3 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>安全パラメータ表示システム (SPDS) は、共通要因によって、その機能が損なわれることを防止するために、可能な限り多様性を確保し、頑健性を持たせた設計とする (詳細については、「3.19 通信連絡を行うために必要な設備」で示す)。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> | <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第2項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータと異なる物理量 (水位、注水量等) の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータのうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「1.3 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、共通要因によって、その機能が損なわれることを防止するために、可能な限り多様性を確保し、頑健性を持たせた設計とする (詳細については、「2.19 通信連絡を行うために必要な設備」で示す)。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> | <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、二以上の発電用原子炉施設において共用しない設計とする。</p> <p>(3) 設計基準事故対処設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第2項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 常設重大事故防止設備は、共通要因によって設計基準事故対処設備の安全機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>重要代替監視パラメータを計測する設備は、重要監視パラメータと異なる物理量 (水位、注水量等) の計測又は測定原理とすることで、重要監視パラメータを計測する設備に対して可能な限り多様性を持った計測方法により計測できる設計とする。</p> <p>重要代替監視パラメータは重要監視パラメータと可能な限り位置的分散を図る設計とする。</p> <p>重大事故等対処設備の補助パラメータは、代替する機能を有する設計基準事故対処設備と可能な限り多様性及び独立性を有し、位置的分散を図る設計とする。なお、補助パラメータのうち、想定される重大事故等時に設計基準対象施設としての機能を期待する重大事故等対処設備は、「1.3 重大事故等対処設備に関する基本方針」のうち、多様性、位置的分散を除く設計方針を適用して設計を行う。</p> <p>データ伝送設備 (発電所内) は、共通要因によって、その機能が損なわれることを防止するために、可能な限り多様性を確保し、頑健性を持たせた設計とする (詳細については、「2.19 通信連絡を行うために必要な設備」で示す)。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備並びに重大事故等対処設備の補助パラメータを計測する設備の電源は、共通要因によって同時に機能を損なわないよう、非常用交流電源設備に対して多様性を有する常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備から給電が可能な設計とする。</p> | <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> <p>■設備構成の相違 (相違理由④)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|--|--|---|
| | <p>電源設備の多様性、位置的分散については「3.14 電源設備」に記載する。 (58-2) (58-3)</p> <p>3.15.2.1.3.3 設置許可基準規則第43条第3項への適合方針 (1) 容量 (設置許可基準規則第43条第3項第一号) (i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量 (注水量) の計測用として1セット26個 (測定時の故障を想定した予備として1個含む) を使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として26個を含めて合計52個を分散して保管する設計とする。</p> | <p>電源設備の多様性、位置的分散については、「2.14 電源設備」に記載する。 (58-2) (58-6)</p> <p>2.15.2.1.3.3 設置許可基準規則第43条第3項への適合方針 (1) 容量 (設置許可基準規則第43条第3項第一号) (i) 要求事項 想定される重大事故等の収束に必要な容量に加え、十分に余裕のある容量を有するものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.2 容量等」に示す。</p> <p>可搬型の重大事故等対処設備は、設計基準を超える状態において発電用原子炉施設の状態を推定するための計測範囲及び、十分に余裕のある個数を有する設計とする。 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。 可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。 原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。 使用済燃料ピット水位 (可搬型) は1セット2個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計3個を分散して保管する設計とする。 使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。 使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は1セット1個使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として1個を含めて合計2個を分散して保管する設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉圧力容器及び原子炉格納容器内の温度、圧力、水位及び流量 (注水量) の計測用として1セット38個 (測定時の故障を想定した予備として1個含む) を使用する。保有数は、故障時及び保守点検による待機除外時のバックアップ用として38個を含めて合計76個を分散して保管する設計とする。</p> | <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■設備構成の相違 ・可搬型計測器で計測するパラメータ数の相違により保有数が異なる (表 2.15.9 に対象を記載)。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|---|-----------------------|
| | <p>(58-3) (58-9)</p> <p>(2) 確実な接続 (設置許可基準規則第43条第3項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>常設設備 (発電用原子炉施設と接続されている設備又は短時間に発電用原子炉施設と接続することができる常設の設備をいう。以下同じ。) と接続するものにあつては、当該常設設備と容易かつ確実に接続することができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子炉施設が相互に使用することができるよう、接続部の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> | <p>(58-2) (58-9)</p> <p>(2) 確実な接続 (設置許可基準規則第43条第3項第二号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>常設設備 (発電用原子炉施設と接続されている設備又は短時間に発電用原子炉施設と接続することができる常設の設備をいう。以下同じ。) と接続するものにあつては、当該常設設備と容易かつ確実に接続することができ、かつ、二以上の系統又は発電用原子炉施設が相互に使用することができるよう、接続部の規格の統一その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性</p> <p>基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット及び可搬型アナユラス水素濃度計測ユニットに使用する計装ケーブルの接続は、コネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) の接続は、コネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) の吊込装置等の取り付けは、取付金具を用いて確実に取付可能な設計とする。使用済燃料ピット水位 (可搬型) の変換器及びワイヤーの接続は、確実に接続操作可能な設計とする。使用済燃料ピット水位 (可搬型) のケーブル接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、ケーブルを確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、使用済燃料ピット監視カメラに確実に接続できるとともに、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、複数の場所の放射線量率と使用済燃料ピット区域の放射線量率の相関 (減衰率) をあらかじめ評価している場所のうち設置場所としている箇所、車輪止めによる固定等が可能な設計とする。使用済燃料ピット可搬型エリアモニタのケーブル接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、ケーブルを確実に接続操作可能な設計とする。</p> | <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|---|
| <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、ボルト・ネジ接続とし、接続規格を統一することにより、一般的に使用される工具を用いて容易かつ確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>(3) 複数の接続口 (設置許可基準規則第43条第3項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 常設設備と接続するものにあつては、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、可搬型重大事故等対処設備 (原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。) の接続口をそれぞれ互いに異なる複数の場所に設けるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉建屋の外から水又は電力を供給する設備ではなく、中央制御室から接続可能な設計とする。</p> <p>(58-9)</p> <p>(4) 設置場所 (設置許可基準規則第43条第3項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を設置場所に据え付け、及び常設設備と接続することができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> | <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、ボルト・ネジ接続とし、接続規格を統一することにより、一般的に使用される工具を用いて容易かつ確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>(3) 複数の接続口 (設置許可基準規則第43条第3項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 常設設備と接続するものにあつては、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、可搬型重大事故等対処設備 (原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。) の接続口をそれぞれ互いに異なる複数の場所に設けるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) 及び可搬型計測器は、原子炉建屋の外から水又は電力を供給する設備ではなく、設置場所で接続可能な設計とする。</p> <p>(58-2) (58-9)</p> <p>(4) 設置場所 (設置許可基準規則第43条第3項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を設置場所に据え付け、及び常設設備と接続することができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの操作は、周辺補機棟内で行うことから、周辺補機棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそ</p> | <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) の検出器と温度計本体の計装ケーブルの接続はコネクタ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、プラグ接続とし、接続方式を統一することにより、設置場所で容易かつ確実に接続操作可能な設計とする。</p> <p>(3) 複数の接続口 (設置許可基準規則第43条第3項第三号)</p> <p>(i) 要求事項 常設設備と接続するものにあつては、共通要因によって接続することができなくなることを防止するため、可搬型重大事故等対処設備 (原子炉建屋の外から水又は電力を供給するものに限る。) の接続口をそれぞれ互いに異なる複数の場所に設けるものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、使用済燃料ピット可搬型エアモニタ、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) 及び可搬型計測器は、原子炉建屋の外から水又は電力を供給する設備ではなく、設置場所で接続可能な設計とする。</p> <p>(58-2) (58-9)</p> <p>(4) 設置場所 (設置許可基準規則第43条第3項第四号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において可搬型重大事故等対処設備を設置場所に据え付け、及び常設設備と接続することができるよう、放射線量が高くなるおそれが少ない設置場所の選定、設置場所への遮蔽物の設置その他の適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.3 環境条件等」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの操作は、周辺補機棟内で行うことから、周辺補機棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそ</p> | <p>相違理由</p> <p>■ 運用の相違 (相違理由⑦) ■ 記載表現の相違</p> <p>■ 設備の相違 (相違理由⑧)</p> <p>■ 設備の相違 (相違理由⑧)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|---|--|--|
| | <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、放射線量が高くなるおそれの少ない中央制御室で操作可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(58-3) (58-9)</p> <p>(5) 保管場所 (設置許可基準規則第43条第3項第五号) (i) 要求事項 地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮</p> | <p>れの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットの操作は、周辺補機棟内で行うことから、周辺補機棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) の操作は、周辺補機棟内で行うことから、周辺補機棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) の操作は、燃料取扱棟内で行うことから、燃料取扱棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置の操作は、原子炉補助建屋内で行うことから、原子炉補助建屋内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの操作は、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外で行うことから、周辺補機棟内、原子炉補助建屋内又は屋外で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) の操作は、周辺補機棟内で行うことから、周辺補機棟内で操作する場合は、線源からの離隔距離により、放射線量が高くなるおそれの少ない場所を選定し、設置場所で操作可能な設計とする。</p> <p>可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、放射線量が高くなるおそれの少ない中央制御室、安全系計装盤室及び非常用系計装盤室で操作可能な設計とする。</p> <p style="text-align: right;">(58-2) (58-9)</p> <p>(5) 保管場所 (設置許可基準規則第43条第3項第五号) (i) 要求事項 地震、津波その他の自然現象又は故意による大型航空機の衝突その他のテロリズムによる影響、設計基準事故対処設備及び重大事故等対処設備の配置その他の条件を考慮</p> | <p>■接続場所の相違</p> <p>・泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍 (同一フロア) のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び非常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|---|
| <p>した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型計測器は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所である制御建屋内及び緊急時対策建屋内に保管することで位置的分散を図る設計とする。 (58-3) (58-9)</p> <p>(6) アクセスルートの確保 (設置許可基準規則第43条第3項第六号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> | <p>した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) は、各設備の重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所に保管することで位置的分散を図る設計とする。(58-13)</p> <p>可搬型計測器は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所である原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管することで位置的分散を図る設計とする。 (58-2) (58-9)</p> <p>(6) アクセスルートの確保 (設置許可基準規則第43条第3項第六号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、周辺補機棟内に保管しており、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの計装ケーブル及び配管の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットは、周辺補機棟内に保管しており、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットの計装ケーブル及び配管の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、周辺</p> | <p>した上で常設重大事故等対処設備と異なる保管場所に保管すること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニット、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型)、使用済燃料ピット水位 (可搬型)、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタ及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度/出口温度) は、各設備の重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所に保管することで位置的分散を図る設計とする。(58-13)</p> <p>可搬型計測器は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所である原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管することで位置的分散を図る設計とする。 (58-2) (58-9)</p> <p>(6) アクセスルートの確保 (設置許可基準規則第43条第3項第六号)</p> <p>(i) 要求事項 想定される重大事故等が発生した場合において、可搬型重大事故等対処設備を運搬し、又は他の設備の被害状況を把握するため、工場等内の道路及び通路が確保できるよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.4 操作性及び試験・検査性」に示す。</p> <p>可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットは、周辺補機棟内に保管しており、可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットの計装ケーブル及び配管の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットは、周辺補機棟内に保管しており、可搬型アニュラス水素濃度計測ユニットの計装ケーブル及び配管の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、周辺</p> | <p>相違理由</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■建屋名称の相違</p> <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|--|
| <p>可搬型計測器は、制御建屋内及び緊急時対策建屋内に保管しており、可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である中央制御室であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p style="text-align: right;">(58-3) (58-9)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第3項第七号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>重大事故防止設備のうち可搬型のものは、共通要因によって、設計基準事故対処設備の安全機能、使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために</p> | <p>補機棟内に保管しており、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) は、燃料取扱棟内及び周辺補機棟内に保管しており、使用済燃料ピット水位 (可搬型) の設置は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である燃料取扱棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管しており、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置の設置は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である原子炉補助建屋内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管しており、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの設置は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内、原子炉補助建屋内、又は屋外であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) は、原子炉補助建屋内と緊急時対策所待機所内に保管しており、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管しており、可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p style="text-align: right;">(58-2) (58-7) (58-9)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第3項第七号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>重大事故防止設備のうち可搬型のものは、共通要因によって、設計基準事故対処設備の安全機能、使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために</p> | <p>補機棟内に保管しており、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) は、燃料取扱棟内及び周辺補機棟内に保管しており、使用済燃料ピット水位 (可搬型) の設置は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である燃料取扱棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置は、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管しており、使用済燃料ピット監視カメラ空冷装置の設置は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である原子炉補助建屋内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管しており、使用済燃料ピット可搬型エリアモニタの設置は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内、原子炉補助建屋内、又は屋外であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) は、原子炉補助建屋内と緊急時対策所待機所内に保管しており、可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) の接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である周辺補機棟内であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p>可搬型計測器は、原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管しており、可搬型計測器の計装ケーブルの接続は、線源からの離隔距離により放射線量が高くなるおそれの少ない設置場所である中央制御室、安全系計装盤室及び常用系計装盤室であり、アクセスルートは確保されている。</p> <p style="text-align: right;">(58-2) (58-7) (58-9)</p> <p>(7) 設計基準事故対処設備及び常設重大事故防止設備との多様性 (設置許可基準規則第43条第3項第七号)</p> <p>(i) 要求事項</p> <p>重大事故防止設備のうち可搬型のものは、共通要因によって、設計基準事故対処設備の安全機能、使用済燃料貯蔵槽の冷却機能若しくは注水機能又は常設重大事故防止設備の重大事故に至るおそれがある事故に対処するために</p> | <p>■ 建屋名称の相違</p> <p>■ 接続場所の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は、原子炉補助建屋の中央制御室、中央制御室近傍 (同一フロア) のA-安全系計装盤室、B-安全系計装盤室及び常用系計装盤室で可搬型計測器を盤に接続し計測することとしている。女川は、すべて中央制御室で接続する。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|---|---|---------------------------------------|
| | <p>必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>可搬型計測器は、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所である制御建屋内及び緊急時対策建屋内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>(58-3) (58-9)</p> | <p>必要な機能と同時にその機能が損なわれるおそれがないよう、適切な措置を講じたものであること。</p> <p>(ii) 適合性 基本方針については、「2.3.1 多様性、位置的分散、悪影響防止等」に示す。</p> <p>原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (可搬型) は、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、原子炉補機冷却水サージタンク圧力 (AM 用) とは異なる場所である周辺補機棟内及び緊急時対策所待機所内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット水位 (可搬型) は、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、使用済燃料ピット水位とは異なる場所である燃料取扱棟内及び周辺補機棟内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>使用済燃料ピット可搬型エリアモニタは、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、使用済燃料ピットエリアモニタとは異なる場所である周辺補機棟内及び原子炉補助建屋内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>可搬型計測器は、設計基準事故対処設備の配置を考慮し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測する設備とは異なる場所である原子炉補助建屋内及び緊急時対策所待機所内に保管することで位置的分散を図る設計とする。</p> <p>(58-2) (58-9)</p> | <p>■設備の相違 (相違理由③)</p> <p>■建屋名称の相違</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第58条 計装設備（添付資料）

| 大阪発電所3／4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | |
|---|---|---|--------------|--|--|------|---|----------|--|---|------|--|--------------|--|--|
| <p>【比較のため女川の技術的能力1.0第1表より転載】</p> <p>第1表 重大事故等対策における手順書の概要（15/19）</p> <p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <table border="1" data-bbox="73 231 656 997"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">方針目的</td> <td> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">パラメータの選定及び分類</td> <td></td> </tr> </table> | 方針目的 | <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 | パラメータの選定及び分類 | | <p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要（1/4）</p> <p>3.15 事故時の計装に関する手順等</p> <table border="1" data-bbox="656 231 1238 997"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">方針目的</td> <td> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">パラメータの選定</td> <td></td> </tr> </table> | 方針目的 | <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 | パラメータの選定 | | <p>表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要（1/4）</p> <p>1.15 事故時の計装に関する手順等</p> <table border="1" data-bbox="1238 231 1821 997"> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">方針目的</td> <td> <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 </td> </tr> <tr> <td style="writing-mode: vertical-rl; transform: rotate(180deg);">パラメータの選定及び分類</td> <td></td> </tr> </table> | 方針目的 | <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 | パラメータの選定及び分類 | | <p>■記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の表 3.15-9 と同内容を示す技術的能力1.0第1表において、一部、記載表現の相違等があるが、技術的能力1.0第1表は設置許可本文に記載されることから、泊は技術的能力1.0第1表に合わせた。以降、同表において同じ。 |
| 方針目的 | <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 | | | | | | | | | | | | | | |
| パラメータの選定及び分類 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針目的 | <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合において、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 | | | | | | | | | | | | | | |
| パラメータの選定 | | | | | | | | | | | | | | | |
| 方針目的 | <p>重大事故等が発生し、計測機器の故障等により、当該重大事故等に対処するために監視することが必要なパラメータを計測することが困難となった場合に、当該パラメータを推定するために有効な情報を把握するため、計器故障時の対応、計器の計測範囲を超えた場合の対応、計器電源喪失時の対応、計測結果を記録する手順等を整備する。</p> <p>重大事故等に対処するために監視することが必要となるパラメータを技術的能力に係る審査基準1.1～1.14の手順着手の判断基準及び操作手順に用いるパラメータ並びに有効性評価の判断及び確認に用いるパラメータから抽出し、これを抽出パラメータとする。</p> <p>抽出パラメータのうち、炉心損傷防止対策及び格納容器破損防止対策等を成功させるために把握することが必要な発電用原子炉施設の状態を直接監視するパラメータを主要パラメータとする。</p> <p>また、計器の故障、計器の計測範囲（把握能力）の超過及び計器電源の喪失により、主要パラメータを計測することが困難となった場合において、主要パラメータの推定に必要なパラメータを代替パラメータとする。</p> <p>一方、抽出パラメータのうち、発電用原子炉施設の状態を直接監視することはできないが、電源設備の受電状態、重大事故等対処設備の運転状態及びその他の設備の運転状態により発電用原子炉施設の状態を補助的に監視するパラメータを補助パラメータとする。</p> <p>主要パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要監視パラメータ 主要パラメータのうち、耐震性、耐環境性を有し、重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータのうち、自主対策設備の計器のみで計測されるが、計測することが困難となった場合にその代替パラメータが重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器で計測されるパラメータをいう。 <p>代替パラメータは、以下のとおり分類する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・重要代替監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータを計測する計器が重大事故等対処設備としての要求事項を満たした計器を少なくとも1つ以上有するパラメータをいう。 ・有効監視パラメータ 主要パラメータの代替パラメータが自主対策設備の計器のみで計測されるパラメータをいう。 | | | | | | | | | | | | | | |
| パラメータの選定及び分類 | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 |
|---|--|--|--|--|--|--|
| <p>表3.15.8 重大事故等対策における手順の概要 (2/4)</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合において、他チャンネルの重要計器により計測できる場合は、当該計器を用いて計測を行う。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータにより主要パラメータを推定する。 推定に当たり、使用する計器が複数ある場合は、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件、計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。 代替パラメータによる主要パラメータの推定は、以下の方法で行う。 ・同一物理量 (温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束) により推定。 ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化、注水量又は出口圧力により推定。 ・流量を注水源又は注水先の水位変化を監視することにより推定。 ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定。 ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定。 ・注水量を注水先の圧力及び温度の傾向監視により推定。 ・未臨界状態の維持を制御棒の挿入状態により推定。 ・酸素濃度をあらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定。 ・水素濃度を装置の作動状況により推定。 ・エリア放射線モニタの傾向監視により、格納容器バイパス事象が発生したことを推定。 ・原子炉格納容器への空気 (酸素) の流入の有無を原子炉格納容器の圧力により推定。 ・使用済燃料プールの状態を同一物理量 (水位及び温度)、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水遮蔽が確保されていることを推定。 ・原子炉圧力容器内の圧力と原子炉格納容器内の圧力 (圧力抑圧室圧力) の差圧により原子炉圧力容器の満水状態を推定。</p> | | <p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要 (2/4)</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合において、他チャンネルの重要計器により計測できる場合は、当該計器を用いて計測を行う。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータにより主要パラメータを推定する。 推定に当たり、使用する計器が複数ある場合は、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件及び計測される値の不確かさを考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。 代替パラメータによる主要パラメータの推定は、以下の方法で行う。 ・同一物理量 (温度、圧力、水位、放射線量率、水素濃度及び中性子束) により推定。 ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化、注水量又は出口圧力により推定。 ・流量を注水源又は注水先の水位変化を監視することにより推定。 ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定。 ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定。 ・注水量を注水先の圧力及び温度の傾向監視により推定。 ・未臨界状態の維持を制御棒の挿入状態により推定。 ・酸素濃度をあらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定。 ・水素濃度を装置の作動状況により推定。 ・エリア放射線モニタの傾向監視により、格納容器バイパス事象が発生したことを推定。 ・原子炉格納容器への空気 (酸素) の流入の有無を原子炉格納容器の圧力により推定。 ・使用済燃料プールの状態を同一物理量 (水位及び温度)、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料プールの水位又は必要な水遮蔽が確保されていることを推定。 ・原子炉圧力容器内の圧力と原子炉格納容器内の圧力 (圧力抑圧室圧力) の差圧により原子炉圧力容器の満水状態を推定。</p> | | <p>表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要 (2/4)</p> <p>主要パラメータを計測する多重化された重要計器が、計器の故障により計測することが困難となった場合において、他チャンネル又は他ループの重要計器により計測できる場合は、他チャンネルの重要計器を用いた計測を優先し、次に他ループの重要計器を用いて計測を行う。</p> <p>主要パラメータを計測する計器の故障により主要パラメータの監視機能が喪失した場合は、代替パラメータにより主要パラメータを推定する。 推定に当たり、使用する計器が複数ある場合は、代替パラメータと主要パラメータの関連性、検出器の種類、使用環境条件、計測される値の不確かさ等を考慮し、使用するパラメータの優先順位をあらかじめ定める。 代替パラメータによる主要パラメータの推定は、以下の方法で行う。 ・同一物理量 (温度、圧力、水位、流量、放射線量率、水素濃度及び中性子束) により推定。 ・水位を注水源若しくは注水先の水位変化、注水量又は出口圧力により推定。 ・流量を注水源又は注水先の水位変化を監視することにより推定。 ・除熱状態を温度、圧力、流量等の傾向監視により推定。 ・1次冷却系からの漏えいを水位、圧力等の傾向監視により推定。 ・圧力又は温度を水の飽和状態の関係により推定。 ・未臨界状態の維持を原子炉へのほう酸水注入量により推定。 ・あらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定。 ・水素濃度を装置の作動状況により推定。 ・使用済燃料ピットの状態を同一物理量 (水位及び温度)、あらかじめ評価した水位と放射線量率の相関関係及びカメラによる監視により、使用済燃料ピットの水位又は必要な水遮蔽が確保されていることを推定。</p> | | <p>■設備構成の相違 (相違理由②)</p> <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川は、流量については異なる物理量での推定手段を整備している。泊は設備構成の相違により主蒸気流量の推定に他チャンネルの主蒸気流量を用いる。 <p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代替パラメータによる推定のうち BWR 固有の方法 (例えば、「酸素濃度をあらかじめ評価したパラメータの相関関係により推定。」等) は比較対象外とする。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 |
|--|--------------|--|--------------|---|--------------|--|
| <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは原子炉圧力容器内の温度と水位である。</p> <p>これらのパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定するための手順を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度のパラメータである原子炉圧力容器温度が計測範囲を超える（500℃以上）場合は、可搬型計測器により原子炉圧力容器温度を計測する。 原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータである原子炉水位が計測範囲を超えた場合は、高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、代替格納冷却ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量及び低圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量のうち、機器動作状態にある流量計から前換熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水位に変換率を考慮することにより原子炉圧力容器内の水位を推定する。 <p>なお、原子炉圧力容器内が満水状態であることは、原子炉圧力(SA)と圧力制御室圧力の差圧により、また原子炉圧力容器内の水位が有効燃料棒頂部以上であることは、原子炉圧力容器温度により推定可能である。</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合には、可搬型計測器により計測することも可能である。</p> | | <p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要 (3/4)</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは原子炉圧力容器内の温度及び水位である。</p> <p>これらのパラメータの値が計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定するための手順を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度のパラメータである原子炉圧力容器温度が計測範囲を超える（500℃以上）場合は、可搬型計測器により原子炉圧力容器温度を計測する。 原子炉圧力容器内の水位を監視するパラメータである原子炉水位が計測範囲を超えた場合は、高圧代替注水系ポンプ出口流量、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系ヘッドスプレイレイン洗浄流量）、残留熱除去系洗浄ライン流量（残留熱除去系B系格納容器冷却ライン洗浄流量）、直流駆動低圧注水系ポンプ出口流量、代替格納冷却ポンプ出口流量、原子炉隔離時冷却系ポンプ出口流量、高圧炉心スプレイレイン系ポンプ出口流量、残留熱除去系ポンプ出口流量のうち、機器動作状態にある流量計より前換熱除去に必要な水量の差を算出し、直前まで判明していた水位に変換率を考慮することにより原子炉圧力容器内の水位を推定する。 <p>また、原子炉圧力容器内が満水状態であることは、原子炉圧力(SA)と圧力制御室圧力の差圧により、また原子炉圧力容器内の水位が有効燃料棒頂部(TM)以上であることは、原子炉圧力容器温度により監視可能である。</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合には、可搬型計測器により計測することも可能である。</p> | | <p>表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要 (3/4)</p> <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を監視するパラメータのうち、パラメータの値が計器の計測範囲を超えるものは、原子炉圧力容器内の温度及び水位である。</p> <p>これらのパラメータの値が計器の計測範囲を超えた場合に発電用原子炉施設の状態を推定するための手順を以下に示す。</p> <ul style="list-style-type: none"> 原子炉圧力容器内の温度のパラメータである1次冷却材温度（広域一高温側）又は1次冷却材温度（広域一低温側）が計測範囲（0～400℃）を超えた場合、可搬型計測器を接続し、検出器の抵抗を計測し、換算表を用いて温度へ変換する。自主対策設備である炉心出口温度が健全である場合は、炉心出口温度による計測を優先する。 原子炉圧力容器内の水位のパラメータである加圧器水位は、原子炉容器より上に位置し、水位が低下して計測範囲を超えた場合は、原子炉容器水位で計測する。 <p>原子炉圧力容器内の温度、圧力及び水位、並びに原子炉圧力容器及び原子炉格納容器への注水量を計測するパラメータ以外で計器の計測範囲を超えた場合には、可搬型計測器により計測することも可能である。</p> | | <p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> 計測範囲を超えた場合における代替パラメータによる推定は、PWRとBWRで異なることから比較対象外とする。 |
| 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合 | 代替パラメータによる推定 | 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合 | 代替パラメータによる推定 | 計器の計測範囲（把握能力）を超えた場合 | 代替パラメータによる推定 | |
| 監視機能喪失時 | 監視機能喪失時 | 監視機能喪失時 | 監視機能喪失時 | 監視機能喪失時 | 監視機能喪失時 | |
| 対応手段等 | 対応手段等 | 対応手段等 | 対応手段等 | 対応手段等 | 対応手段等 | |
| 可搬型計測器による計測 | 可搬型計測器による計測 | 可搬型計測器による計測 | 可搬型計測器による計測 | 可搬型計測器による計測 | 可搬型計測器による計測 | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 |
|---|-------------------------------------|--|-------------------------------------|--|--|---|
| <p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要 (4/4)</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合は、以下の手順により計器へ給電し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内常設蓄電池式直流電源設備から給電する。 ・常設代替交流電源設備から給電する。 ・可搬型代替交流電源設備等から給電する。 ・直流電源が枯渇するおそれがある場合は、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備等から給電する。 <p>代替電源 (交流、直流) からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち、手順着手の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器により計測又は監視する。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム(SIPS)により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ (使用した計測結果を含む) の値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p> | | <p>表3.15-9 重大事故等対策における手順の概要 (4/4)</p> <p>全交流動力電源喪失が発生した場合は、以下の手順により計器へ給電し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内常設蓄電池式直流電源設備から給電する。 ・常設代替交流電源設備等から給電する。 ・可搬型代替交流電源設備等から給電する。 ・代替所内電気設備により給電する。 ・所内常設蓄電池式直流電源設備が枯渇するおそれがある場合は、常設代替直流電源設備、可搬型代替直流電源設備等から給電する。 <p>代替電源 (交流、直流) からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち、手順着手の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器により計測又は監視を行う。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、安全パラメータ表示システム(SIPS)により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ (使用した計測結果を含む) の値及び可搬型計測器で計測されるパラメータの値は、記録用紙に記録する。</p> | | <p>表 2.15.8 重大事故等対策における手順の概要 (4/4)</p> <p>全交流動力電源喪失及び直流電源喪失等が発生した場合は、以下の手順により計器へ給電し、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータを計測又は監視する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所内常設蓄電池式直流電源設備から給電する。 ・常設代替交流電源設備から給電する。 ・可搬型代替交流電源設備等から給電する。 ・直流電源が枯渇するおそれがある場合は、可搬型代替直流電源設備から給電する。 <p>代替電源 (交流、直流) からの給電が困難となり、中央制御室でのパラメータ監視が不能となった場合は、重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータのうち、手順着手の判断基準及び操作に必要なパラメータを可搬型計測器により計測又は監視する。</p> <p>重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータは、データ伝送設備 (発電所内) 及び可搬型温度計測装置 (格納容器再循環ユニット入口温度 / 出口温度) により計測結果を記録する。</p> <p>ただし、複数の計測結果を使用し計算により推定する主要パラメータ (使用した計測結果を含む) の値、可搬型計測器で計測されるパラメータの値及び現場操作時のみ監視する現場の指示値は、記録用紙に記録する。</p> | | <p>■記載表現の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女川の等には 125V 代替充電器用電源車接続設備が含まれる。 <p>■設備構成の相違 (相違理由④及び⑤)</p> <p>■設備構成の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は現場指示計で指示値を確認し記録用紙に記録する手段を整備している。 |
| <p>計器電源の喪失時</p> <p>対応手段等</p> | <p>計器電源の喪失時</p> <p>対応手段等</p> | <p>計器電源の喪失時</p> <p>対応手段等</p> | <p>計器電源の喪失時</p> <p>対応手段等</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | |
| <p>パラメータ記録</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>パラメータ記録</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>パラメータ記録</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>パラメータ記録</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | |
| <p>発電用原子炉施設の状態把握</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>発電用原子炉施設の状態把握</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>発電用原子炉施設の状態把握</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>発電用原子炉施設の状態把握</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | |
| <p>稼働からしさの考慮</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>稼働からしさの考慮</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>稼働からしさの考慮</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>稼働からしさの考慮</p> <p>配電すべき事項</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | |
| <p>計測又は監視の留意事項</p> | <p>計測又は監視の留意事項</p> | <p>計測又は監視の留意事項</p> | <p>計測又は監視の留意事項</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | <p>配電すべき事項</p> <p>可搬型計測器による計測又は監視の留意事項</p> | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|-----------------------------|--|--|
| <p>表 3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (1/10)</p> | | <p>表 2.15.9 重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器 (重大事故等対処設備) (1/7)</p> | |
| <p>重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ</p> | <p>監視能力 (計測範囲の考案方)</p> | <p>監視能力 (計測範囲の考案方)</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>① 原子炉内の重要監視パラメータ</p> | <p>① 原子炉内の重要監視パラメータ</p> | <p>① 原子炉内の重要監視パラメータ</p> | <p>■炉型の相違</p> |
| <p>原子炉圧力</p> | <p>最大値：約297℃*</p> | <p>最大値：約340℃</p> | <p>・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。以降、同表において同じ。</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約200℃</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (標準域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約17.00% [range]</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (狭帯域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (SAS標準域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>② 原子炉内の重要監視パラメータ</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉圧力</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (標準域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (狭帯域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (SAS標準域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>③ 原子炉内の重要監視パラメータ</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉圧力</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (標準域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (狭帯域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |
| <p>原子炉水位 (SAS標準域) **</p> | <p>最大値：約8.11MPa [gauge]</p> | <p>最大値：約100%</p> | <p>加圧器の下流に設置し、加圧器の計測範囲をラップアップしない。原子炉炉内から原子炉炉内監視部までの原子炉炉内水位監視可能。重大事故発生時において、加圧器水位による監視が可能な。原子炉炉内水位及び炉内監視部監視可能であり、事故対応が可能。</p> |

灰色:女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)
 青色:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)
 緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (2/10)

| 分類 | 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 値域 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視能力 (計測範囲の考え方) | 計測器 種類 | 電源 |
|-------------------------------|------------------------------------|----|---------------------------------|---|---|-----------|--------------------------------------|
| 原子炉圧力 | 原子炉水位 (広域域) [※] | 2 | -3,400mm ~ 1,500mm [※] | 有効動作範囲: 1,700mm ~ 1,700mm [※] (1.7, 822mm ~ 1,700mm) [※] | 計測範囲の考え方 中心の監視状態を確認する上で原子炉水位監視範囲 (1,700mm ~ 1,700mm) 及び有効動作範囲まで監視可能。 | 3 | 区分1: 直流電源 125V代替直流電源 [※] |
| | 原子炉水位 (燃料域) [※] | 2 | -3,400mm ~ 1,300mm [※] | 有効動作範囲: 1,300mm ~ 1,300mm [※] (1.3, 270mm ~ 1,300mm) [※] | | 5 | 区分1: 直流電源 125V代替直流電源 [※] |
| | 原子炉水位 (SAS区域) [※] | 1 | -3,400mm ~ 1,300mm [※] | 有効動作範囲: 1,300mm ~ 1,300mm [※] (1.7, 822mm ~ 1,300mm) [※] | | (1b) | 区分2: 直流電源 125V代替直流電源 [※] |
| | 原子炉水位 (S燃料域) [※] | 1 | -3,400mm ~ 1,300mm [※] | 有効動作範囲: 1,300mm ~ 1,300mm [※] (1.3, 270mm ~ 1,300mm) [※] | | (1b) | 区分1: 直流電源 125V代替直流電源 [※] |
| 原子炉圧力 | 高圧代噴注水ポンプ出口流量 [※] | | | | | | |
| | 低圧代噴注水ポンプ出口流量 (低圧域) [※] | | | | | | |
| | 低圧代噴注水ポンプ出口流量 (燃料域) [※] | | | | | | |
| | 低圧代噴注水ポンプ出口流量 (SAS区域) [※] | | | | | | |
| | 低圧代噴注水ポンプ出口流量 (S燃料域) [※] | | | | | | |
| | 高圧中心スプレッドポンプ出口流量 [※] | | | | | | |
| | 高圧中心スプレッドポンプ出口流量 [※] | | | | | | |
| | 高圧中心スプレッドポンプ出口流量 [※] | | | | | | |
| | 高圧中心スプレッドポンプ出口流量 [※] | | | | | | |
| | 高圧中心スプレッドポンプ出口流量 [※] | | | | | | |
| 高圧中心スプレッドポンプ出口流量 [※] | | | | | | | |

①原子炉圧力監視範囲内の圧力) を監視するパラメータと同じ。
 ②原子炉圧力監視範囲内の圧力) を監視するパラメータと同じ。
 ③原子炉圧力監視範囲内の圧力) を監視するパラメータと同じ。

表2.15.9 重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器 (重大事故等対処設備) (2/7)

| 分類 | 重要監視パラメータ (注1) 重要代替監視パラメータ | 値域 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視能力 (計測範囲の考え方) | 計測器 種類 | 電源 |
|---------------------------|--------------------------------|----|---|------------------------|--|-----------|---------------|
| 原子炉圧力 監視範囲内の 注水量 | 高圧注入流量 | 2 | 0 ~ 350m ³ /h | 290m ³ /h | 高圧注入ポンプの流量 (290m ³ /h) を監視可能。重大事故等時において も監視可能。 | 2 | A, B 計装用電源 |
| | 低圧注入流量 | 2 | 0 ~ 1,100m ³ /h | 1,090m ³ /h | 低圧注入ポンプの流量 (1,090m ³ /h) を監視可能。重大事故等時にお いても監視可能。 | 2 | C, D 計装用電源 |
| | B-格納容器スプレッドポンプ 出口流量 (AM用) | 1 | 0 ~ 1,300m ³ /h (0 ~ 18,000m ³) | - (注3) | 重大事故等時において、格納容器スプレッドポンプの流量 を監視可能。 | 1 | S4機能 継持 |
| | 代噴注水ポンプ 出口流量 | 1 | 0 ~ 200m ³ /h (0 ~ 16,000m ³) | - (注3) | 重大事故等時において、代噴注水ポンプの流量 を監視可能。 | 1 | S4機能 継持 |
| 原子炉圧力 監視範囲内の 注水量 | 燃料冷却ポンプ出口流量 [※] | | | | | | |
| | 補助給水レベル水位 [※] | | | | | | |
| | 加圧器水位 [※] | | | | | | |
| | 原子炉容器水位 [※] | | | | | | |
| | 格納容器内循環ポンプ水位 (広域) [※] | | | | | | |
| 1次冷却材圧力 (広域) [※] | 1次冷却材圧力 (広域) [※] | | | | | | |
| | 1次冷却材圧力 (燃料-低圧域) [※] | | | | | | |

①原子炉圧力監視範囲内の圧力) を監視するパラメータと同じ。
 ②原子炉圧力監視範囲内の圧力) を監視するパラメータと同じ。
 ③原子炉圧力監視範囲内の圧力) を監視するパラメータと同じ。
 ④原子炉圧力監視範囲内の圧力) を監視するパラメータと同じ。
 ⑤原子炉圧力監視範囲内の圧力) を監視するパラメータと同じ。

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大阪発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (3/10)

| 分類 | 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 数値 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視能力 (計測範囲の考え方) | 相違性 | 電風 |
|----------------|--------------------------|----|---------------------------|---------------------------|---|-----|---------------------|
| ① 原子炉圧力影響への注水機 | 高圧代注水ポンプの出口流量 | 1 | 0~1200 ²⁾ t/h | ~4 ¹⁾ | 高圧代注水ポンプの最大注水量 (90.56 ²⁾ t/h) を監視可能。 | (S) | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | 原子炉隔離時停炉ポンプの出口流量 | 1 | 0~150 ²⁾ t/h | 0~90.56 ²⁾ t/h | 原子炉隔離時停炉ポンプの最大注水量 (90.56 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | 高圧中心スプレイズポンプの出口流量 | 1 | 0~1,500 ²⁾ t/h | 0~1,500 ²⁾ t/h | 高圧中心スプレイズポンプの最大注水量 (1,050 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | 低圧側冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~250 ²⁾ t/h | ~4 ¹⁾ | 低圧側冷却ポンプは最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 低圧側冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 低圧側冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | (S) | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | 低圧側冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~250 ²⁾ t/h | 0~250 ²⁾ t/h | 低圧側冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 低圧側冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | (S) | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | 代替側冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~200 ²⁾ t/h | 0~200 ²⁾ t/h | 代替側冷却ポンプの最大注水量 (11,130 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | 高圧側冷却ポンプの出口流量 | 3 | 0~1,500 ²⁾ t/h | 0~1,500 ²⁾ t/h | 高圧側冷却ポンプの最大注水量 (1,050 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | 低圧側冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~1,500 ²⁾ t/h | 0~1,500 ²⁾ t/h | 低圧側冷却ポンプの最大注水量 (1,050 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | 低圧側冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~1,500 ²⁾ t/h | 0~1,500 ²⁾ t/h | 低圧側冷却ポンプの最大注水量 (1,050 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | 低圧側冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~1,500 ²⁾ t/h | 0~1,500 ²⁾ t/h | 低圧側冷却ポンプの最大注水量 (1,050 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |

表2.15.9 重要監視パラメータを計測する重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器 (重大事故等対処設備) (3/7)

| 分類 | 重要監視パラメータ (注1) 重要代替監視パラメータ | 数値 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視能力 (計測範囲の考え方) | 相違性 | 電風 |
|----------------|-------------------------------|----|-------------------------|-------------------------|--|-----|---------------------|
| ① 原子炉圧力影響への注水機 | D-1冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | D-2冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | D-3冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | D-4冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | D-5冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | D-6冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | D-7冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | D-8冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | D-9冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |
| | D-10冷却ポンプの出口流量 | 1 | 0~100 ²⁾ t/h | 0~100 ²⁾ t/h | 冷却ポンプの最大注水量 (100 ²⁾ t/h) を監視可能。 | S | 区分1直流電風 125代直流電風 |

灰色:女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)
 緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (4/10)

| 分類 | 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 単位 | 許容範囲 | 設計基準 | 監視範囲 | 許容範囲 | 単位 | 許容範囲 | 設計基準 | 監視範囲 | 監視範囲 | 監視範囲 | 監視範囲 |
|------|--------------------------|------|----------|------|----------|----------|------|----------|------|----------|----------|----------|----------|
| 炉内圧力 | 炉内圧力監視装置出力 | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa |
| | 炉内圧力監視装置出力 | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa |
| 炉内温度 | 炉内温度監視装置出力 | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ |
| | 炉内温度監視装置出力 | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ |
| 炉内流量 | 炉内流量監視装置出力 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 |
| | 炉内流量監視装置出力 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 |
| 炉内水位 | 炉内水位監視装置出力 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 |
| | 炉内水位監視装置出力 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 |
| 炉内圧力 | 炉内圧力監視装置出力 | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa |
| | 炉内圧力監視装置出力 | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa |
| 炉内温度 | 炉内温度監視装置出力 | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ |
| | 炉内温度監視装置出力 | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ |
| 炉内流量 | 炉内流量監視装置出力 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 |
| | 炉内流量監視装置出力 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 |
| 炉内水位 | 炉内水位監視装置出力 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 |
| | 炉内水位監視装置出力 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 |

表2.15.9 重要監視パラメータを計測する重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器 (重大事故等対処設備) (4/7)

| 分類 | 重要監視パラメータ (注1) 重要代替監視パラメータ | 単位 | 許容範囲 | 設計基準 | 監視範囲 | 監視範囲 | 監視範囲 | 監視範囲 | 監視範囲 | 監視範囲 | 監視範囲 | 監視範囲 | 監視範囲 |
|------|-------------------------------|------|----------|------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|
| 炉内圧力 | 炉内圧力監視装置出力 | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa |
| | 炉内圧力監視装置出力 | MPa | 0~250kPa | ~ | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa | 0~250kPa |
| 炉内温度 | 炉内温度監視装置出力 | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ |
| | 炉内温度監視装置出力 | ℃ | 0~200℃ | ~ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ | 0~200℃ |
| 炉内流量 | 炉内流量監視装置出力 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 |
| | 炉内流量監視装置出力 | m³/h | 0~1000 | ~ | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 | 0~1000 |
| 炉内水位 | 炉内水位監視装置出力 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 |
| | 炉内水位監視装置出力 | m | 0~10 | ~ | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 | 0~10 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対策設備) (5/10)

| 分類 | 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 単位 | 許容範囲 | 設計基準 | 監視能力 (許容範囲の中央値) | 可搬型 計測器 取数 | 信頼性 | 電源 |
|----|--------------------------|-----|----------------------|-----------------|--------------------|------------------|-----|---------------------------|
| 炉内 | 炉内炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| 炉外 | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |

表2.15.9 重要監視パラメータを計測する重要計器及び重要代替監視パラメータを計測する重要代替計器 (重大事故等対策設備) (5/7)

| 分類 | 重要監視パラメータ (注1) 重要代替監視パラメータ | 単位 | 許容範囲 | 設計基準 | 監視能力 (許容範囲の中央値) | 可搬型 計測器 取数 | 信頼性 | 電源 |
|----------|-------------------------------|----------------------|----------------------|-----------------|--------------------|------------------|---------------------------|---------------------------|
| 設備 | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| | 炉外炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** |
| 炉子炉管破損圧力 | MPa | 0.7~1.0 1.0(100%) | 0.7~1.0 (注6) | 0.7~1.0 (注6) | 1 | S | 図分1, 電源共通 120V特高直流電源** | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 |
|--|--------------------------|-------------|------|------|------------------------------|------------------|-----|------|
| 表3.15-10 重要監視パラメータ及び重要代替監視パラメータ (重大事故等対処設備) (8/10) | | | | | | | | |
| 分類 | 重要監視パラメータ 重要代替監視パラメータ | 個数 | 計測範囲 | 設計基準 | 監視能力 (計測範囲の考え方) | 可搬型 計測器 設置 | 相違性 | 電圧 |
| 原子炉内 の圧力容 器及び 配管の 破損等 による 放射能 の増大 の危険 性 | 原子炉水位 (広領域) *1 | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (燃料域) *2 | | | | | | | |
| | 原子炉水位 (SA広領域) *2 | | | | 「②原子炉圧力容器内の水位」を監視するパラメータと同じ。 | | | |
| | 原子炉水位 (SA燃料域) *3 | | | | | | | |
| | 原子炉圧力*5 | | | | 「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | | | |
| | 原子炉圧力 (SA) *5 | | | | | | | |
| | 原子炉圧力容器温度*1 | | | | 「①原子炉圧力容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。 | | | |
| | ドライウェル温度*2 | | | | 「③原子炉格納容器内の温度」を監視するパラメータと同じ。 | | | |
| | ドライウェル圧力*2 | | | | | | | |
| | 圧力制御圧力*1 | | | | 「②原子炉格納容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | | | |
| 原子炉内 の圧力容 器及び 配管の 破損等 による 放射能 の増大 の危険 性 | 低圧中心スプレッドポンプ出口圧力 | | | | | | | |
| | 低圧側排水ポンプ出口圧力 | | | | 「排水側の確保」を監視するパラメータと同じ。 | | | |
| | 低圧中心スプレッドポンプ出口圧力 | | | | | | | |
| | 原子炉圧力 (SA) *1 | | | | 「②原子炉圧力容器内の圧力」を監視するパラメータと同じ。 | | | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|-----------------------------|-----------------------------|-------------|
| <p>大阪発電所3/4号炉</p> | <p>女川原子力発電所2号炉</p> | <p>泊発電所3号炉</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>主要パラメータ</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>原子炉水位 (広帯域) 原子炉水位 (SA燃料域)</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>代替パラメータ^{*)}</p> | <p>相違理由</p> |

灰色:女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字:設備、運用又は体制の相違(設計方針の相違)
 青字:記載箇所又は記載内容の相違(記載方針の相違)
 緑字:記載表現、設備名称の相違(実質的な相違なし)

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|-------------|
| 表3.15-11 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (6/11) | | | |
| <p>分類</p> <p>原子炉格納容器内温度</p> <p>原子炉格納容器内圧力</p> <p>原子炉格納容器内温度</p> | <p>代替パラメータ*</p> <p>① 原子炉格納容器内温度</p> <p>② 原子炉格納容器内圧力</p> <p>③ 原子炉格納容器内温度</p> <p>④ 原子炉格納容器内圧力</p> <p>⑤ 原子炉格納容器内温度</p> <p>⑥ 原子炉格納容器内圧力</p> <p>⑦ 原子炉格納容器内温度</p> <p>⑧ 原子炉格納容器内圧力</p> | <p>代替パラメータ*</p> <p>① 原子炉格納容器内温度</p> <p>② 原子炉格納容器内圧力</p> <p>③ 原子炉格納容器内温度</p> <p>④ 原子炉格納容器内圧力</p> <p>⑤ 原子炉格納容器内温度</p> <p>⑥ 原子炉格納容器内圧力</p> <p>⑦ 原子炉格納容器内温度</p> <p>⑧ 原子炉格納容器内圧力</p> | |
| 表2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (6/18) | | | |
| <p>分類</p> <p>原子炉格納容器内温度</p> <p>原子炉格納容器内圧力</p> <p>原子炉格納容器内温度</p> | <p>代替パラメータ*</p> <p>① 原子炉格納容器内温度</p> <p>② 原子炉格納容器内圧力</p> <p>③ 原子炉格納容器内温度</p> <p>④ 原子炉格納容器内圧力</p> <p>⑤ 原子炉格納容器内温度</p> <p>⑥ 原子炉格納容器内圧力</p> <p>⑦ 原子炉格納容器内温度</p> <p>⑧ 原子炉格納容器内圧力</p> | <p>代替パラメータ*</p> <p>① 原子炉格納容器内温度</p> <p>② 原子炉格納容器内圧力</p> <p>③ 原子炉格納容器内温度</p> <p>④ 原子炉格納容器内圧力</p> <p>⑤ 原子炉格納容器内温度</p> <p>⑥ 原子炉格納容器内圧力</p> <p>⑦ 原子炉格納容器内温度</p> <p>⑧ 原子炉格納容器内圧力</p> | <p>相違理由</p> |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3/4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | | 泊発電所3号炉 | | 相違理由 |
|--------------------------------------|-------------------|---|---|---|---|------|
| 表3.15-11 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (7/11) | | | | | | |
| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ* | 代替パラメータ推定方法 | 主要パラメータ | 代替パラメータ推定方法 | |
| 運転時 | 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) | 1 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 2 燃料取替用水レベル (燃料) | 1 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの格納容器再循環ポンプ水位 (広域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | 1 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | 1 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | |
| | 燃料取替用水レベル (燃料) | 1 燃料取替用水レベル (燃料) 2 燃料取替用水レベル (燃料) | 1 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | 1 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | 1 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | |
| 停止時 | 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) | 1 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) 2 燃料取替用水レベル (燃料) | 1 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | 1 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | 1 格納容器再循環ポンプ水位 (広域) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | |
| | 燃料取替用水レベル (燃料) | 1 燃料取替用水レベル (燃料) 2 燃料取替用水レベル (燃料) | 1 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | 1 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | 1 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 2 燃料取替用水レベル (燃料) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば連続的な監視ができる格納容器再循環ポンプ水位 (狭域) により推定する。 | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

大飯発電所3/4号炉

女川原子力発電所2号炉

泊発電所3号炉

相違理由

表3.15-11 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (8/11)

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ | 代替パラメータの推定方法 |
|---------------|-----------------------|---------------|---|
| 原子炉格納容器内水素濃度 | ① 主要パラメータ (圧差検知) | ① アニューラクス水素濃度 | ① アニューラクス水素濃度は (圧差検知) の主要パラメータの監視により推定する。 |
| | ② 原子炉格納容器内水素処理装置温度 | ② アニューラクス圧力 | ② アニューラクス圧力は (圧差検知) の監視が不可避となった場合は、アニューラクス圧力又は圧力降下率の監視により原子炉格納容器内水素処理装置温度を推定する。 |
| | ③ 格納容器内水素イグナイト温度 | ③ アニューラクス温度 | ③ アニューラクス温度は (圧差検知) の監視が不可避となった場合は、原子炉格納容器内水素イグナイト温度の監視により推定する。 |
| | ④ 格納容器内水素イグナイトによる水素濃度 | ④ アニューラクス温度 | ④ アニューラクス温度は (圧差検知) の監視が不可避となった場合は、原子炉格納容器内水素イグナイトによる水素濃度を推定する。 |
| | ⑤ 格納容器内水素濃度 | ⑤ アニューラクス温度 | ⑤ アニューラクス温度は (圧差検知) の監視が不可避となった場合は、原子炉格納容器内水素濃度を推定する。 |
| | ⑥ 格納容器内水素濃度 | ⑥ アニューラクス温度 | ⑥ アニューラクス温度は (圧差検知) の監視が不可避となった場合は、原子炉格納容器内水素濃度を推定する。 |
| 原子炉格納容器内の水素濃度 | ① 主要パラメータ (可搬型) | ① アニューラクス水素濃度 | ① アニューラクス水素濃度は (可搬型) の監視が不可避となった場合は、可搬型アニューラクス水素濃度計測ユニットにより計測する。 |
| | ② 代替パラメータの予備 | ② アニューラクス水素濃度 | ② アニューラクス水素濃度は (可搬型) の監視が不可避となった場合は、代替パラメータの予備により計測する。 |

表2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (8/18)

| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ | 代替パラメータの推定方法 |
|---------------|---------------------|------------------------|--|
| 原子炉格納容器内の水素濃度 | ① 主要パラメータ | ① 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニット | ① 可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットが故障した場合は、予備の可搬型格納容器内水素濃度計測ユニットにより計測する。 |
| | ② 格納容器内水素イグナイト温度 | ② 格納容器内水素イグナイト温度 | ② 格納容器内水素イグナイト温度は、原子炉格納容器内水素処理装置温度監視装置及び格納容器水素イグナイト温度監視装置により原子炉格納容器内水素イグナイトの動作特性の監視により原子炉格納容器内の水素濃度が大規模な水素濃度が生じない範囲であることを確認する。 |
| アニューラクス水素濃度 | ① アニューラクス水素濃度 (可搬型) | ① アニューラクス水素濃度 (可搬型) | ① 可搬型アニューラクス水素濃度計測ユニットが故障した場合は、予備の可搬型アニューラクス水素濃度計測ユニットにより計測する。 |
| | ② 代替パラメータの予備 | ② アニューラクス水素濃度 | ② アニューラクス水素濃度は (可搬型) の監視が不可避となった場合は、可搬型アニューラクス水素濃度計測ユニットの準備作業中はアニューラクス水素濃度 (自主対策設備) により水素濃度を計測する。なお、自主対策設備であるアニューラクス水素濃度は、アニューラクス部の温度や放射線の環境条件により指示値に影響があるため、参考値として扱う。 |
| アニューラクス水素濃度 | ① アニューラクス水素濃度 (可搬型) | ① アニューラクス水素濃度 (自主対策設備) | ① アニューラクス水素濃度 (自主対策設備) の監視が不可避となった場合は、可搬型アニューラクス水素濃度計測ユニットにより計測する。 |
| | ② 代替パラメータの予備 | ② アニューラクス水素濃度 | ② アニューラクス水素濃度 (自主対策設備) の監視が不可避となった場合は、代替パラメータの予備により計測する。 |

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---------------------------------------|----------------|----------------|-------------|
| 表3.15-11 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (10/11) | | | |
| <p>設備</p> | <p>主要パラメータ</p> | <p>主要パラメータ</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>炉内設備</p> | <p>代替パラメータ</p> | <p>代替パラメータ</p> | <p>相違理由</p> |
| <p>炉内設備</p> | <p>代替パラメータ</p> | <p>代替パラメータ</p> | <p>相違理由</p> |

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--|----------|----------|-------------|---------|--|--|--|---------|--|--|--|---------|--|--|--|---------|--|--|--|--|
| <p style="text-align: center;">表2.15.10 代替プログラマーによる主要プログラマーの相違 (12/18)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分類</th> <th style="width: 25%;">主要プログラマー</th> <th style="width: 25%;">代替プログラマー</th> <th style="width: 35%;">代替プログラマーの種類</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>監視システム用</td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 4. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 4. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 4. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> </tr> <tr> <td>監視システム用</td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> </tr> <tr> <td>監視システム用</td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> </tr> <tr> <td>監視システム用</td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> <td> 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) </td> </tr> </tbody> </table> | | | 分類 | 主要プログラマー | 代替プログラマー | 代替プログラマーの種類 | 監視システム用 | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 4. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 4. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 4. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 監視システム用 | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 監視システム用 | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 監視システム用 | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | |
| 分類 | 主要プログラマー | 代替プログラマー | 代替プログラマーの種類 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視システム用 | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 4. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 4. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 4. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視システム用 | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視システム用 | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視システム用 | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | 1. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 2. 監視システム用プログラマー (監視システム用) 3. 監視システム用プログラマー (監視システム用) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|---|---|------|
| 表 2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (13/18) | | | |
| 代替パラメータ | | | |
| ① 蒸気発生器水位 (緑) の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの蒸気発生器水位 (緑) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ② 蒸気発生器水位 (緑) の監視が不可能となった場合、蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③ 蒸気発生器水位 (緑) の監視が不可能となった場合、主蒸気ライン圧力及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 | ① 蒸気発生器水位 (緑) の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの蒸気発生器水位 (緑) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ② 蒸気発生器水位 (緑) の監視が不可能となった場合、蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③ 蒸気発生器水位 (緑) の監視が不可能となった場合、主蒸気ライン圧力及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 | ① 蒸気発生器水位 (緑) の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの蒸気発生器水位 (緑) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ② 蒸気発生器水位 (緑) の監視が不可能となった場合、蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③ 蒸気発生器水位 (緑) の監視が不可能となった場合、主蒸気ライン圧力及び補助給水流量を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 | |
| ① 主蒸気ライン圧力の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (緑) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 | ① 主蒸気ライン圧力の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (緑) の上昇及び補助給水流量の減少を傾向監視することにより蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 | ① 1次冷卻材圧力 (緑) の1ループが故障した場合、他ループの1次冷卻材圧力 (緑) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ② 1次冷卻材圧力 (緑) の監視が不可能となった場合は、測定範囲内であれば、1次冷卻材圧力を直接測定している加圧器圧力 (自玉貯蔵設備) により蒸気発生器伝熱管破損を推定する。 ③ 1次冷卻材圧力 (緑) の監視が不可能となった場合は、蒸気発生器水位 (緑) 及び主蒸気ライン圧力の傾向監視により蒸気発生器伝熱管破損がないこと及び格納容器内蒸気圧 (緑) の上昇がないことでインターフェースシステムLOAを推定する。 ④ 1次冷卻材圧力 (緑) の監視が不可能となった場合は、原子炉圧力容器内が飽和状態であれば、飽和温度/圧力の関係を利用して1次冷卻材温度 (緑-高温側) 又は1次冷卻材温度 (緑-低温側) により、1次冷卻材圧力 (緑) を推定する。 | |
| ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | |
| ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | |
| ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | |
| ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | |
| ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | |
| ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | |
| ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | |
| ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | |
| ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | ① 1次冷卻材圧力 (緑) ② 加圧器圧力 (緑) ③ 蒸気発生器水位 (緑) ④ 主蒸気ライン圧力 ⑤ 格納容器内蒸気圧 (緑) ⑥ 1次冷卻材温度 (緑-高温側) ⑦ 1次冷卻材温度 (緑-低温側) | |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---|---|---|
| 表2.1b.10 代替バフメータによる主要バフメータの推定 (1b/18) | | | |
| 代替バフメータ使用法 | | | |
| ① 加圧器逃がしタンク圧力 (広域) ② 加圧器本底 ③ (除熱器サブ冷却) *1 | ① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) *1 | ① 1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底を優先する。 ② 加圧器本底 ③ (除熱器サブ冷却) *1 | ① 加圧器逃がしタンク圧力 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底の値下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器本底がしタンク圧力 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認によりインターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ③ 推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底を優先する。 |
| ① 加圧器逃がしタンク流量 ② 加圧器本底 ③ (除熱器サブ冷却) *1 | ① 1次冷却材圧力 (広域) ② (除熱器サブ冷却) *1 | ① 加圧器逃がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底の値下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器本底がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ③ 推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底を優先する。 | ① 加圧器逃がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底の値下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器本底がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ③ 推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底を優先する。 |
| ① 加圧器逃がしタンク圧力 (広域) ② (余熱除去冷却器入口流量) ③ 加圧器本底 ④ (余熱除去ポンプ出口圧力) *1 | ① 1次冷却材圧力 (広域) ② (余熱除去冷却器入口流量) ③ 加圧器本底 ④ (余熱除去ポンプ出口圧力) *1 | ① 加圧器逃がしタンク圧力 (広域) 及び加圧器本底を優先する。 ② 加圧器本底 ③ (余熱除去冷却器入口流量) ④ (余熱除去ポンプ出口圧力) *1 | ① 加圧器逃がしタンク圧力 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底の値下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器本底がしタンク圧力 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ③ 推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底を優先する。 |
| ① 加圧器逃がしタンク流量 ② 加圧器本底 ③ (余熱除去冷却器入口流量) ④ (加圧器本底) ⑤ (余熱除去ポンプ出口圧力) *1 | ① 1次冷却材圧力 (広域) ② (余熱除去冷却器入口流量) ③ 加圧器本底 ④ (加圧器本底) ⑤ (余熱除去ポンプ出口圧力) *1 | ① 加圧器逃がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底の値下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器本底がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ③ 推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底を優先する。 | ① 加圧器逃がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底の値下により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ② 加圧器本底がしタンク流量 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、除熱器サブ冷却 (自主対策設備) の上昇がないこととの確認により、インターフェースシステムLOCAの傾向監視ができる。 ③ 推定は、1次冷却材圧力 (広域) 及び加圧器本底を優先する。 |

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------------|-------------|--|---|---------|-----------|-------------|------------|-------------|---|---|-------|---------|--|---|--|----------|---|--|--|
| | | <p style="text-align: center;">表 2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (16/18)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分類</th> <th style="width: 25%;">主要パラメータ</th> <th style="width: 25%;">代替パラメータ*1</th> <th style="width: 35%;">代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>燃料取扱替用水レベル</td> <td>①燃料取扱替用水レベル</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器再循環サンプ水位 (広域) ③B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ④燃料取扱替用水レベル流量*2 ⑤高圧注入流量 ⑥低圧注入流量 ⑦充てん流量*2 ⑧代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>①燃料取扱替用水レベルの1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの燃料取扱替用水レベル水位により推定する。 ②燃料取扱替用水レベルの監視が不可能となった場合は、注水先である格納容器再循環サンプ水位 (広域) により推定する。なお、燃料取扱替用水レベル以外の注水がないことを前提とする。 ③燃料取扱替用水レベルの監視が不可能となった場合は、B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 等の燃料取扱替用水レベルを水源とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td>水源の種類</td> <td>補助給水レベル</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②補助給水流量 ③代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量</td> <td>①補助給水レベルの1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの補助給水レベル水位により推定する。 ②補助給水レベルの監視が不可能となった場合は、補助給水流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量である補助給水レベルを水源とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。この推定方法では、淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td>ほう酸タンク水位</td> <td>①主要パラメータの他チャンネル ②緊急ほう酸注入ライン流量*2 ③出力領域中性子束 ④中間領域中性子束 ⑤中性子閉領域中性子束</td> <td>①ほう酸タンク水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルのほう酸タンク水位により推定する。 ②緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) によりほう酸タンク水位を推定し、水源の有無や使用量を推定する。 ③ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、炉心~のほう酸水注入に伴う負の反応度が追加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子閉領域中性子束、中性子閉領域中性子束の指示低下により判断の有無を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。</td> </tr> </tbody> </table> | 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ*1 | 代替パラメータ推定方法 | 燃料取扱替用水レベル | ①燃料取扱替用水レベル | ①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器再循環サンプ水位 (広域) ③B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ④燃料取扱替用水レベル流量*2 ⑤高圧注入流量 ⑥低圧注入流量 ⑦充てん流量*2 ⑧代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 | ①燃料取扱替用水レベルの1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの燃料取扱替用水レベル水位により推定する。 ②燃料取扱替用水レベルの監視が不可能となった場合は、注水先である格納容器再循環サンプ水位 (広域) により推定する。なお、燃料取扱替用水レベル以外の注水がないことを前提とする。 ③燃料取扱替用水レベルの監視が不可能となった場合は、B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 等の燃料取扱替用水レベルを水源とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 | 水源の種類 | 補助給水レベル | ①主要パラメータの他チャンネル ②補助給水流量 ③代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 | ①補助給水レベルの1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの補助給水レベル水位により推定する。 ②補助給水レベルの監視が不可能となった場合は、補助給水流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量である補助給水レベルを水源とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。この推定方法では、淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 | | ほう酸タンク水位 | ①主要パラメータの他チャンネル ②緊急ほう酸注入ライン流量*2 ③出力領域中性子束 ④中間領域中性子束 ⑤中性子閉領域中性子束 | ①ほう酸タンク水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルのほう酸タンク水位により推定する。 ②緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) によりほう酸タンク水位を推定し、水源の有無や使用量を推定する。 ③ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、炉心~のほう酸水注入に伴う負の反応度が追加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子閉領域中性子束、中性子閉領域中性子束の指示低下により判断の有無を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 | |
| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ*1 | 代替パラメータ推定方法 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 燃料取扱替用水レベル | ①燃料取扱替用水レベル | ①主要パラメータの他チャンネル ②格納容器再循環サンプ水位 (広域) ③B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) ④燃料取扱替用水レベル流量*2 ⑤高圧注入流量 ⑥低圧注入流量 ⑦充てん流量*2 ⑧代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 | ①燃料取扱替用水レベルの1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの燃料取扱替用水レベル水位により推定する。 ②燃料取扱替用水レベルの監視が不可能となった場合は、注水先である格納容器再循環サンプ水位 (広域) により推定する。なお、燃料取扱替用水レベル以外の注水がないことを前提とする。 ③燃料取扱替用水レベルの監視が不可能となった場合は、B-1格納容器スプレイ冷却器出口積算流量 (AM用) 等の燃料取扱替用水レベルを水源とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 水源の種類 | 補助給水レベル | ①主要パラメータの他チャンネル ②補助給水流量 ③代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量 | ①補助給水レベルの1チャンネルが故障した場合、他チャンネルの補助給水レベル水位により推定する。 ②補助給水レベルの監視が不可能となった場合は、補助給水流量及び代替格納容器スプレイポンプ出口積算流量である補助給水レベルを水源とするポンプの注水量の合計により、水源の有無や使用量を推定する。この推定方法では、淡水や海水を補給している場合は、補給に使用したポンプの性能並びに運転時間により算出した注水量を考慮する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | ほう酸タンク水位 | ①主要パラメータの他チャンネル ②緊急ほう酸注入ライン流量*2 ③出力領域中性子束 ④中間領域中性子束 ⑤中性子閉領域中性子束 | ①ほう酸タンク水位の1チャンネルが故障した場合、他チャンネルのほう酸タンク水位により推定する。 ②緊急ほう酸注入ライン流量 (自主対策設備) によりほう酸タンク水位を推定し、水源の有無や使用量を推定する。 ③ほう酸タンク水位の監視が不可能となった場合は、炉心~のほう酸水注入に伴う負の反応度が追加されていることを出力領域中性子束、中間領域中性子束、中性子閉領域中性子束、中性子閉領域中性子束の指示低下により判断の有無を推定する。 推定は、主要パラメータの他チャンネルを優先する。 | | | | | | | | | | | | | | | | |

灰色: 女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字: 設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字: 記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字: 記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|--------------------|--|--|---------|-----------|-------------|--------------|-----------------|--|--|-----------------|--------------------|--------------------------------|--------------------|--------------------|---|------------|--------------------|---|----|------------|--|---|---------------|--|--|--|--|--|--|
| <p>表 2.15.10 代替パラメータによる主要パラメータの推定 (18/18)</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">分類</th> <th style="width: 25%;">主要パラメータ</th> <th style="width: 25%;">代替パラメータ**</th> <th style="width: 35%;">代替パラメータ推定方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="4">使用済燃料ピレットの監視</td> <td>〔使用済燃料ピレット水位〕*2</td> <td>①使用済燃料ピレット水位 (AM用) ②使用済燃料ピレット水位 (可搬型)</td> <td>①使用済燃料ピレット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピレット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピレット温度〕*2</td> <td>①使用済燃料ピレット温度 (AM用)</td> <td>①使用済燃料ピレット温度 (AM用) により温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔使用済燃料ピレットエアモニタ〕*2</td> <td>①使用済燃料ピレット可搬型エアモニタ</td> <td>①使用済燃料ピレット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピレットの放射線量を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水温計〕*2</td> <td>①使用済燃料ピレット温度 (AM用)</td> <td>①携帯型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピレット温度 (AM用) により温度を推定する。</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">監視</td> <td>〔携帯型水位計〕*2</td> <td>①使用済燃料ピレット水位 (AM用) ②使用済燃料ピレット水位 (可搬型)</td> <td>①携帯型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピレット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピレット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td>〔携帯型水位・水温計〕*2</td> <td>①使用済燃料ピレット水位 (AM用) ②使用済燃料ピレット水位 (可搬型)</td> <td>①携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピレット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピレット水位 (可搬型) により水位を推定する。</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> | | | 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ** | 代替パラメータ推定方法 | 使用済燃料ピレットの監視 | 〔使用済燃料ピレット水位〕*2 | ①使用済燃料ピレット水位 (AM用) ②使用済燃料ピレット水位 (可搬型) | ①使用済燃料ピレット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピレット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | 〔使用済燃料ピレット温度〕*2 | ①使用済燃料ピレット温度 (AM用) | ①使用済燃料ピレット温度 (AM用) により温度を推定する。 | 〔使用済燃料ピレットエアモニタ〕*2 | ①使用済燃料ピレット可搬型エアモニタ | ①使用済燃料ピレット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピレットの放射線量を推定する。 | 〔携帯型水温計〕*2 | ①使用済燃料ピレット温度 (AM用) | ①携帯型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピレット温度 (AM用) により温度を推定する。 | 監視 | 〔携帯型水位計〕*2 | ①使用済燃料ピレット水位 (AM用) ②使用済燃料ピレット水位 (可搬型) | ①携帯型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピレット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピレット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | 〔携帯型水位・水温計〕*2 | ①使用済燃料ピレット水位 (AM用) ②使用済燃料ピレット水位 (可搬型) | ①携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピレット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピレット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | | | | |
| 分類 | 主要パラメータ | 代替パラメータ** | 代替パラメータ推定方法 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 使用済燃料ピレットの監視 | 〔使用済燃料ピレット水位〕*2 | ①使用済燃料ピレット水位 (AM用) ②使用済燃料ピレット水位 (可搬型) | ①使用済燃料ピレット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピレット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〔使用済燃料ピレット温度〕*2 | ①使用済燃料ピレット温度 (AM用) | ①使用済燃料ピレット温度 (AM用) により温度を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〔使用済燃料ピレットエアモニタ〕*2 | ①使用済燃料ピレット可搬型エアモニタ | ①使用済燃料ピレット可搬型エアモニタにより使用済燃料ピレットの放射線量を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〔携帯型水温計〕*2 | ①使用済燃料ピレット温度 (AM用) | ①携帯型水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピレット温度 (AM用) により温度を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 監視 | 〔携帯型水位計〕*2 | ①使用済燃料ピレット水位 (AM用) ②使用済燃料ピレット水位 (可搬型) | ①携帯型水位計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピレット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピレット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | 〔携帯型水位・水温計〕*2 | ①使用済燃料ピレット水位 (AM用) ②使用済燃料ピレット水位 (可搬型) | ①携帯型水位・水温計 (自主対策設備) の監視が不可能となった場合は、使用済燃料ピレット水位 (AM用) 及び使用済燃料ピレット水位 (可搬型) により水位を推定する。 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>※1: 代替パラメータの番号は優先順位を示す。 ※2: []は有効監視パラメータ又は重要監視パラメータの常用計器 (耐震性又は耐震性等はないが、監視可能であれば発電用原子炉施設の状態を把握することが可能な計器) を示す。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

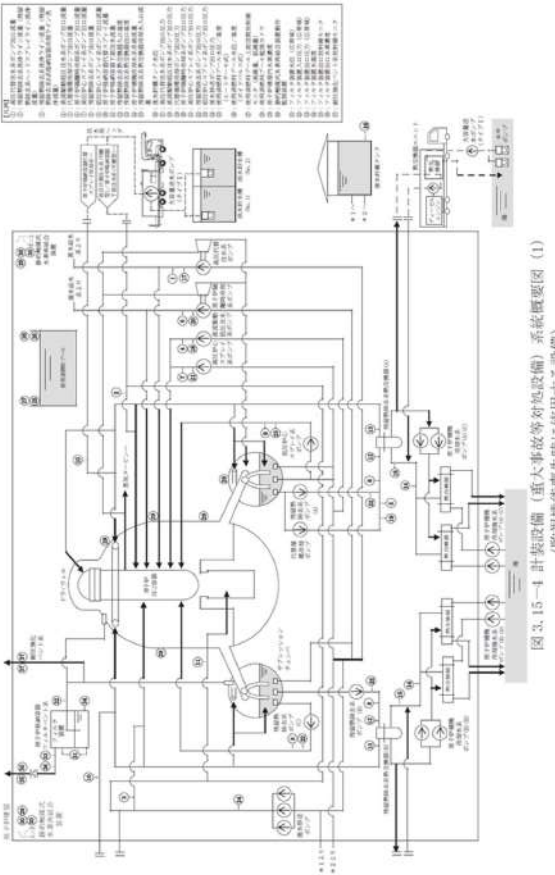
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|---------------------------------------|---------------------------------------|--|
| <p>【島根2号炉58条まとめ資料添付より転載】</p> <p>第3.15-2図 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー</p> | <p>第3.15-3図 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー</p> | <p>第3.15-2図 重大事故等時に必要なパラメータの選定フロー</p> | <p>■設備の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・泊は重大事故等対処設備の操作はハードウェア又はソフトウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯以外に画面表示があるため、*1及び*3を「ランプ表示灯等」としている(相崎、東二、島根も同様)。女川はハードウェアのスイッチにより行うため、ランプ表示灯のみ。 |

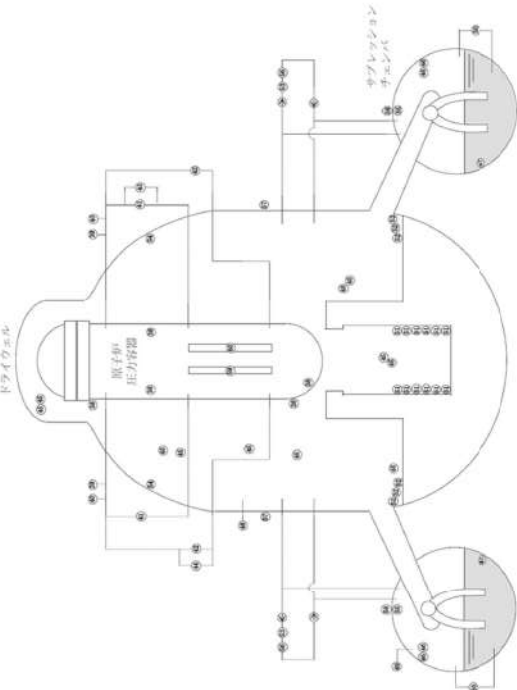
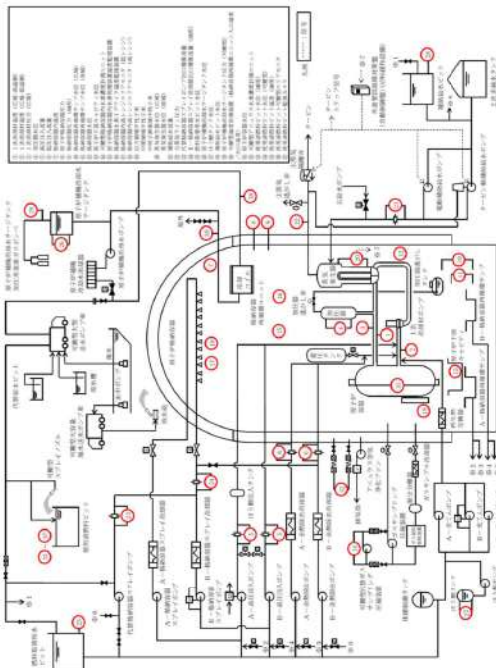
灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--------------|---|---------|--|
| |  <p>図3.15-4 計装設備 (重大事故等対応設備) 系統概要図 (1) (監視機能喪失時に使用する設備)</p> | | <p>■炉型の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWR と BWR で想定される重大事故等及び対処するための監視パラメータが異なるため、比較対象外とする。 |

灰色：女川2号炉の記載のうち、BWR固有の設備や対応手段であり、泊3号炉と比較対象とならない記載内容

赤字：設備、運用又は体制の相違 (設計方針の相違)
 青字：記載箇所又は記載内容の相違 (記載方針の相違)
 緑字：記載表現、設備名称の相違 (実質的な相違なし)

| 大阪発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------|---|--|--|
| |  <p>図3.15-5 計装設備 (重大事故等対処設備) 系統概要図 (2) (監視機能喪失時に使用する設備)</p> <p>【LEG】 監視機能喪失時の監視電 赤：原子力炉出力 (出力) 青：原子力炉出力 (出力) 緑：原子力炉出力 (出力) 黒：原子力炉出力 (出力) 白：原子力炉出力 (出力) 黄：原子力炉出力 (出力) 紫：原子力炉出力 (出力) 灰：原子力炉出力 (出力) ①：原子力炉出力 (出力) ②：原子力炉出力 (出力) ③：原子力炉出力 (出力) ④：原子力炉出力 (出力) ⑤：原子力炉出力 (出力) ⑥：原子力炉出力 (出力) ⑦：原子力炉出力 (出力) ⑧：原子力炉出力 (出力) ⑨：原子力炉出力 (出力) ⑩：原子力炉出力 (出力) ⑪：原子力炉出力 (出力) ⑫：原子力炉出力 (出力) ⑬：原子力炉出力 (出力) ⑭：原子力炉出力 (出力) ⑮：原子力炉出力 (出力) ⑯：原子力炉出力 (出力) ⑰：原子力炉出力 (出力) ⑱：原子力炉出力 (出力) ⑲：原子力炉出力 (出力) ⑳：原子力炉出力 (出力) ㉑：原子力炉出力 (出力) ㉒：原子力炉出力 (出力) ㉓：原子力炉出力 (出力) ㉔：原子力炉出力 (出力) ㉕：原子力炉出力 (出力) ㉖：原子力炉出力 (出力) ㉗：原子力炉出力 (出力) ㉘：原子力炉出力 (出力) ㉙：原子力炉出力 (出力) ㉚：原子力炉出力 (出力) ㉛：原子力炉出力 (出力) ㉜：原子力炉出力 (出力) ㉝：原子力炉出力 (出力) ㉞：原子力炉出力 (出力) ㉟：原子力炉出力 (出力) ㊱：原子力炉出力 (出力) ㊲：原子力炉出力 (出力) ㊳：原子力炉出力 (出力) ㊴：原子力炉出力 (出力) ㊵：原子力炉出力 (出力) ㊶：原子力炉出力 (出力) ㊷：原子力炉出力 (出力) ㊸：原子力炉出力 (出力) ㊹：原子力炉出力 (出力) ㊺：原子力炉出力 (出力) ㊻：原子力炉出力 (出力) ㊼：原子力炉出力 (出力) ㊽：原子力炉出力 (出力) ㊾：原子力炉出力 (出力) ㊿：原子力炉出力 (出力)</p> |  <p>図2.15.3 計装設備 (重大事故等対処設備) 系統概要図(1) (監視機能喪失時に使用する設備)</p> | <p>■記載方針の相違</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PWRとBWRでは想定される重畳事故等及び対処するために監視するパラメータが異なり、女川はパラメータ数が多いことから格納容器内を示した図を記載しているのに対し、泊では前段の一つの図で示している。 |

| | |
|-------------|---------------|
| 泊発電所3号炉審査資料 | |
| 資料番号 | SA59-9 r.10.0 |
| 提出年月日 | 令和5年6月30日 |

泊発電所3号炉

設置許可基準規則等への適合状況について (重大事故等対処設備) 比較表

2.16 原子炉制御室【59条】

令和5年6月

北海道電力株式会社

枠囲みの内容は機密情報に属しますので公開できません。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|-------------|---------|------|
| <p>比較結果等を取りまとめた資料</p> <p>1. 先行審査実績等を踏まえた泊3号炉まとめ資料の変更状況(2017年3月以降)</p> <p>1-1) 設計方針・運用・体制等を変更し、まとめ資料を修正した箇所と理由</p> <p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：下記1件。 ・全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合のアニュラス空気浄化設備の系統構成において、B-アニュラス排気ダンパの開操作は当該ダンパ本体に設置されている手動操作ハンドルをユニハンドラ装置により遠隔手動操作する方針としていたが、大飯3/4号炉の審査実績を踏まえ、泊3号炉のB-アニュラス全量排気弁と同様に窒素ガスポンベにより開操作する方針に変更した。【比較表 p59-9 等】</p> <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：なし</p> <p>c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの：なし</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの：なし</p> <p>1-2) 設計方針・運用・体制を変更するものではないが、まとめ資料の記載の充実を行った箇所と理由</p> <p>a. 大飯3/4号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：下記1件 ・運転員の最長勤務時間を踏まえた全面マスクの吸収缶の除染係数を有していることを「59-7 添付 2-17 マスクによる防護係数について」に反映している。</p> <p>b. 女川2号炉まとめ資料と比較した結果、変更したもの：下記3件 ・「59-7 添付 2-20 放射性雲中の放射性物質からのガンマ線による被ばくの評価方法について」を追加 ・「59-7 添付 2-22 室内に外気から取り込まれた放射性物質による被ばくの評価方法について」を追加 ・「59-7 添付 2-23 大気中に放出された放射性物質の入退域時の吸入摂取による被ばくの評価方法について」を追加</p> <p>c. 他社審査会合の指摘事項等を確認した結果、変更したもの：下記1件 ・「59-7 添付 2-25 中央制御室の居住性に係る被ばく評価における運転員の勤務体系を踏まえた評価」を追加</p> <p>d. 当社が自主的に変更したもの：下記3件 ・被ばく評価に用いる気象資料が最近の気象条件を代表しているか再検討を行った。 過去から被ばく評価に用いている1997年の気象資料が代表性を保っていることを確認しており、結果を「59-7 添付 2-13 被ばく評価に用いた気象資料の代表性について」に反映している。 ・設備の更新に合わせて、柏崎刈羽6,7号炉の知見を反映し、酸素濃度計、二酸化炭素濃度計を酸素濃度・二酸化炭素濃度計に統合した。 ・とりまとめた資料-5の2-2) 設計・運用の相違に記載のとおり、電源設備の設計方針に関する記載箇所に対し、給電できる電源設備を網羅的に記載【比較表 p59-7~10 等】</p> <p>1-3) バックフィット関連事項</p> <p>・柏崎刈羽原子力発電所6号炉及び7号炉の新規制基準適合性審査を通じて得られた技術的知見の反映（原子炉制御室の居住性を確保するための対策） 改正後の59条に適合するため、放射性物質の濃度を低減するためにアニュラス空気浄化設備を用いていることを反映。</p> | | | |

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------------------------------|--------------------------|--------------------|---|
| 2. 女川2号炉まとめ資料との比較結果の概要 | | | |
| 2-1) 名称等の相違 | | | |
| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
| 中央制御室遮蔽 | 中央制御室遮蔽 | 中央制御室遮へい | 【女川、大飯】設備名称の相違 ・泊では既許可・既工認において、当時常用漢字ではなかった「蔽」は用いず、ひらがなの「へい」を用いて設備名称を定めた。これらとの整合のため、設備名称については、ひらがなの「へい」を用いる（参考として、伊方3号炉もひらがなの「へい」を用いている）。 ・一方で設備名称以外においては、現在は常用漢字であること及び関係法令との整合を踏まえ、「蔽」を用いる。 |
| 1次冷却系統 | 原子炉冷却系統 | 1次冷却系統 | 【女川】既許可で表現の相違 |
| 空冷式非常用発電装置 | 常設代替交流電源設備 | 常設代替交流電源設備 | 【大飯】設備名称の相違（女川審査実績の反映） ・大飯は設備名称を記載しているが、泊及び女川は総称で記載している。 |
| ディーゼル発電機 | 非常用交流電源設備 | 非常用交流電源設備 | 【大飯】設備名称の相違（女川審査実績の反映） ・大飯は設備名称を記載しているが、泊及び女川は総称で記載している。 |
| 中央制御室空調装置 | 中央制御室換気空調系 | 中央制御室空調装置 | 【女川】設備名称の相違 |
| 中央制御室非常用循環フィルタユニット | 中央制御室再循環フィルタ装置 | 中央制御室非常用循環フィルタユニット | 【女川】設備名称の相違 |
| 中央制御室非常用循環ファン | 中央制御室再循環送風機 | 中央制御室非常用循環ファン | 【女川】設備名称の相違 |
| 中央制御室空調ファン | 中央制御室送風機 | 中央制御室給気ファン | 【女川、大飯】設備名称の相違 |
| 閉回路循環方式 | 事故時運転モード | 閉回路循環運転 | 【女川、大飯】名称の相違 |
| 外気取入れによる換気 外気取入れ運転モード | 事故時運転モード（少量外気取入） | 外気取入れ運転 | 【女川、大飯】名称の相違 |
| 微粒子フィルタ よう素フィルタ | 高性能エアフィルタ チャコールエアフィルタ | 微粒子フィルタ よう素フィルタ | 【女川】設備名称の差異 |
| 酸素濃度計 二酸化炭素濃度計 | 酸素濃度計 二酸化炭素濃度計 | 酸素濃度・二酸化炭素濃度計 | 【女川、大飯】設備名称の相違 ・女川及び大飯は、酸素濃度及び二酸化炭素濃度をそれぞれの計器で測定する。 ・泊は酸素濃度及び二酸化炭素濃度を1つの計器で測定する（柏崎刈羽6、7号炉と同様の方針）。 ・設備が持つ機能に相違はないため、「設備名称の相違」に分類する。 |
| ・本表で整理している相違については、比較表上での相違理由を省略する。 | | | |

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|----------------------|--|-------------|--|
| 2-2) 設備・運用の相違 | | | |
| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
| — | 中央制御室待避所 中央制御室待避所遮蔽 中央制御室待避所加圧設備（空気ポンプ） 差圧計 無線連絡設備（固定型） 衛星電話設備（固定型） データ表示装置（待避所） | — | 【女川】設計方針の相違 ・女川ではフィルタベント操作によるブルーム発生に備え設置している。泊では当該操作はなく、中央制御室待避所及び、その内部で活動を行うための設備はない（大飯3、4号炉と同様）。 (以降「①の相違」と記載する。) |
| アニュラス空気浄化設備 | 非常用ガス処理系 原子炉建屋ブローアウトパネル閉止装置 | アニュラス空気浄化設備 | 【女川】型式の相違 ・PWRとBWRの型式の違いによる設備の相違 ・本設備は柏崎刈羽6、7号炉のバックフィット要求として、59条にて追加で要求された設備である。 ・アニュラス空気浄化設備は水素排出の目的で従来より53条のSA設備として記載があり、今回59条でも記載を行う。 ・ブローアウトパネル閉止装置は非常用ガス処理系を有効に機能させるためにBWRのみに対して要求されており、泊では設置していない（大飯3、4号炉と同様）。 (以降「②の相違」と記載する。) |
| 可搬型照明（SA） | 乾電池内蔵型照明 | 可搬型照明（SA） | 【女川】設計方針の相違 ・チェンジングエリアの照明について、女川は資機材である乾電池内蔵型照明を使用する。泊3号はSA設備である可搬型照明（SA）を使用する（大飯3、4号炉と同様）。 (以降「③の相違」と記載する。) |
| 中央制御室循環ファン | 中央制御室排風機 | 中央制御室循環ファン | 【女川】型式の相違 ・女川は中央制御室内の空気を排気のみ行う設備がある。泊は中央制御室内の空気を循環しながら一部を排気する系統（大飯3、4号炉と同様）。ただし、いずれも空調設計を考慮したモデルで被ばく評価を行っており、設計の差異は適合性に影響をあたえるものではない。 (以降「④の相違」と記載する。) |
| 中央制御室空調ユニット | (中央制御室空調和装置) | 中央制御室給気ユニット | 【女川】設計方針の相違 ・泊では、重大事故等時に流路を形成する設備のうち原則として既設置許可で登録されている設備については重大事故等対処設備として設置許可申請書に記載することとしており、「中央制御室給気ユニット」をSA設備に位置付けているが、女川では本文中に記載はなく（同様の設備は設備図上に記載あり）、許認可上の整理は異なるものの、設備としての差異はない。 ・女川では本文中に記載がないことから括弧で示した。 ・大飯も中央制御室空調ユニットをSA設備に位置付けている。 (以降「⑤の相違」と記載する。) |

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | |
|---|---|-----------------------|-----------------------|--------------------------|---|
| 2-2) 設備・運用の相違 | | | | | |
| ・アンユラス空気浄化設備に関する相違について（PWR固有設備のためPWRプラントで比較する。） | | | | | |
| 項目 | 大飯3/4号炉 | 高浜3/4号炉 | 伊方3号炉 | 泊3号炉 | 泊3号炉の考え方 |
| 代替空気を供給する設備 | 窒素ポンベ（代替制御用空気供給用）及び可搬式空気圧縮機（代替制御用空気供給用） | 窒素ポンベ（アンユラス浄化排気弁等作動用） | 窒素ポンベ（アンユラス排気系空気作動弁用） | アンユラス全量排気弁等作作用可搬式窒素ガスポンベ | 設計方針の相違 ・大飯3、4号炉では、アンユラス空気浄化設備の排気弁を開操作するために、ポンベの他に可搬型空気圧縮機を保管している。泊3号炉ではポンベで十分対応可能であると判断しており、可搬型空気圧縮機は保管していない（伊方3号炉及び高浜3、4号炉と同様）。 （以降「⑥の相違」と記載する。） |
| 全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合に開放可能な排気弁の系統 | 電源の状態によらずA、B系の弁を開操作可能 | A系の弁を開操作可能 | 電源の状態によらずA、B系の弁を開操作可能 | B系の弁を開操作可能 | 設計方針の相違 ・アンユラス空気浄化設備の運用において、大飯3、4号炉、伊方3号炉は電源の状態によらずA、B系のアンユラス空気浄化設備の弁を開操作可能な設計としている。 ・泊3号炉はSA時においても、電源が健全であればA、B両系ともに開操作可能であるが、全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはB系の弁を開操作可能な設計とする。（高浜3、4号炉も片系（A系）を開操作可能な設計。） ・泊3号炉では全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合操作するB系アンユラス空気浄化設備の弁及びダンパには、直流電源の供給と代替空気の供給が必要な設備と、直流電源を供給せず代替空気の供給のみで開操作できる設備を設置する設計方針のため、代替空気のみで開操作する場合についても記載している。いずれの設計でも全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合においても操作が可能であり、適合性に影響を与えるものではない。 ・上記に関連し、アンユラス空気浄化ファン及びアンユラス空気浄化フィルタユニットは電源が健全であればA系も使用するため、A、B両系ともSA設備として位置付ける。 （以降「⑦の相違」と記載する。） |
| リ、(4)(ii)b.で記載している設備の目的 | 放射性物質の濃度低減及び水素の排出 | 放射性物質の濃度低減及び水素の排出 | 放射性物質の濃度低減 | 放射性物質の濃度低減及び水素の排出 | 記載方針の相違 ・先行PWRバックフィット時のモデルプラントである大飯3、4号炉と同様の整理とした。 |
| 電源の状態による書き分け | 書き分けない | 書き分けない | 書き分ける | 書き分ける | 記載方針の相違 ・⑦の相違を踏まえ事実関係（全交流動力電源又は直流電源が喪失した場合にはB系を用いること）を正確に記載するため、また、許認可対象、手順上の使用号機、操作対象を明確にするため、伊方3号炉実績の反映として書き分ける。 ・なお、伊方3号炉では設置許可本文の「リ。」で書き分けを行っている一方、「へ。」では書き分けを行っていないが、当社は記載の統一のため、「へ。」においても書き分けを行う。 （以降「⑧の相違」と記載する。） |

各社の具体的な設置許可申請書における記載を「リ。」の比較箇所を示した。

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備

| 大飯発電所3/4号炉 | | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|------------|------------------------------|---|--|
| 2-2) 設備・運用の相違 | | | | |
| ・設備に給電可能な代替電源設備の相違について | | | | |
| 給電対象（泊における名称） | 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
| 中央制御室給気ファン 中央制御室循環ファン 中央制御室非常用循環ファン 可搬型照明（SA） | 空冷式非常用発電装置 | 常設代替交流電源設備 | 常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備 | 【女川、大飯】設計方針の相違 ・泊3号炉では給電可能な設備を充実して記載しているが、いずれのプラントも代替交流電源設備より給電可能な設計には相違ない。 (以降、⑨の相違と記載する。) |
| アニュラス空気浄化ファン | 空冷式非常用発電装置 | 常設代替交流電源設備 (非常用ガス処理系に対して) | 常設代替交流電源設備又は可搬型代替交流電源設備 加えてB系は代替所内電気設備 | |
| B系アニュラス空気浄化設備の弁及びダンパ | 空冷式非常用発電装置 | — | 所内常設蓄電式直流電源設備* | 【大飯】設計方針の相違 ・⑨の相違のとおり、泊3号炉ではアニュラス空気浄化ファンに常設代替交流電源設備、可搬型代替交流電源設備又は代替所内電気設備から給電が可能であるが、いずれの給電を行っている場合でも、B系アニュラス空気浄化設備の弁及びダンパへの給電は所内常設蓄電式直流電源設備により行う。所内常設蓄電式直流電源設備は、常設代替交流電源設備及び可搬型代替交流電源設備から充電器を経由して給電が可能な設計であるが、常設代替交流電源設備及び可搬型代替交流電源設備から給電できない場合は、所内常設蓄電式直流電源設備の蓄電池（非常用）により給電する。 (以降、⑩の相違と記載する。) |

2-3) 被ばく評価における主な相違（SA 被ばく評価）

| 相違内容 | 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|------------------------------------|---|---|---|--|
| 評価シナリオ | 大破断 LOCA 時に ECCS 注入および格納容器スプレイ注入に失敗するシーケンス | 大破断 LOCA+HPCS 失敗+低圧 ECCS 失敗+全交流動力電源喪失したシーケンス | 大破断 LOCA 時に低圧注入機能、高圧注入機能及び格納容器スプレイ注入機能が喪失する事故 | 【女川】型式の相違 ・互いに「想定する格納容器破損モードのうち、原子炉制御室の運転員の被ばくの観点から結果が最も厳しくなる事故収束に成功した事故シーケンス」を選定しているが、型式の相違により評価シーケンスが異なる。 ・シナリオ選定の考え方は女川・泊ともに添付資料で検討を行っている。 【大飯】記載表現の相違 |
| 待避所の有無 | 待避所を設置しない | 格納容器ベントの際には中央制御室待避所内に滞在するとしており、待避所内では外気の流入を防止する効果を考慮している。 | 待避所を設置しない | 「3-2) 設備・運用の相違」に示す①の相違によるもの。 |
| 運転員の被ばくを低減するための設備 | アニュラス空気浄化設備を考慮 | 非常用ガス処理系を考慮 | アニュラス空気浄化設備を考慮 | 「3-2) 設備・運用の相違」に示す②の相違によるもの。 |
| 被ばく評価における交代要員体制の考慮方法 | 7 日間の評価期間において最も中央制御室の滞在時間が長く入退城回数が多い運転員を対象として、7 日間の積算線量を滞在期間及び入退城に要する時間の割合で配分することで、実効線量を評価（内規に記載のある DB 被ばく評価と同様の手法。）。 | 具体的な交代スケジュールを想定し、その交代スケジュールに基づく評価を実施。 | 具体的な交代スケジュールを想定し、その交代スケジュールに基づく評価を実施。 | 【大飯】女川審査実績の反映 ・事故初期において線量が高くなることを考慮すると、7 日間の線量を時間で配分するより、具体的なスケジュールに基づく評価を実施するほうが保守的と考えられることから女川知見を反映した。合わせて、中央制御室滞在時のマスク着用も女川実績を反映した。 (以降⑨の相違と記載する。) |
| 原子炉格納容器貫通部のエアロゾル粒子に対する除染係数（貫通部 DF） | 保守的に 1 として評価 | 検討資料作成の上、10 として評価 | 検討資料作成の上、10 として評価 | 【大飯】女川審査実績の反映 ・女川実績を踏まえ、最確条件で評価を行うため有効性評価にて考慮できる貫通部 DF を検討し、10 として評価した。 |

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|--|--|
| <p>【大飯発電所 設置許可申請書（3, 4号炉完本）令和3年5月現在より引用】</p> <p>ロ. 発電用原子炉施設の一般構造 (3) その他の主要な構造 (i) 本原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設 (u) 中央制御室 中央制御室は、設計基準対象施設の健全性を確認するために必要なパラメータを監視できるとともに、原子炉施設の安全性を確保するために必要な操作を手動により行うことができる設計とする。</p> <p>また、原子炉施設の外部の状況を把握するため、監視カメラ、気象観測設備及びFAX等を設置し、中央制御室から原子炉施設に影響を及ぼす可能性のある自然現象等を把握できる設計とする。</p> <p>原子炉施設には、火災その他の異常な状態により中央制御室が使用できない場合において、中央制御室以外の場所から、原子炉を高温停止の状態に直ちに移行させ、及び必要なパラメータを想定される範囲内に制御し、その後、原子炉を安全な低温停止の状態に移行させ、及び低温停止の状態を維持させるために必要な機能を有する装置を設ける設計とする。</p> <p>1次冷却系統に係る原子炉施設の損壊又は故障その他の異常が発生した場合に原子炉の運転の停止その他の原子炉施設の安全性を確保するための措置をとるため、従事者が支障なく中央制御室に入ることができるようにするとともに、中央制御室内にとどまり必要な操作、措置を行うことができる設計とする。</p> | <p>3.16 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備【59条】 【女川原子力発電所 設置変更許可申請書（2号炉完本）令和4年8月現在より引用】</p> <p>ロ 発電用原子炉施設の一般構造 (3) その他の主要な構造 (i) 本発電用原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針のもとに安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設 (u) 中央制御室 中央制御室は、設計基準対象施設の健全性を確認するために必要なパラメータを監視できるとともに、発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な操作を手動により行うことができる設計とする。</p> <p>また、発電用原子炉施設の外部の状況を把握するため、監視カメラ、気象観測設備、公的機関から気象情報を入手できる設備等を設置し、中央制御室から発電用原子炉施設に影響を及ぼす可能性のある自然現象等を把握できる設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設には、火災その他の異常な状態により中央制御室が使用できない場合において、中央制御室以外の場所から、発電用原子炉を高温停止の状態に直ちに移行及び必要なパラメータを想定される範囲内に制御し、その後、発電用原子炉を安全な低温停止の状態に移行及び低温停止の状態を維持させるために必要な機能を有する装置を設ける設計とする。</p> <p>原子炉冷却系統に係る発電用原子炉施設の損壊又は故障その他の異常が発生した場合に、発電用原子炉の運転の停止その他の発電用原子炉施設の安全性を確保するための措置をとるため、従事者が支障なく中央制御室に入ることができるようにするとともに、中央制御室内にとどまり、運転員が必要な操作、措置を行うことができる設計とする。</p> | <p>2.16 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備【59条】</p> <p>ロ. 発電用原子炉施設の一般構造 (3) その他の主要な構造 (i) 本発電用原子炉施設は、(1)耐震構造、(2)耐津波構造に加え、以下の基本的方針の基に安全設計を行う。</p> <p>a. 設計基準対象施設 (u) 中央制御室 中央制御室は、設計基準対象施設の健全性を確認するために必要なパラメータを監視できるとともに、発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な操作を手動により行うことができる設計とする。</p> <p>また、発電用原子炉施設の外部の状況を把握するため、監視カメラ、気象観測設備、公的機関から気象情報を入手できる設備等を設置し、中央制御室から発電用原子炉施設に影響を及ぼす可能性のある自然現象等を把握できる設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設には、火災その他の異常な状態により中央制御室が使用できない場合において、中央制御室以外の場所から、発電用原子炉を高温停止の状態に直ちに移行及び必要なパラメータを想定される範囲内に制御し、その後、発電用原子炉を安全な低温停止の状態に移行及び低温停止の状態を維持させるために必要な機能を有する装置を設ける設計とする。</p> <p>1次冷却系統に係る発電用原子炉施設の損壊又は故障その他の異常が発生した場合に、発電用原子炉の運転の停止その他の発電用原子炉施設の安全性を確保するための措置をとるため、従事者が支障なく中央制御室に入ることができるようにするとともに、中央制御室内にとどまり、運転員が必要な操作、措置を行うことができる設計とする。</p> | <p>【女川】章立ての相違 ・3.16と2.16の相違については以降理由省略</p> <p>【女川、大飯】記載表現の相違</p> <p>【大飯】女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】女川審査実績の反映</p> |

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|--|--|--|--------------|---|----|----|---|--------|----|----|----|------------------|--------|----|----|----|---------------------|------------|-----------------------------|------|--------------|---|--------|------------------|--|----|----|--|
| <p>【柏崎刈羽原子力発電所 設置変更許可申請書（6号及び7号炉完本）令和2年5月現在より引用】</p> <p>中央制御室は、有毒ガスが運転員に及ぼす影響により、運転員の対処能力が著しく低下し、安全施設の安全機能が損なわれることがない設計とする。そのために、敷地内外において貯蔵施設に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「固定源」という。）及び敷地内において輸送手段の輸送容器に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「可動源」という。）それぞれに対して有毒ガスが発生した場合の影響評価（以下「有毒ガス防護に係る影響評価」という。）を実施する。</p> <p>有毒ガス防護に係る影響評価に当たっては、有毒ガスが大気中に多量に放出されるかの観点から、有毒化学物質の性状、貯蔵状況等を踏まえ固定源及び可動源を特定する。</p> <p>また、固定源及び可動源の有毒ガス防護に係る影響評価に用いる貯蔵量等は、現場の状況を踏まえ評価条件を設定する。</p> <p>固定源及び可動源に対しては、運転員の吸気中の有毒ガス濃度の評価結果が有毒ガス防護のための判断基準値を下回ることにより、運転員を防護できる設計とする。</p> <p>可動源の輸送ルートは、運転員の吸気中の有毒ガス濃度の評価結果が有毒ガス防護のための判断基準値を下回るよう運用管理を実施する。</p> | <p>中央制御室は、有毒ガスが運転員に及ぼす影響により、運転員の対処能力が著しく低下し、安全施設の安全機能が損なわれることがない設計とする。そのために、敷地内外において貯蔵施設に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「固定源」という。）及び敷地内において輸送手段の輸送容器に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「可動源」という。）それぞれに対して有毒ガスが発生した場合の影響評価（以下「有毒ガス防護に係る影響評価」という。）を実施する。</p> <p>有毒ガス防護に係る影響評価に当たっては、有毒ガスが大気中に多量に放出されるかの観点から、有毒化学物質の性状、貯蔵状況等を踏まえ固定源及び可動源を特定する。</p> <p>また、固定源及び可動源の有毒ガス防護に係る影響評価に用いる貯蔵量等は、現場の状況を踏まえ評価条件を設定する。</p> <p>固定源及び可動源に対しては、運転員の吸気中の有毒ガス濃度の評価結果が有毒ガス防護のための判断基準値を下回ることにより、運転員を防護できる設計とする。</p> <p>可動源の輸送ルートは、運転員の吸気中の有毒ガス濃度の評価結果が有毒ガス防護のための判断基準値を下回るよう運用管理を実施する。</p> | <p>【参考】 先行電力と泊発電所における特定された（スクリーニング評価対象の）敷地内外固定源及び敷地内可動源の有無並びに敷地内可動源への対応について</p> <table border="1" data-bbox="1254 263 1803 414"> <thead> <tr> <th></th> <th>東海第二、高根 先行PWR3社</th> <th>女川</th> <th>柏崎</th> <th>泊</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>敷地内固定源</td> <td>あり</td> <td>なし</td> <td>なし</td> <td>なし (女川、柏崎と同様)</td> </tr> <tr> <td>敷地内可動源</td> <td>あり</td> <td>なし</td> <td>あり</td> <td>あり (東海第二等、柏崎と同様)</td> </tr> <tr> <td>敷地内可動源への対応</td> <td>スクリーニング評価を実施せず、漏洩時の防護措置を講じる</td> <td>対応なし</td> <td>スクリーニング評価を実施</td> <td>スクリーニング評価を実施せず、漏洩時の防護措置を講じる (東海第二等と同様)</td> </tr> <tr> <td>敷地外固定源</td> <td>あり (美浜、玄海はなし)</td> <td></td> <td>あり</td> <td>なし</td> </tr> </tbody> </table> | | 東海第二、高根 先行PWR3社 | 女川 | 柏崎 | 泊 | 敷地内固定源 | あり | なし | なし | なし (女川、柏崎と同様) | 敷地内可動源 | あり | なし | あり | あり (東海第二等、柏崎と同様) | 敷地内可動源への対応 | スクリーニング評価を実施せず、漏洩時の防護措置を講じる | 対応なし | スクリーニング評価を実施 | スクリーニング評価を実施せず、漏洩時の防護措置を講じる (東海第二等と同様) | 敷地外固定源 | あり (美浜、玄海はなし) | | あり | なし | <p>バックフィットの有毒ガスの範囲については、有毒ガス補足説明資料比較表と同様に、東海第二と伊方と比較するが、特定された敷地内固定源と敷地内可動源の有無及び敷地内可動源に対する漏洩時の防護措置の実施有無に応じた方針とする必要があることから、女川と柏崎の記載を参照する。以下同様。</p> <p>⇒泊は、現時点において、特定された敷地内固定源なし、敷地内可動源ありであるため、有毒ガス防護に係る影響評価における評価条件の設定方針に関しては、可動源を除き女川及び柏崎と同様。敷地内可動源の防護措置については、東海第二等と同様の方針としている。</p> |
| | 東海第二、高根 先行PWR3社 | 女川 | 柏崎 | 泊 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 敷地内固定源 | あり | なし | なし | なし (女川、柏崎と同様) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 敷地内可動源 | あり | なし | あり | あり (東海第二等、柏崎と同様) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 敷地内可動源への対応 | スクリーニング評価を実施せず、漏洩時の防護措置を講じる | 対応なし | スクリーニング評価を実施 | スクリーニング評価を実施せず、漏洩時の防護措置を講じる (東海第二等と同様) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 敷地外固定源 | あり (美浜、玄海はなし) | | あり | なし | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>【伊方発電所 発電用原子炉設置変更許可申請書（3号炉完本）令和2年9月現在より引用】</p> <p>中央制御室は、有毒ガスが運転員に及ぼす影響により、運転員の対処能力が著しく低下し、安全施設の安全機能が損なわれることがない設計とする。そのために、敷地内外において貯蔵施設に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「固定源」という。）及び敷地内において輸送手段の輸送容器に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「可動源」という。）それぞれに対して有毒ガスが発生した場合の影響評価（以下「有毒ガス防護に係る影響評価」という。）を実施する。</p> | <p>【東海第二発電所 発電用原子炉設置変更許可申請書（令和4年11月25日、発電用原子炉施設の変更）より引用】</p> <p>中央制御室は、有毒ガスが運転員に及ぼす影響により、運転員の対処能力が著しく低下し、安全施設の安全機能が損なわれることがない設計とする。そのために、敷地内外において貯蔵施設に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「固定源」という。）及び敷地内において輸送手段の輸送容器に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「可動源」という。）それぞれに対して有毒ガスが発生した場合の影響評価（以下「有毒ガス防護に係る影響評価」という。）を実施する。</p> | <p>【バックフィットの有毒ガスの範囲】</p> <p>中央制御室は、有毒ガスが運転員に及ぼす影響により、運転員の対処能力が著しく低下し、安全施設の安全機能が損なわれることがない設計とする。そのために、敷地内外において貯蔵施設に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「固定源」という。）及び敷地内において輸送手段の輸送容器に保管されている有毒ガスを発生させるおそれのある有毒化学物質（以下「可動源」という。）それぞれに対して有毒ガスが発生した場合の影響評価（以下「有毒ガス防護に係る影響評価」という。）を実施する。</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備

| 大飯発電所3 / 4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|--|--|---|--|
| <p>有毒ガス防護に係る影響評価に当たっては、有毒ガスが大気中に多量に放出されるかの観点から、有毒化学物質の性状、貯蔵状況等を踏まえ固定源及び可動源を特定する。</p> <p>また、固定源の有毒ガス防護に係る影響評価に用いる防液堤等は、現場の設置状況を踏まえ評価条件を設定する。</p> <p>固定源に対しては、運転員の吸気中の有毒ガス濃度の評価結果が有毒ガス防護のための判断基準値を下回ることにより、運転員を防護できる設計とする。</p> <p>可動源に対しては、中央制御室換気空調設備の隔離等の対策により、運転員を防護できる設計とする。有毒ガス防護に係る影響評価において、有毒ガス影響を軽減するための防液堤等は、適切に保守点検するとともに運用管理を実施する。</p> | <p>有毒ガス防護に係る影響評価に当たっては、有毒ガスが大気中に多量に放出されるかの観点から、有毒化学物質の性状、貯蔵状況等を踏まえ、固定源及び可動源を特定する。</p> <p>また、固定源の有毒ガス防護に係る影響評価に用いる防液堤等は、現場の状況を踏まえ評価条件を設定する。</p> <p>固定源に対しては、運転員の吸気中の有毒ガス濃度の評価結果が有毒ガス防護のための判断基準値を下回ることにより、運転員を防護できる設計とする。</p> <p>可動源に対しては、中央制御室換気系の隔離等の対策により、運転員を防護できる設計とする。有毒ガス防護に係る影響評価において、有毒ガス影響を軽減することを期待する防液堤は、保守管理及び運用管理を適切に実施する。</p> | <p>有毒ガス防護に係る影響評価に当たっては、有毒ガスが大気中に多量に放出されるかの観点から、有毒化学物質の性状、貯蔵状況等を踏まえ、固定源及び可動源を特定する。</p> <p>また、固定源の有毒ガス防護に係る影響評価に用いる貯蔵量等は、現場の状況を踏まえ評価条件を設定する。</p> <p>固定源に対しては、運転員の吸気中の有毒ガス濃度の評価結果が有毒ガス防護のための判断基準値を下回ることにより、運転員を防護できる設計とする。</p> <p>可動源に対しては、中央制御室空調装置の隔離等の対策により、運転員を防護できる設計とする。</p> | <p>【東海第二、伊方】設備、運用の相違 ・有毒ガスに係る調査の結果、現時点においては、スクリーニング評価対象の敷地内外の固定源がないため、スクリーニング評価において有毒ガス影響を軽減することを期待する防液堤がない、及び敷地内可動源については、漏洩時の防護措置を取ることに相違。</p> <p>【東海第二、伊方】設備名称の相違</p> |
| <p>【大飯発電所 設置許可申請書（3、4号炉完本）令和3年5月現在より引用】</p> <p>また、中央制御室及びこれに連絡する通路並びに運転員その他の従事者が中央制御室に出入りするための区域は、運転員が過度の被ばくを受けないよう施設し、運転員の勤務形態を考慮し、事故後30日間において、運転員が中央制御室に入り、とどまっても、中央制御室遮蔽を透過する放射線による線量、中央制御室に侵入した外気による線量及び入退域時の線量が、中央制御室空調装置等の機能とあいまって、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈」に示される100mSvを下回るように遮蔽を設ける。</p> <p>また、気体状の放射性物質及び中央制御室外の火災により発生する有毒ガス等に対する換気設備の隔離その他の適切に防護するための設備を設ける設計とする。</p> | <p>【女川原子力発電所 設置変更許可申請書（2号炉完本）令和4年8月現在より引用】</p> <p>中央制御室及びこれに連絡する通路並びに運転員その他の従事者が中央制御室に出入りするための区域は、運転員が過度の被ばくを受けないよう施設し、運転員の勤務形態を考慮し、事故後30日間において、運転員が中央制御室に入り、とどまっても、中央制御室遮蔽を透過する放射線による線量、中央制御室に侵入した外気による線量及び入退域時の線量が、中央制御室換気空調系等の機能とあいまって、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈」に示される100mSvを下回るように遮蔽を設ける。</p> <p>その他、運転員その他の従事者が中央制御室にとどまるため、気体状の放射性物質並びに中央制御室外の火災等により発生する燃焼ガス、ばい煙、有毒ガス及び降下火砕物に対する換気設備の隔離その他の適切に防護するための設備を設ける設計とする。</p> | <p>中央制御室及びこれに連絡する通路並びに運転員その他の従事者が中央制御室に出入りするための区域は、運転員が過度の被ばくを受けないよう施設し、運転員の勤務形態を考慮し、事故後30日間において、運転員が中央制御室に入り、とどまっても、中央制御室遮へいを透過する放射線による線量、中央制御室に侵入した外気による線量及び入退域時の線量が、中央制御室空調装置等の機能とあいまって、「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則」及び「実用発電用原子炉及びその附属施設の技術基準に関する規則の解釈」に示される100mSvを下回るように遮蔽を設ける。</p> <p>その他、運転員その他の従事者が中央制御室にとどまるため、気体状の放射性物質並びに中央制御室外の火災等により発生する燃焼ガス、ばい煙、有毒ガス及び降下火砕物に対する換気設備の隔離その他の適切に防護するための設備を設ける設計とする。</p> | <p>【大飯】女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】女川審査実績の反映</p> |
| <p>また、中央制御室には、重大事故が発生した場合においても運転員がとどまるために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> | <p>中央制御室には、炉心の著しい損傷が発生した場合においても運転員がとどまるために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> | <p>中央制御室には、炉心の著しい損傷が発生した場合においても運転員がとどまるために必要な重大事故等対処設備を設置及び保管する。</p> | <p>【大飯】記載表現の相違 ・大飯は59条バックフィット前に設置許可を得ているため、バックフィット反映箇所（アニュラス空気浄化設備に係る記載をしている箇所）以外は最新の完本においても当時の59条の条文の表現（「重大事故」となっている（同様の相違については以降は理由を省略し、「記載表現の相違」と記載する）。</p> |

DB26 条の範囲

赤字：設備、運用又は体制の相違（設計方針の相違）
 青字：記載箇所又は記載内容の相違（記載方針の相違）
 緑字：記載表現、設備名称の相違（実質的な相違なし）

第59条 運転員が原子炉制御室にとどまるための設備

| 大飯発電所3/4号炉 | 女川原子力発電所2号炉 | 泊発電所3号炉 | 相違理由 |
|---|--|--|---|
| <p>【大飯発電所 設置許可申請書（3、4号炉完本）令和3年5月現在より引用】</p> <p>へ、計測制御系統施設の構造及び設備</p> <p>A. 3号炉</p> <p>(5) その他の主要な事項</p> <p>(v) 中央制御室</p> <p>中央制御室（3号及び4号炉共用）は、設計基準対象施設の健全性を確認するために必要なパラメータを監視できるとともに、原子炉施設の安全性を確保するために必要な操作を手動により行うことができる設計とする。</p> <p>また、原子炉施設の外部の状況を把握するため、監視カメラ、気象観測設備及びFAX等を設置し、中央制御室から原子炉施設に影響を及ぼす可能性のある自然現象等を把握できる設計とする。</p> <p>原子炉施設には、火災その他の異常な状態により中央制御室が使用できない場合において、中央制御室以外の場所から、原子炉を高温停止の状態に直ちに移行させ、及び必要なパラメータを想定される範囲内に制御し、その後、原子炉を安全な低温停止の状態に移行させ、及び低温停止の状態を維持させるために必要な機能を有する装置を設ける設計とする。</p> <p>気体状の放射性物質及び中央制御室外の火災により発生する有毒ガス等に対する換気設備の隔離その他の適切に防護するための設備を設ける設計とする。</p> <p>1次冷却系統に係る原子炉施設の損壊又は故障その他の異常が発生した場合に原子炉の運転の停止その他の原子炉施設の安全性を確保するための措置をとるため、従事者が支障なく中央制御室に入ることができるようにするとともに、中央制御室内にとどまり必要な操作、措置を行うことができる設計とする。</p> | <p>【女川原子力発電所 設置変更許可申請書（2号炉完本）令和4年8月現在より引用】</p> <p>へ 計測制御系統施設の構造及び設備</p> <p>(5) その他の主要な事項</p> <p>(vi) 中央制御室</p> <p>中央制御室は、設計基準対象施設の健全性を確認するために必要なパラメータを監視できるとともに、発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な操作を手動により行うことができる設計とする。</p> <p>また、発電用原子炉施設の外部の状況を把握するため、監視カメラ、気象観測設備、公的機関から気象情報を入手できる設備等を設置し、中央制御室から発電用原子炉施設に影響を及ぼす可能性のある自然現象等を把握できる設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設には、火災その他の異常な状態により中央制御室が使用できない場合において、中央制御室以外の場所から、発電用原子炉を高温停止の状態に直ちに移行及び必要なパラメータを想定される範囲内に制御し、その後、発電用原子炉を安全な低温停止の状態に移行及び低温停止の状態を維持させるために必要な機能を有する装置を設ける設計とする。</p> <p>原子炉冷却系統に係る発電用原子炉施設の損壊又は故障その他の異常が発生した場合に、発電用原子炉の運転停止その他の発電用原子炉施設の安全性を確保するための措置をとるため、従事者が支障なく中央制御室に入ることができるようにするとともに、中央制御室内にとどまり、運転員が必要な操作、措置を行うことができる設計とする。</p> | <p>へ、計測制御系統施設の構造及び設備</p> <p>(5) その他の主要な事項</p> <p>(v) 中央制御室</p> <p>中央制御室は、設計基準対象施設の健全性を確認するために必要なパラメータを監視できるとともに、発電用原子炉施設の安全性を確保するために必要な操作を手動により行うことができる設計とする。</p> <p>また、発電用原子炉施設の外部の状況を把握するため、監視カメラ、気象観測設備、公的機関から気象情報を入手できる設備等を設置し、中央制御室から発電用原子炉施設に影響を及ぼす可能性のある自然現象等を把握できる設計とする。</p> <p>発電用原子炉施設には、火災その他の異常な状態により中央制御室が使用できない場合において、中央制御室以外の場所から、発電用原子炉を高温停止の状態に直ちに移行及び必要なパラメータを想定される範囲内に制御し、その後、発電用原子炉を安全な低温停止の状態に移行及び低温停止の状態を維持させるために必要な機能を有する装置を設ける設計とする。</p> | <p>【大飯】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大飯は3/4号炉の識別をしている。 <p>【大飯】 共用の相違</p> <p>【大飯】 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 女川審査実績の反映</p> <p>【大飯】 記載箇所及び表現の相違（女川実績の反映）</p> |